超描けるシリーズ
玄光社 MOOK
下着の描き方
ブラジャーやショーツだけじゃない
ランジェリー・ファンデーション・アンダーウエア
下着の種類の解説や描き方・ポーズのコツも満載！

玄光社 MOOK

フリーのイラストレーター。京都府出身、関西在住。
主にゲームのキャラクターデザイン、書籍の挿画・装画などを中心に活動中。
「保育の騎士とモンスター娘」（神秋 昌史　著 / 角川スニーカー文庫）など。

表紙イラストについて

下着姿の女の子ということで、「爽やか」で「かわいい」をテーマに、繊細で愛らしい印象になるように描きました。
下着は色や形の組み合わせが無限大で、デザインによって色々な世界観があります。今回のイラストでは白を基調とした下着に、レースや金の刺繍、ピンクのリボンを加え、華やかでかわいらしい感じにしてみました。

こだわりポイント

下着と水着は形が似ているため、描き分けが難しいという人も多いようです。下着の場合は、レース部分に透け感を出したり、布のふちや際部分に縫い目や細かいシワを入れたりすると下着らしくなります。

布地の面積が少ない分、髪形や飾り（花冠）で華やかにしました。

白とピンクを引き立たせるため、葉っぱの緑を差し色にしました。

胸元の大きなレースは手描きです。
レース柄のブラシなどを使ってもよいのですが、下着の面積はそんなに大きくありませんので、手描きのほうが自由に描きやすいです。
大きなレースはカップ部分に使うと柄が見やすくきれいです。

ストラップやショーツのふちの部分に細かいピコレースをつけると、下着の繊細さが伝わります。

リボンに光沢をつけることで、サテン生地のように上品になります。

下着を主役にしたいときは、キャラクターの肌色部分をあっさりした陰影で塗ることで、下着が際立ち、全体のリアリティもアップします。

腰からふとももにかけてはとくに女性の曲線美を意識して描くと、布地の面積が小さくても全体が華やかになります。

はじめに

お気に入りの下着を身に着けると、多くの女性は気分がよくなります。たとえ誰にも見せなくても、下着は女性の心を左右する大切なものです。

下着の歴史は古く、紀元前2000～1400年頃にはクレタ島の女性たちがアポデスムとよばれる帯で胸を支える工夫をしていたといわれています。

古代から下着は、女性の体を守り、美しく見せたいという願望を叶えてきました。

現在、下着売り場には色とりどりの下着が並んでいます。

ブラジャー1つとっても、色やデザインだけでなく、カップの形状や機能にさまざまな種類があります。

ショーツやブラジャーのほか、補整力に優れたガードルやボディスーツ、セクシーなテディやベビードールなど、

まるで洋服を選ぶように、無数のアイテムの中から自分に合ったものを選べるようになりました。

さて、みなさんはキャラクターを描く際、そのキャラクターをより魅力的にするためにさまざまな要素に気を配ることでしょう。

髪型や表情、服装、そしてその服の下にどんな下着を着けているのか……。

かわいい下着、セクシーな下着、カジュアルな下着など、下着はそのキャラクターの個性をより強調し、魅力的に見せてくれるアイテムです。

また、同じキャラクターでも、デートのときには勝負下着、スポーツをするときにはスポブラなど、シーンによって適したアイテムも変わってくるでしょう。

下着のイラストを魅力的に描くには、その構造を正しく理解し、布地の素材や伸縮性まで考える必要があります。

本書では、ショーツやブラジャーをはじめ、たくさんの下着の構造を紹介するとともに、それらを身に着けたときの体の変化、たとえば食い込む部分や盛り上がる部分なども細かく解説しています。

本書を参考に、ぜひキャラクターの魅力的な下着姿を描いてください。

編者

Contents

Part2 下着を描く……………………51

Part1
下着の知識

下着の種類

下着は、その着用目的と機能によって「ファンデーション」「ランジェリー」「アンダーウエア」の3つに分類されます。それぞれどんなアイテムが該当するのか、またその特徴や役割、バリエーションをしっかりと学んでいきましょう。

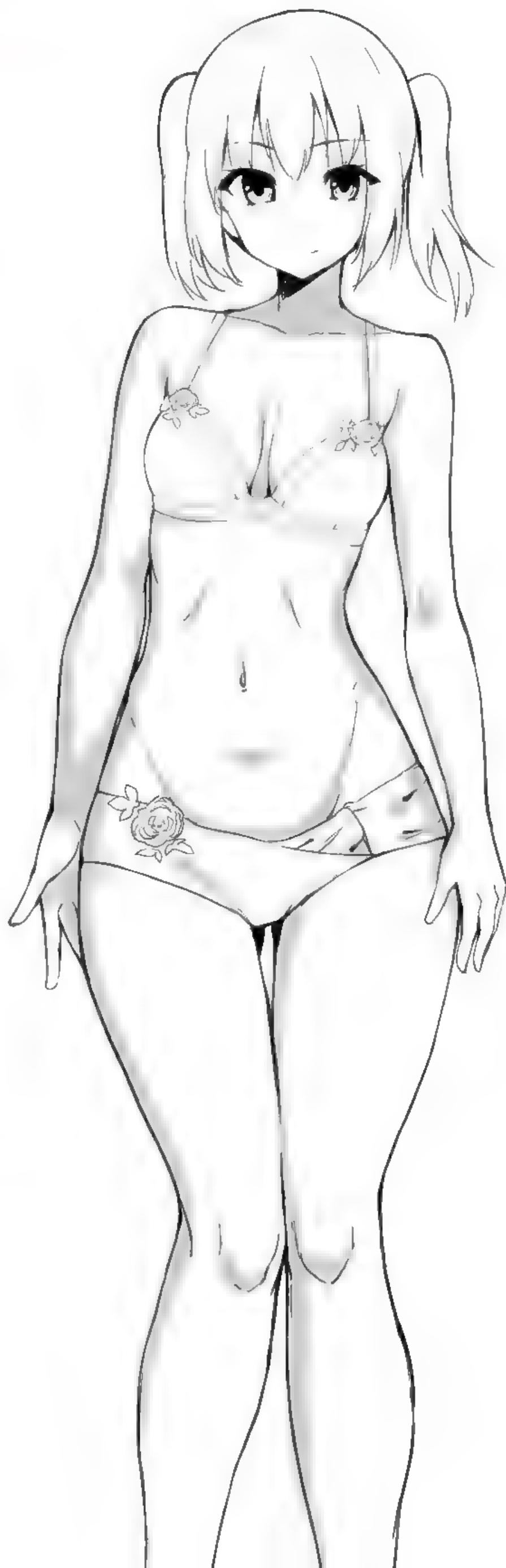
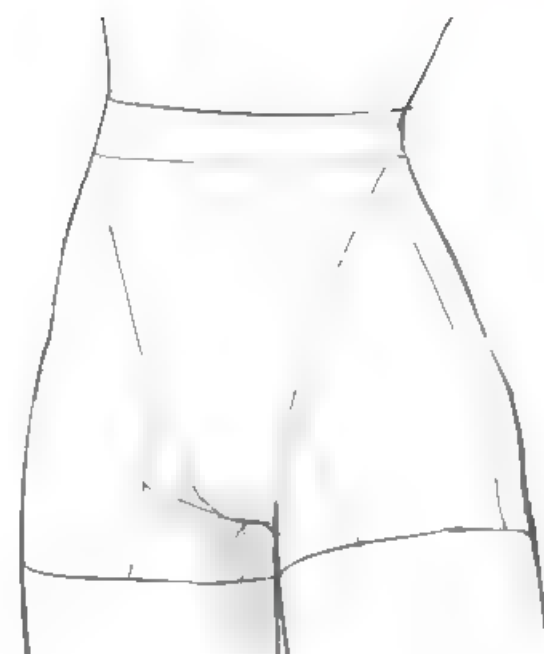
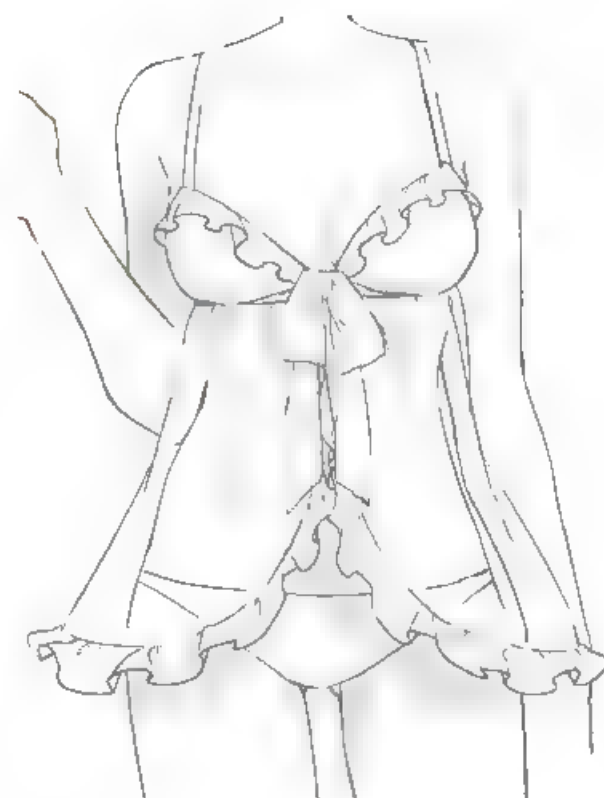
ファンデーション

メイクの下地をファンデーションというように、何かをつくりあげるときの土台となるもののことをいいます。下着では、ブラジャーやガードルなど、ボディラインを補整するためのアイテムを指します。理想のプロポーションに近づけ、体を適度にサポートしてくれる働きがあります。

ランジェリー

ファンデーションで整えたラインをさらにきれいに仕上げる働きがあります。機能性とともにおしゃれを楽しむことができるのも特徴です。レース、刺しゅう、リボンなどさまざまな装飾が施されたものも多く、シルエットや素材もたくさんあり、アウターに合わせて選ぶことができます。

アンダーウエア

一般的に肌着といわれているもので、保温、吸汗、肌の透け防止など機能性に優れているのが特徴です。肌触りのいい綿素材やストレッチ素材のものが多く、着たときの快適さが求められます。そでの長さや首周りの形に種類があり、季節やアウターのデザインによって選ぶことができます。

ブラジャー
ボディスーツ
ガードル
など
パニエ
スリップ
ベビードール
など
ショーツ
メンズアンダーウエア
シャツ
など

ブラジャーのサイズ

ブラジャーのサイズは、A、B、Cといった単純なカップサイズだけでは測ることができません。トップとアンダーの正しい採寸方法に加え、同じサイズでも体型や年齢の変化によって胸の形が違うことを知っておきましょう。

胸のサイズ

トップとアンダーの差（カップ）	アンダー	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110	115	120
約7.5cm（AAカップ）	バスト	73	78	83	88								
	呼び方	AA65	AA70	AA75	AA80								
約10.0cm（Aカップ）	バスト	75	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130
	呼び方	A65	A70	A75	A80	A85	A90	A95	A100	A105	A110	A115	A120
約12.5cm（Bカップ）	バスト	78	83	88	93	98	103	108	113	118	123	128	133
	呼び方	B65	B70	B75	B80	B85	B90	B95	B100	B105	B110	B115	B120
約15.0cm（Cカップ）	バスト	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130	135
	呼び方	C65	C70	C75	C80	C85	C90	C95	C100	C105	C110	C115	C120
約17.5cm（Dカップ）	バスト	83	88	93	98	103	108	113	118	123	128	133	138
	呼び方	D65	D70	D75	D80	D85	D90	D95	D100	D105	D110	D115	D120
約20.0cm（Eカップ）	バスト	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130	135	140
	呼び方	E65	E70	E75	E80	E85	E90	E95	E100	E105	E110	E115	E120
約22.5cm（Fカップ）	バスト	88	93	98	103	108	113	118	123				
	呼び方	F65	F70	F75	F80	F85	F90	F95	F100				
約25.0cm（Gカップ）	バスト	90	95	100	105	110	115	120	125				
	呼び方	G65	G70	G75	G80	G85	G90	G95	G100				
約27.5cm（Hカップ）	バスト	93	98	103	108	113							
	呼び方	H65	H70	H75	H80	H85							
約30.0cm（Iカップ）	バスト	95	100	105	110	115							
	呼び方	I65	I70	I75	I80	I85							

カップの測り方（バストの測り方）

ブラジャーのサイズは、カップサイズとアンダーバストサイズで表示されています。たとえば「B70」という表示なら、カップサイズがB、アンダーバストサイズが70cmということです。カップサイズは、トップバストとアンダーバストの寸法の差で決まります。

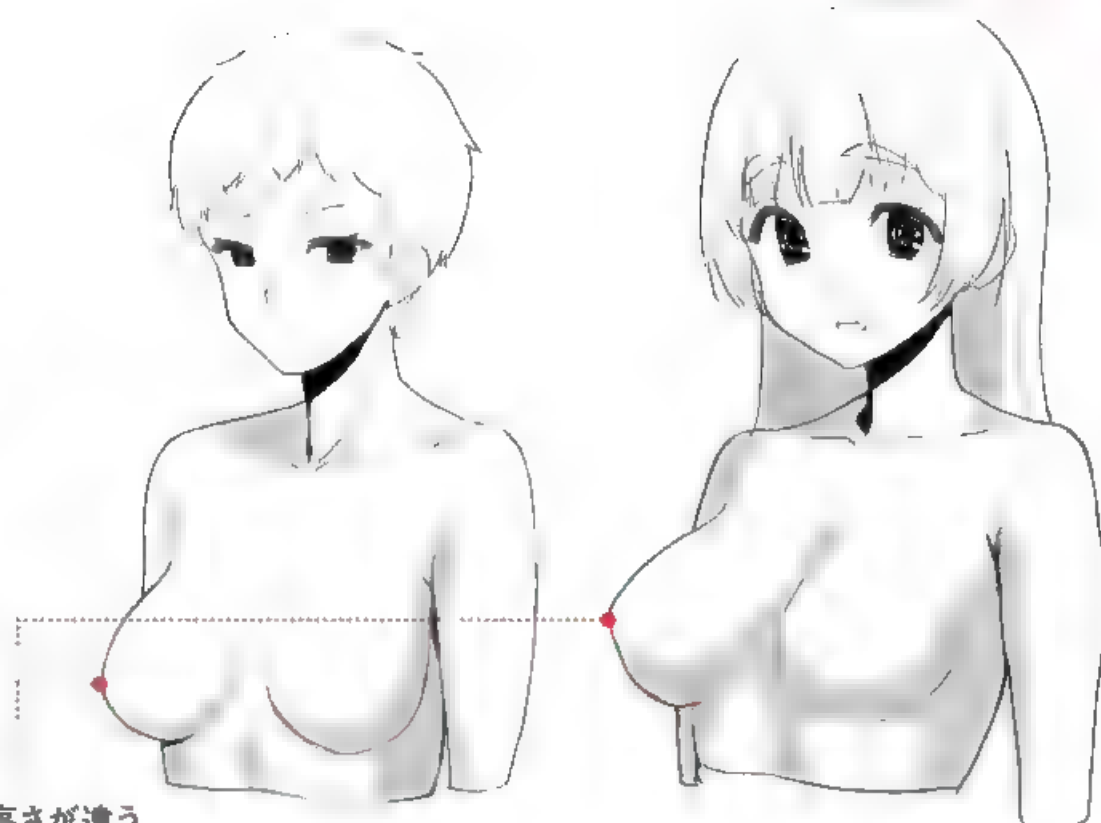
トップ

バストの一番高い位置の胸囲を、床と水平になるように測ります。締め付けるのではなく、ややゆるめに測るのがポイントです。バストトップが下がっている場合は、持ち上げてブラジャーを着けたような状態に近づけて測ります。

アンダー

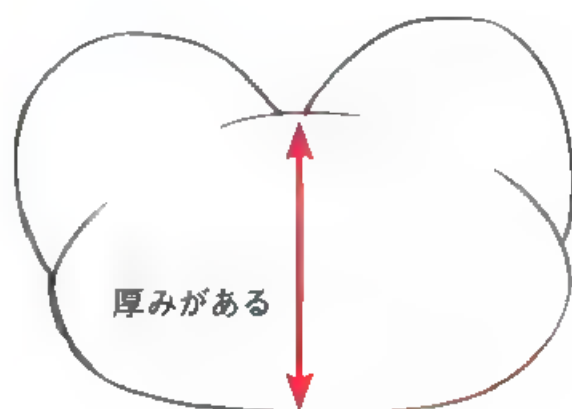
バストのつけ根の真下を、床と水平になるようにして測ります。トップバストとは違い、少しきつめに測りましょう。ブラジャーのサイズでは、アンダーバストの数値は5cm間隔となっています。その中間の場合は着用感の好みで決めます。

胸の形

人間の骨格、筋肉や脂肪のつき方は人それぞれ。１つとして同じものはありません。胸の形も同様です。たとえば、同じ「C70」というサイズでも、胸の底面積（円周）の広さ、乳頭の間隔、胸の突出度などがそれぞれ違います。また、同じ人でも体脂肪の増減や年齢の変化とともに胸の形は変わっていきます。

年代によって胸の高さが違う。加齢とともに下がり、張りが無くなる。

胸の断面

周径が同じでも、胸の形はさまざまです。胸の断面は、大きく分けて２つに分類することができます。

幅に対して、厚みがあります。見た目よりサイズが大きいことがあり、着やせするタイプです。

幅に対して、厚みがありません。見た目よりサイズが小さいことがあり、着太りするタイプです。

胸の大きさや形

生まれ持った骨格や脂肪のつき方、年齢による体型の変化によって胸の大きさや形はさまざまです。Aカップから I カップまでの胸の大きさ、年齢別の変化、体型別の形など、どのような違いがあるのか詳しく見ていきましょう。

カップ別

A カップから I カップまでの胸の大きさを比較してみましょう。

トップとアンダーの差が約10cm。かなり小さめ。

トップとアンダーの差が約12.5cm。日本人女性の平均がこのカップです。

トップとアンダーの差が約15cm。大きすぎず、小さすぎずバランスがいいといわれています。

トップとアンダーの差が約17.5cm。平均より大きめ。このサイズが好きな男性が多いようです。

Eカップ

トップとアンダーの差が約20cm。"巨乳"と表現されるのは一般的にこのサイズ以上です。

Fカップ

トップとアンダーの差が約22.5cm。体全体に対して胸が大きく目立ちます。

Gカップ

トップとアンダーの差が約25cm。脇からはみ出すなど、こぼれ落ちそうな印象です。

Iカップ

トップとアンダーの差が約30cm。マンガなどの爆乳キャラによくあるサイズです。

Hカップ

トップとアンダーの差が約27.5cm。胸の存在感が際立っています。

年齢別

年齢を重ねるにつれて胸の大きさや形が大きく変化していきます。

小学生

９歳をすぎたあたりから大人の体への変化をはじめ、乳頭だけが突起します。10歳～12歳頃は第2次性徴を迎え変化が激しい時期です。

中学生

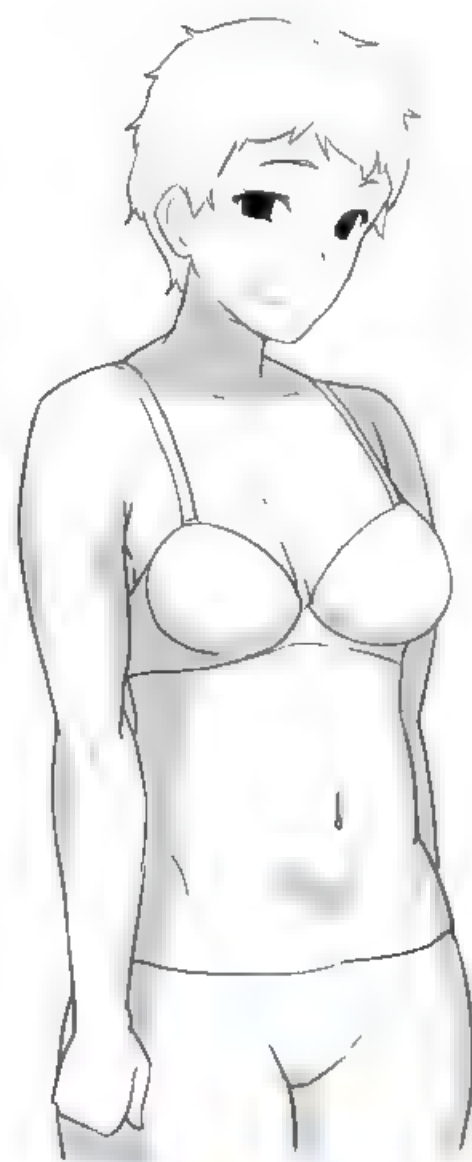
乳頭の突起が全体へと広がり、ふっくらとしてきます。

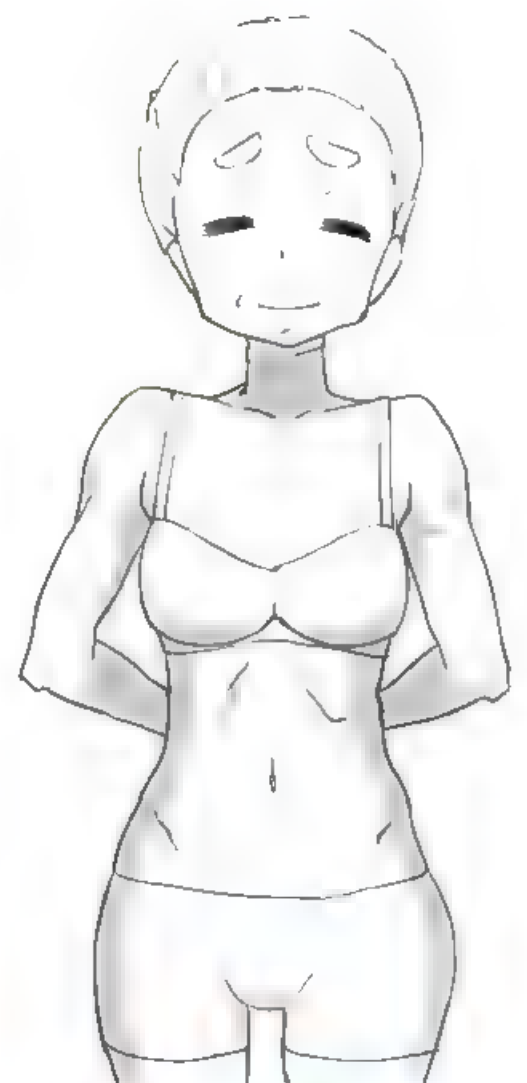
高校生

10代半ば～後半にかけて、ほとんど大人と同じ体型に成長します。

20代

胸の成長がピークに達し、安定している状態です。

40代

30代半ばから40代前半でバストが垂れはじめ、横に流れやすくなります。

60代

バストを支える筋肉が衰えることにより、バストがより垂れて流れるようになります。

体型別

ぽっちゃり体型か筋肉質かによっても、胸の形は異なります。

背中や脇、アンダーバストにも脂肪がついているため、トップとアンダーの差があまりありません。

引き締まった腹筋やアンダーバストの上に、やわらかなバストが乗っかっているようなメリハリが特徴です。

One Point

ハト胸とは

ハトの胸のようにバスト上部が丸く盛り上がっている胸元のことをいいます。
ブラジャーのサイズが同じでも、ハト胸の場合はバスト上部が盛り上がっているため、普通の胸に比べて大きく見えます。

胸が張っており、鎖骨の下あたりからバスト上部が盛り上がっています。

バスト上部が平らな状態です。

ブラジャー

胸の形を整えるために着用するブラジャー。谷間をきれいに見せたり、上に着るアウターの魅力を引き出してくれたりとさまざまな働きがあります。どんな風に胸を見せたいか、また、その人の求める着用感によっても選択肢が広がります。

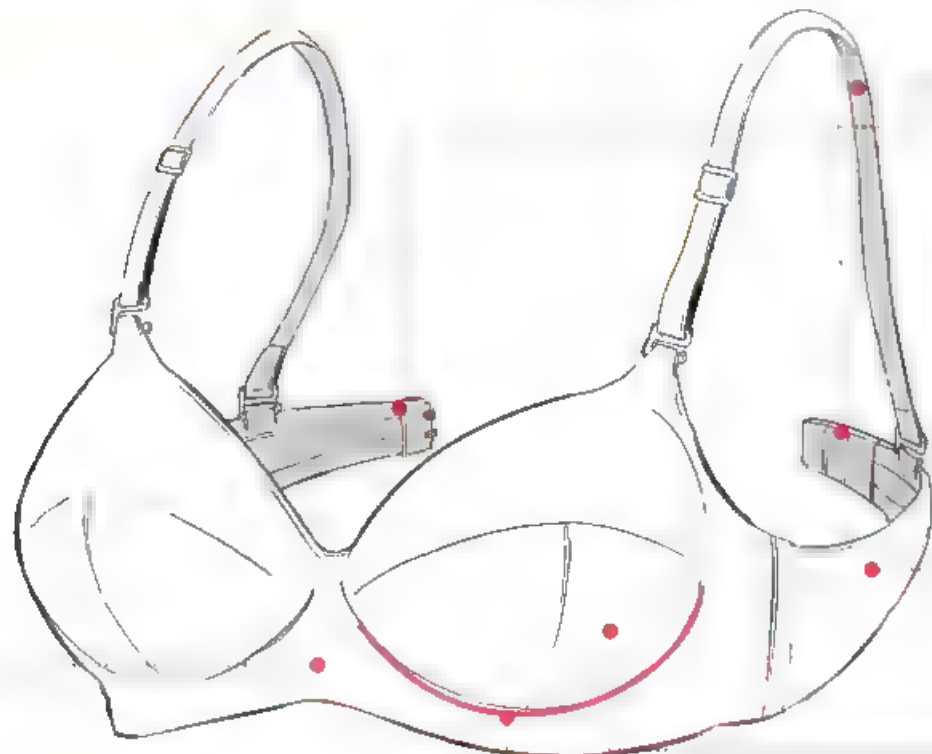
ブラジャーの構造

ブラジャーの基本的な構造や各部分の名称を見ていきましょう。

ストラップ
ブラジャーを肩で固定し、胸を支える役割があります。肩からずり落ちないようストレッチ性の素材が使われており、アジャスターで長さも調節できます。

ホック
ブラジャーを留める部分。デザインやサイズによって、ホックが2列のものと3列のものがあります。通常は背中側についていますが、前で留めるものも。

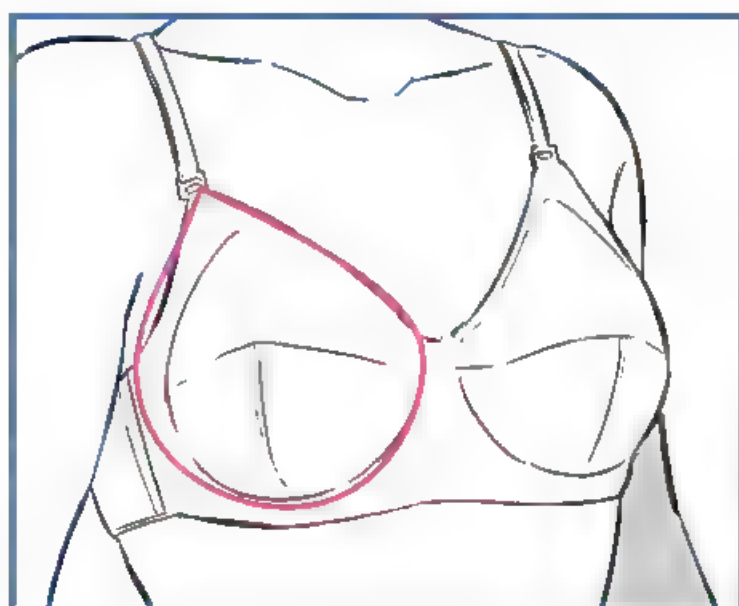
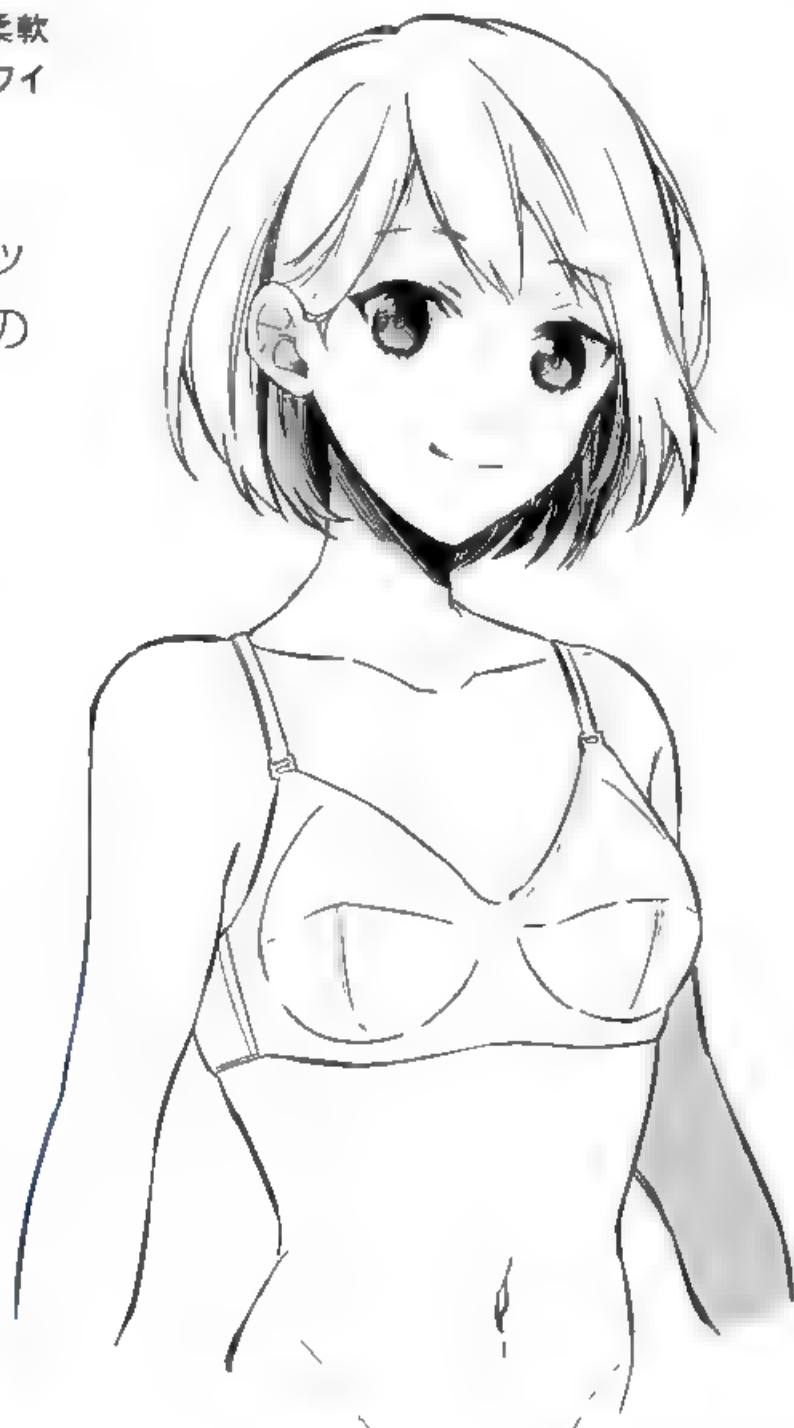
サイド
着用したときに脇にくる部分です。カップを胸に密着させ、脇の補整をする働きがあります。素材の伸縮性は、求める補整力や着用感によってさまざまです。

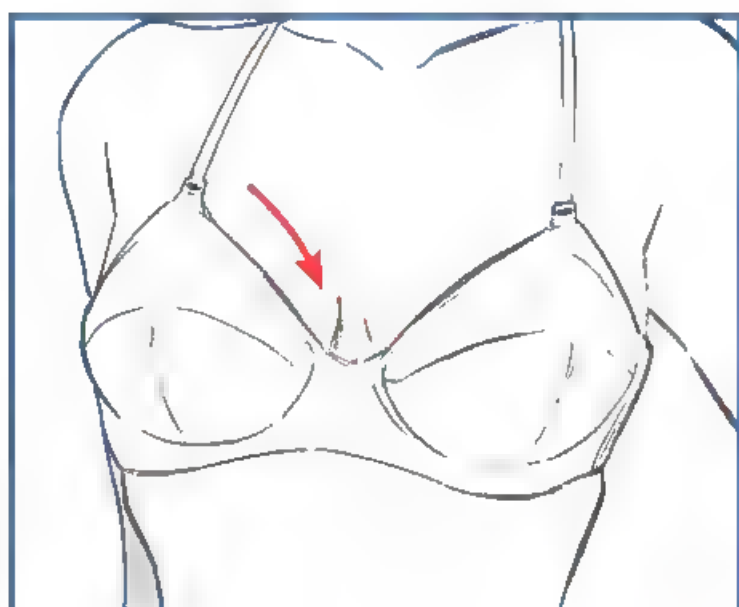
カップ
胸を包み込む部分。その大きさや素材の伸縮性、パッドの有無などにはさまざまな種類があり、用途や着用感の好みによって選ぶことができます。

フロント
カップを下から支える土台部分。アンダーバストを安定させ、ブラジャーがずり上がらないように固定しています。

ワイヤー
カップの下部に入っており、胸を支えます。素材は金属や樹脂で、その反発力の強さや柔軟性により補整力や着用感が異なります。ワイヤーのないノンワイヤータイプも。

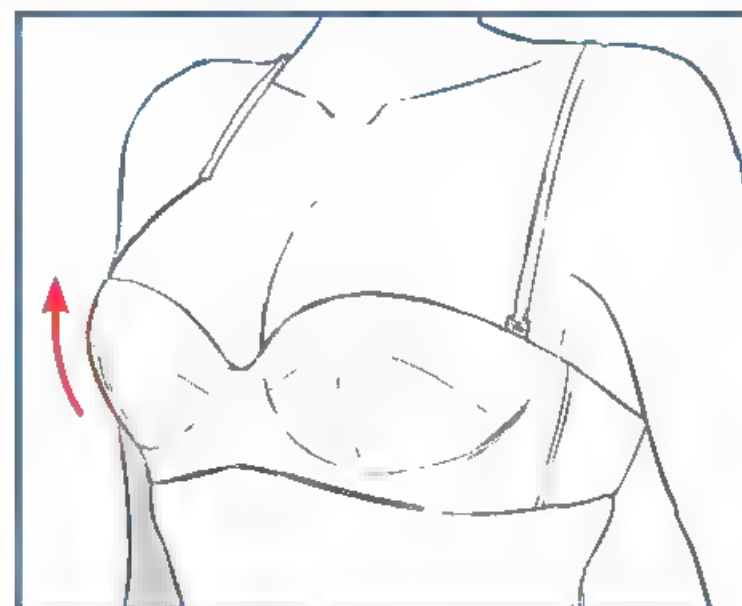
カップの種類

カップの形は基本的にフルカップ、3/4カップ、1/2カップの3種類です。

カップが胸全体をしっかりと包み込むタイプです。カップの面積が広いため、胸がカップからあふれたりせず、胸が大きい人、下がり気味の人にもおすすめです。ストラップが太いものやサイドの面積が広いものもあるので、首もとの開いた服やノースリーブの服の場合は見えてしまうこともあります。

胸全体を包み込むので、ブラジャーからはみ出す部分が少ないのが特徴です。

3/4カップ

カップの上部1/4が斜めにカットされたタイプです。ワイヤー入り、パッド入りが多く、脇から胸を寄せてくれるため、バスト間隔の広い人、胸を大きく見せたい人におすすめです。サイドがすっきりするのでアウターにひびきにくく、タイトな服もきれいに着こなせます。

胸を寄せる力が強く、さらに上部がカットされているので谷間がきれいに見えます。

1/2カップ

カップの上部1/2が水平にカットされたタイプです。ストラップが取り外しできるものが多く、ストラップなしでもしっかり胸を支えられるようワイヤー入りでカップが固めになっています。胸元の大きく開いた服やオフショルダーの服を着るときでも、ブラジャーが見えないので安心です。

下から胸を支えるので、胸の上部がボリュームアップします。

1/2カップ

えりぐりの大きい服でもブラジャーが見えないので、デコルテがきれいに見えます。

ブラジャーの丈

ブラジャーはカップの形状の他、丈の長さにも
バリエーションがあります。

ショートタイプ

丈が短く、通常のブラジャーによくあるタイプ。胸を支え、美しく見せる機能に特化しています。

ミドリフタイプ

丈がみぞおちあたりまであるタイプ。脇の肉などを寄せてボリュームアップすることができます。

ロングラインタイプ

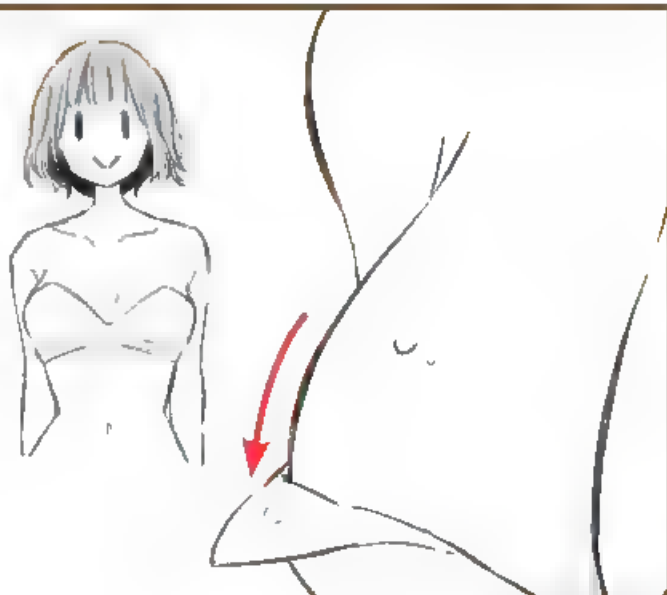
ウエスト近くまである丈の長いタイプ。上半身全体をしっかり補整するので、ウエストの締まったドレスを着るときによく用いられます。

その他ブラジャーの種類

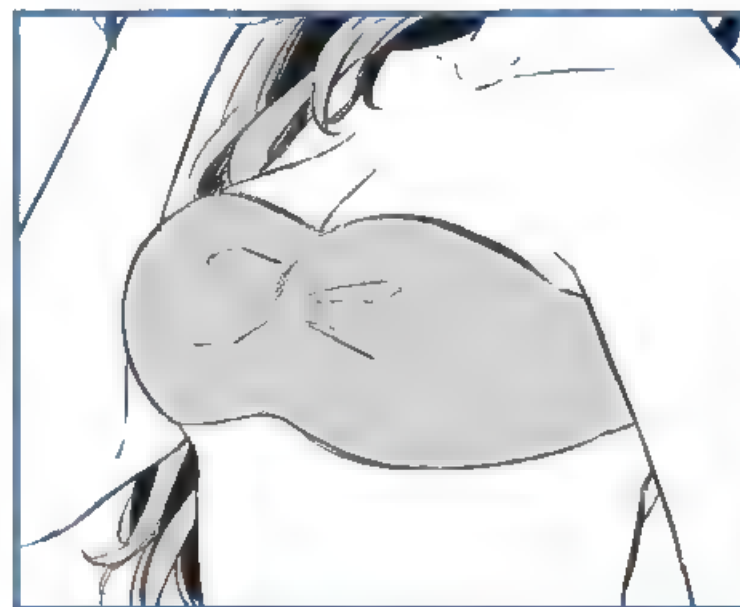
アウターをよりきれいに着こなすためのもの、おしゃれの一部として見せるものなど、ブラジャーのさまざまなバリエーションを見ていきましょう。

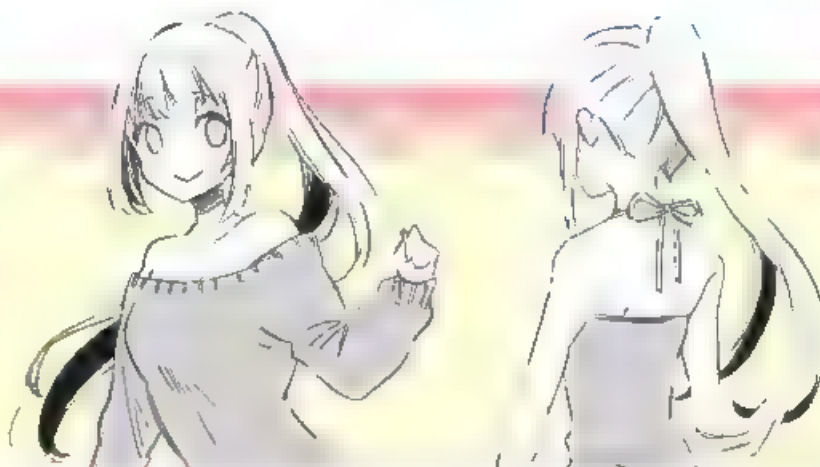
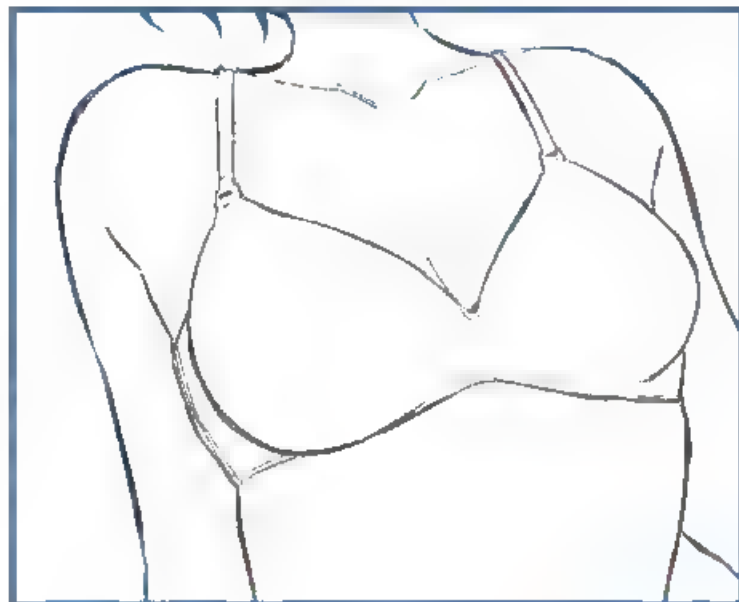
ストラップレス

ストラップがない、もしくは取り外すことができるブラジャーです。胸元が大きく開いた服や肩出しの服を着るときにおすすめです。
ストラップレスブラジャーは胸を下から支える必要があるため、1/2カップのような形のものが基本です。

フルカップや3/4カップのものなど、カップ上部が三角形になっているものは角がめくれてしまうためストラップレスに適していません。

チューブタイプ

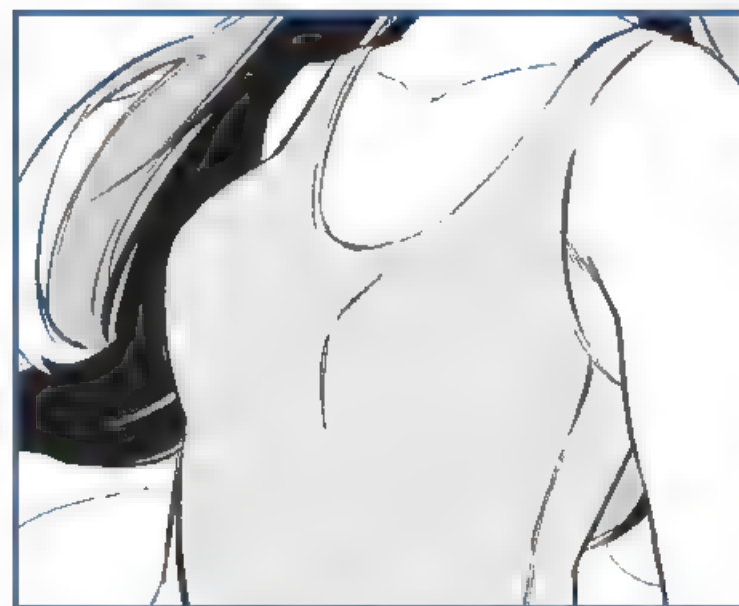
筒状になっているブラジャー。ストラップがついていないものや、取り外せるものが基本です。見せブラ、重ね着アイテムとしても用いられます。

脇の下からアンダーバストまでを覆う筒状の形が特徴です。伸縮性のある素材で作られていたり、アンダーにゴムが入っていたりと、ズレを防止する工夫がされています。

ストラップレス・チューブタイプ

ストラップを取り外すと、オフショルダーや背中の開いた服にピッタリです。

カップの表面に縫い目がないブラジャー。アウターにラインがひびかないので、薄手のTシャツやタイトな服を着るときにおすすめです。

縫い目のないなめらかな表面。アウターにひびかず、引っかからないのが特徴です。

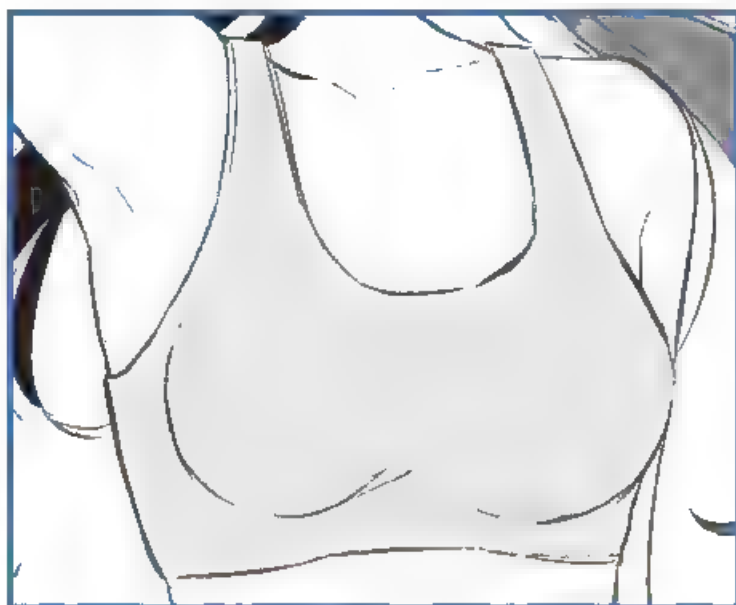
ブラトップ

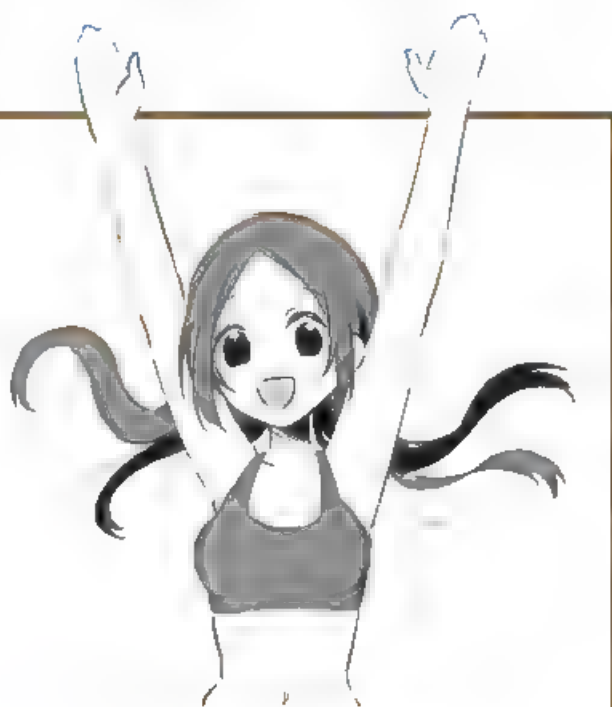
背中やフロントにホックがなく、アウターのように身に着けるブラジャー。キャミソールタイプ、カップ内蔵のインナー全般、スポーツブラなども含まれます。下からはくように着けるのが基本です。

キャミソールやタンクトップのような見た目。ブラジャーの機能とアウターの機能を併せ持っています。

シームレス・ブラトップ

Tシャツなど薄手のアウターを着るときは、レースなどの装飾や柄のあるブラジャーだと見た目にひびいてしまいます。シームレスやブラトップなどは表面に装飾が少ないので安心です。

スポーツブラ

スポーツをする際に着用するブラジャーです。激しく動いてもバストをしっかり支えられるようにデザインされています。吸汗・速乾などの機能を備えたものもあります。

ハーフトップの形状でストラップが太いものが多く、伸縮性の高い生地で動きやすいのが特徴です。

スポーツブラは激しい動きをしても胸の揺れが少なく、衝撃から胸を守ってくれます。
大きく揺れる表現にはなりません。

フロントホック

ホックが前についているブラジャーです。背中にホックの段差が出ないので、薄手の服を着るときに背中のラインをきれいに見せてくれます。

フロントホックの場合、背中が凝ったデザインになっているものもあります。

アジャスターつきで谷間の深さを調整できるものもあります。

三角形のブラジャー。ワイヤーが入っていないものが多く、胸を上げたり寄せたりする機能はあまりありません。水着のようなデザインで見せブラとして使うこともあります。

1/4カップブラジャーとも呼ばれ、棚(シェルフ)状のカップの上にバストを乗せて着用します。バストトップが露出してしまいますが、バストを持ち上げる機能に特化しています。

ホルターネック

ストラップを首にかけるタイプのブラジャー。肩を大きく露出するアメリカンスリーブの服を着るときにぴったりです。ストラップがリボンになっている見せブラタイプもあります。

シリコンブラ

粘着力のあるシリコン性のパッドを直接肌に貼るタイプのブラジャー。肌となじむ色のことが多く、通常のブラジャーを着けるのが難しい露出度の高い服や肌が透ける服でも自然に胸元をボリュームアップできます。

COLUMN

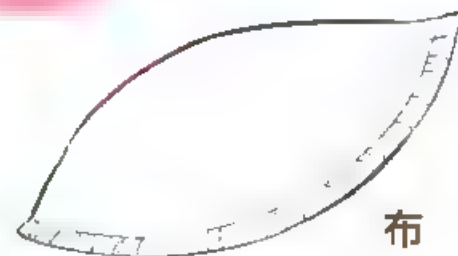
ブラジャーのパーツ

ブラジャーには、それぞれの胸の形にフィットさせるため、調整のためのパーツがついています。どのような構造になっているのか詳しく見ていきましょう。

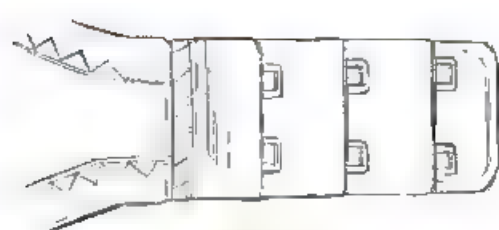
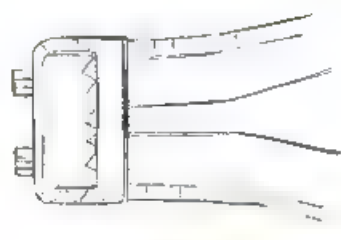
パッド

パッドには、胸を大きく見せるだけでなく、垂れた胸を下から支える役割もあります。用途に合わせて形や素材を使い分けることができます。

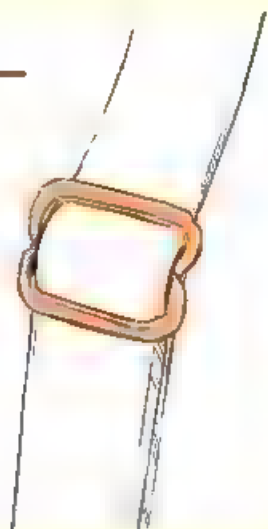
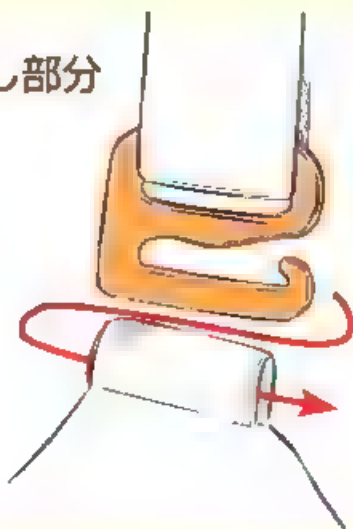
レモンのような形をしたパッドです。ブラジャーのアンダーバスト側に入れることで、下から胸のボリュームをアップさせ谷間をつくります。厚みもさまざまあり、出したいボリュームに合わせて調節できます。

レモン型より薄いものが多く、バストの正面に入れて使うので3/4カップや1/2カップの場合、はみ出してしまうこともあります。ボリュームアップというより、左右の大きさが違う場合の微調節に使います。

素材は洗濯しやすく、ブラジャーに縫い付けることもできる布製と、本物の胸のようなやわらかな感触のシリコン製のものが主流です。

ホック

引っ掛けるほうを雄カン、引っ掛けられるほうを雌カンといいます。ホックの段数は通常2列になっており、大きいサイズのブラジャーだと3～4列になることもあります。サイズ調節は3段階が普通です。

サイズが大きくなると横に引っ張る力が強くなるため、ホックの数が多くなります。

ストラップ

ストラップは取り外して別のものをつけることが可能なものもあります。飾りつきのものや透明なストラップにすれば、オフショルダーの服を着るときなどにおしゃれの一部として見せることができます。

取り外し部分

ショーツ

どんなショーツをはかせるかということは、キャラクターの印象を決める大事なポイントです。かわいいものやセクシーなものなど、さまざまなデザインのショーツを描けるよう、その構造や種類をしっかり抑えておきましょう。

ショーツの構造

ショーツの基本的な構造や各部分の名称を見ていきましょう。

ウエスト
はき口にあたる部分です。ゴムが入っているタイプと入っていないタイプがあります。

サイド
サイドで縫い合わされているものもあれば、一枚布になっているものもあります。脚ぐりの深さにより形状はいろいろあります。

脚ぐり
すそまわりのこと。鼠蹊部に沿ったものやV字が深いものなどカットの形はさまざまです。

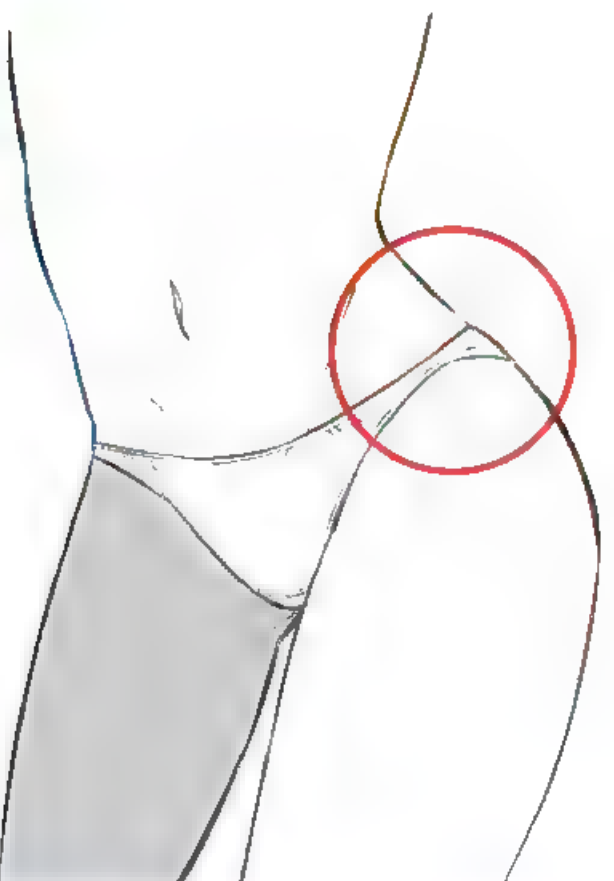
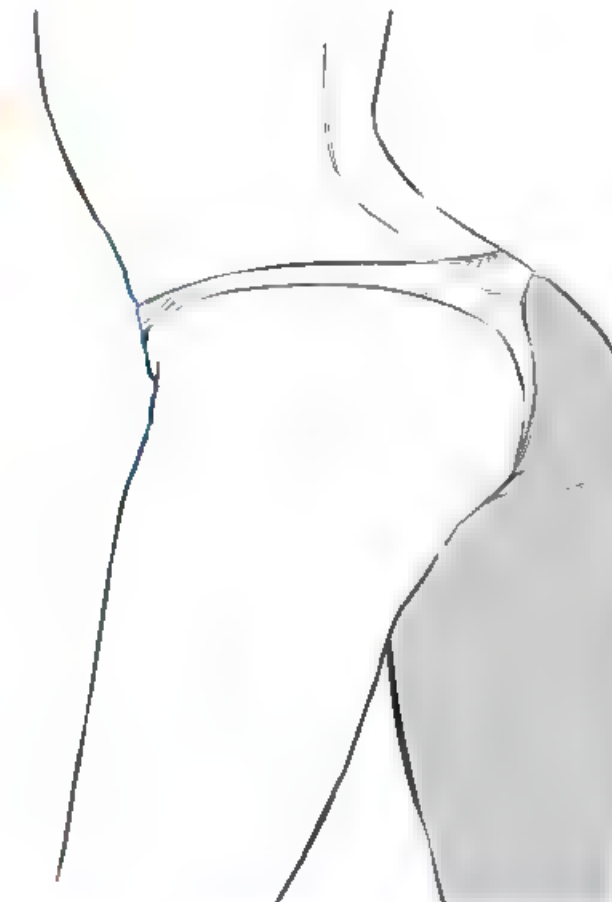
クロッチ
股の部分。布が２枚重なっており補強されています。

バックの形

ショーツはバックの形に大きな違いがあります。それぞれの特徴を抑えましょう。

もっとも一般的なショーツの形です。脚ぐりのカットは鼠蹊部に沿ったものになっています。バックはお尻全体を包み込む安定感のあるデザインです。

脚ぐりはフルバックより少し深く、バックはフルバックの1/2ほどになっており、フロントとバックが同じくらいの幅になっているのが特徴です。お尻が半分見えているような状態で、脚とお尻が一体となって見えるので脚長に見せる効果があります。

バックがT字になっているショーツです。Tバックは日本で生まれた造語で、細かく分類するとソング、タンガ、Gストリングなどと呼ばれるショーツがこれに含まれます。お尻を覆う布がなく、ショーツのラインがアウターにひびかないのが特徴です。

One Point

ソング・タンガとは

ソングはフロントが三角形になっており、バックはT字になっているものです。タンガはバックが狭いV字になっており、少しだけ幅が広いのが特徴です。
一般に、ソングよりタンガのほうがエレガントなつくりのものが多くなっています。

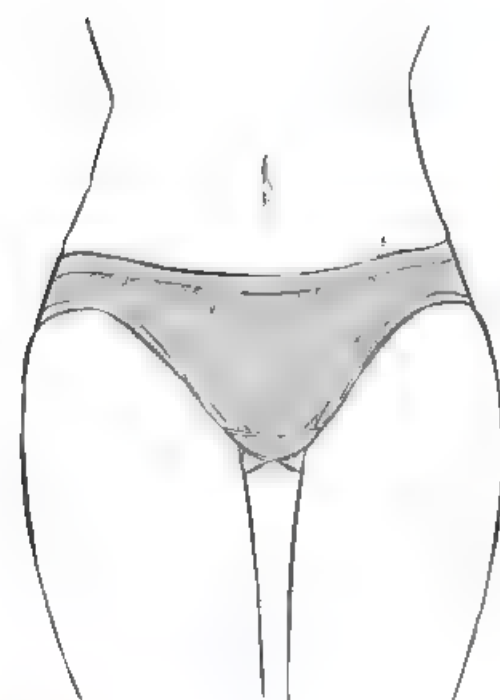
ショーツのはき込み丈

ショーツはそのはき込み丈によっても分類することができます。

ジャストウエスト

ウエストがちょうどおへその位置にくるタイプです。下腹部をすっぽり包み込み安定感があります。

セミビキニ

ややはき込みが浅いタイプ。ウエストがおへその下にきます。

ビキニ

はき込みが浅く、面積も狭いタイプです。サイドの幅も細くなります。

ヒップハング

ローライズとも呼びます。股上が浅いローウエストタイプで、腰骨の位置ではきます。ローライズのパンツなどをはいてもショーツが見えません。

脚ぐりの形

脚ぐりのカットの形にもバリエーションがあります。
鼠蹊部を基準にして考えてみましょう。

ノーマル

脚ぐりが鼠蹊部のラインに沿ってカットされているタイプです。

ハイレグ

脚ぐりのカットがV字になっており、鼠蹊部よりも高い位置にあります。

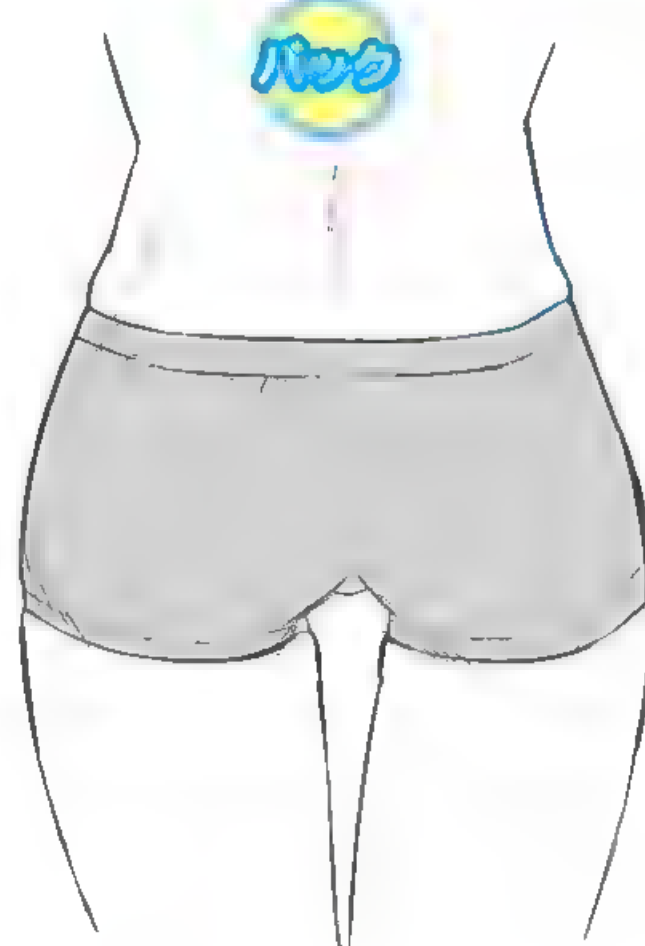
ローレッグ

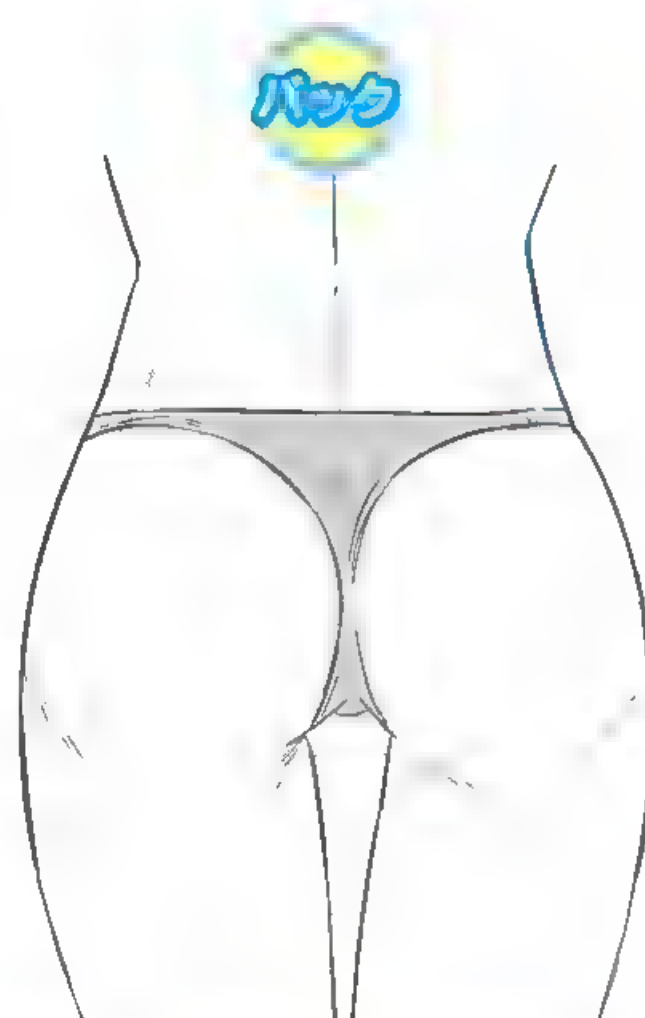
1分丈とも呼びます。鼠蹊部に沿わず、お尻の下でまっすぐカットされたタイプです。鼠蹊部が締め付けられることがありません。

その他ショーツの種類

はき心地を重視したもの、セクシーさを強調するものなど、ショーツのさまざまなバリエーションを見ていきましょう。

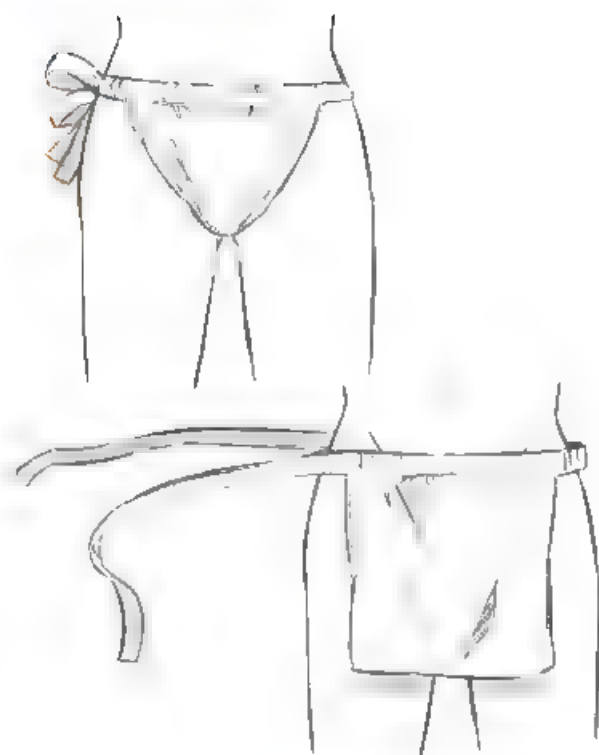
ボーイズレッグショーツ

脚ぐりの形がローレッグになっており、男性用ボクサーのように全体的に四角いショーツです。お尻全体を包み込む安定感のあるタイプ。

ストリングショーツ

いわゆる「ひもパン」のことです。バックの形は問わず、サイドがひも状に細くなったショーツを総称してストリングショーツといいます。

One Point

Gストリングショーツ

Tバックショーツの一種で、バックとサイドが細いひも状になっているものをGストリングショーツといいます。前は三角形になっています。面積が狭く肌に密着しているため、アウターにラインがひびきません。

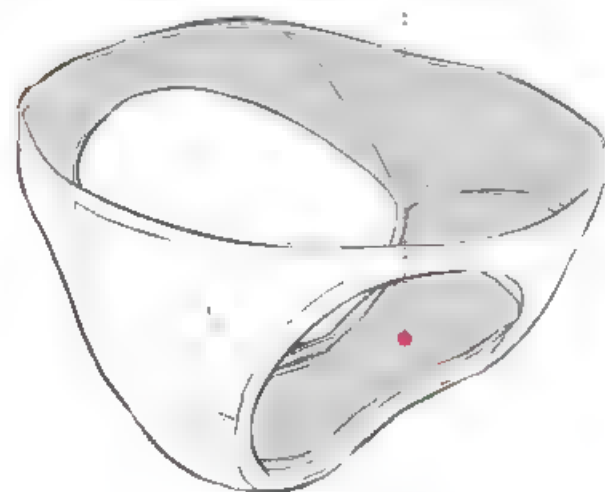
「パンドル」とはフランス語で垂れ下がるという意味で、女性用のふんどしのことをいいます。ウエストや脚ぐりにゴムがないので締め付け感がないのが特徴です。布が前に垂れ下がる越中ふんどしタイプと、あらかじめくっついておりサイドで結ぶだけのショーツタイプがあります。

ショーツタイプ

越中ふんどしタイプ

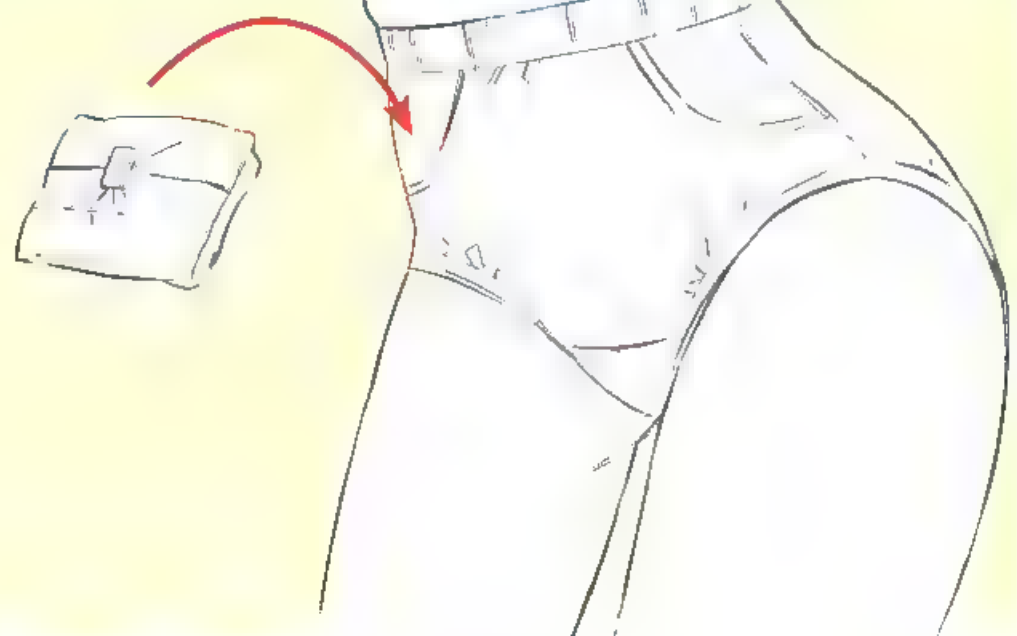
サニタリーショーツ

フルバックの形をした月経用のショーツで、下腹部もお尻もすっぽりと包み込むのが特徴です。その他のショーツより大きめに作られたクロッチには、防水や防臭などの加工がされています。

フロント

クロッチ部分が防水加工になっている。

One Point

サニタリーショーツの機能

サニタリーショーツには月経中に便利な機能がそなわっているものがあります。フロントにポケットがついておりナプキンやカイロを入れられるもの、クロッチに隙間がありナプキンの羽根をしまうことができるもの、バック全体が防水処理されている夜用のものなどさまざまです。

セクシー系ショーツ

日常的にはくことはあまりありませんが、セクシーさを強調するために変形したもの、ゴージャスな総レースのものなどがあります。

Oバック

バックに大きな穴が開いており、お尻が見える大胆なデザイン。

サスペンダー

Gストリングショーツのサイドがサスペンダー状になったものです。体にぴったりと密着します。

総レース

全体がレースになっているショーツ。レースの豪華さに加え、肌が透けるのでセクシーに見えます。

布地面積がかなり小さく、はき込み丈も浅いデザインのもの。お尻が見えてしまうものもあります。

パンツ型下着のことで、長さはさまざまです。はき込みが深く、すそがしぼられてふんわりとしたシルエットになっています。元々はスカートのすそから脚や股間が見えないように開発されたものですが、現在ではロリータドレスを着る際などにスカートのすそからのぞかせるおしゃれアイテムとして愛用されています。日本ではズロースと呼ばれることもありますが、基本的に同じものです。

ふんわりと膨らんだシルエットが特徴。すそがしぼられているためシワがたくさんできます。

スカートのすそからかわいいドロワーズを見せるのもおしゃれの1つ。

One Point

かぼちゃパンツとドロワーズ

シルエットがかぼちゃに似ているため、かぼちゃパンツ（かぼパン）と呼ばれることもあるドロワーズ。しかし、下着ではなく、アウターとしてはくかぼちゃパンツもあります。こちらもそのシルエットからかぼちゃパンツと呼ばれていますが、混同しないようにしましょう。ドロワーズは下着ですので、それだけで外出するようなことはありません。

魔法少女やおとぎ話の王子様がよくはいているかぼちゃパンツは、ドロワーズではなくアウターのかぼちゃパンツです。

COLUMN

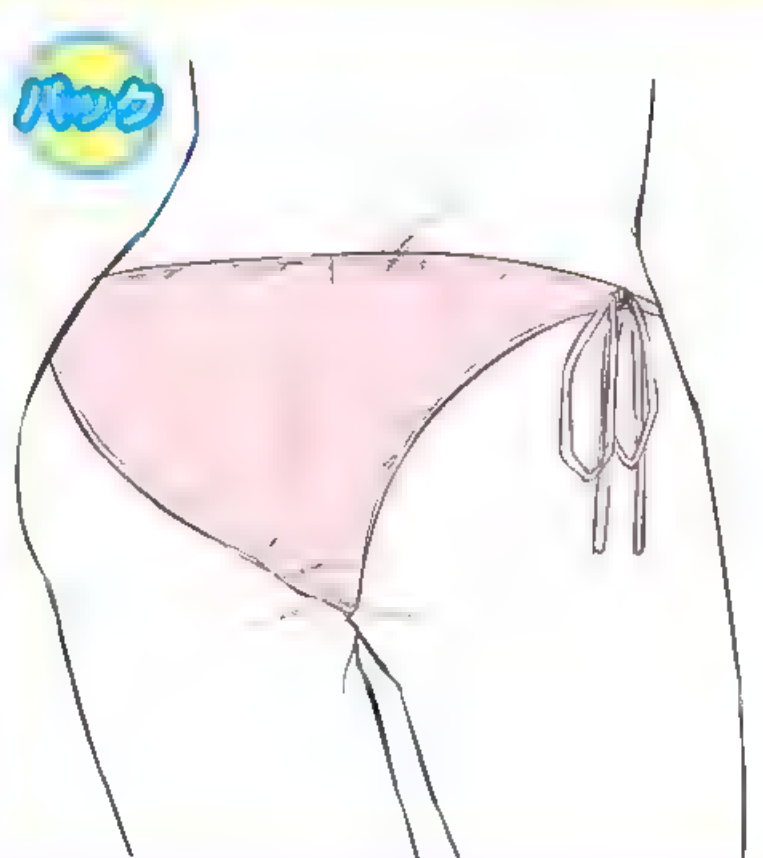
キャラの魅力を引き出すしまパン・ひもパン

アニメイラストでショーツを描く際、ボーダー柄の「しまパン」と、サイドをひもで結ぶタイプの「ひもパン」が描かれることが多いようです。しまパンはお尻の形を立体的に、ひもパンは脚をきれいに見せる効果があります。そのため、キャラクターがより魅力的に見えるのです。

しまパン

ナチュラルで元気なイメージのしまパン。本来、まっすぐであるはずのボーダーをお尻の形によって歪ませたり、食い込ませたりすることでお尻の形を強調することができます。

ひもパン

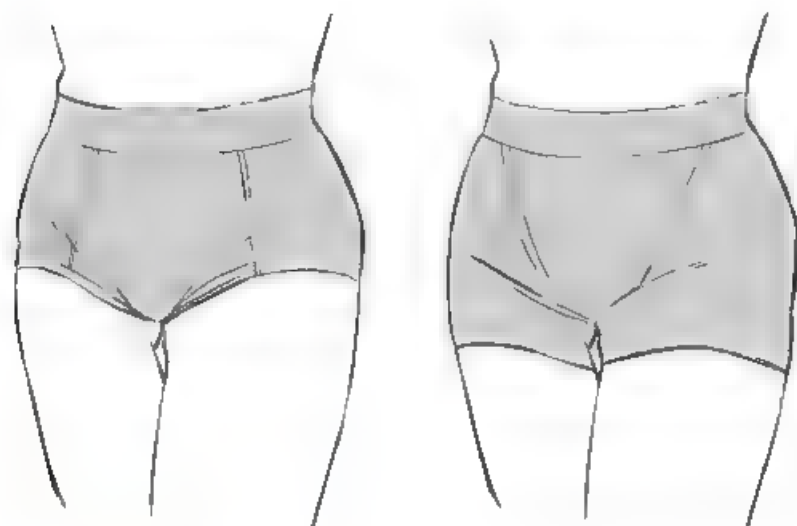
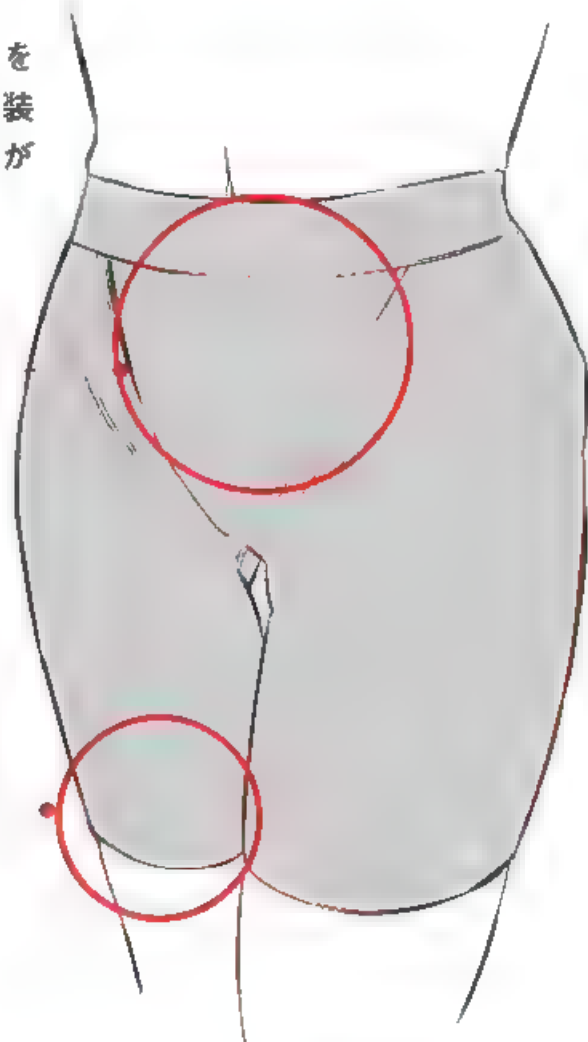
サイドでひもを結ぶ構造になっており、脚ぐりのV字カットが深く、脚を長く見せてくれます。鼠蹊部がチラリと見えるのでセクシーさもアップします。また、ひもがほどけたらどうしよう、ほどいてみたいという妄想をかきたてるのも魅力です。

ファンデーション

肌の下に着る下着の中でも、補整のために着用するものをファンデーションといいます。体のラインを整え、理想のプロポーションへと導いてくれるファンデーションは女性にとって欠かせないものです。どんなものがあるのか詳しく見ていきましょう。

ファンデーションの種類

女性の体を美しく見せてくれるファンデーションの種類とその特徴を知っておきましょう。

ウエストを引き締める、おなかを押さえる、お尻を上げて脚を長く見せるというように下半身のシルエットを美しく整えるためにはくものです。丈の長さはショーツタイプのものからひざ上まであるロングまでさまざま。ウエストの位置もハイウエスト、ジャストウエスト、ローウエストなどがあります。

フロントやすそまわりを中心に、レースなどの装飾が施されていることが多いです。

すそ丈の長さもバリエーションがあります。補整したい部分や着用するアウターによって適したものが決まります。

ブラジャー、ウエストニッパー、ガードルの機能を1枚で備えたファンデーションで、胴全体のシルエットを整える働きがあります。それぞれ単体で着用したときにできる段差ができないので、よりラインがなめらかに見えます。補整力の高いものから、ライトな着け心地のものまで種類も豊富です。

One Point

ファンデーションとは

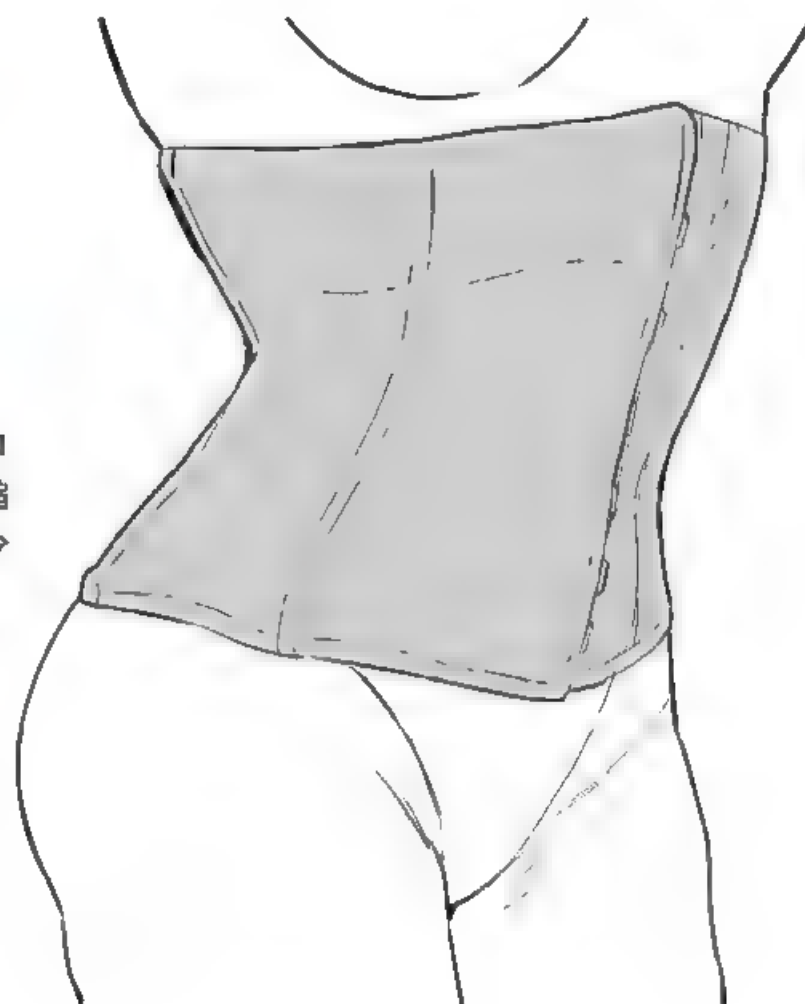
ファンデーションは紀元前3000年頃クレタ島で生まれたといわれています。当時の女性たちは胸をリフトアップするコルセットのようなものを着用していました。体を美しく見せたいという女性の思いが形になったものがファンデーションです。ブラジャー、ガードルをはじめとし、ボディスーツ、コルセット、ウエストニッパーなどさまざまなアイテムがあります。

ボディスーツを着ると、全体的にスタイルがよくなります。キャラクターにボディスーツを着せるときは、普段よりスタイルよく描くといいでしょう。

胸下からウエストまでのラインを補整するファンデーションです。胸を強調し、ウエストを細く、お尻を大きく見せることが主流だった近代ヨーロッパの女性の必需品でした。ひもできつく締め上げて着用するので、内臓や骨格に影響を及ぼすこともあったようです。

ウエストニッパー

ウエストを引き締めるために着用します。見た目はコルセットと似ていますが、コルセットがほとんど伸縮性のない素材でつくられているのに対し、こちらは少し伸縮するので着脱が容易です。

ビスチェ

肩ひものないロングブラジャーにウエストニッパーの機能がついたものです。アンダーバストを押さえ、胸のラインをきれいに見せてくれますが、コルセットほどのウエスト引き締め効果はありません。

ランジェリー

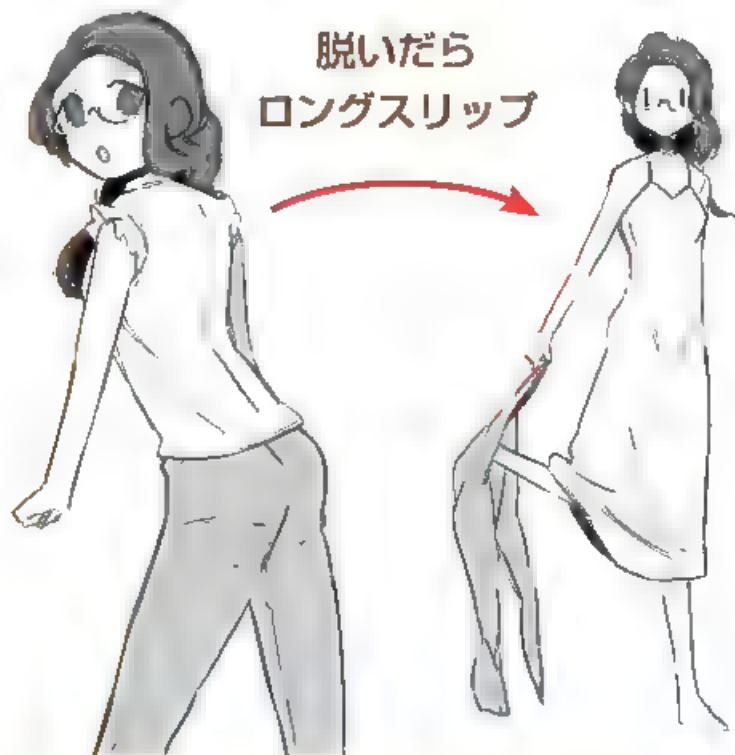
体のラインをファンデーションで補整したあとに、それをさらに美しく見せるために着用されるのがランジェリーです。素材、デザイン、カラーともに豊富でおしゃれも楽しめるランジェリーにはどんなものがあるのかを見ていきましょう。

ランジェリーの種類

女性の魅力を引き出し、演出してくれるランジェリーの種類とその特徴を知っておきましょう。

ワンピース型のランジェリーで、アウターのすべりをよくし、ファンデーションのラインをアウターにひびかないようにする働きがあります。シルエットは細身のフィットライン、すそ広がりになったAラインなどさまざまあり、丈の長さも豊富です。アウターによって合ったものを選ぶことができます。

NG

女性らしさを演出するアイテムとしてよく描かれるスリップですが、洋服を着ているときと脱いだときに矛盾が生じないようにしましょう。たとえば、パンツスタイルだった女性が脱いだらロングスリップだった……ということはあり得ません。

One Point

ランジェリーとは

ファンデーションの上から身に着ける「仕上げ」としての下着をランジェリーといいます。ファンデーションで補整した体のラインを落ち着かせ、洋服のすべりをよくするなどアウターにも機能します。やわらかな素材でデザインも種類が多く、身に着ける女性の心をときめかせるものです。スリップ、キャミソール、ペチコートなどがランジェリーに含まれます。

スリップのトップ部分にあたるランジェリー。ペチコートやキュロットペチコートと合わせることで、より幅広いアウターに対応することができます。そのままジャケットインで着るなど、アウターとしてもおなじみです。

ショート丈のキュロットパンツ型のランジェリー。キュロットペチコートともいいます。クロッチや太もも部分の摩擦を防ぎます。

COLUMN

ペチコート・キュロットペチコート・パニエの違い

スリップのボトム部分にあたるランジェリーを総称してペチコートといいます。スカート型のもののほか、キュロットペチコート、スカートをふくらませるパニエなども含まれます。アウターのデザインや丈の長さによってはくべきものが変わってきます。

スカート型のもの。上にはくスカートのすそすべりをよくし、シルエットを美しく整えます。薄い素材のスカートをはく際に、ショーツの透けを防ぐ役割があります。

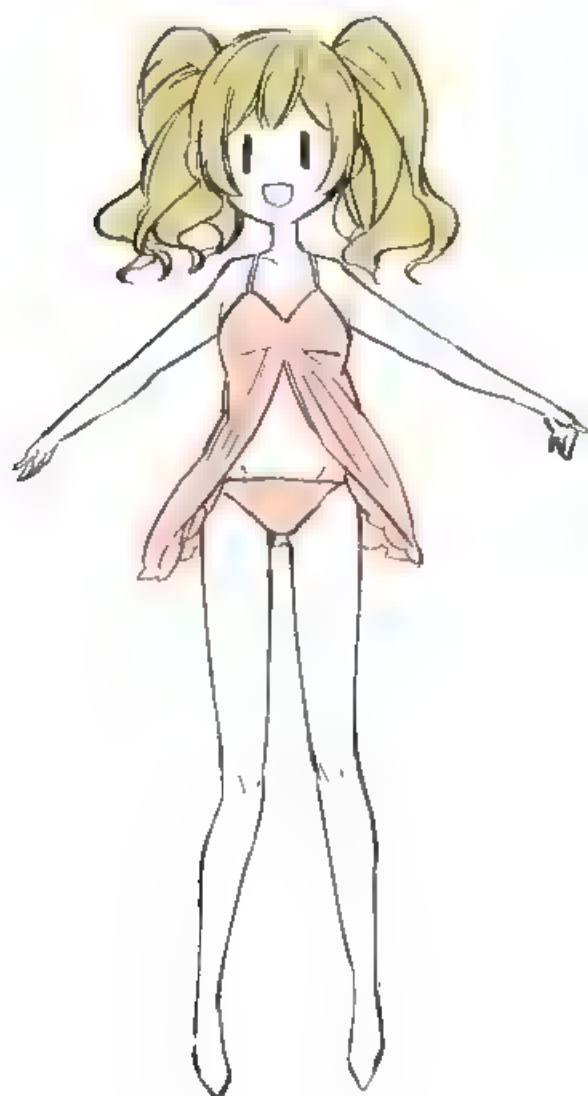
ドレスなどの着こなしに適したペチコートで、スカートをふくらませ、ボリュームを出してくれます。ブライダル用としてウエディングドレスの下に着用することもあります。

キュロットパンツ型のペチコート。アウターとショーツの摩擦を防ぎます。

テディ

キャミソールとキュロットペチコートが一体となったランジェリー。クロッチ部分にはスナップなどがついていて開閉できるので着脱に便利です。ボディスーツと違い補整力はありません。現在では、肌を多く露出したセクシーなデザインのものも増えています。

ベビードール

アンダーバストからゆるやかに広がったすそが特徴のランジェリーです。リボンやフリル、レースなどの装飾が多用され、女性のかわいらしさ、セクシーさを引き出してくれるものです。体を締め付けないので主にナイティ（寝巻）として着用されています。

メンズアンダーウエア

男性の下着にもバリエーションがあります。どの下着をはくかは、個人のこだわりが強く反映される部分でもあります。男性キャラクターを描く際の参考に、メンズのアンダーウエアについても知っておきましょう。

メンズアンダーウエアの種類

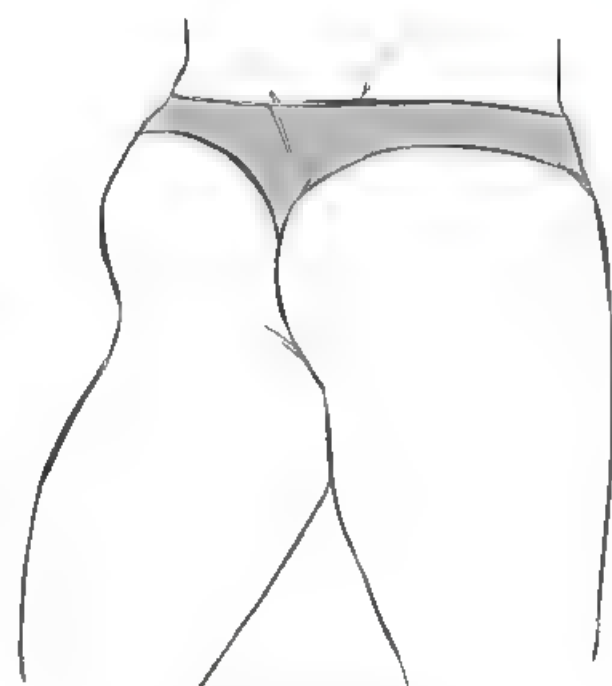
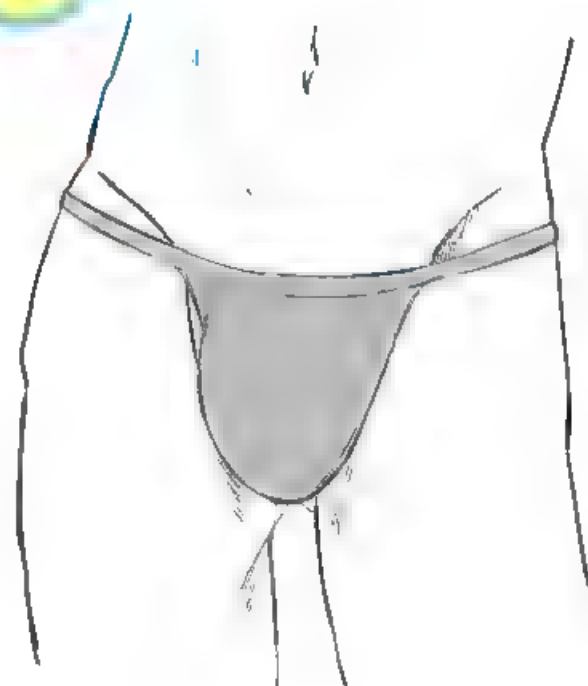
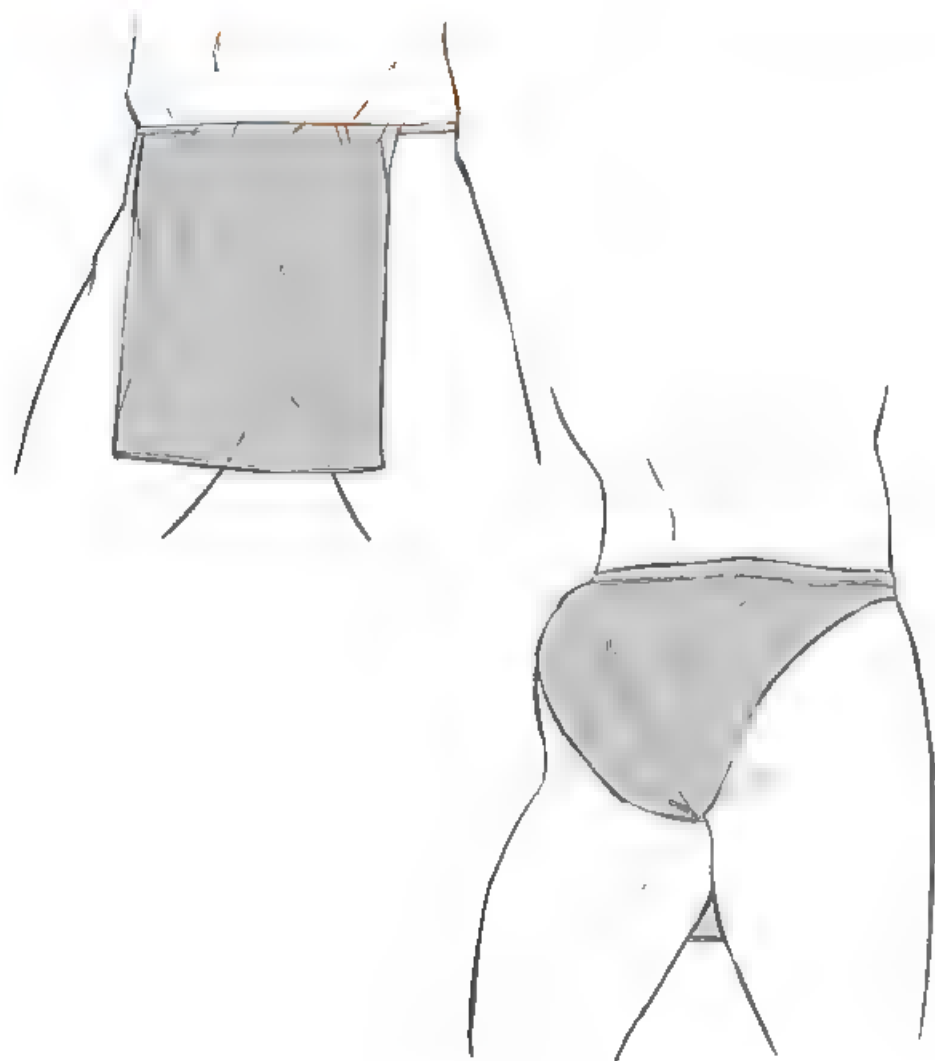
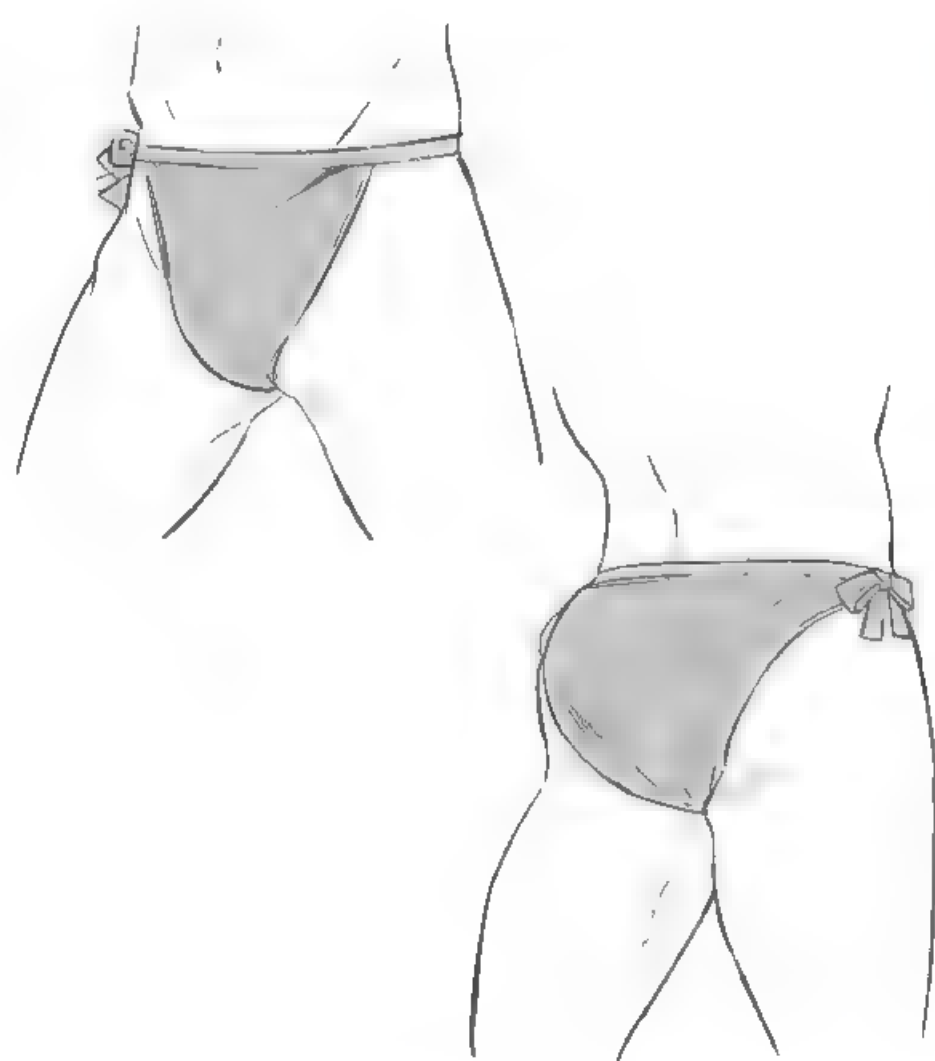
ブリーフ、トランクス、ボクサーなどの他にランニングやタンクトップなどのシャツも含まれます。

女性用のショーツのような形をした男性用の下着です。伸縮性のあるぴったりとした生地で作られており、フィット感を求める男性に好まれています。現在ではトランクスまたはボクサーをはいている男性が多く、ブリーフ派は少数のようです。

ウエストにゴムが入った短パン型の下着です。ブリーフやボクサーに比べてゆったりとした作りになっており、窮屈な着用感を嫌う男性によくはかれています。丈の長さはお尻の下から太ももの真ん中あたりくらいまでさまざまです。

ブリーフの股下をお尻の下あたりまで伸ばしたような形をしています。伸縮性があり、体にぴったりフィットするのが特徴です。はき込み丈により、通常のブリーフタイプと浅いローライズタイプに分けられます。

ブリーフタイプ　　ローライズタイプ

バックがT字になっているものを総称してTバックといいます。フロントが三角形になったソング・タンガと呼ばれるものや、サイドがひも状になったGストリングなどの種類があります。

ソング・タンガ　　Gストリング

日本の伝統的な下着で、帯状の布を巻きつけて着用します。越中ふんどしや畚（もっこ）ふんどしなど、その巻き方や布のサイズにはいくつも種類があります。越中ふんどしは長さ約100cmある布にひもをつけ、股間をくぐらせて前に垂らす形、畚ふんどしは長さ約70cmの布の両端についたひもを、結んで固定するのが特徴です。

越中ふんどし

畚ふんどし

COLUMN

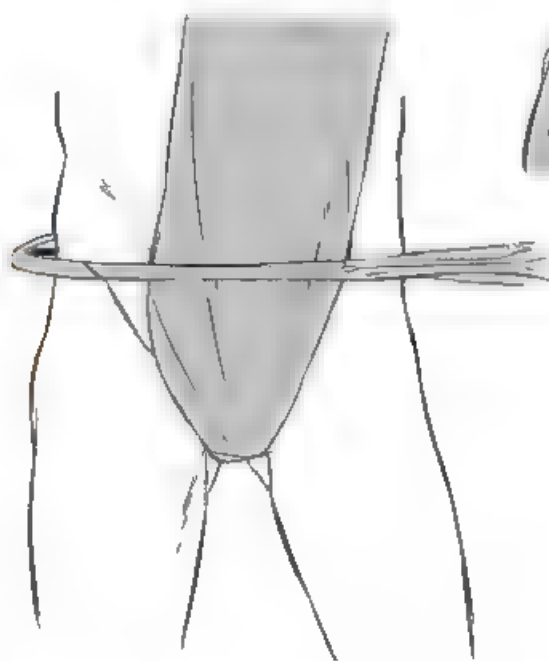
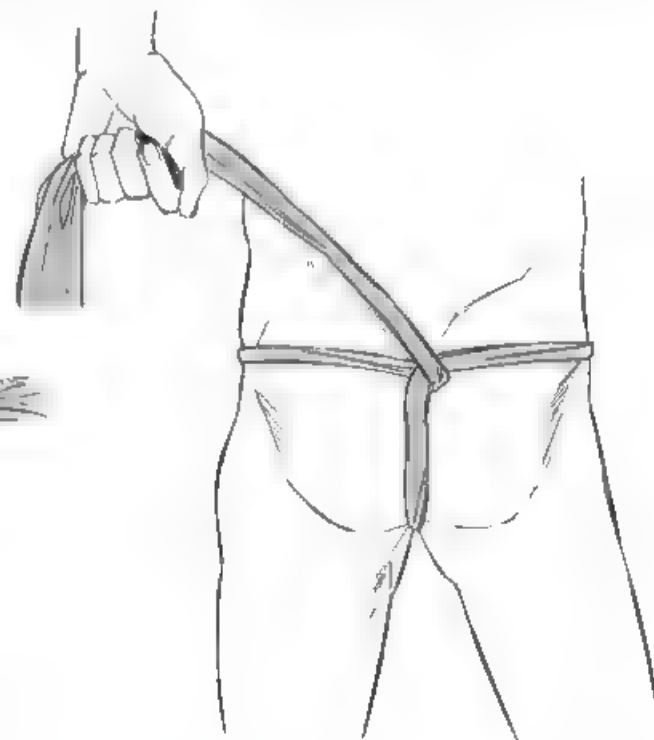
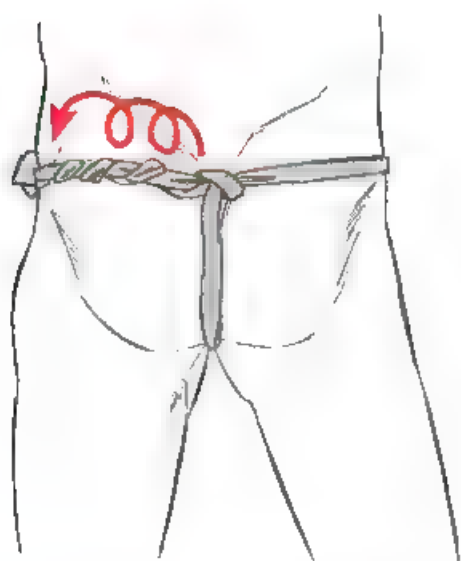
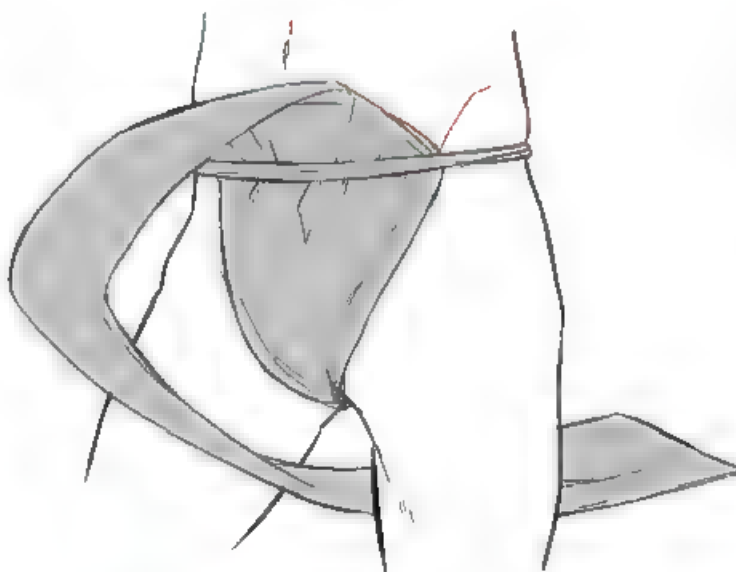
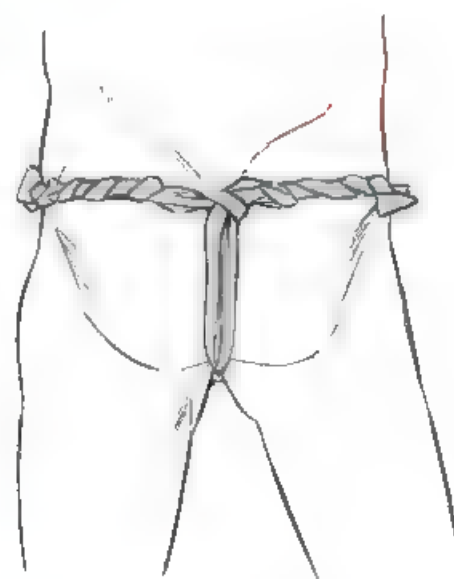
ランニングとタンクトップの違い

どちらもそでがなく、下着としてだけでなくアウターとしても着られるものです。その違いは、ランニングの首元が大きく開いているのに対し、タンクトップは開きが狭いこと。ランニングはその名の通りランニングする際に着用するスポーツウエアとして生まれたため、より動きやすいようになっているのです。

ランニング　　タンクトップ

ふんどしの締め方

ふんどしにはさまざまな種類がありますが、ここでは六尺ふんどしの締め方を解説します。

STEP 1 六尺ふんどし（長さ約180～300cm、幅約16～34cm）の真ん中あたりを股間にあてがいます。片方を肩にかけ、反対を股にくぐらせます。

STEP 2 股にくぐらせたほうをよじりながら腰にまわします。

STEP 3 腰にまわしたふんどしをお尻の位置で交差させます。

STEP 4 腰にまわした部分に巻き込んで固定します。

STEP 5 ①で肩にかけたほうのふんどしを股の間にくぐらせます。

STEP 6 ④で巻き込んだほうと逆側に巻き込んで固定し、全体の形を整えます。

COLUMN

体操服今昔

90年代半ばまで、女子の体操服はブルマーが主流でした。それがしだいに廃止されていき、現在はハーフパンツが基本です。今と昔でどのような違いがあるのでしょうか。

ブルマー ショーツの形をしており、お尻のラインがわかりやすく太ももは大きく露出しているのが特徴です。色は紺が基本でした。

食い込みを直す仕草は、ブルマーならでは。

現在の女子の体操服はハーフパンツ型が主流で、男子と同じものの場合もあります。丈の長さは学校によってさまざまです。

水着

ブラジャーとショーツに分かれているビキニなど、下着と形が似ている部分もある水着。しかし、そのデザインや素材は大きく異なっています。さまざまな水着の特徴を学ぶとともに、どうすれば水着らしく描けるのかを考えてみましょう。

三角ビキニ

上下が分かれているものをビキニと呼びます。三角ビキニはトップが三角形のものを指します。

パレオ付ホルタービキニ

トップのひもを首の後ろで結ぶタイプ。1990年代後半にパレオ付のビキニが流行りました。

モノキニ

前から見るとワンピース、後ろから見るとビキニに見える水着をモノキニと呼びます。

水着の種類

洋服と同じように、水着にも流行があります。どんな水着があるのか、年代を追って見ていきましょう。

1980年代

ブラジャーもショーツも小さめのビキニ。ブラジャーの形は三角で、ホルターネックになっているものが主流でした。装飾の少ないシンプルなものが好まれました。

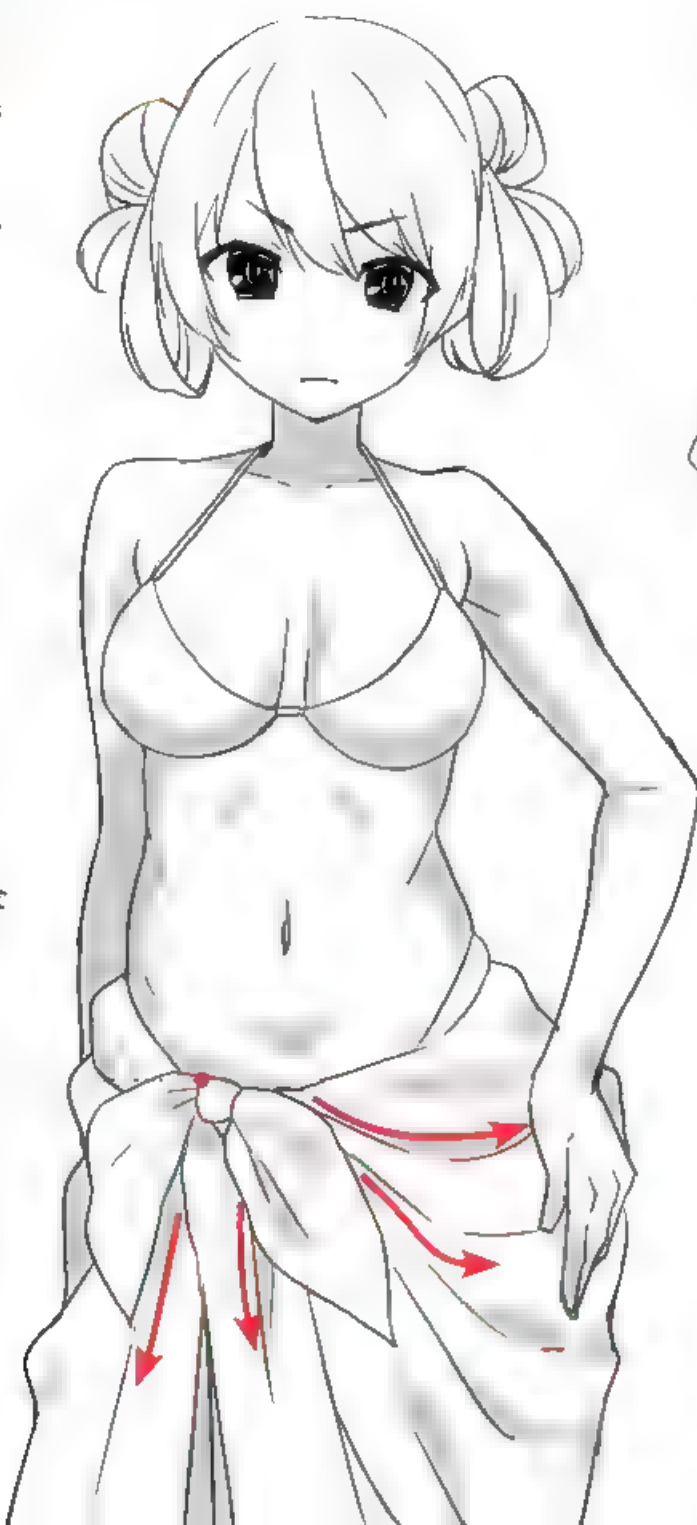
表面がなめらかでシワができにくいのが特徴です。

1990年代

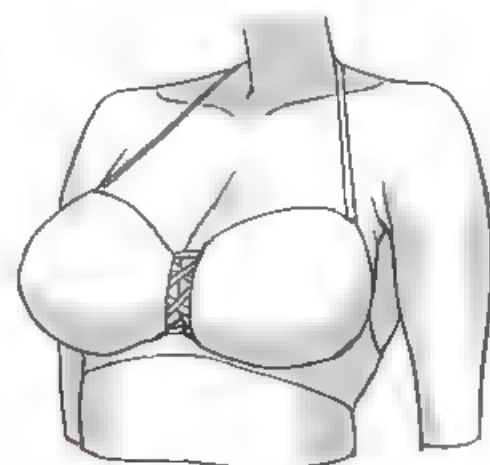
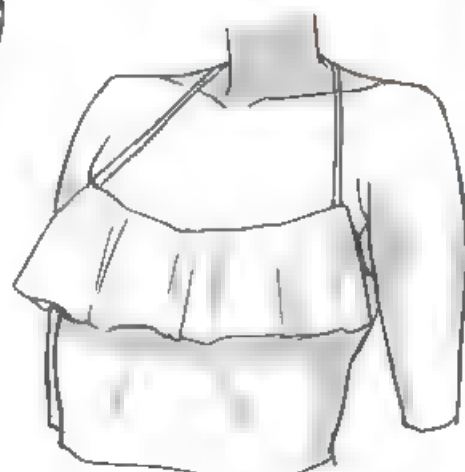
脚ぐりが広く、腰骨あたりまで露出したハイレグのため、脚長効果があります。カラーバリエーションは豊富ですが、装飾は少なめで無地のものが主流でした。

体にぴったりと密着しています。

[illegible]

パレオとよばれる布を腰に巻くスタイル。ビキニの上から巻くのが普通で、長さは太ももくらいのものから足首まであるものまでさまざまです。リゾート風のデザインが好まれました。

結び目に向かって大きなシワが寄ります。

[illegible]

たくさんのデザインが登場し、選択肢の幅が広がりました。たくさんの花をあしらったもの、ブラジャーに大きなフリルをつけて胸まわりの露出を抑えたフレアトップ、チューブトップになったバンドゥビキニなどがあります。

男性用水着

男性用の水着にもその目的によっていくつかの種類があります。シチュエーションに合ったものを選べるようにしましょう。

サーフ型

遊びで海やプールに入る際にぴったりの水着で、ひざ上丈のハーフパンツが主流です。水の抵抗が大きいので速く泳ぐことには適していません。色や柄が豊富です。

太ももを覆うぴったりとしたスパッツタイプ。水の抵抗を極力少なくすることでスピードを追求することができます。

ビキニ

ブリーフ型の水着の中でも面積が小さく、股上が浅いものを指します。デザインや柄も豊富で、レジャーからスポーツまでさまざまなシチュエーションではくことができます。

COLUMN

スクール水着

女子生徒のスクール水着はもともとシンプルなワンピースタイプが主流でしたが、現在ではスカートが一体化したもの、上下が分かれているものなど露出が控えめのものに変わってきています。

種類

ワンピースタイプ

スカートタイプ

セパレートタイプ

靴下

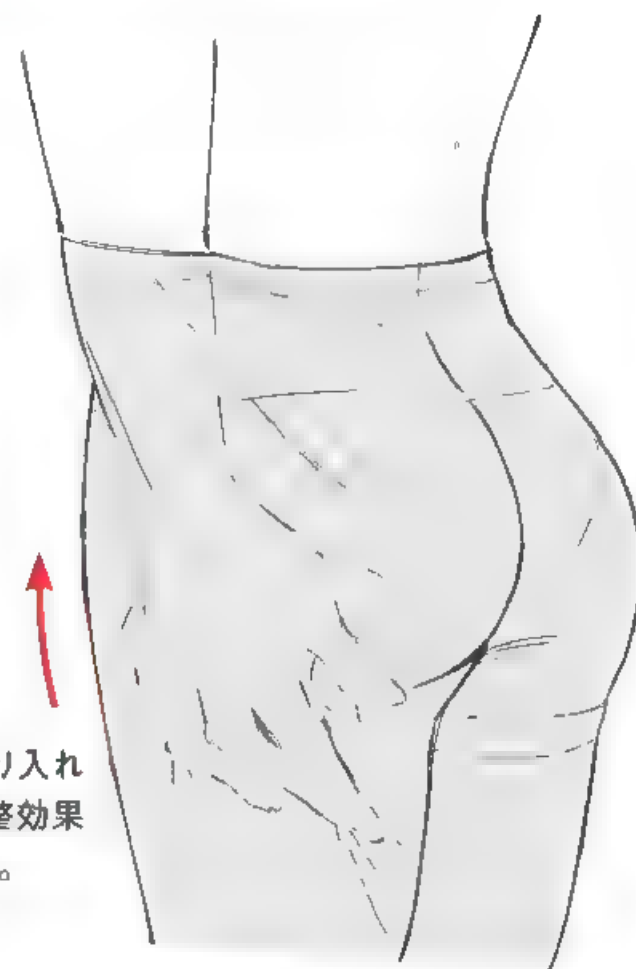
素足に直接はく靴下。ストッキングやタイツも靴下に分類されます。素足と靴の間の摩擦をやわらげ、吸汗や保湿、保温など多くの役割を持つ靴下は、おしゃれのためのアイテムとしてもさまざまなシーンで着用されています。

ストッキング

薄手の生地でできた長い靴下のこと。縫い目の構造や透け感を表現できるようにしましょう。

パンティーストッキング

ショーツの上にくるパンティー部分とストッキング部分が一体化したアイテムのこと。薄いナイロンでできているものが多く、肌が透けるようになっており脚を美しく見せてくれます。色のバリエーションも豊富です。

お尻をしっかり入れ込むことで補整効果がアップします。

美脚効果や補整効果があるものや、伝染しにくい、透けにくいタイプなどさまざまな種類があります。

レギンス

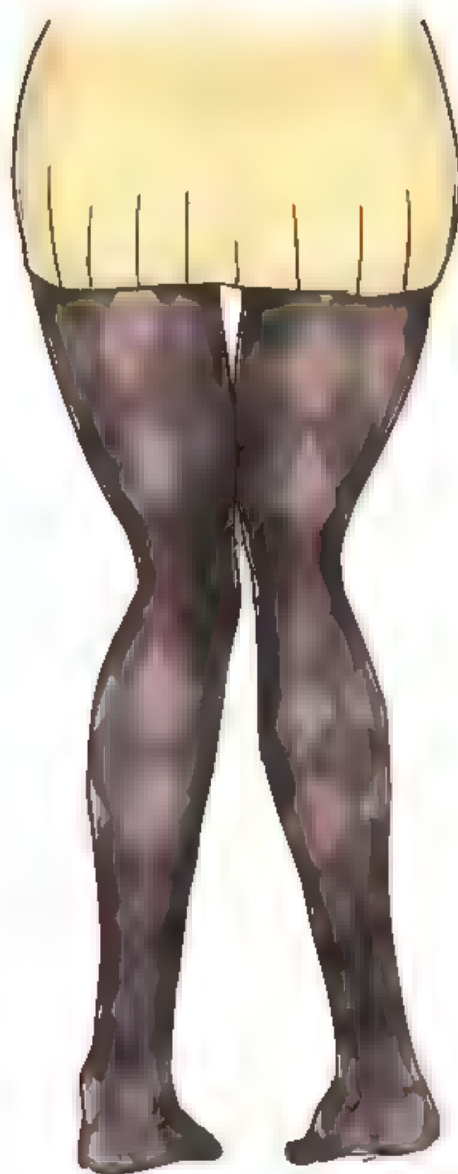
タイツの足先部分がないもの。10分丈から5分丈まで長さもいろいろあります。

トレンカ

レギンスと形状は似ていますが、土踏まずに引っ掛ける部分があります。

タイツ

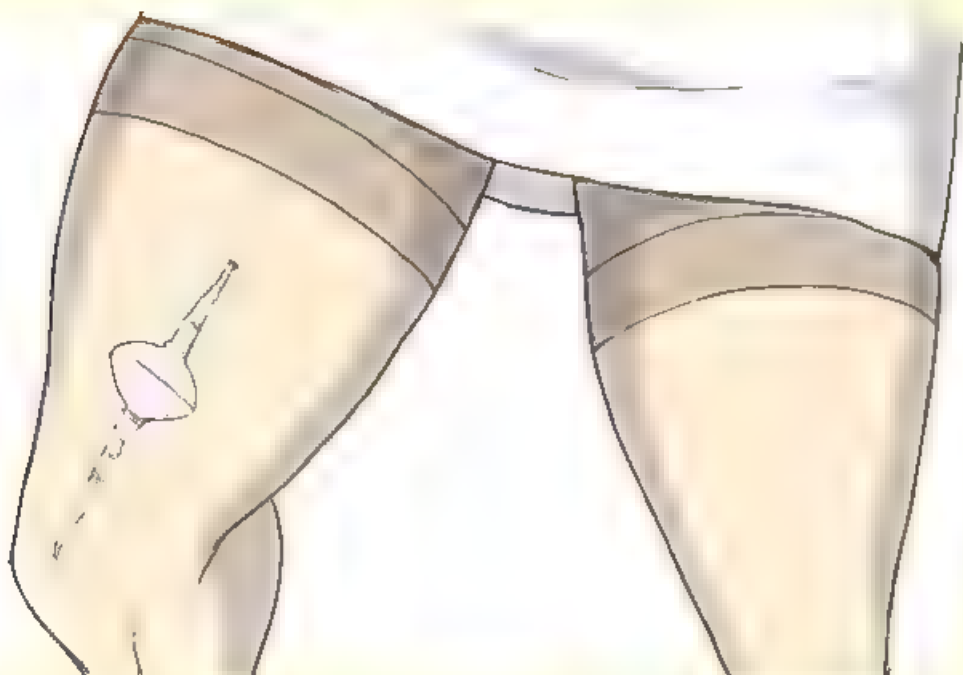
パンティストッキングと同様の形をしたさまざまなアイテムをタイツと呼んでいます。布の厚さ（デニール）による違いなど、さまざまなバリエーションを見てみましょう。

タイツにはさまざまな色があり、ファッションに合わせて幅広い選択肢があります。

全体に模様が入ったものから、ワンポイントのものまでバリエーションは豊富です。

太もも部分がストッキング生地になっており、ニーハイソックスをはいているように見えるタイツです。

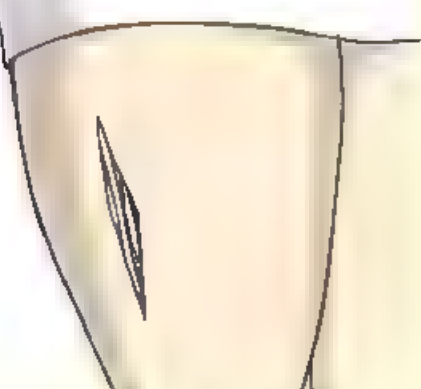
ストッキングの破け方

ストッキングは生地が薄いため、少し引っかけるだけで破けてしまいます。破れたストッキングは、キャラクターがダメージを受けている表現などにも使えますので描くときのポイントを見ていきましょう。

破け方

ストレッチ性が高く、はいているときは横に引っぱられている状態になっているため、穴が開くとそこから直線的に裂けるのが特徴です。

NG

刃物で切られるようなダメージを受けた場合は横に裂けることもあります。

NG

繊維が縦に裂けることはありえません。
伝線した表現は横に線を入れるようにしましょう。

縦に裂けた場合、横の繊維を少し残すように描くとリアルになります。

小さな破れでキャラクターのだらしなさ、おっちょこちょいな一面を表したり、大きな破れで肉体的なダメージを表したりと、破け方の度合いによってさまざまな表現ができます。

つまさきの形状

靴下のつまさきは５本の指が一緒に入る袋状が基本ですが、中には足袋タイプや５本指タイプのように分かれているものもあります。

ノーマル

５本の指が一緒に入るノーマルなつまさきの形です。脱ぎやすくはきやすいのが特徴。

足袋タイプ

親指とそれ以外の指とに分かれた足袋タイプ。はき心地の好みで選ぶ人も多いようです。

５本指タイプ

５本の指がすべて分かれているタイプ。はき心地に加え、健康面での効果もあるといわれています。

靴下の丈

たくさんの種類がある靴下の丈。ボトムの長さや靴の形に合わせてぴったりのものを選びましょう。

フットカバー

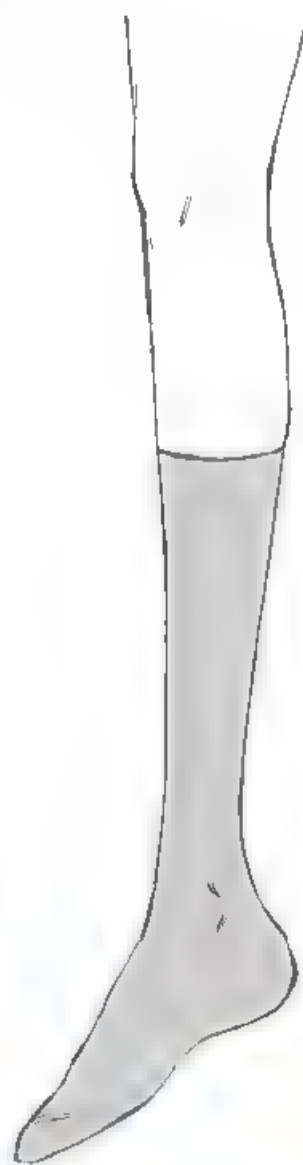
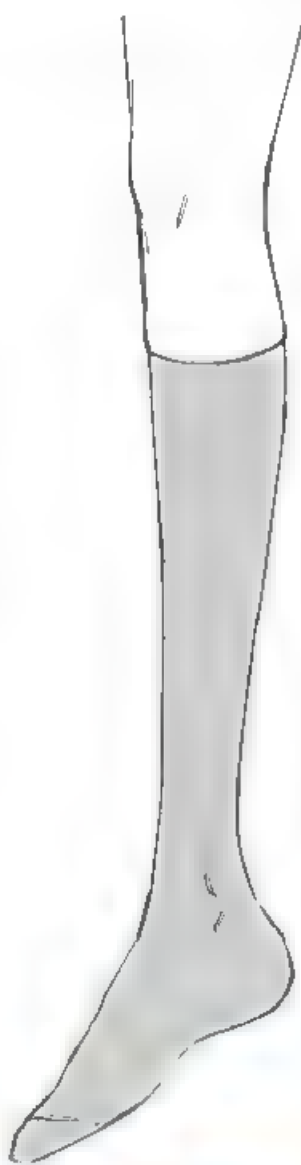
足の指部分のみを覆う形。

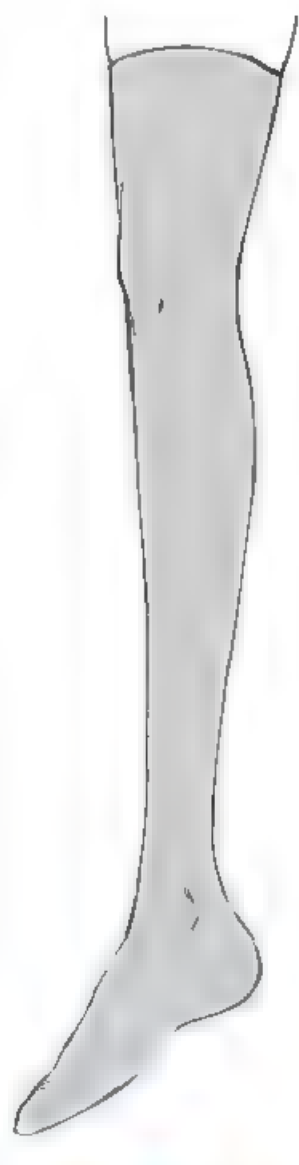
アンクレット

くるぶしまでの短い丈のもの。

クルー

ふくらはぎの下までのもの。

スリークウォーターズ

膝下3/4くらいの丈。

ハイソックス

ひざ下までの丈のもの。

ニーハイソックス

ひざより上の丈のもの。

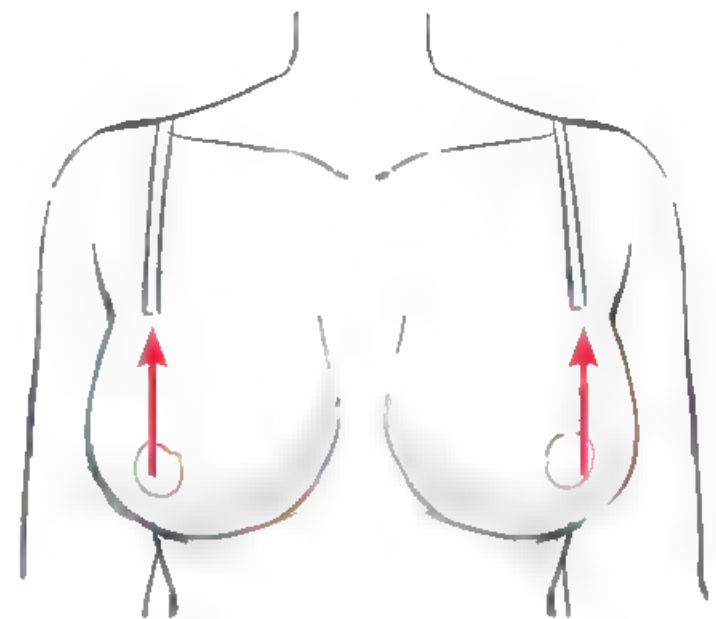
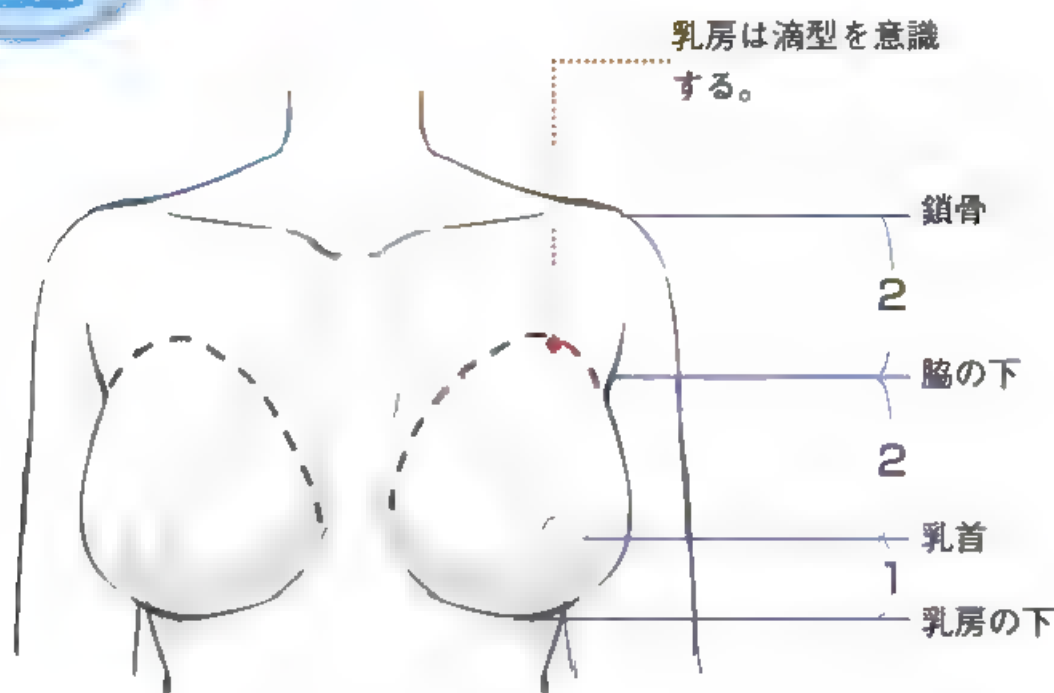
Part2
下着を描く

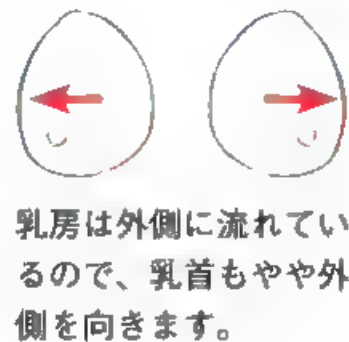
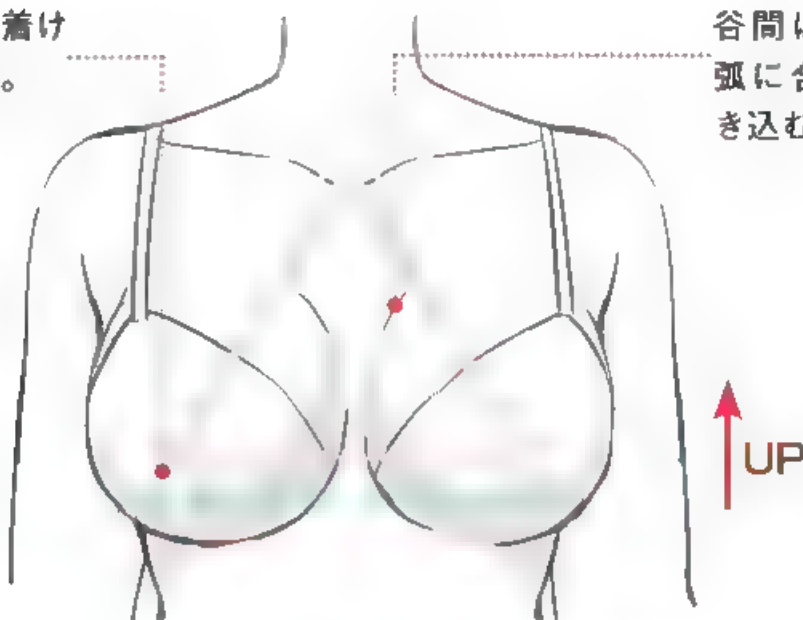
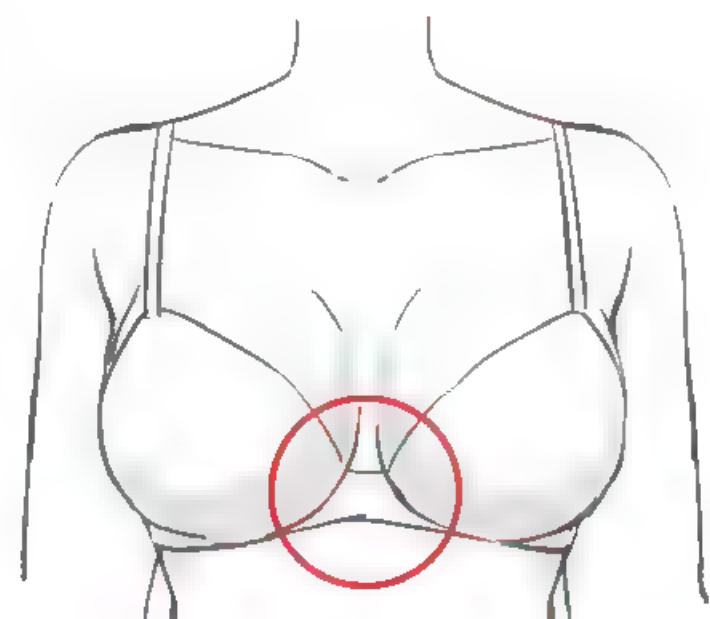
STEP式下着の描き方

下着は体に沿ったものであり、体のラインを変えるものでもあります。上手に描くには、体の構造や肉感を正しく理解していなければなりません。まずはブラジャー、ショーツ、メンズアンダーウエアの描き方をSTEP式で見ていきましょう。

ブラジャーの描き方

基本の3/4カップブラジャーの描き方を見ていきます。ブラジャーが胸を支え持ち上げていることがわかるよう、胸の形も変えることが必要です。

正面

STEP 1 まずは素体を描きます。胸のサイズにもよりますが、鎖骨～脇の下：脇の下～乳首：乳首～乳房の下は2：2：1くらいの割合になります。鎖骨の中心と乳首を結んだ線がだいたい正三角形になるよう意識しましょう。

乳房は外側に流れているので、乳首もやや外側を向きます。

STEP 2 乳首の延長線上にブラジャーのストラップを描きます。
デザインによっては乳房の外側にストラップが付いている物もあります。

STEP 3 カップを描きます。ブラジャーの補整により胸が持ち上がるので、谷間や影で立体感を加えましょう。ブラジャーを着ける前に比べて乳首は正面を向きます。鎖骨の中心と乳首を結んだ線が、STEP1より小さい正三角形になります。

STEP 4 ブラジャーのフロントを描いてカップをつなげたら完成です。

乳房は下に丸みをもたせる。

鎖骨

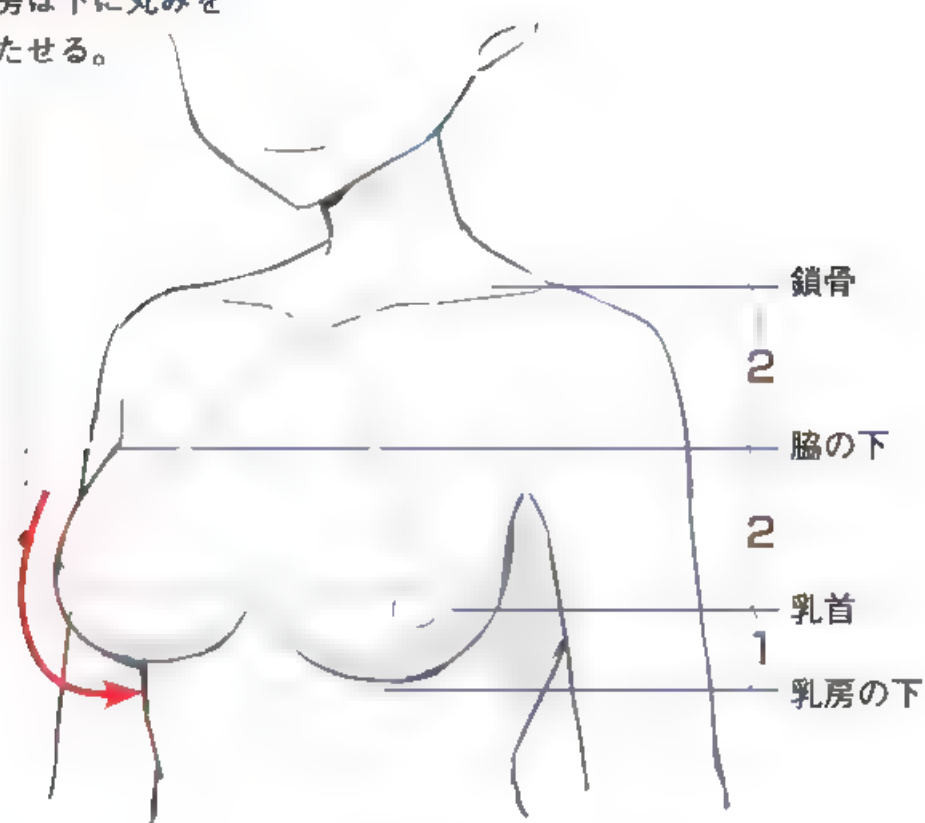
2

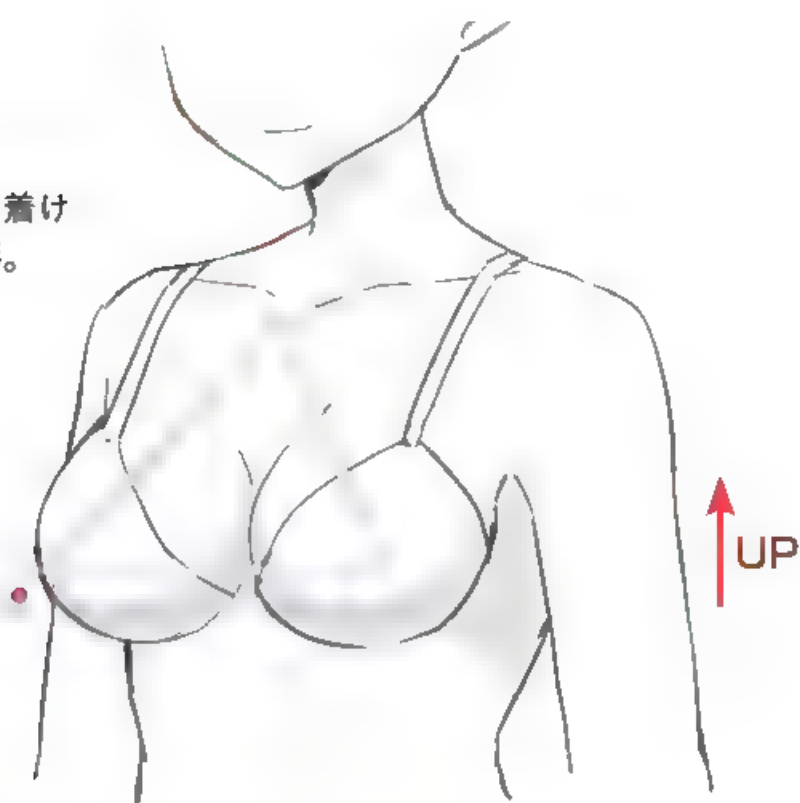
脇の下

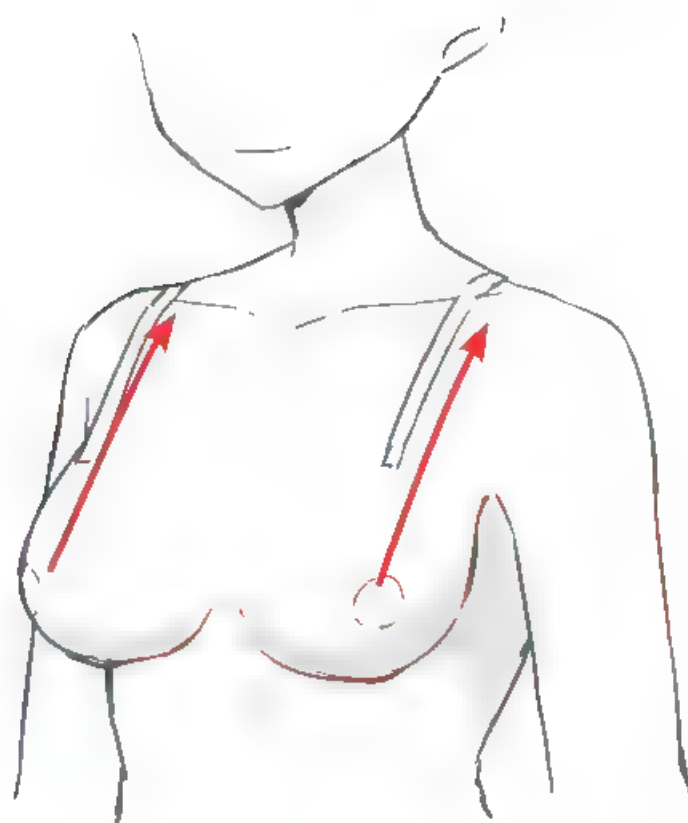
2

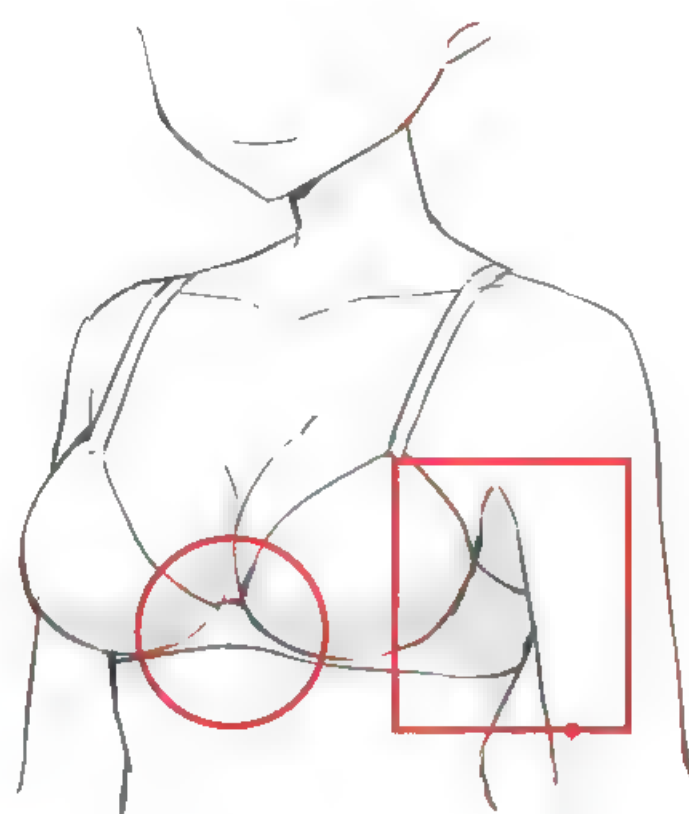
乳首

1

乳房の下

STEP 1

まずは素体を描きます。体が斜めを向いている場合は鎖骨の中心と乳首を結んだ三角形にも角度がつきます。乳房は重力を意識し、下に丸みをもたせるようにします。

STEP 3

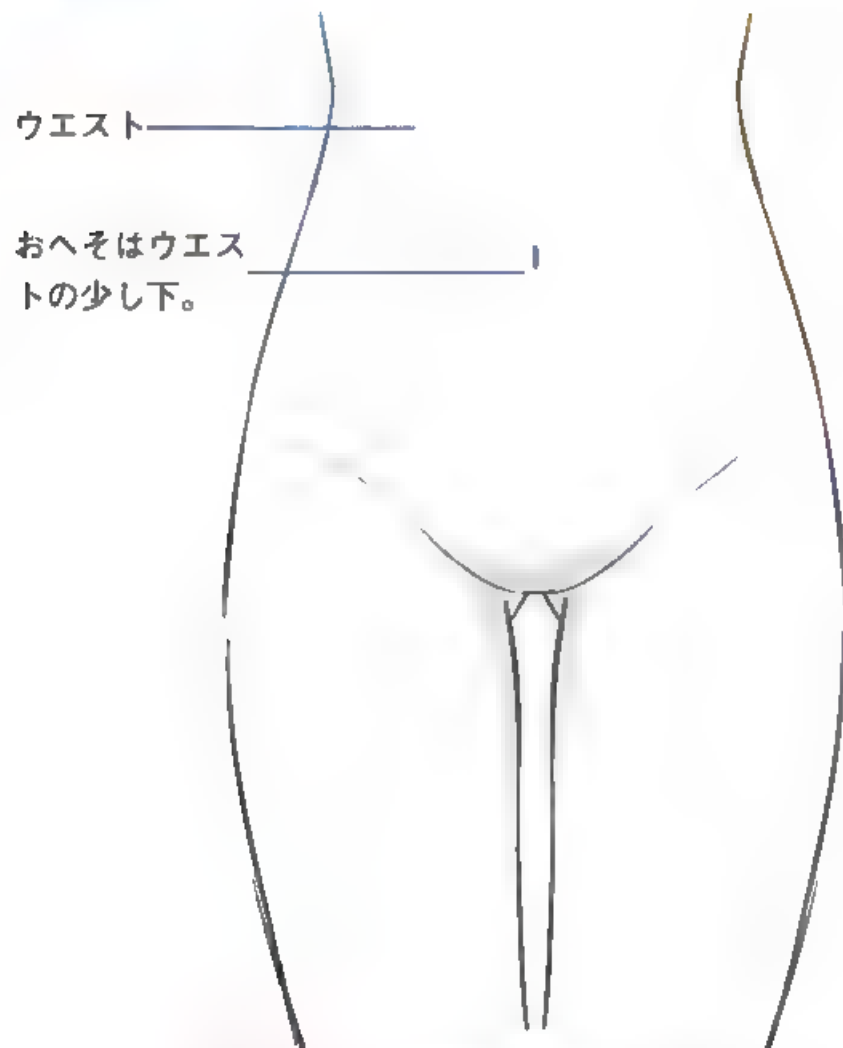
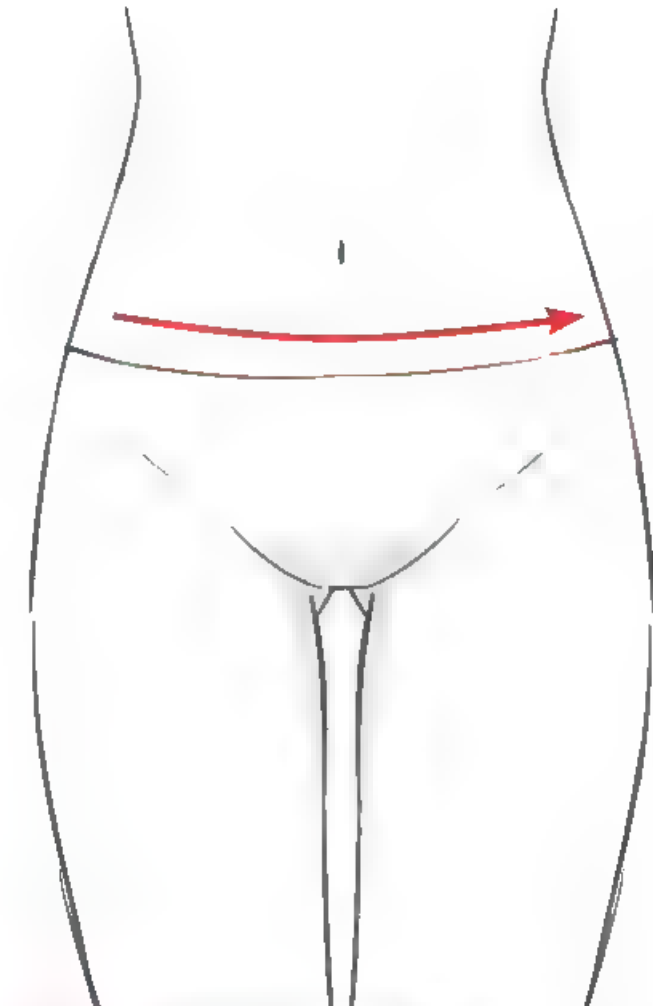
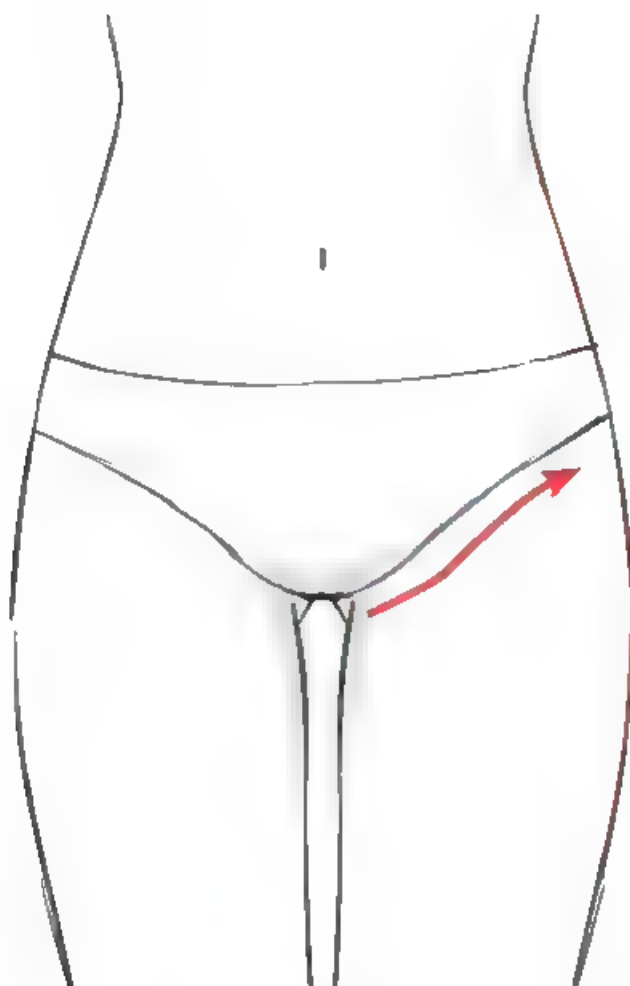
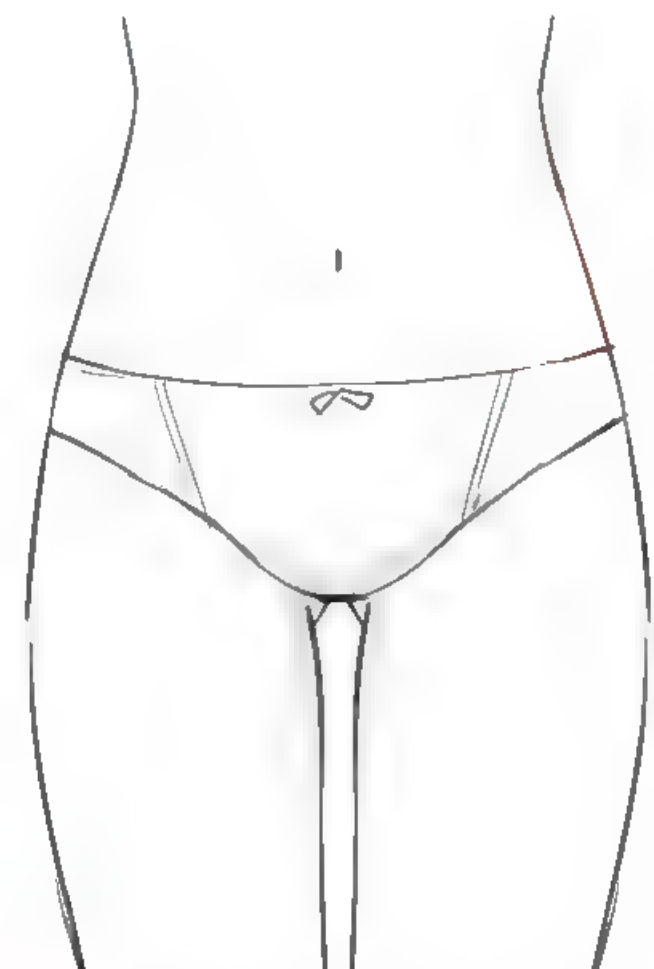
カップを描きます。正面のときと同様にブラジャーで胸が持ち上がるので立体感を加えましょう。谷間はよりはっきりと、左右の乳房が少し重なるように描くのがポイントです。鎖骨の中心と乳首を結んだ線が、STEP1より小さい三角形になります。

STEP 2

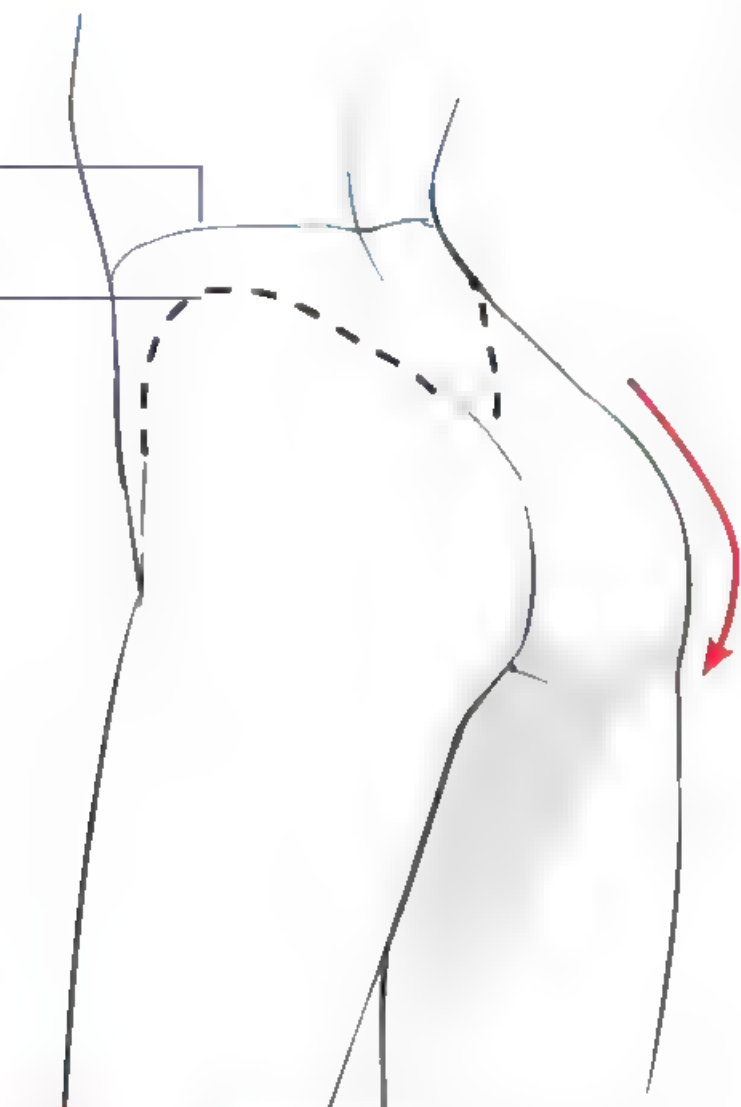
乳首の延長線より少しずらしてストラップを描きます。

STEP 4

ブラジャーのフロントを描いてカップをつなげたら完成です。サイドは斜めに下ろすように描くと自然です。

ショーツの描き方

基本的なショーツの描き方を見ていきます。下腹部やお尻のふくらみに合わせ、立体的に描くことが大切です。

胴が上手く描けない場合、台形を上下逆さに2つつなげたような形をイメージするといいでしょう。

STEP 1 まずは素体を描きます。ウエストやおへその位置などを確認しましょう。

STEP 2 下腹部の立体感を意識し、少しだけカーブするようにショーツのウエストのラインを描き込みます。

STEP 3 脚ぐりは鼠蹊部のラインに沿って描きます。

STEP 4 仕上げにリボンを足せばショーツらしくなります。縫い目を入れてもよいでしょう。

下腹部と脚をパーツに分けて考えると位置関係や立体感がわかりやすくなります。

STEP 1 まずは素体を描きます。ウエストと脚のつけ根の位置などを確認しましょう。お尻は重力を意識し、下に丸みをもたせます。やりすぎるとお尻が垂れて見えてしまうので注意してください。

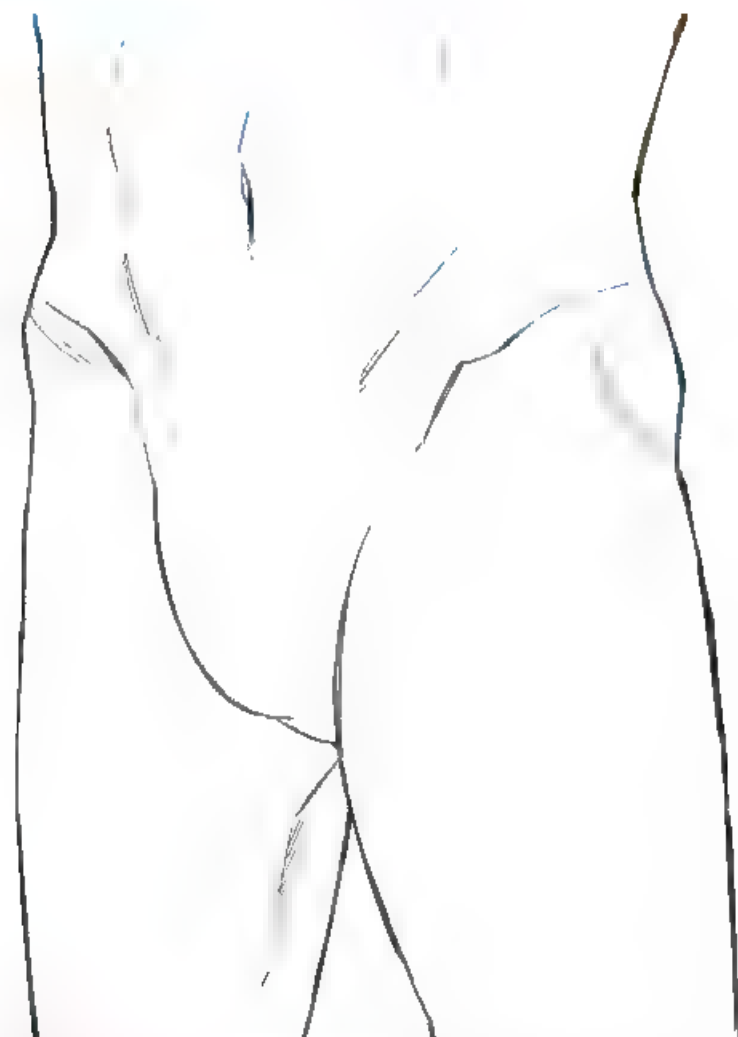
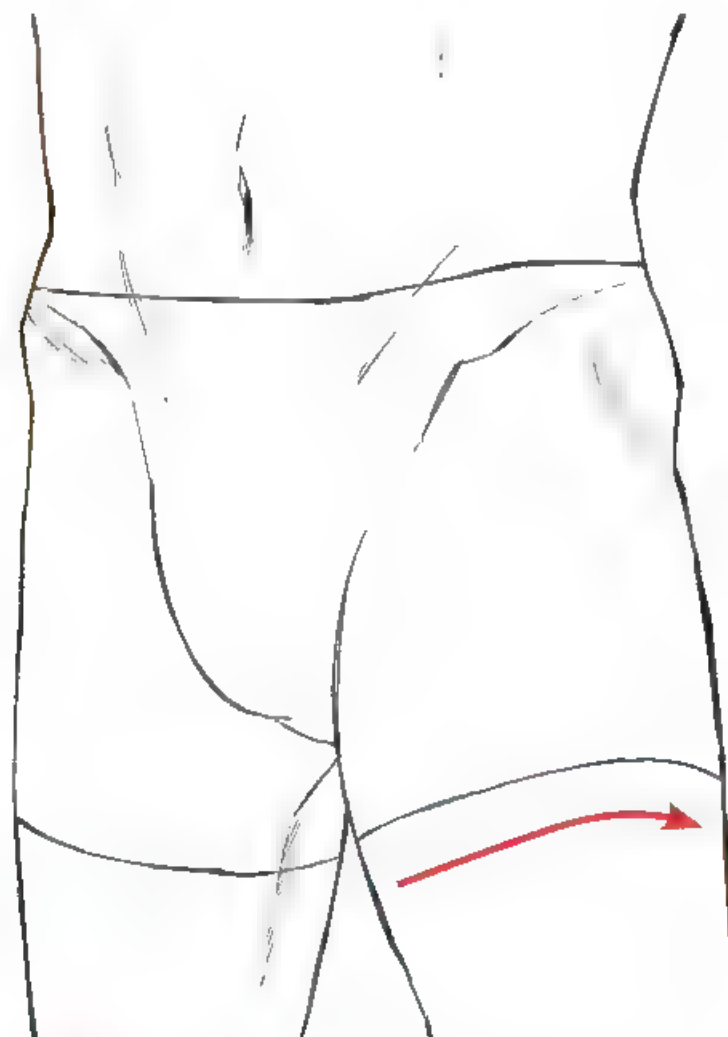
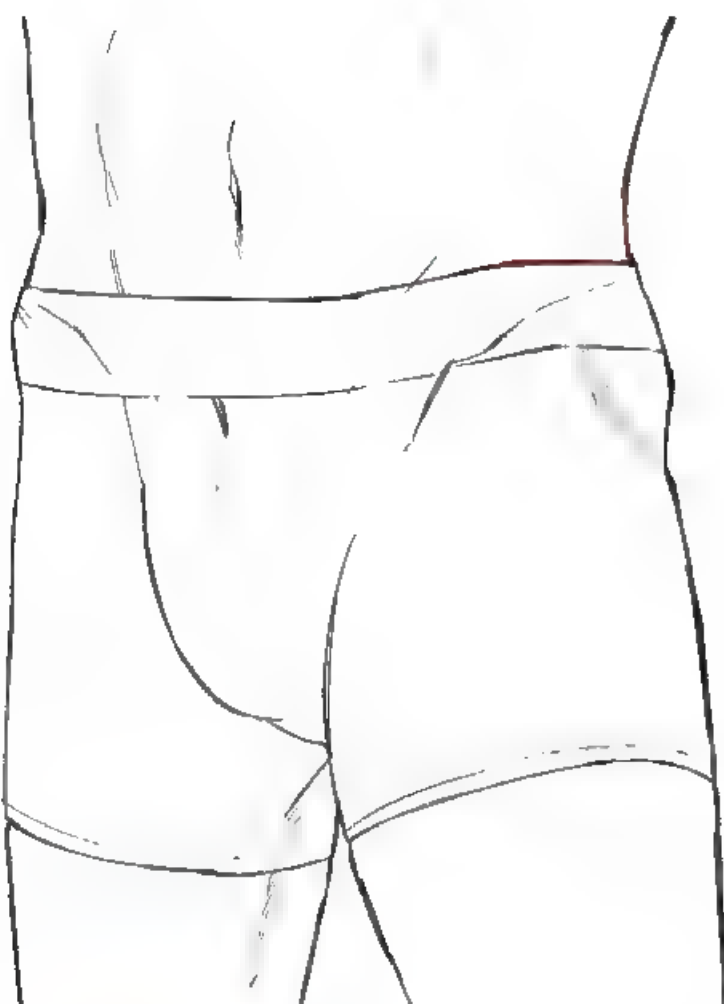
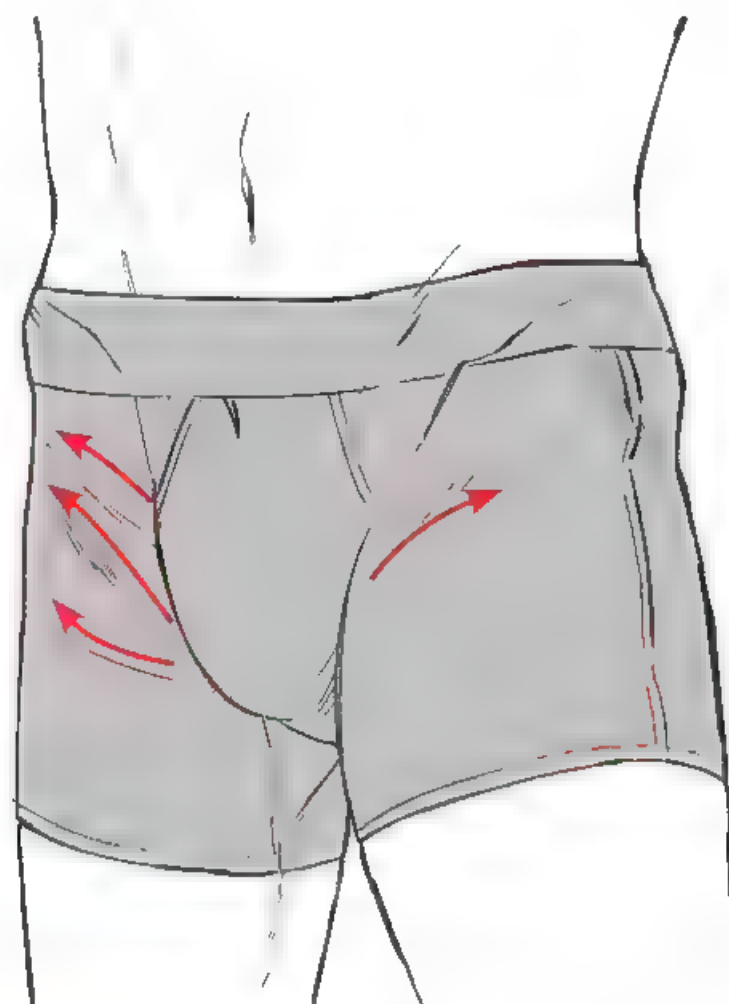
STEP 2 ショーツのウエストのラインを描きます。正面に向かってまわり込んでいることを意識しながら描きましょう。

STEP 3 正面の脚ぐりからの延長を意識し、お尻の形に合わせてバックを描きます。

STEP 4 仕上げにサイドの縫い目やクロッチを描き込んで完成です。

これで
下着の描き方は
バッチリね

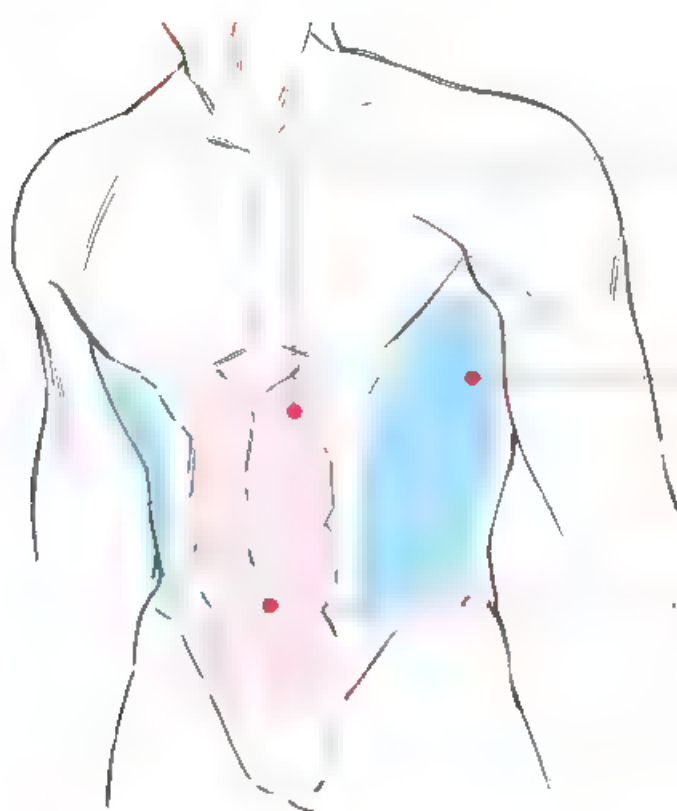
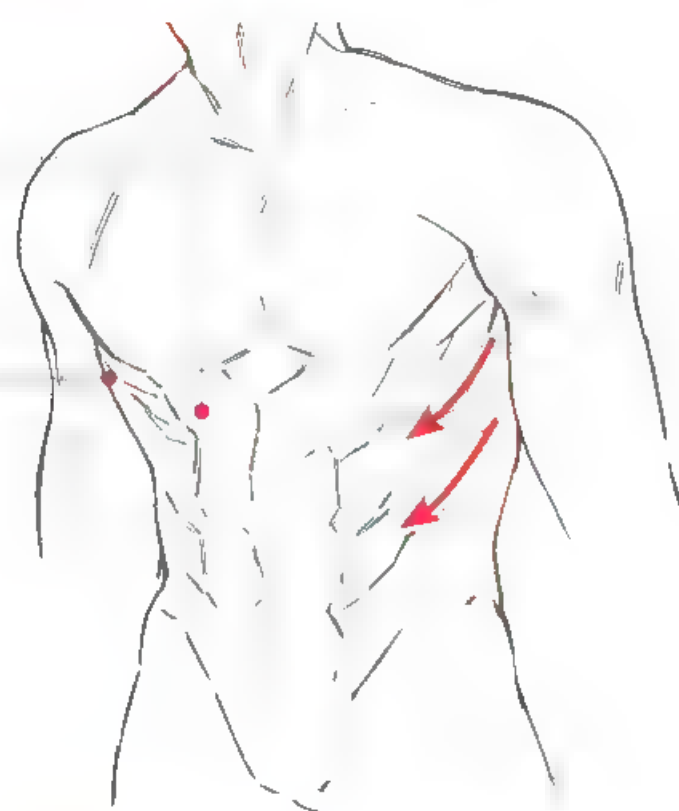
メンズアンダーウエアの描き方

メンズアンダーウエアを描くときは、男性の体の特徴を理解することが大切です。ボクサータイプのアンダーウエアを描いてみましょう。

STEP 1 まずは素体を描きます。女性に比べてウエストのくびれが少なく、ゴツゴツしているのが特徴です。

STEP 2 アンダーウエアのアウトラインを描きます。ウエストは腰骨のあたり、脚ぐりは太ももあたりにくるようにしましょう。それぞれ立体感を意識することが大切です。

STEP 3 ウエストのゴム部分を描きます。

STEP 4 シワや細かい縫い目などを入れます。シワは股間部分から脚のつけ根のラインに沿って入れると自然になります。

腹筋の描き方

男性は女性と違って筋肉が大きく目立ちます。とくにアンダーウエアを描くときは腹筋が重要になりますので描き方を抑えておきましょう。

STEP 1 まずは素体を描きます。胸筋や肩の筋肉などを意識しましょう。

STEP 2 体の中心（正中線）を意識し、腹筋の位置をとります。左右対称になるよう気をつけましょう。

STEP 3 STEP2をもとに割れた腹筋（腹直筋）を描いていきます。立体感が出るようにしましょう。

STEP 4 お腹の横にある外腹斜筋など、細かなラインを描いて整えたら完成です。

腹筋色々

男性も体型ごとに腹筋のつき方が異なります。描き分けのポイントを見ていきましょう。

ぽっちゃり

全体的に丸い印象です。お腹や胸まわりなど、とくに脂肪がつきやすい部分をふっくらさせます。

標準

筋肉などの描き込みは少なめに、しかしたるみはないすっきりとした印象です。

筋肉質

標準体型より筋肉の位置を意識し、描き込みを増やします。

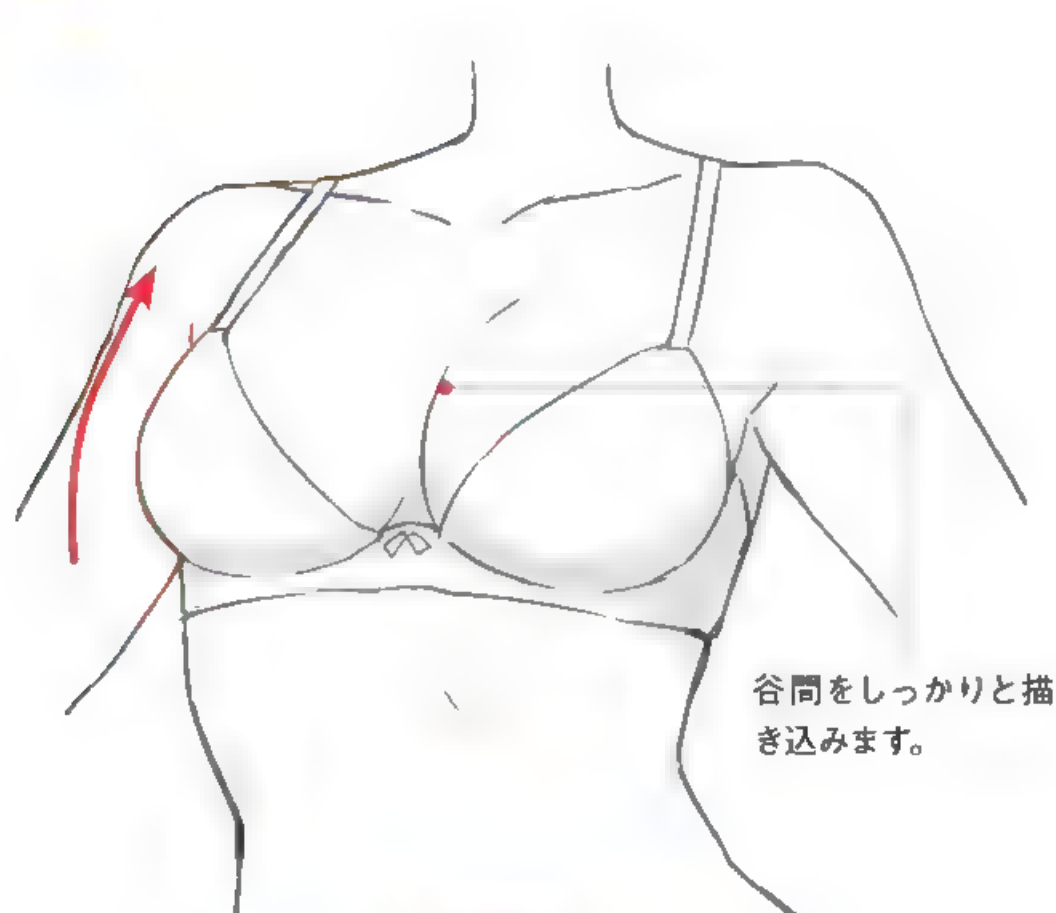
マッチョ

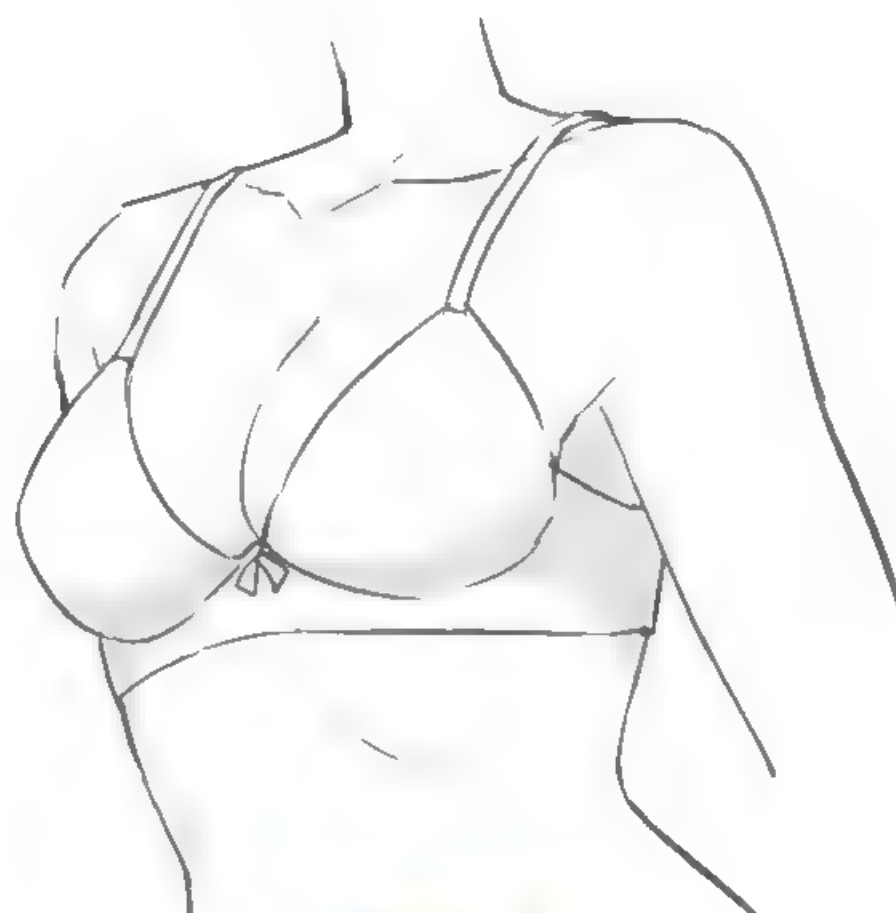
腕や腰まわり、首などをガッシリと描きます。筋肉質より一回り大きいイメージです。

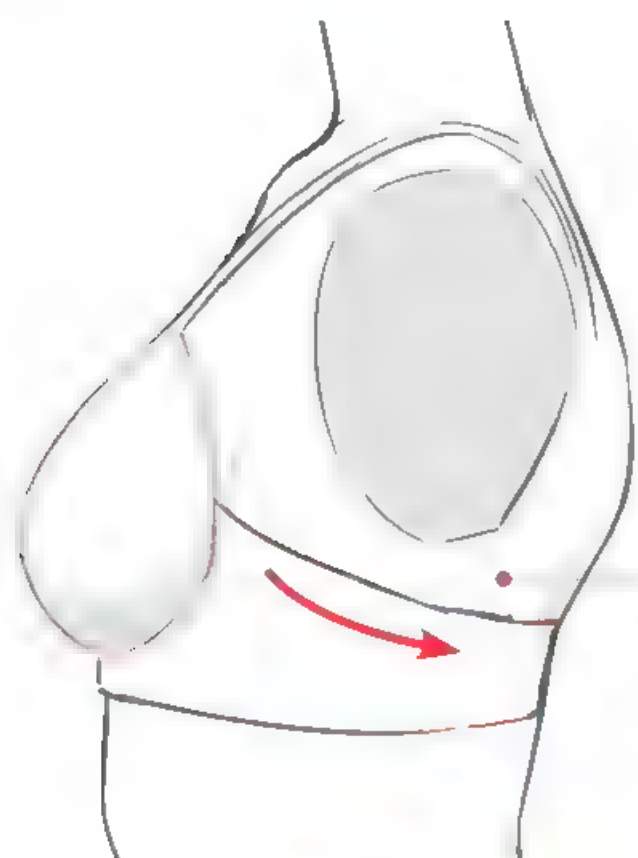
ブラジャーを描く

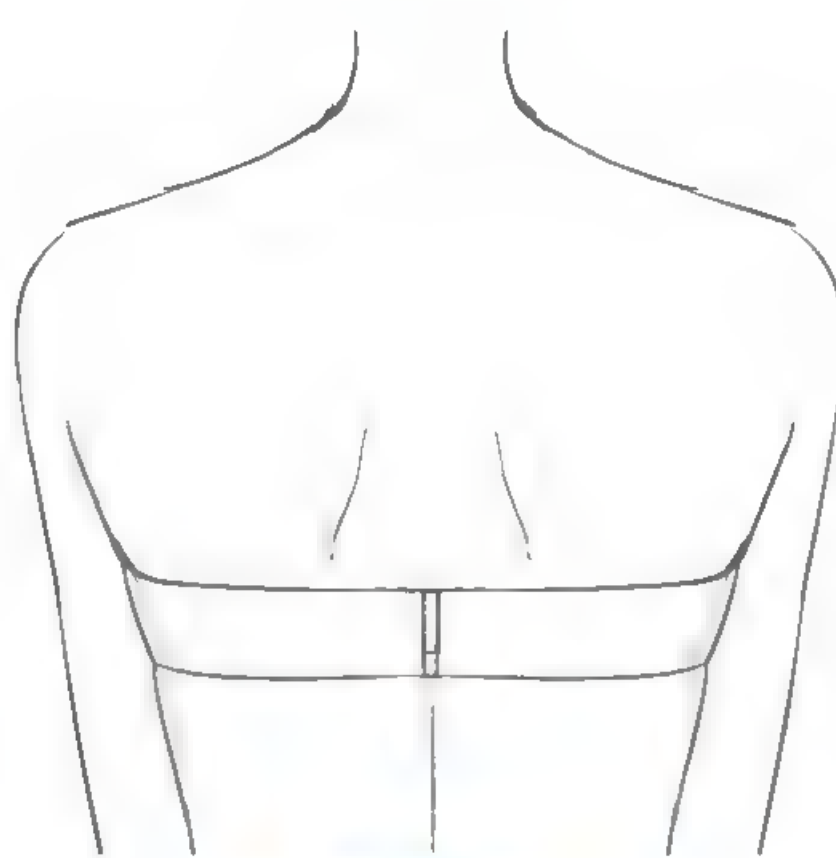
ブラジャーの基本的な構造や描き方をマスターしたら、次はさまざまな角度から描けるようにしていきましょう。体の動きや向きによって、ブラジャーがどのように変化するのか、その特徴をしっかり抑えてください。

通常

まずは通常の腕を下ろした体勢のときに、角度によってブラジャーがどのように見えるかをチェックします。

前面

胸がブラジャーにより持ち上げられていることがわかるよう、谷間を描き立体感を出します。乳首がどこにあるのかも意識しましょう。

斜め

体が斜めを向いている場合は、カップの形が左右で違って見えます。

横

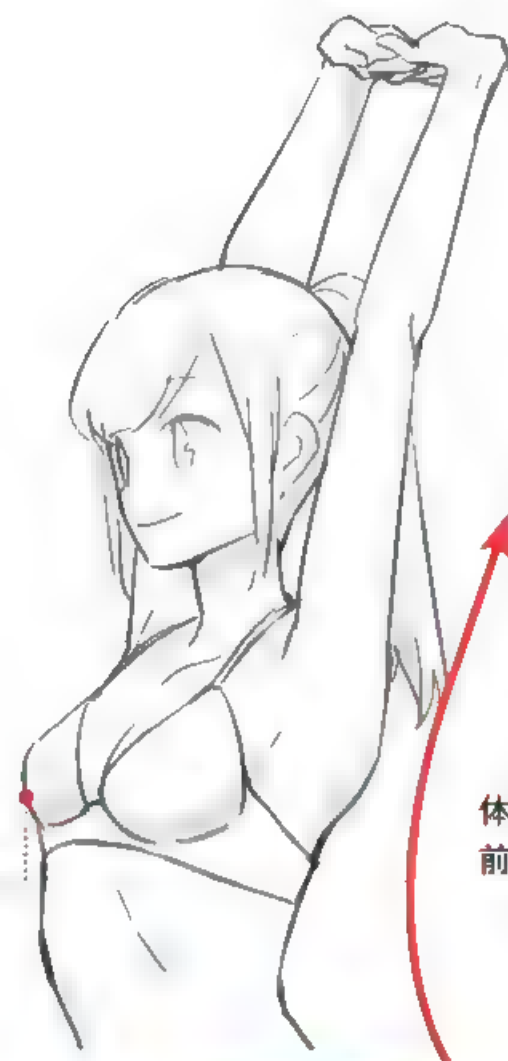
横を向いている場合、カップは滴型に見えます。

後ろ

バックは肩甲骨の下あたりにくるようにします。ホックは中心で留めます。

腕上げ

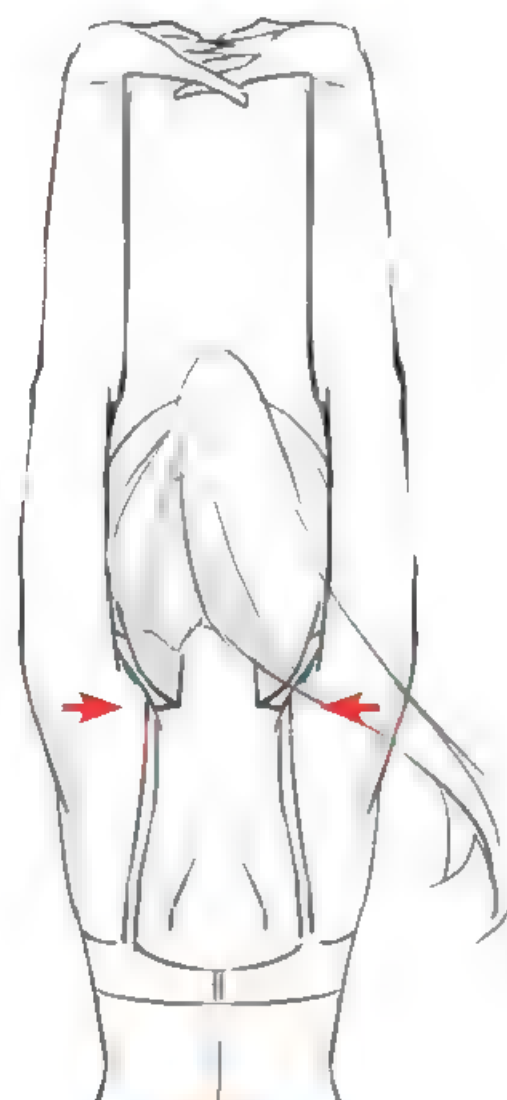
両腕を上げた状態のときに、ブラジャーがどのように変化するかを見ていきましょう。

正面

ストラップが中心に寄ります。腕を上げることで胸も吊られ、中心に寄って持ち上がります。腕を下ろしたときより谷間を深めに描きましょう。

斜め

腕を上げることで体が反るため、胸を張った状態になります。胸が一番前に出ているということを意識しましょう。

横

乳首が上を向くようなイメージです。

後ろ

後ろもストラップや肩甲骨が中心に寄るイメージです。ブラジャーのサイド～バックを通常より下に描くと、背中が反って伸びているように見えます。

前屈み

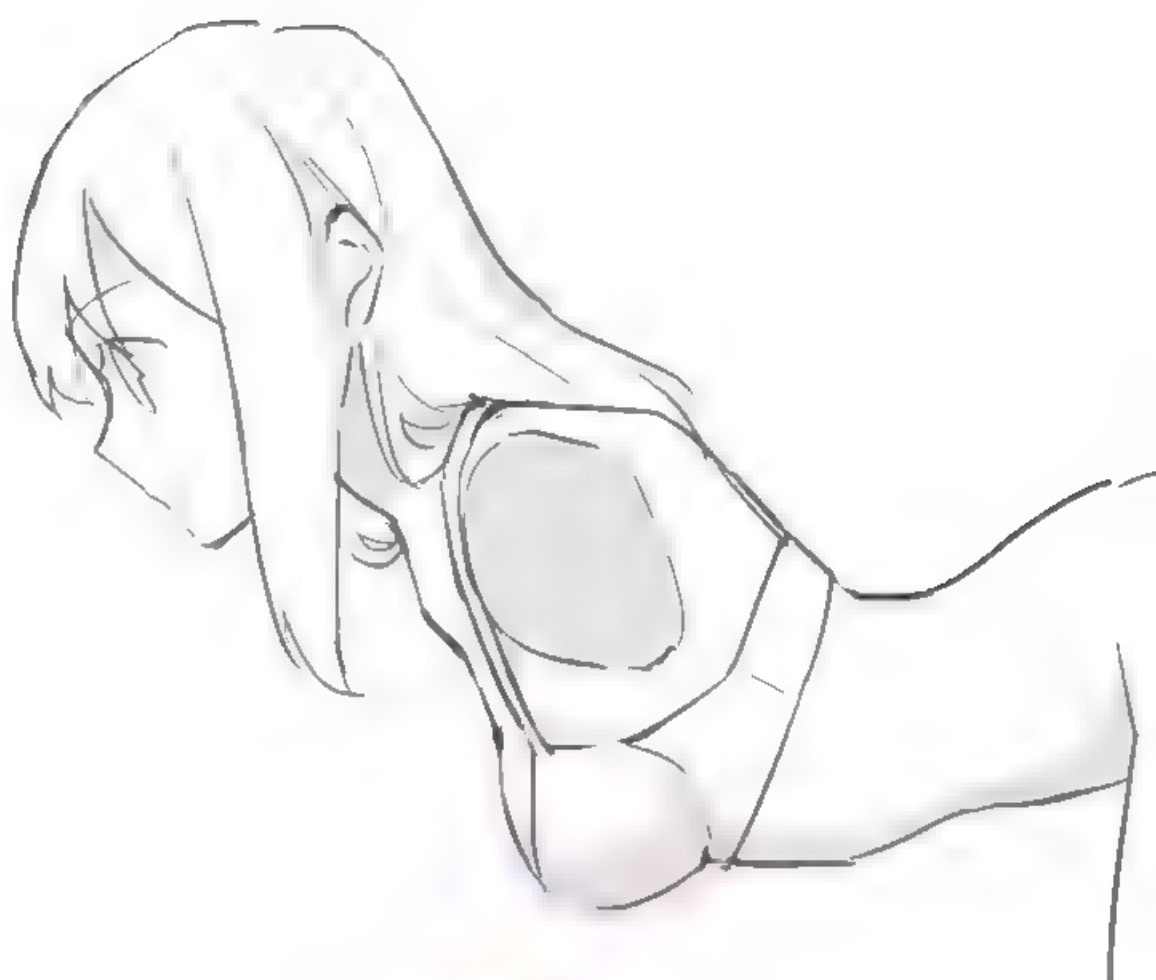
前屈みになったときの胸の形やブラジャーの変化を見ていきましょう。重力を意識するのがポイントです。

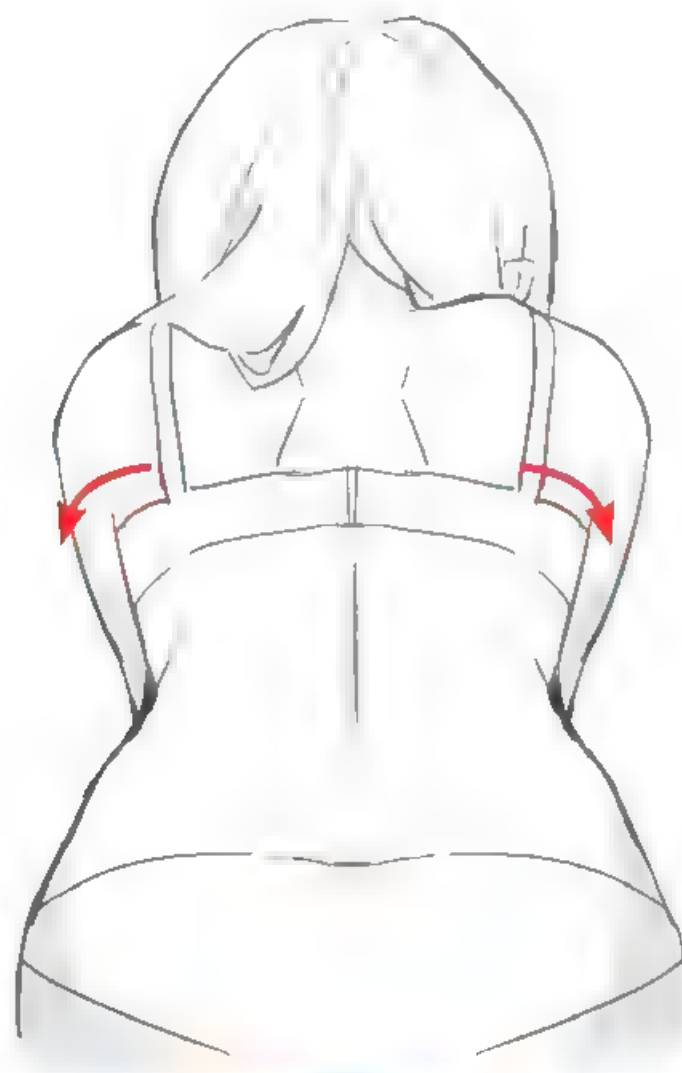
正面

重力で下に落ちるため、胸の谷間に空間ができます。ブラジャーのサイズが合っていない場合、ブラジャーが浮いて胸との間に隙間ができてしまいます。

斜め

体が斜めを向いている場合、左右の胸の形は異なって見えます。胸を垂れさせすぎると歳をとって見えるのでほどほどにしましょう。

横

横を向いている場合、胸の形が半円状に見えます。

後ろ

背中のラインに合わせてサイド～バックを描き込みます。まわり込みを意識して曲線的に描きましょう。

ローアングル

ローアングル（アオリ）で見ると、体の形は大きく異なって見えます。それに合わせてブラジャーの見え方も変わるので注意しましょう。

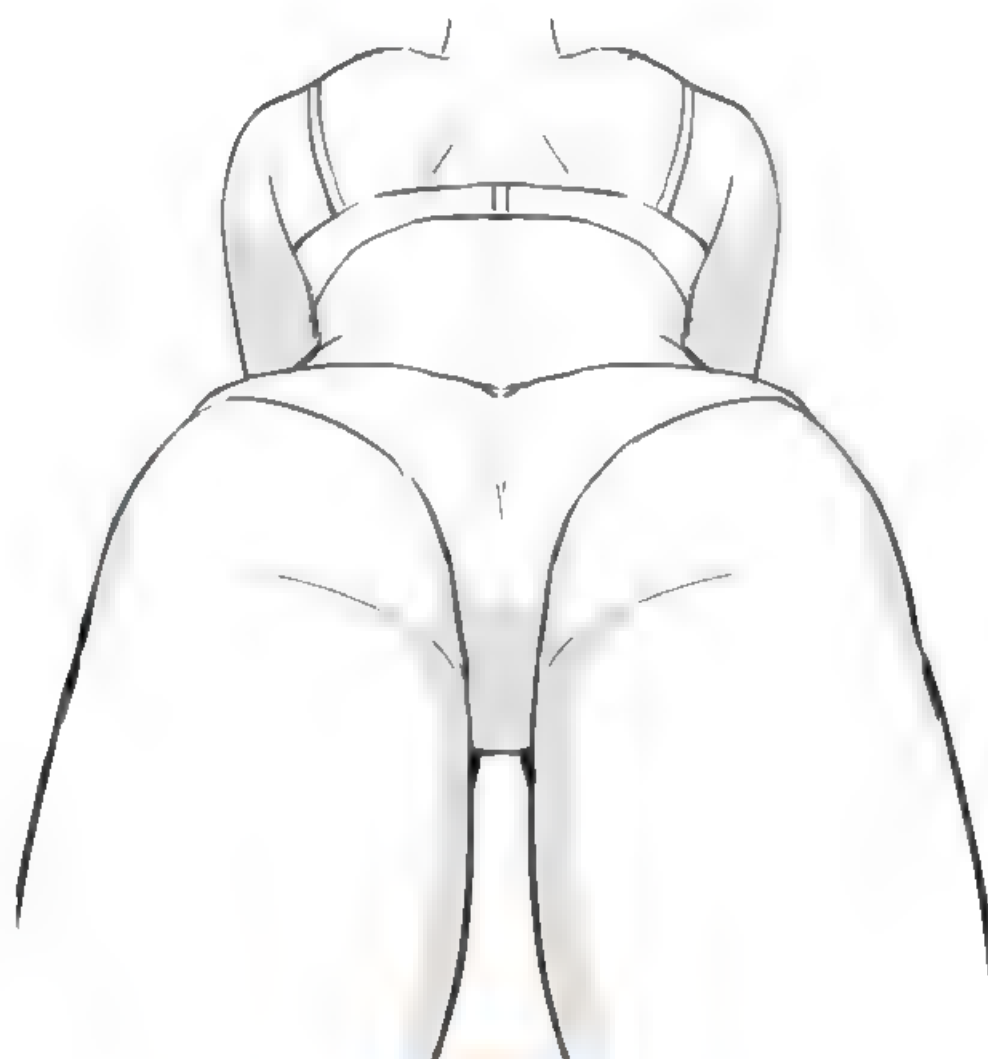
正面

胸が大きく前に出て見えます。体が厚くなりすぎないように注意しましょう。

斜め

体が斜めを向いている場合、胸は左右それぞれ外側を向いているように見えます。

横

ウエストのくびれを強調し、胸も前に張るように描いてS字を意識すると女性らしくなります。凹凸をはっきりさせるのがポイントです。

後ろ

後ろ向きの場合、お尻のふくらみを意識しましょう。背中は平らになります。

ブラジャーとカップの関係

同じ形のブラジャーでも、胸のサイズが違えば見え方が異なります。同じように、ブラジャーの形が変われば、胸の印象も大きく変わることになります。さまざまな胸のサイズとブラジャーの形の関係性を見ていきましょう。

Aカップ+チューブタイプブラ

チューブタイプブラはカップ上部が水平になっており、胸の上部が露出しています。そのため、Aカップのぺたんこ感が強調され、子どもっぽい印象になります。

Cカップ+ノンワイヤーブラ

ノンワイヤーブラはワイヤーが入っていないため、寄せたり上げたりという効果があまりありません。大きすぎる胸だと垂れてしまいますが、Cカップくらいならちょうどよく収まります。胸の上部の盛り上がりや谷間を強調しすぎないようにしましょう。

Dカップ＋3/4カップブラ

少し大きめのDカップになると、胸をきちんと収める形のブラジャーが適しています。3/4カップのブラジャーなら胸をしっかり支えてくれるので安定感があります。

Hカップ＋フルカップブラ

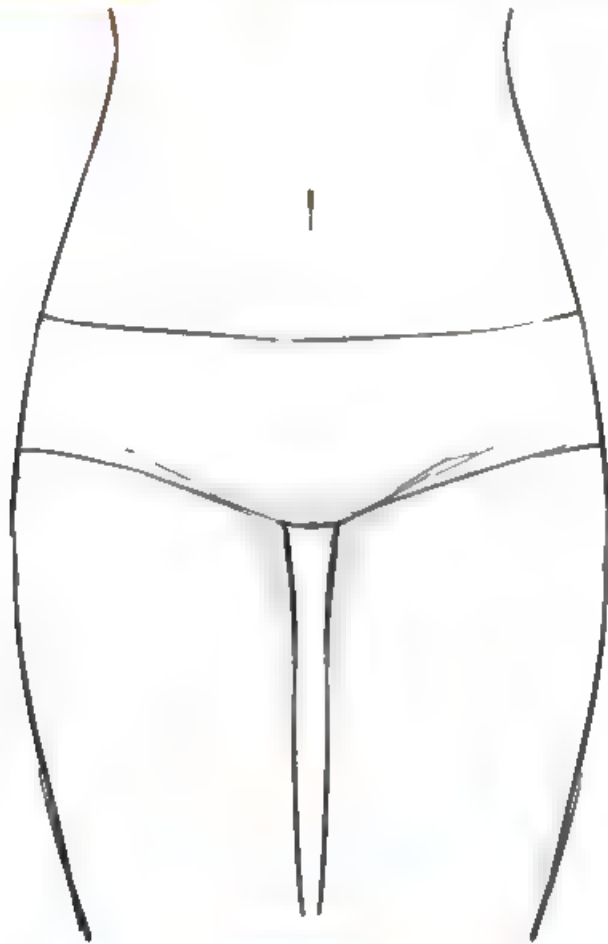
爆乳ともいえるHカップの場合、面積の小さいブラジャーだと胸がはみ出してしまいます。フルカップのブラジャーなら全体を包み込み、形をきれいに見せてくれます。

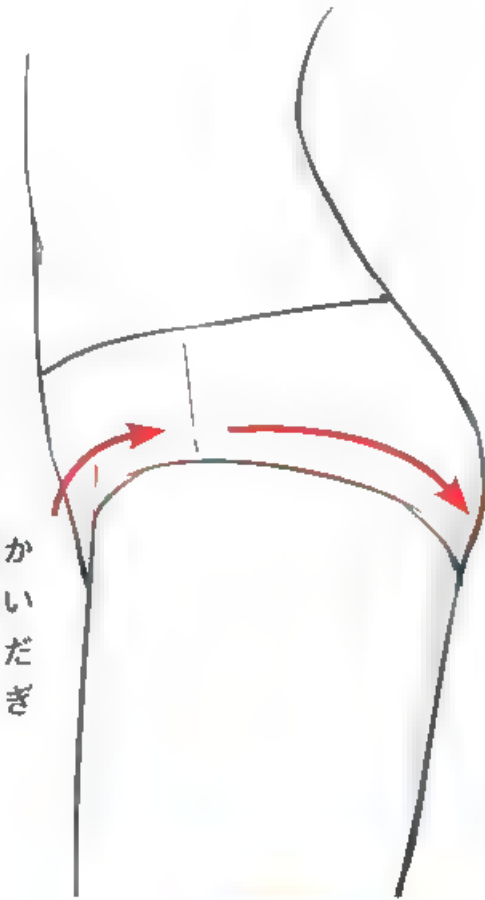
ショーツを描く

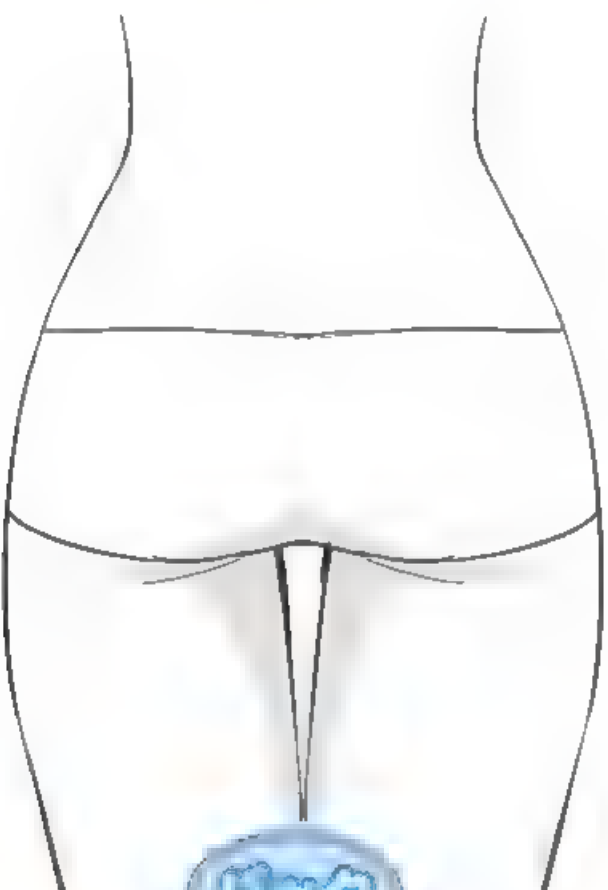
ショーツの基本的な構造や描き方をマスターしたら、次はさまざまな角度から描けるようにしていきましょう。お尻の丸みや脚の開きなどを意識することが大切です。また、ショーツの形によっても見え方は異なってきます。

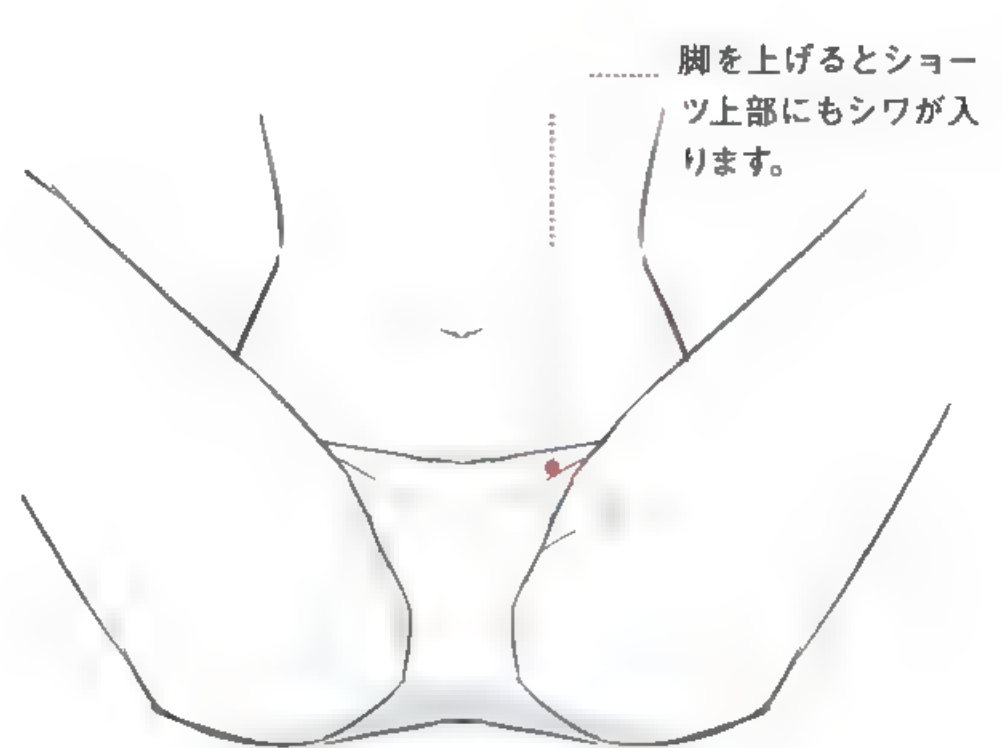
フルバック

まずは基本のフルバックショーツです。布の面積が広いため、体の動きによってシワの入り方が異なります。

正面

体にフィットしているため、深いシワは入りません。鼠蹊部に沿って少しだけシワを入れましょう。

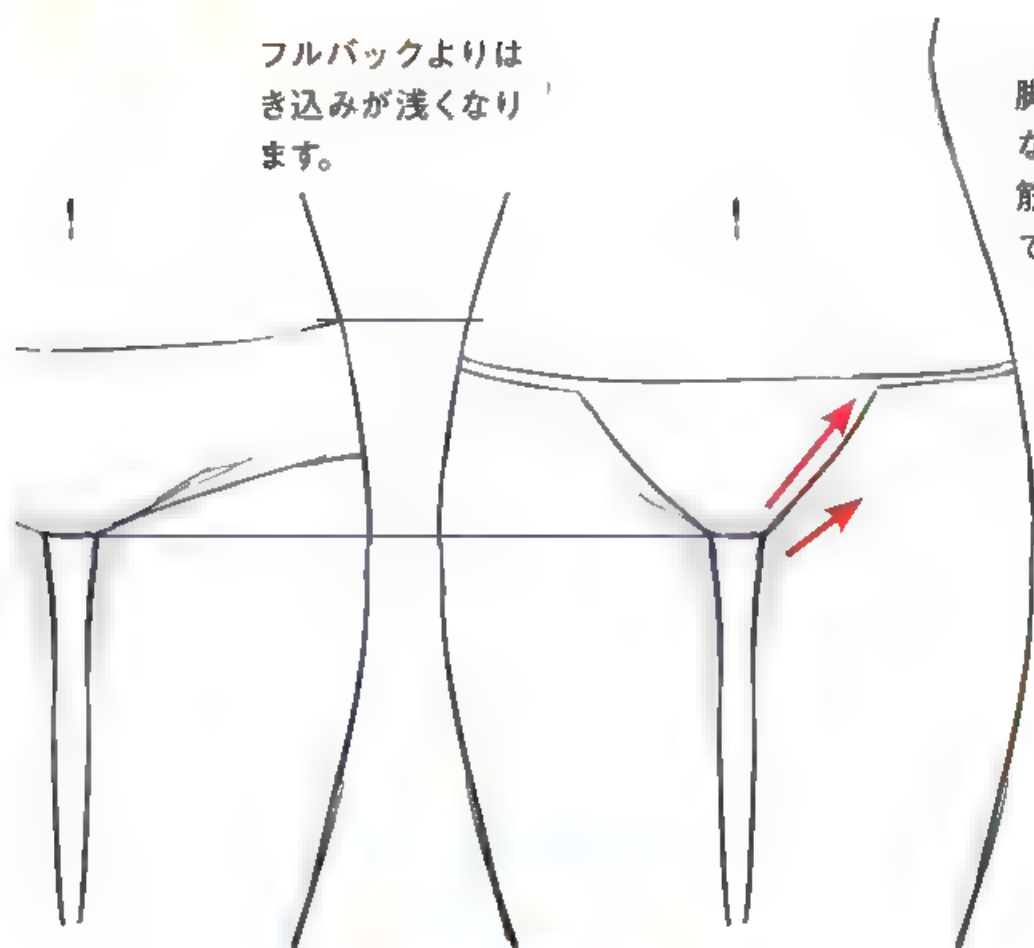
横

フロントよりバックのほうが布の面積が広くなるよう脚ぐりの線を描きます。

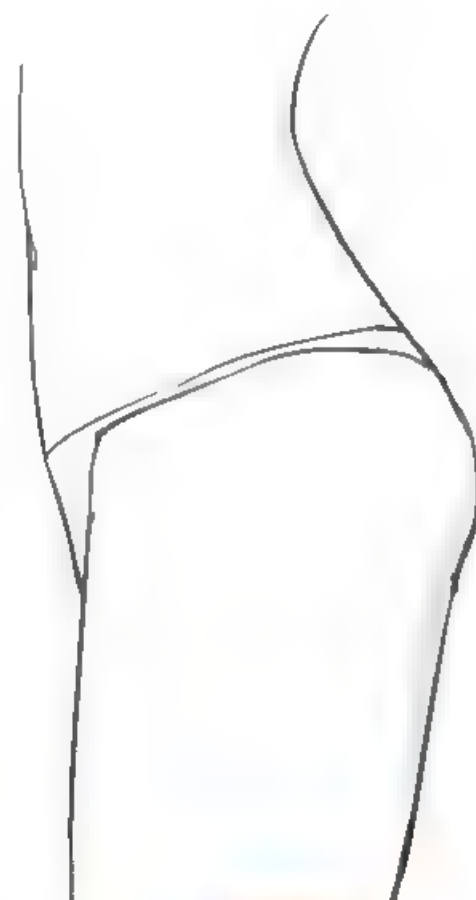
バック

お尻をすべて覆うのではなく、下から少しだけお尻のラインが出ます。

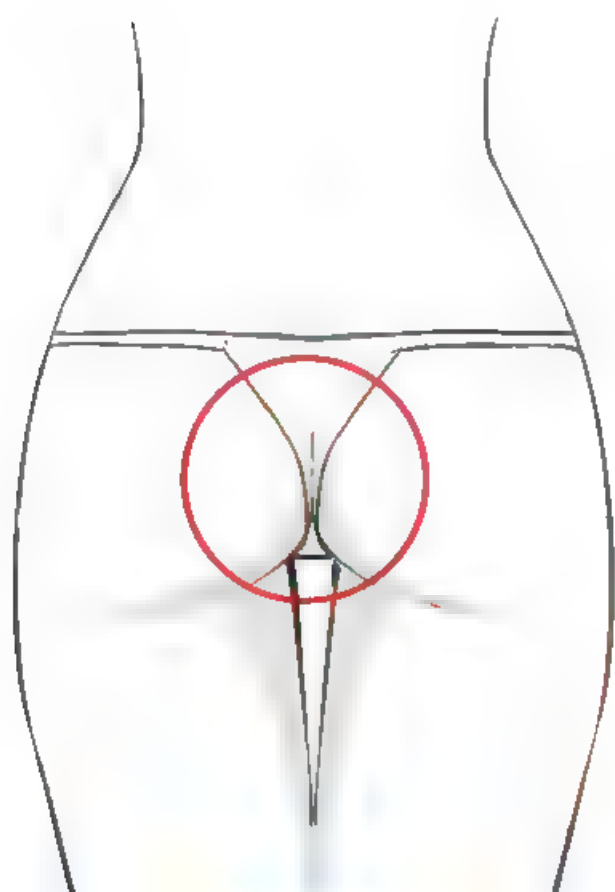
開脚

クロッチの幅は広めです。脚の筋を入れると脚の立体感が出ます。

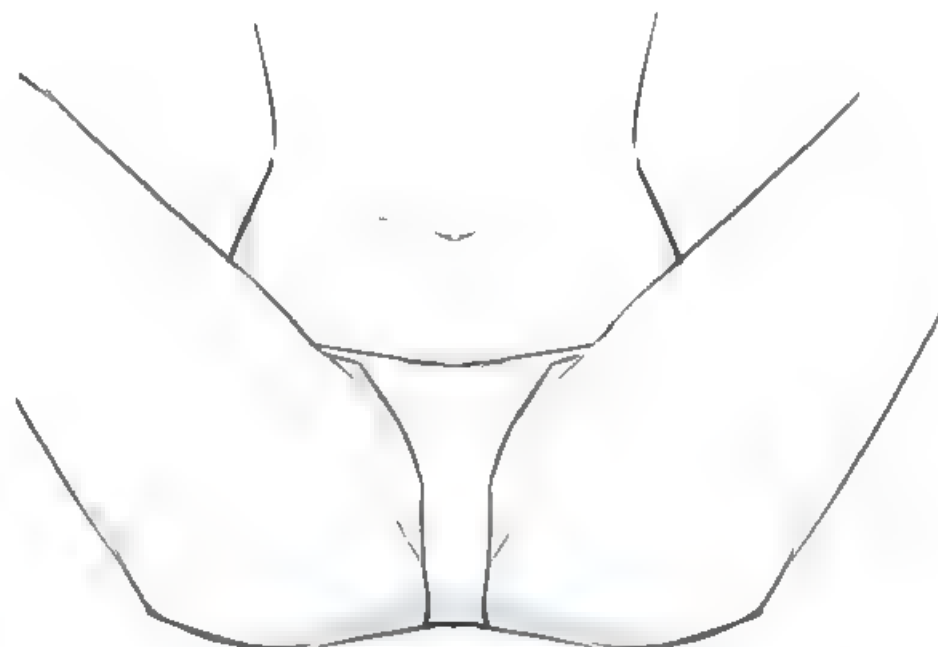
Tバック

バックが特徴的なショーツですが、フロントやサイドもフルバックとは異なります。

正面

ひもを横に引いてからフロントの三角形をつけ足すイメージです。

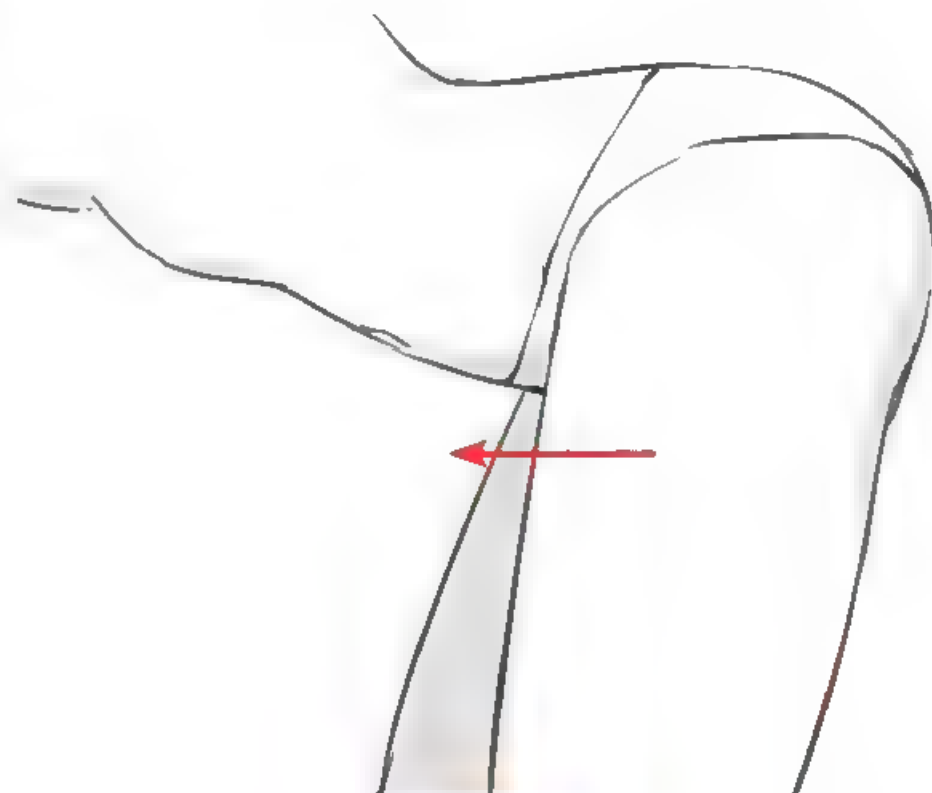
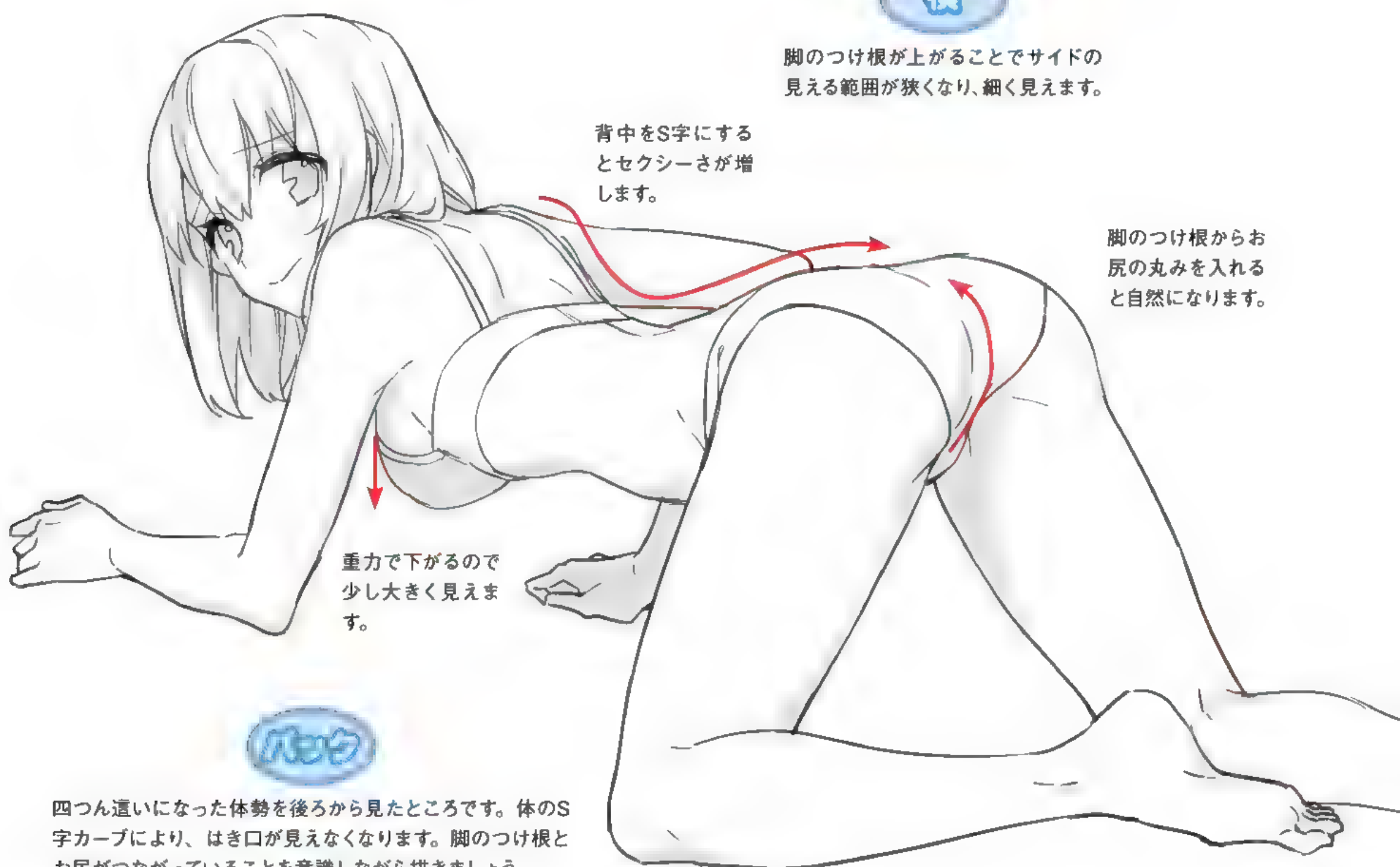
横

サイドはほぼひも状になります。少しだけフロントの布が見えています。

バック

お尻の中心に布が食い込み、キュッと深いシワができるのがポイントです。

開脚

フルバックほどではありませんが、Tバックでもしっかりクロッチはあります。

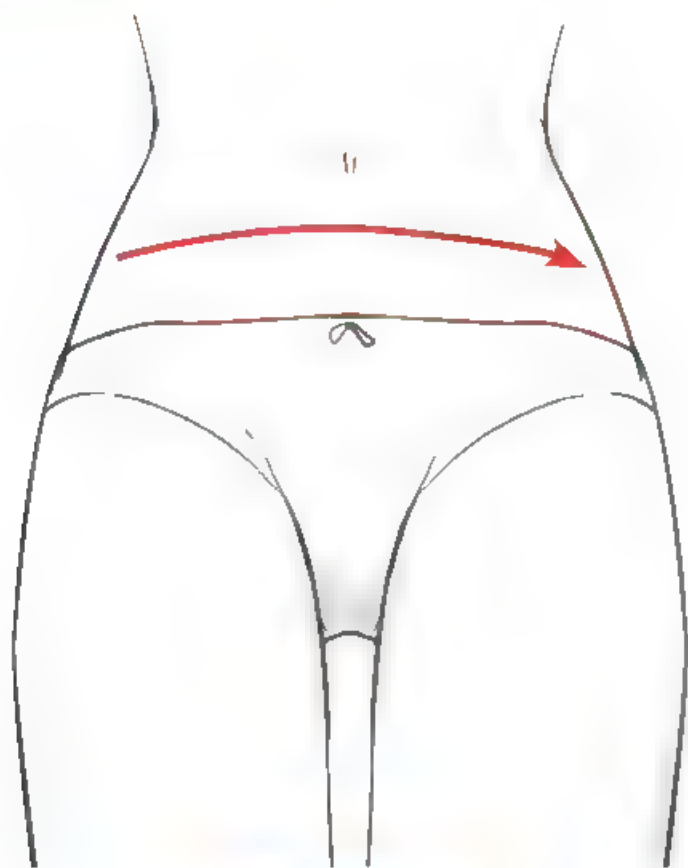
前屈み

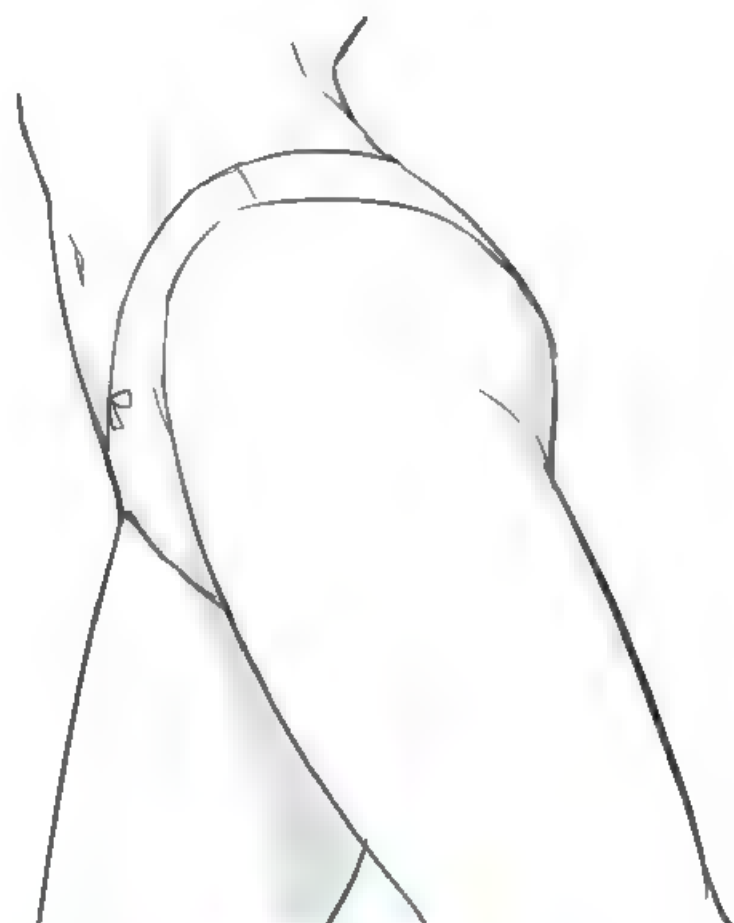
体が前屈みになると、ショーツの見え方も大きく変わります。前面に出ている部分、隠れている部分を意識しましょう。

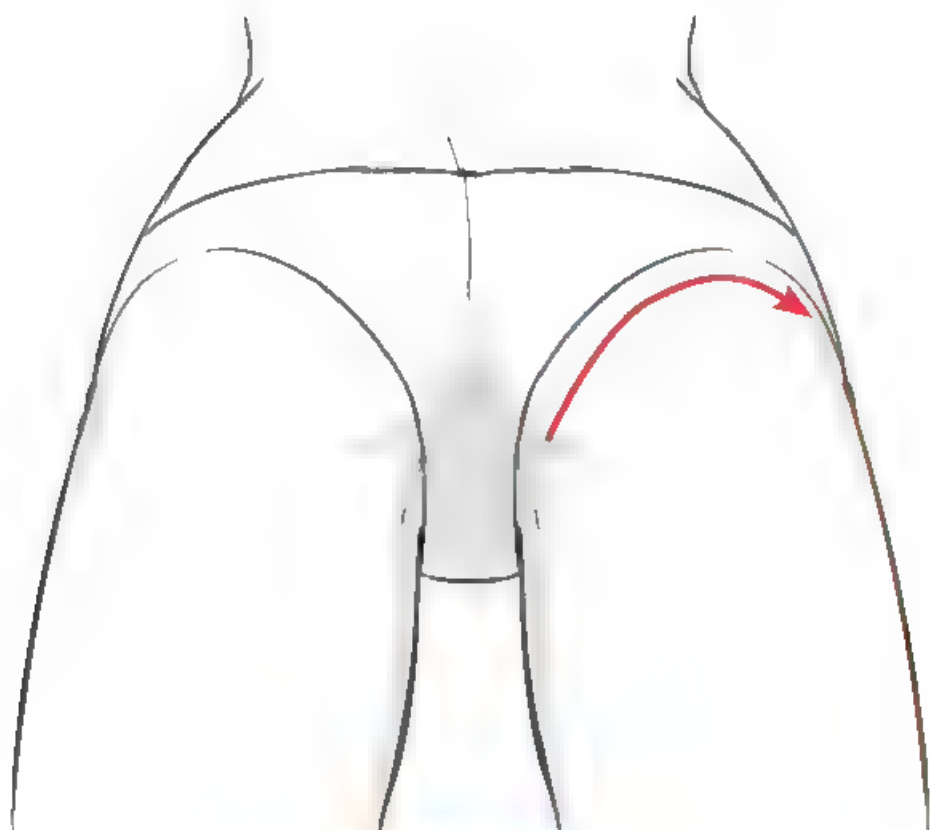
正面 前屈みになることで、見えない部分ができます。ショーツの形だけを見ると複雑ですが、体に密着している布であることを意識すると描きやすくなるでしょう。

横 脚のつけ根が上がることでサイドの見える範囲が狭くなり、細く見えます。

バック 四つん這いになった体勢を後ろから見たところです。体のS字カーブにより、はき口が見えなくなります。脚のつけ根とお尻がつながっていることを意識しながら描きましょう。

ローアングル

ローアングル（アオリ）で見ると、ショーツの見え方も変わってきます。体に密着していることを意識しながら描きましょう。

正面

通常の立ち姿のときよりウエストの曲線は強くなります。下腹部のふくらみを意識してゆるやかに描きましょう。サイドはバックへのまわり込みも意識します。

横

横向きの場合、脚ぐりが大きく見えます。腰骨の位置が一番高くなるようにし、鼠蹊部からバックまでつなげましょう。

バック

お尻を包み込むというより、脚のつけ根から腰骨に向かって弧を描くようにつなげるイメージです。

パンチラ

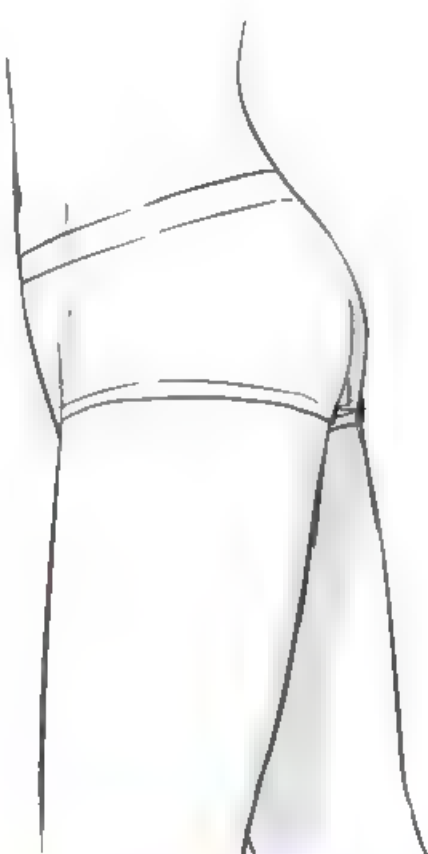
複雑に見えるパンチラも、素体を描いてからショーツを描き、服を着せるようにすると描きやすくなります。

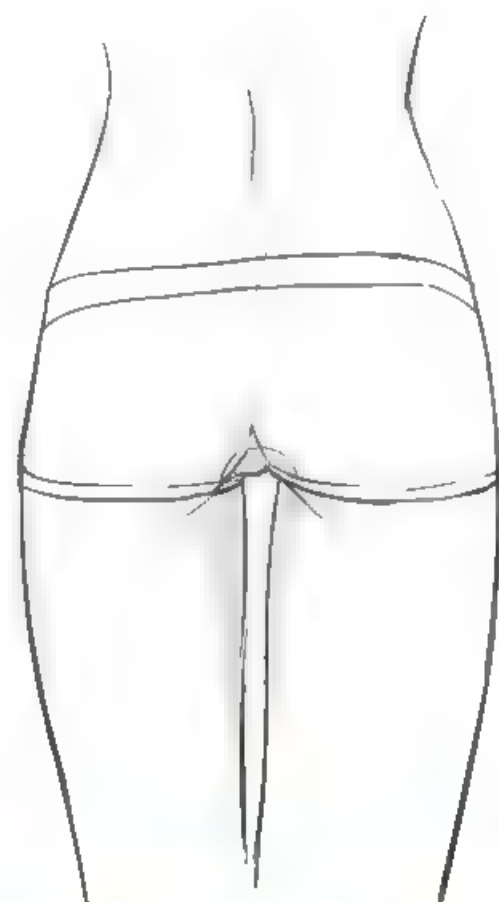
ボクサータイプ

脚ぐりの形がローレッグになっているボクサータイプは、丈を短く、体に密着するように描くことで女性らしくなります。

正面

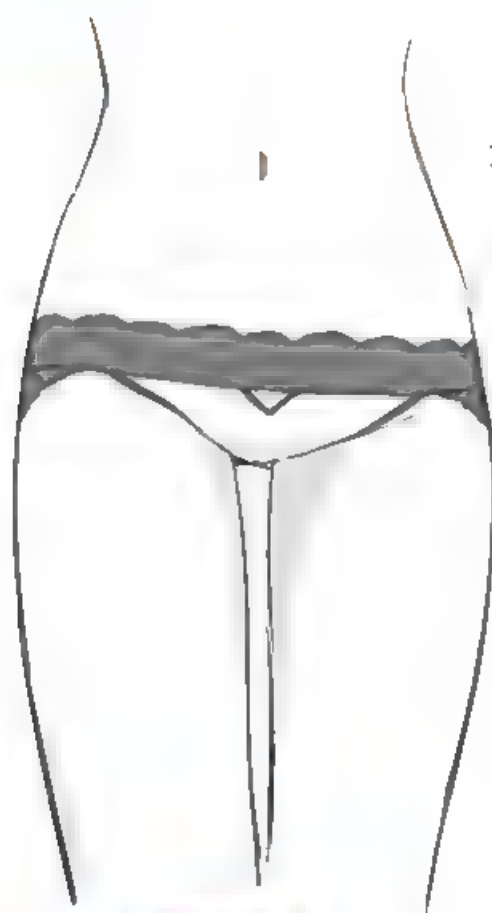
ウエストのライン、ゴムのライン、すそのラインすべてほぼ一直線ですが、少しだけS字の曲線になるように意識すると体にフィットして見えます。サイドや脚ぐりはまわり込みを意識しましょう。

横

脚の形を意識して少しだけシワを入れます。

バック

お尻の立体感が出るようにシワや影を描き込みます。クロッチ部分の縫い目などを入れるとショーツらしくなります。

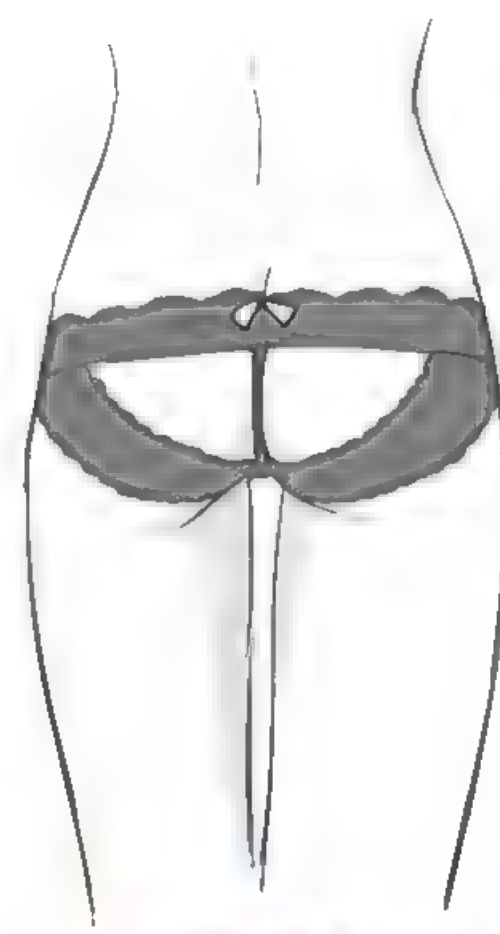
Oバック

バックに穴が開いておりお尻が見える形のＯバックショーツ。Ｔバックのようになっているデザインもあります。

正面

正面から見ると、通常のショーツと変わりはありません。Oバックのセクシーさを表現するため、エレガントなレースのショーツにしました。

横

フロントからバックへレースが続いています。

バック

レースの形でお尻の丸さを強調します。Tバックになっている部分はお尻の中心に食い込むように描きます。

ファンデーションを描く

体のラインを補整し、美しく見せてくれるファンデーション。ブラジャー以外のファンデーションの描き方をマスターしましょう。体に密着している部分、食い込んでいる部分、布の素材感などを意識して描くのがポイントです。

ボディスーツ

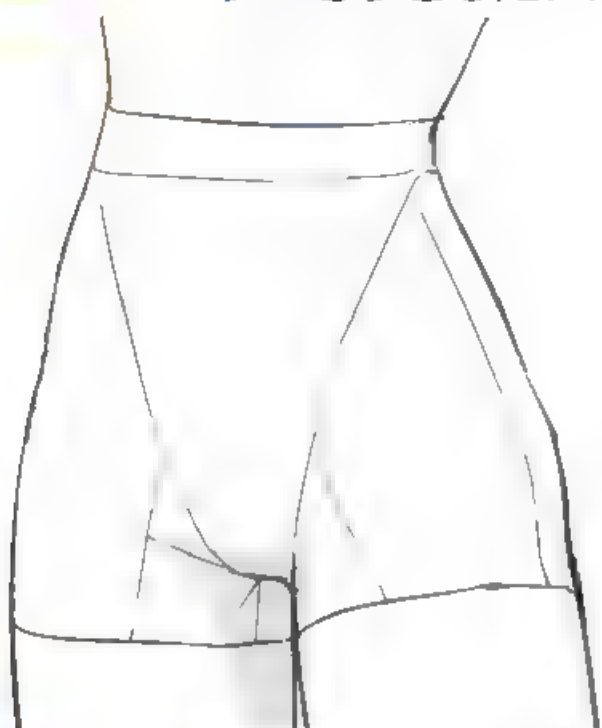
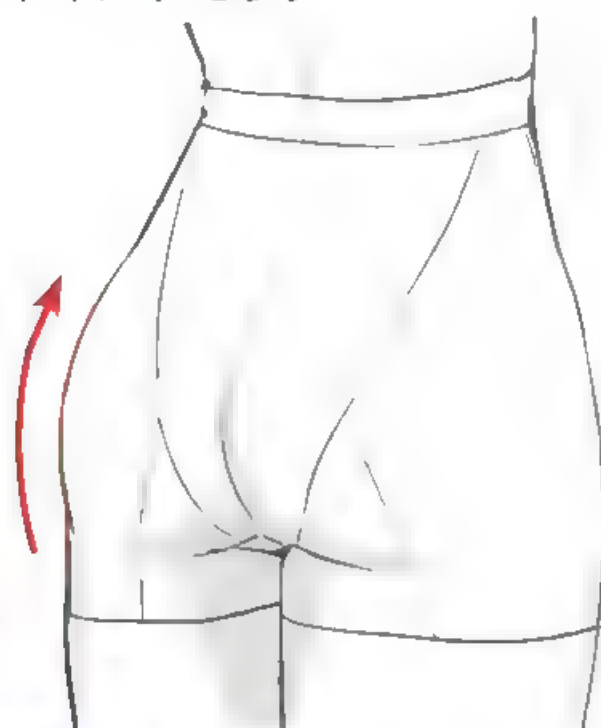
余っている肉などを内に収めて体のラインを強力に補整してくれるボディスーツ。固めの素材なのでシワができにくく、体にぴったりと密着するのが特徴です。

胸のボリューム、ウエストのくびれなどを意識してスタイルよく描きましょう。縫い目を描き込むとボディスーツらしくなります。

背中やお尻にもぴったりと沿っています。お尻に少し食い込むようにすると補整されている感じが出ます。

ガードル

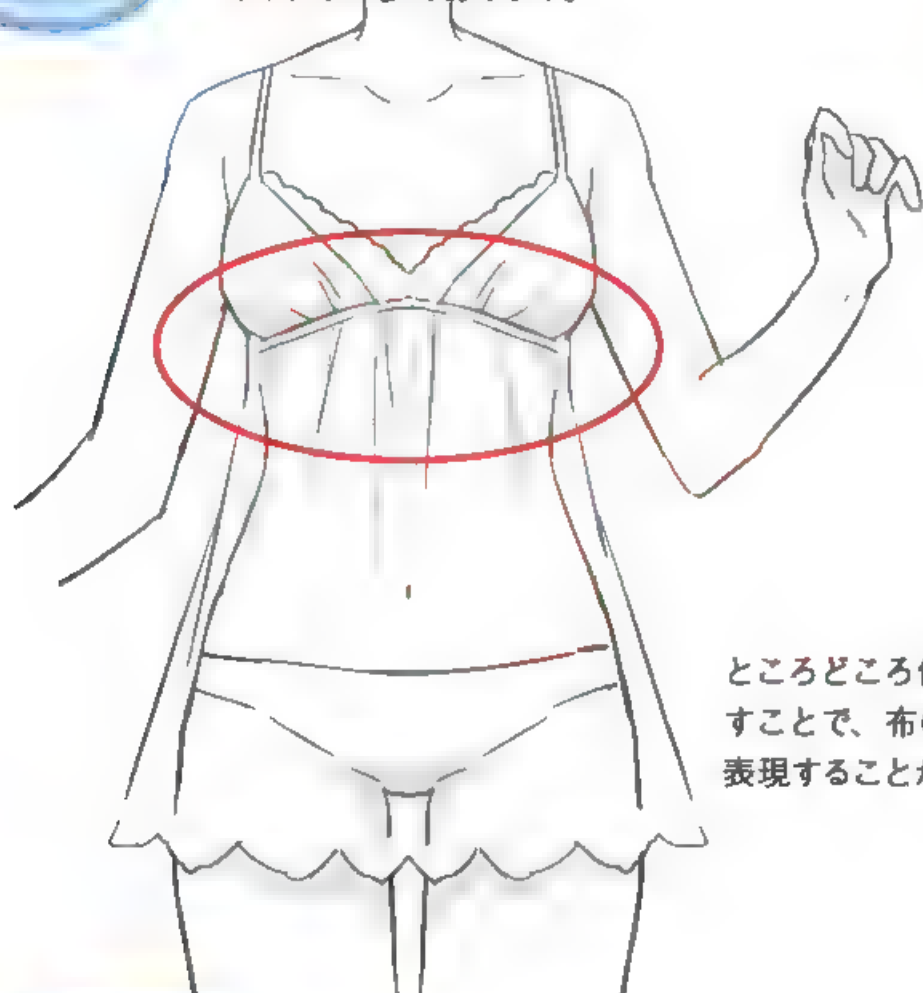
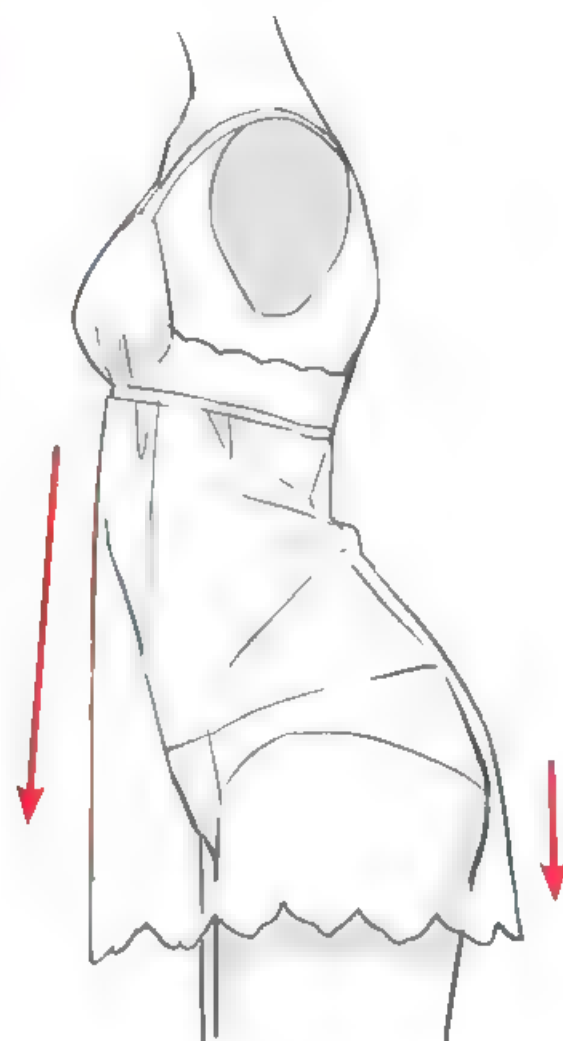
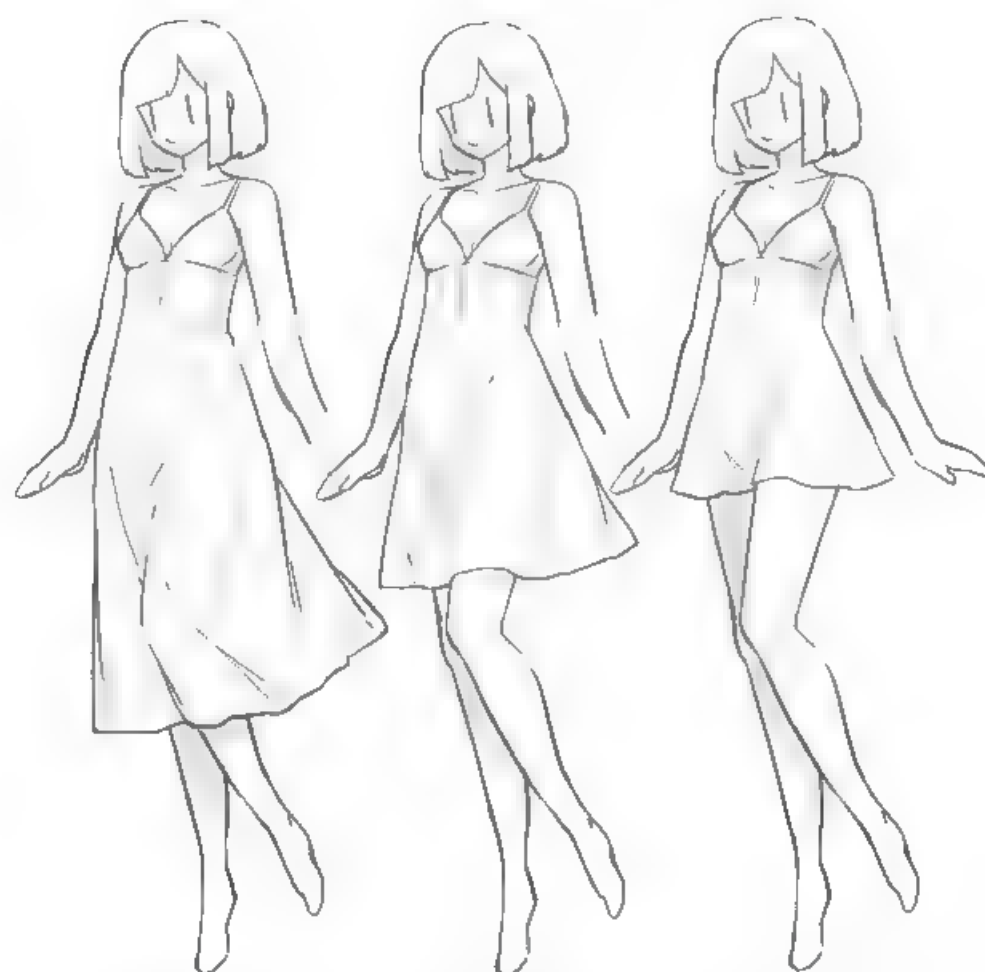
下腹部からお尻、太ももにかけてのラインを補整してくれるガードル。すっきりとしたシルエットに仕上げるのがポイントです。

正面

下腹部が締め付けられているため平らに近くなります。

お尻の肉が持ち上げられています。少し食い込むようにすると補整されている感じが出ます。

ランジェリーを描く

レースやフリルなどの装飾を多用したランジェリーは女性らしさを引き出してくれるアイテムです。繊細な模様ややわらかな素材のものが多いので、透け感やシワの入り方を意識してリアルに表現できるよう心がけましょう。

スリップ

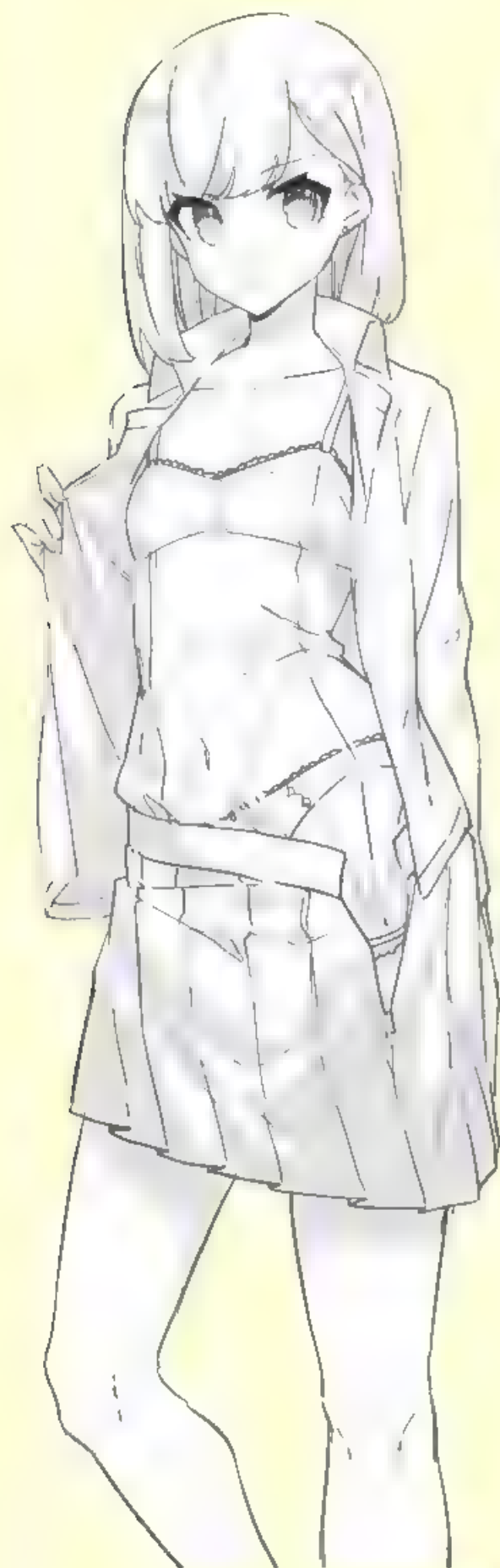
上に着るアウターの滑りをよくする役割のあるスリップは、やわらかな素材感とシワの入り方がポイントです。

スリップの丈にはさまざまな種類があります。アウターや描きたいシーンによって使い分けましょう。

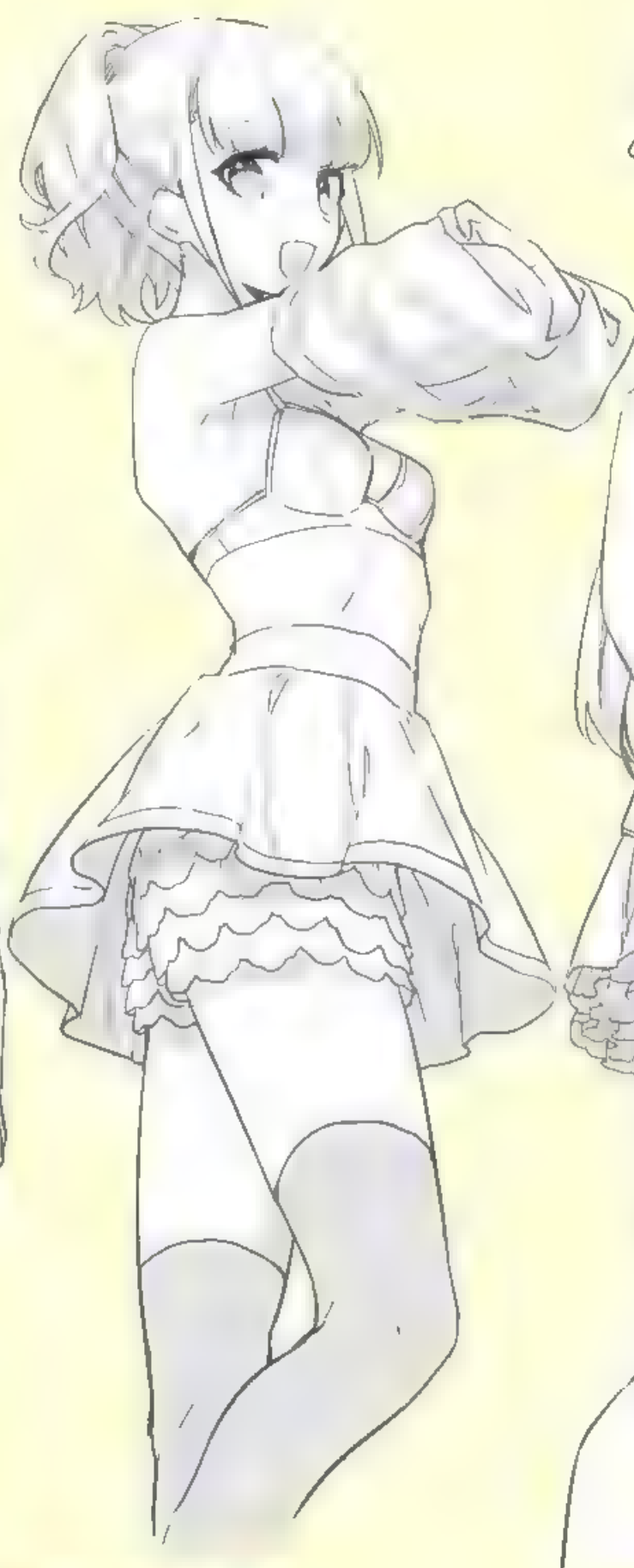
COLUMN

スカートの下に何を着る!?

スカートの下に何を着せるかは、キャラクターの個性を演出する大切なポイントです。スリップ、ペチコート、パニエそれぞれのイメージを見ていきましょう。

スリップ

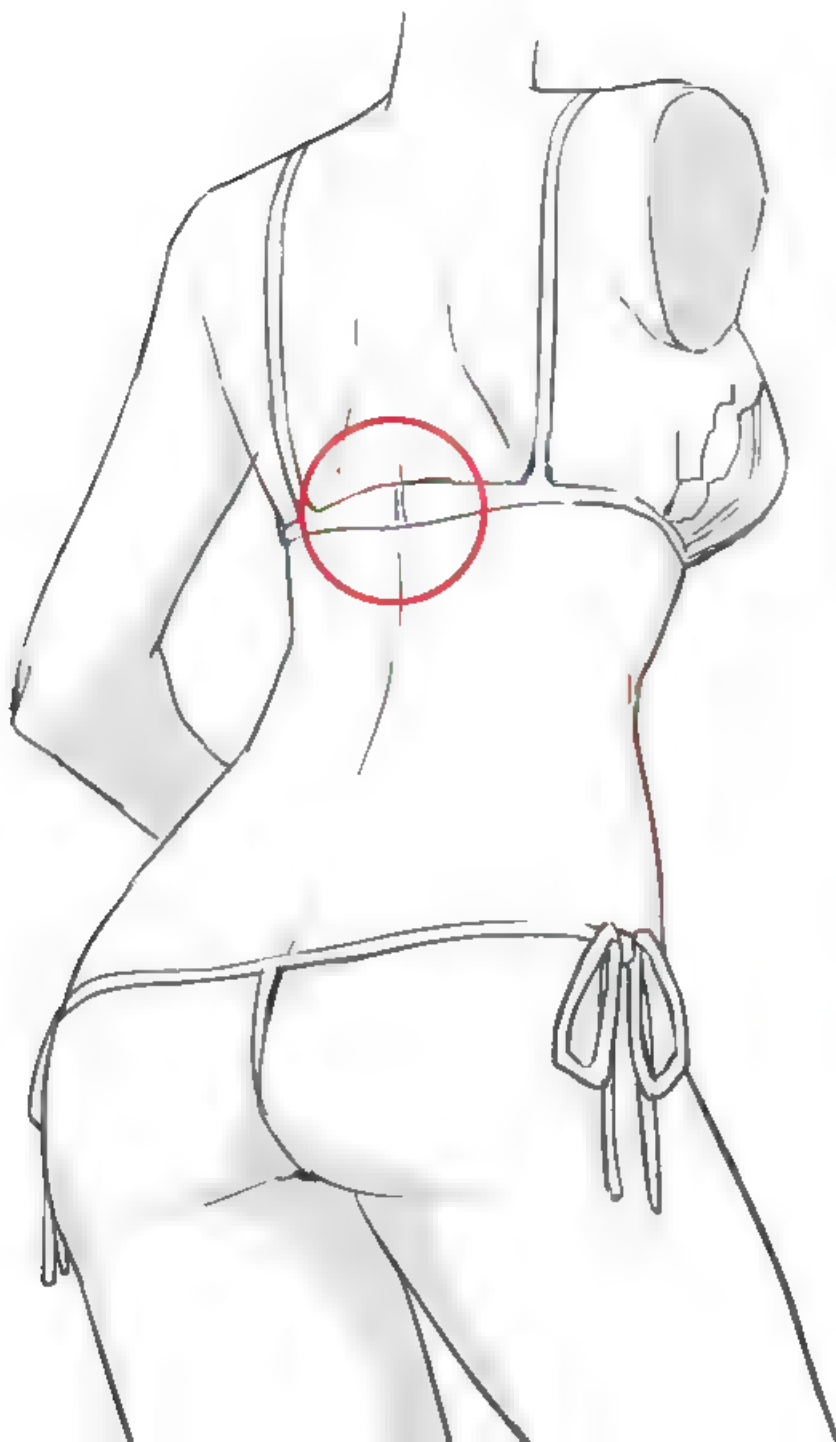
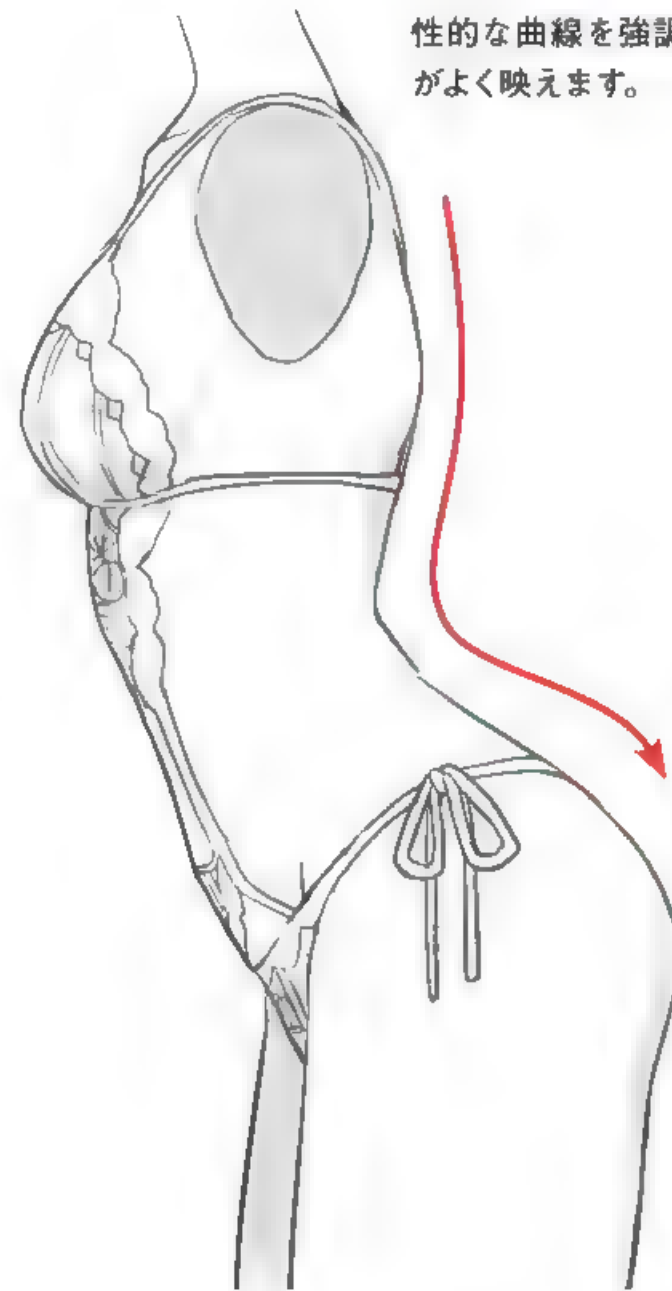
きちんとした女性のイメージ。かっちりしたシャツやスカートを脱いだときに現れるやわらかいスリップがギャップを生み出します。

パニエ

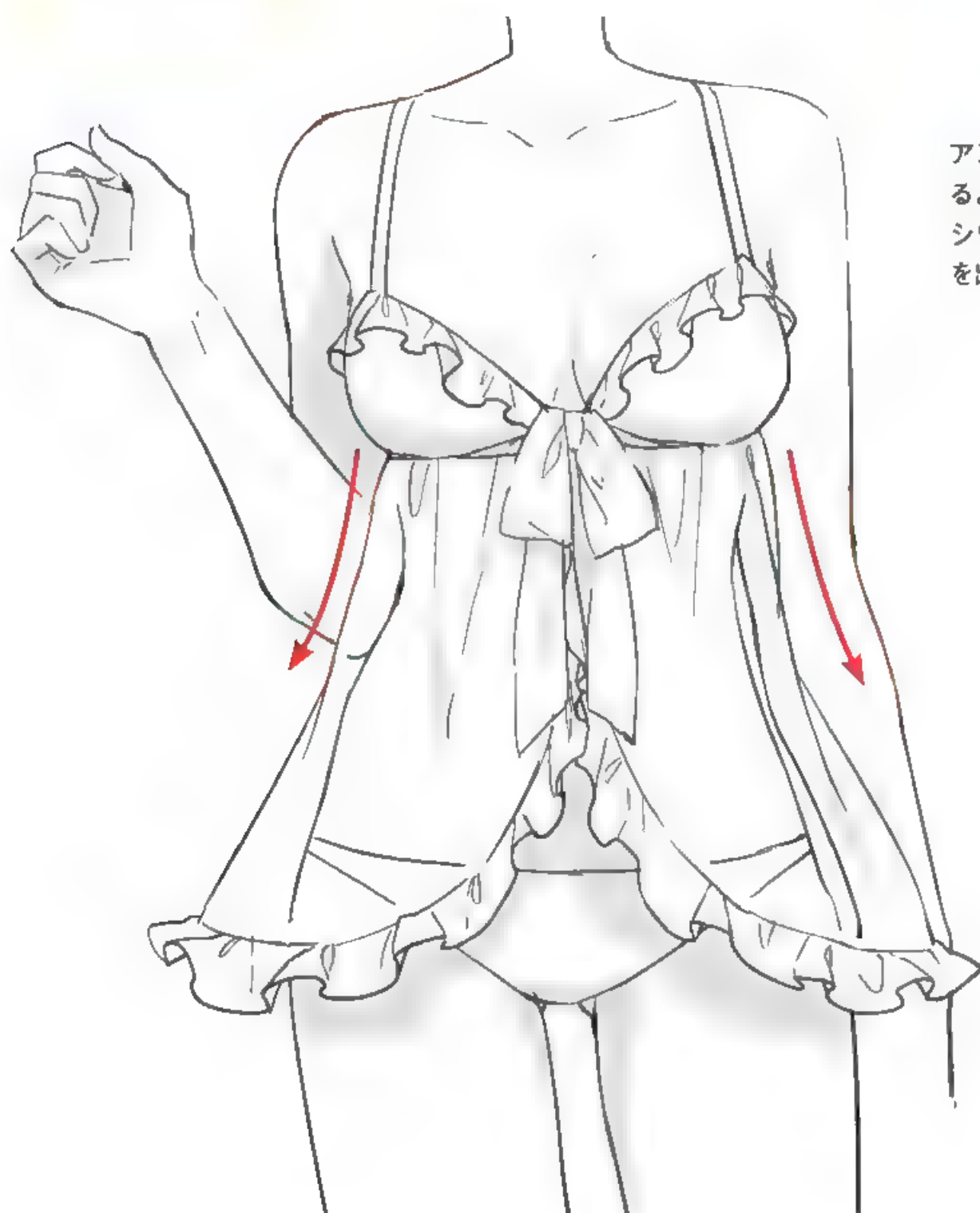
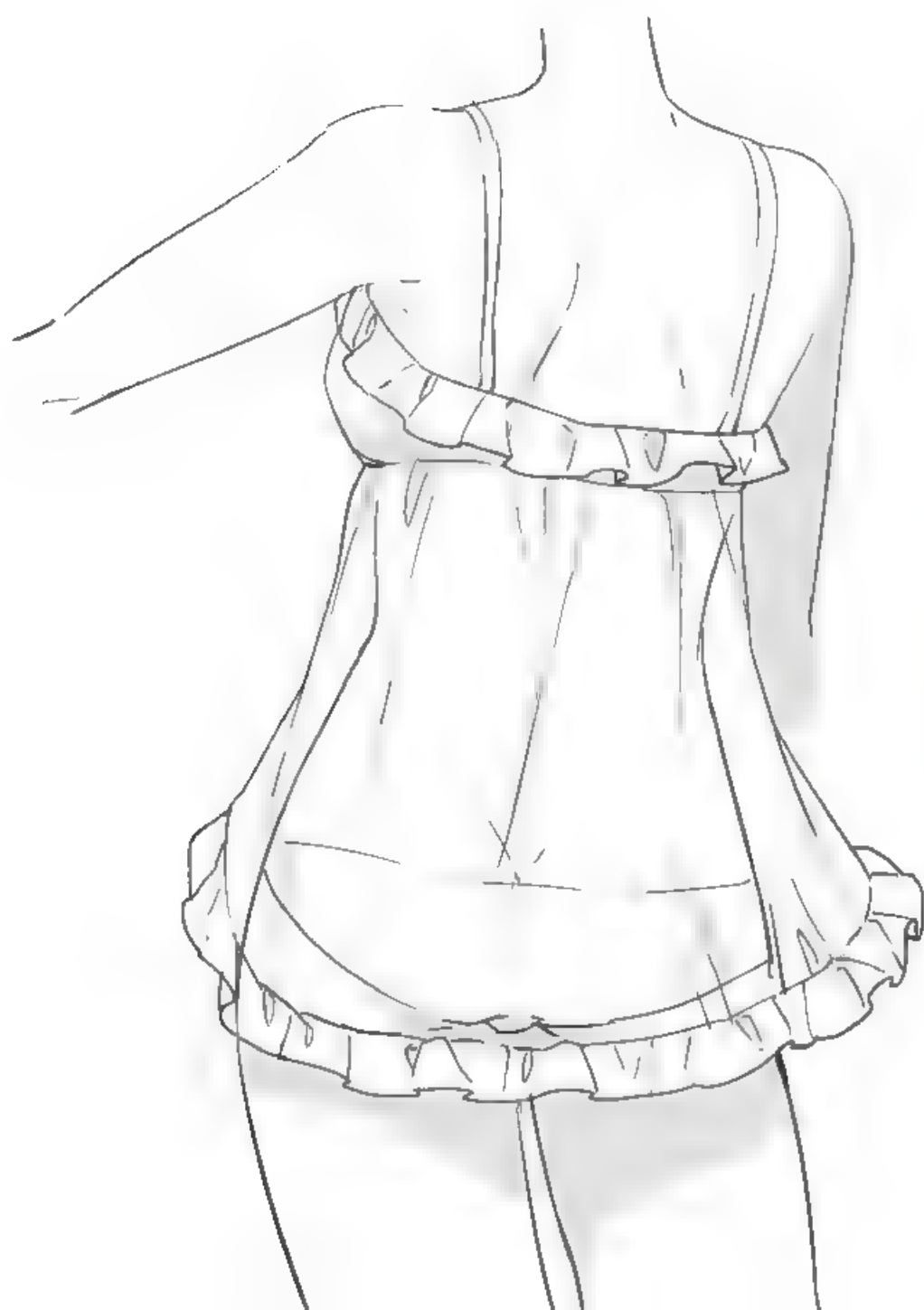
スカートのボリュームを出すためにはくパニエ。フリルの多いデザインのものが多く、ロマンチックでラブリーな印象になります。

ペチコート

ショーツが見えないようスカートの下にはくペチコート。キュロット型なら明るく活発なイメージになります。

P.37 ペチコート・キュロットペチコート・パニエの違い

テディ

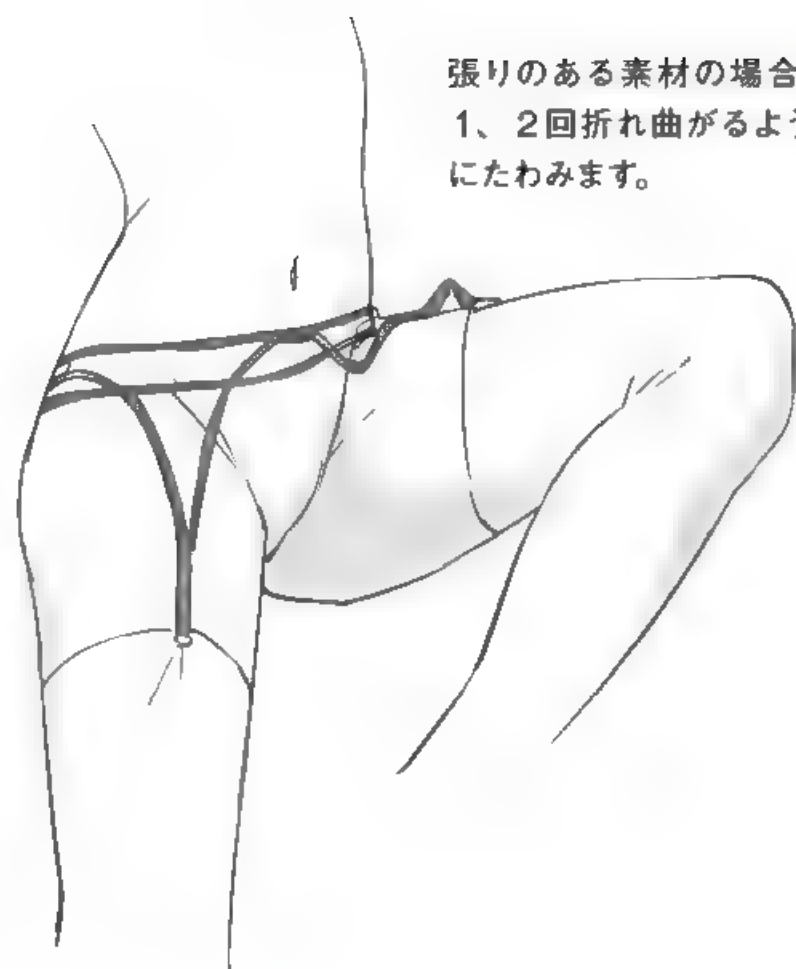
近年、セクシーランジェリーとして着られることが多いテディは、体に密着するものではなく補整力はありません。レースの繊細さやひも部分の華奢さを表現することが大切です。

ベビードール

かわいらしさやセクシーさを重視したベビードール。素材のやわらかな質感や透け感を表現しましょう。

ガーターベルト

太ももまでの長さのストッキングを吊るためのガーターベルト。その構造を理解して描くことが大切です。

ソックスガーター

ガーターベルトのように腰に着けるのではなく、太ももやひざ下に着けてソックスを吊るものをソックスガーターといいます。ベルトのようになっており、着ける位置はソックスの長さにより変わります。現在では、アクセサリー感覚で着ける女性もいます。

素材にもよりますが、体を曲げるとひも部分がたわみます。

張りのある素材の場合、1、2回折れ曲がるようにたわみます。

COLUMN

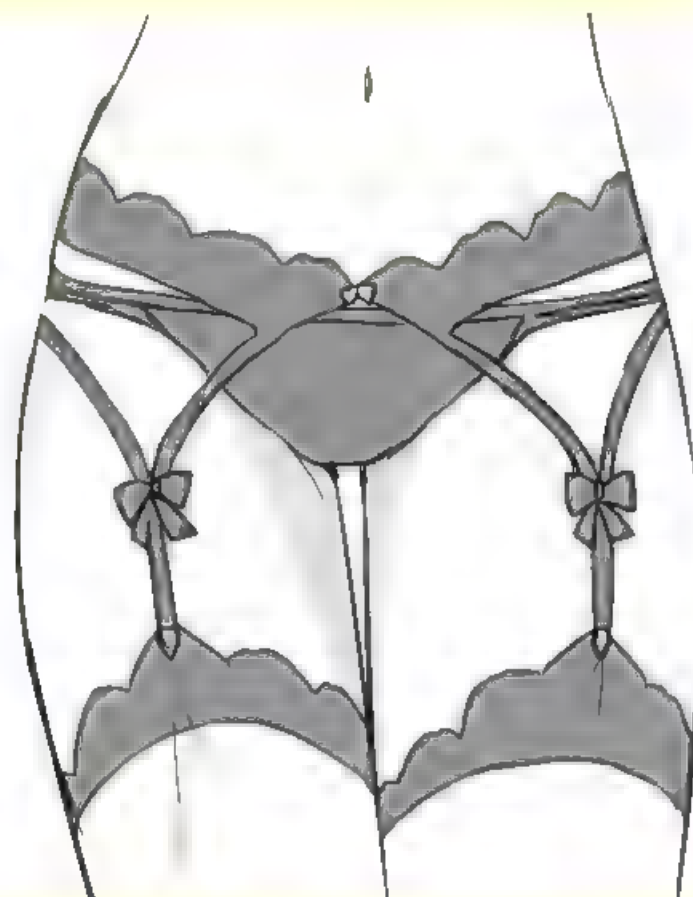
ガーターベルトのはき方

ガーターベルトのはき方には2通りあります。実用面を重視するか、デザイン性を重視するかによって描き分けましょう。

ベルトが下

ガーターベルトをはずさなくてもショーツが下ろせるので実用的です。一般的にはこちらのはき方が多いようです。

ベルトが上

ガーターベルトのデザインをしっかりと見せたい場合、ショーツの上にはくこともあります。

メンズアンダーウエアを描く

メンズアンダーウエアは、女性の下着と違って装飾が少なく、機能性を重視したものが多くなります。体にぴったりと沿う部分、ゆったりとしていてシワが寄る部分など、男性の体の構造と併せて理解しながら描き分けましょう。

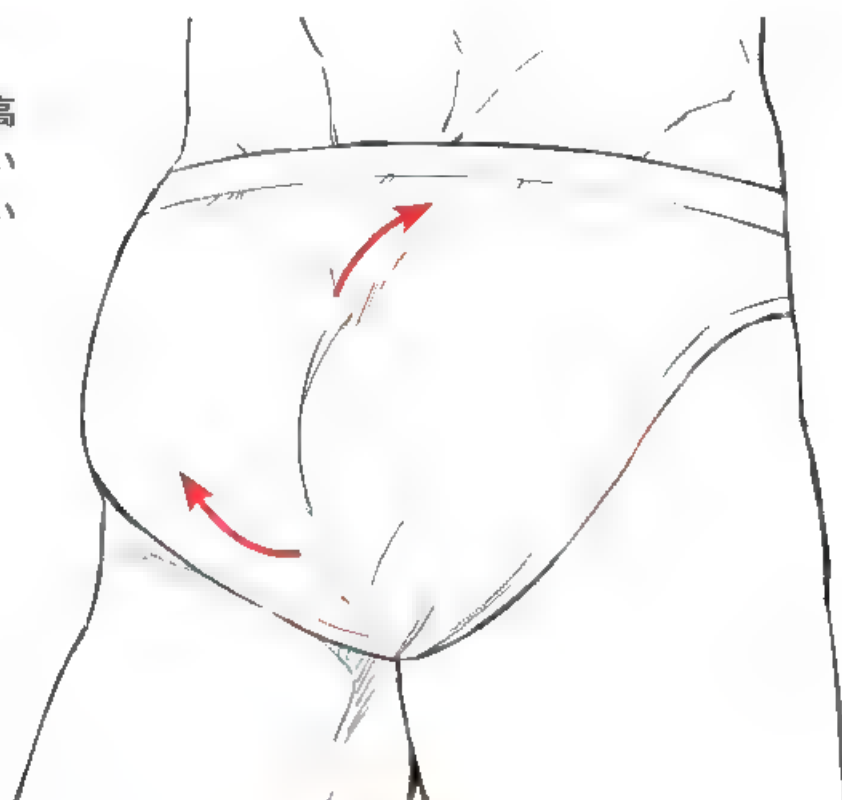
ブリーフ

女性のショーツのような形をしています。前窓の構造や縫い目の入り方などに注目してください。

ウエストの位置が高すぎると野暮ったい印象になってしまいます。

正面

脚ぐりやウエストは太めのゴムになっています。前窓部分をしっかり描きましょう。

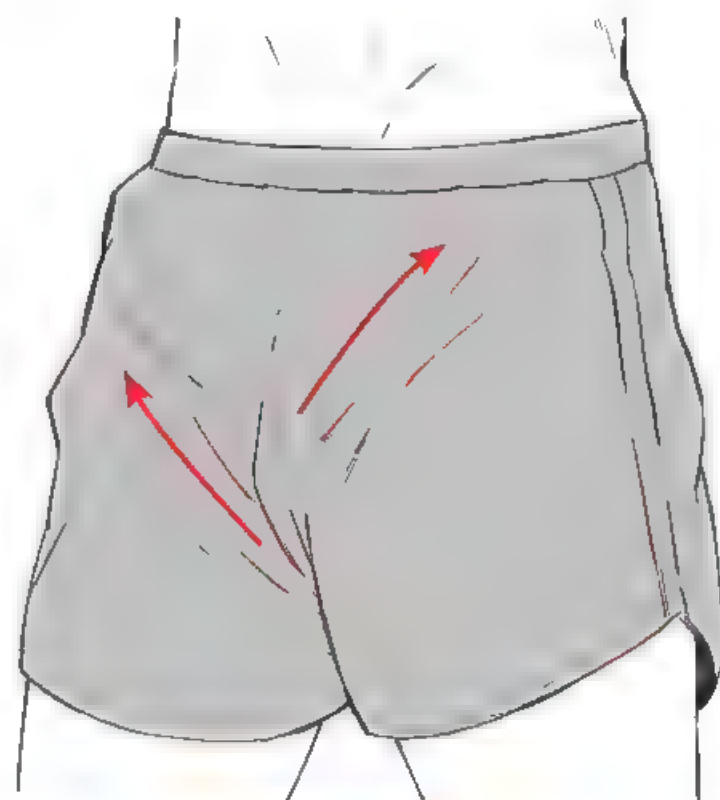
バック

バックは少しゆったりしたつくりになっています。お尻の形に沿ってシワを入れるとゆったり感を表現できます。

トランクス

全体に締め付け感がなく､ゆったりとしているのがトランクスの特徴です。シワの入り方に注意して描きましょう。

正面

ウエストまわりにたくさんシワが入ります。張りのある素材なので、直線的なシワになります。

バック

バックのシワも直線的になります。ブリーフと比べてお尻の丸みが出ないのが特徴です。

ボクサー

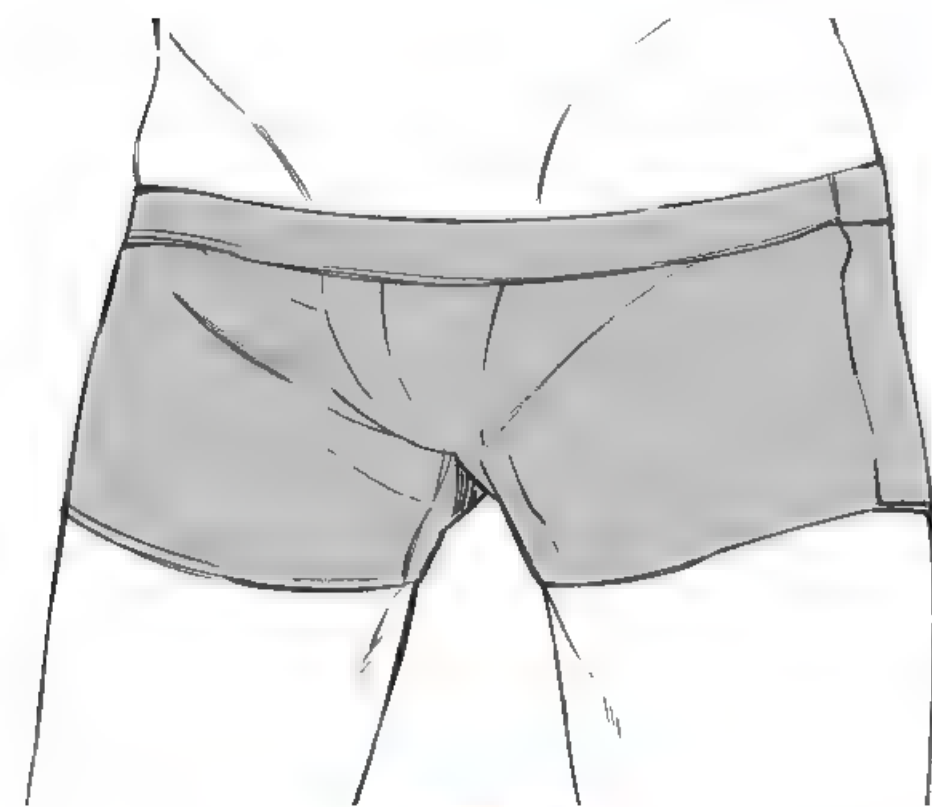
ストレッチの利いた素材で体にぴったりと沿うボクサー。体との密着感を表現するようにしましょう。

正面

体のラインに沿っています。股間部分にはシワが入ります。

バック

ブリーフよりぴったりとしているので、シワはやや少なめにしましょう。

ショート丈

丈が短いタイプもあります。シワの入り方は同様です。

ビキニ

男性のアンダーウエアには、ビキニタイプのものもあります。女性用のようにハイレグでサイドも細いのが特徴です。セクシーな印象になります。

男性がよく着るＴシャツやランニングの描き方のポイントを見ていきましょう。サイズ感を意識することが大切です。

脇の下には細かなシワが集まります。

正面にはあまりシワが入りませんが、タテのシワを入れると自然になります。

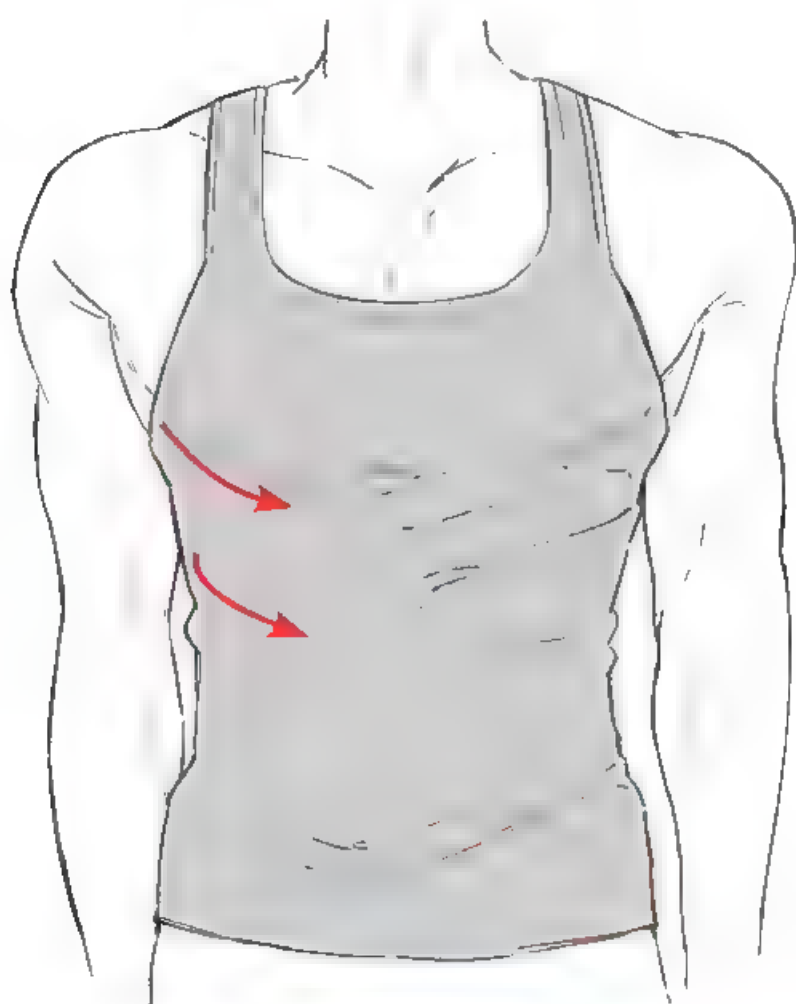
ゆったりしたサイズの場合、すそのほうに布がたまりシワができます。ぴったりしている場合は、シワはほとんどできません。

Tシャツ

脇の下など、布が集まる部分に細かなシワがたくさんできます。すそのほうは布がたまって横にシワが入るイメージです。

Vネック

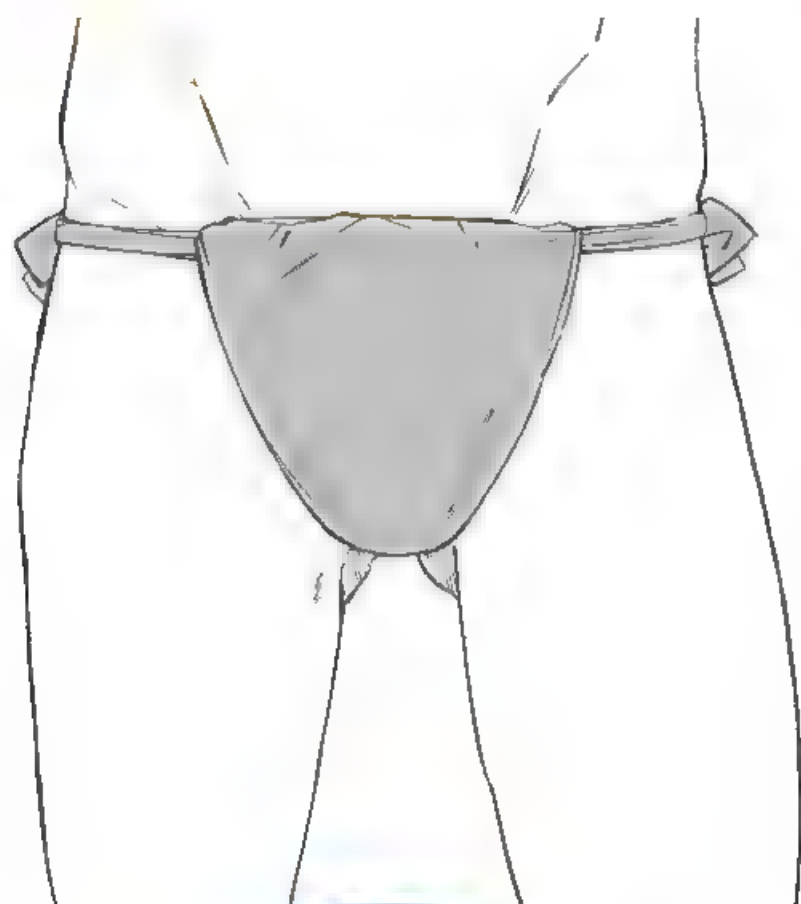
V字に開いた首元は、V字に沿って縫い目を描くとTシャツらしさが出ます。

ランニング

首元とそでが大きく開いています。脇の下から胸に向かって横にシワを入れると、ぴったりとしたサイズ感を表現できます。

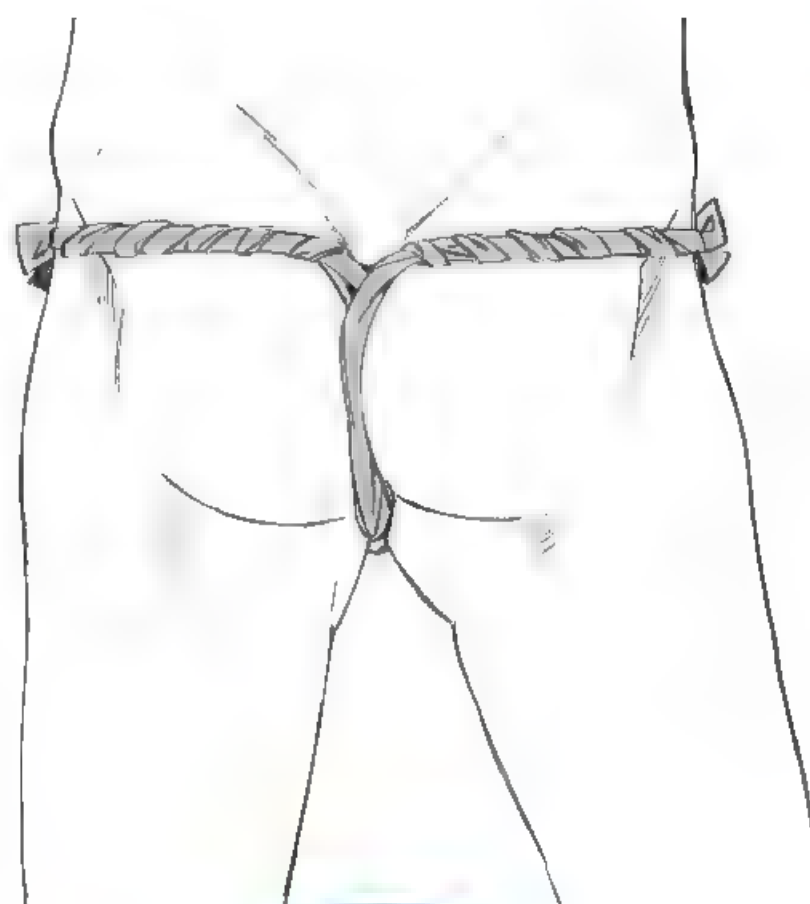
だぶだぶ

サイズが大きいシャツの場合、体のラインが出ません。大きなシワが入るのが特徴です。

ふんどし

ふんどしは股間部分の布をキュッと寄せるのでシワが寄ります。構造を理解して描きましょう。

正面

骨盤のあたりにひもがくるようにします。三角形のフロント部分にはあまりシワが入りません。

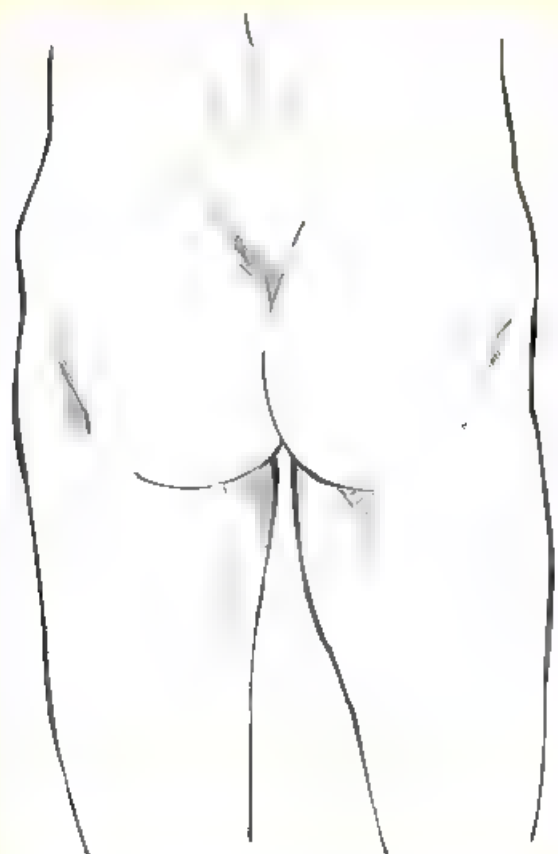
バック

ねじったひもがお尻に食い込んでいます。

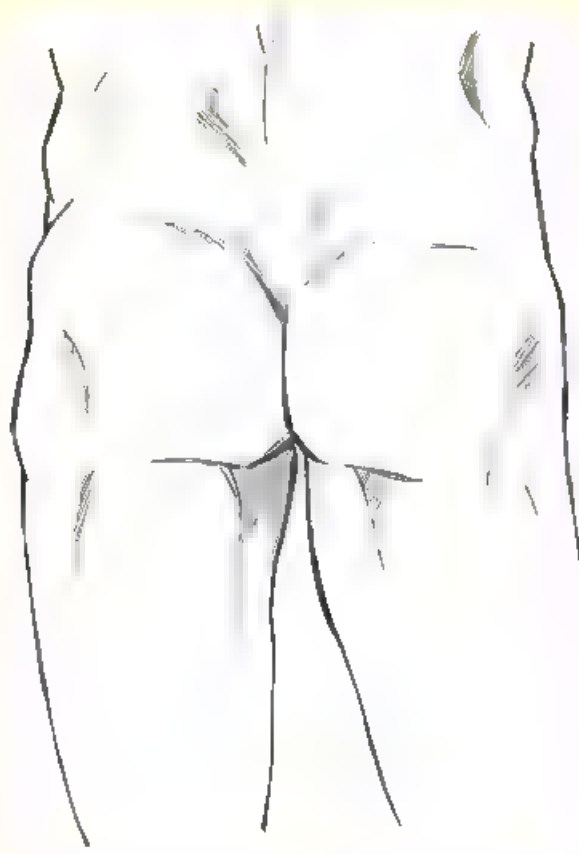
COLUMN

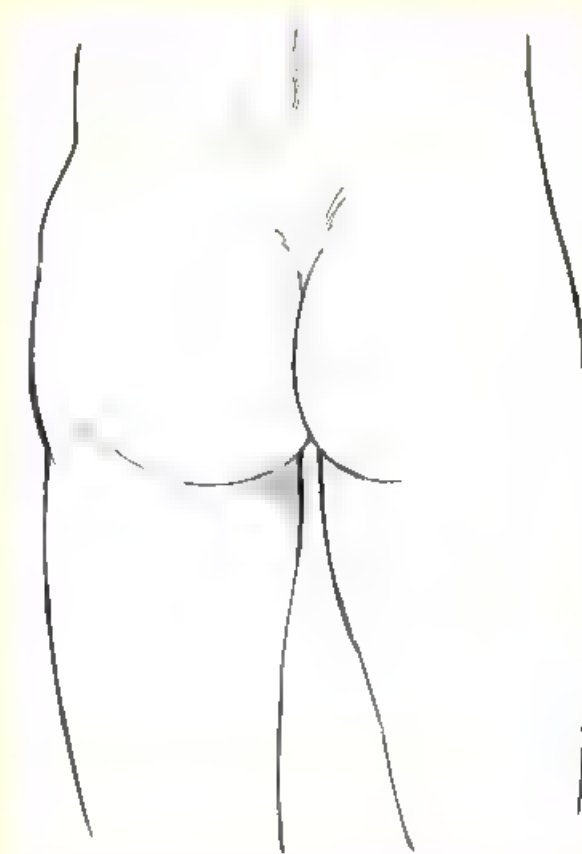
男性のお尻の描き方のコツ

男性のお尻の形も体型によりさまざまです。キャラクターのイメージに合ったお尻が描けるようにしておきましょう。

標準

ほどよく筋肉を描きましょう。骨盤など骨張っている部分をつくることで男性らしくなります。

筋肉質

筋肉のラインをよりはっきりと描きましょう。全体にゴツゴツしたイメージです。

ぽっちゃり

骨や筋肉のラインをあまり出さず、お尻のやわらかさを残すイメージです。

下着の柄を描く

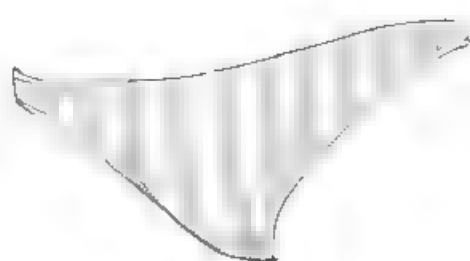
シンプルなもの、レース、フリル、プリントなど、下着にはさまざまなデザインがあります。下着のデザインはキャラクターの魅力を印象づける大切な要素。理想通りのデザインが描けるよう練習しておきましょう。

シンプル系

一部に装飾が施されていたり、すっきりとした柄が入っているシンプル系の下着です。

刺繍系

世代を問わず、幅広いキャラクターに似合うシンプルな刺しゅうの下着です。全体に刺しゅうを入れるとゴージャスになりすぎてしまうので、一部に入れるだけで充分です。

ストライプの下着は、フリフリ系のガーリーな下着が似合わないボーイッシュなキャラクターにぴったりです。色やラインの数によって大きく印象が変わります。

フリル系

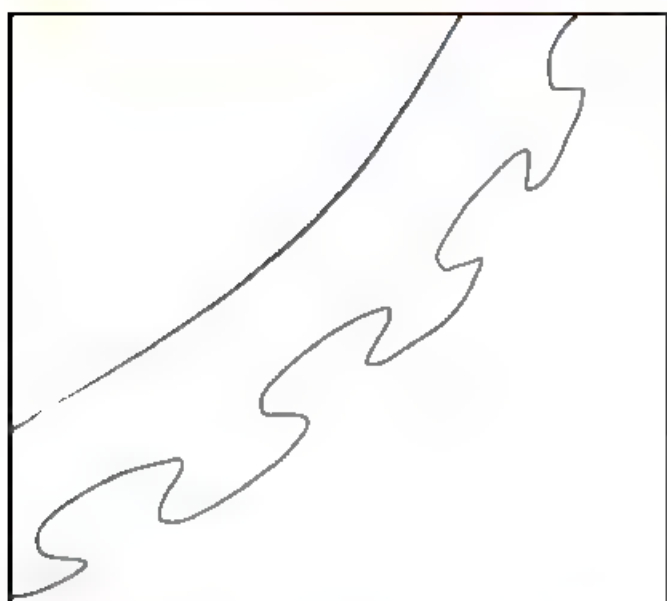
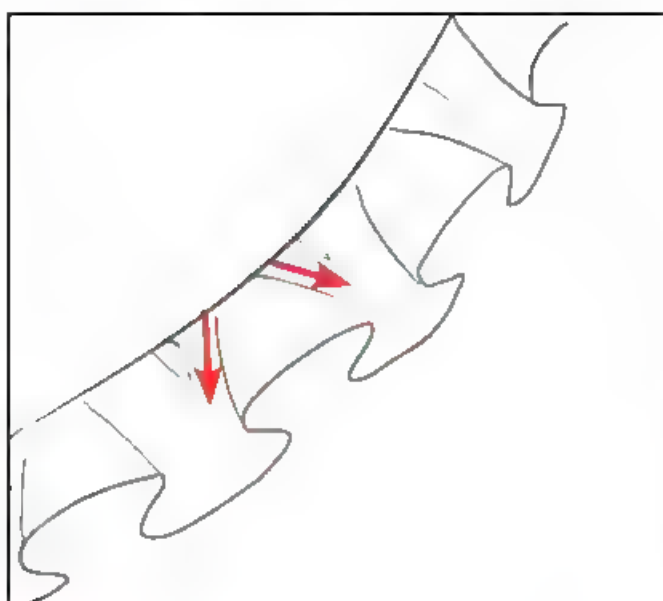
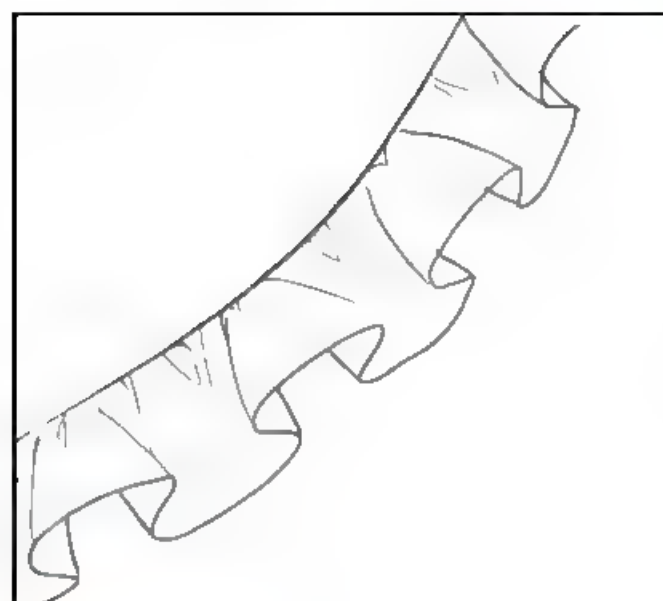
女の子らしいフリルの下着です。フリルの幅や量、その他の要素との組み合わせでさまざまなデザインをつくることができます。

ポイントフリル

ストライプやドットなど、別の要素とフリルを部分的に組み合わせるデザインも実際に多く見られます。

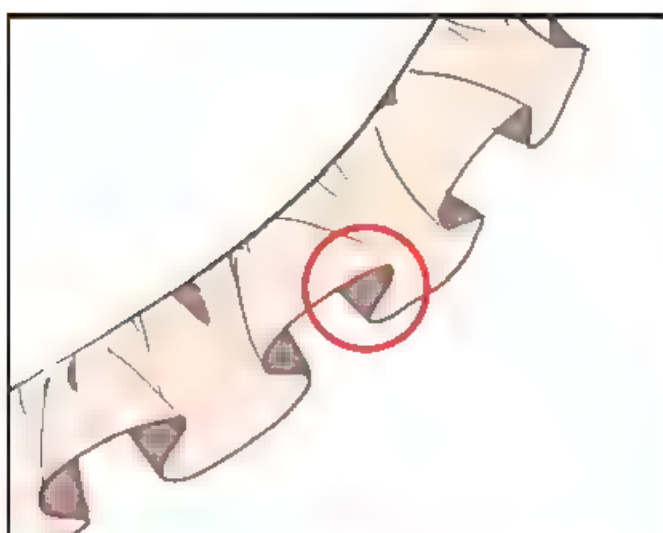
フリルが多いとラブリーな印象に。パステルカラーが似合います。

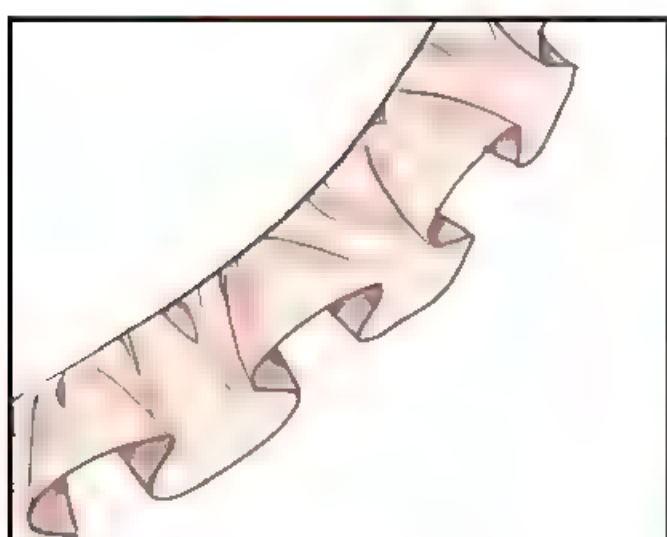
フリルの描き方

フリルの描き方を見ていきましょう。複雑に見えますが、アウトラインから描くとわかりやすくなります。

STEP 1 フリルのアウトラインを描きます。だいたい均等になるように波形の凹凸をつけていきましょう。

STEP 2 台形を描くイメージで、STEP1でつくった波に向かって線を入れます。台形と台形の間にシワを足しましょう。

STEP 3 さらにシワを足し、台形の下にフリルの裏側が見えている部分を描いて立体感を出します。

フリルの塗り方

フリルの線画が描けたら、色を塗ってみましょう。色を塗ることで、より立体感が増します。

STEP 1 ベースの色で全体の下塗りをします。

STEP 2 フリルの裏側にあたる部分に、影となる色を塗ります。

STEP 3 フリルのまわり込み部分にも軽く影をつけます。狭い範囲の場合はこれだけでも充分です。

STEP 4 さらに細かく影を入れていきます。

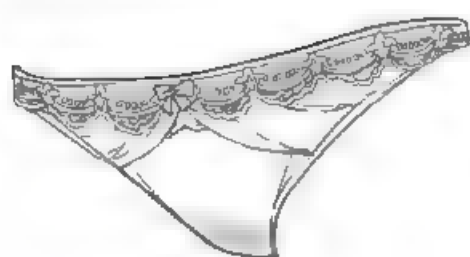
STEP 5 薄い色でぼかしたり、高くなっている位置にハイライトを入れたら完成です。

同様の描き方で、ブラジャーのストラップやショーツのウエストなどのフリルを描くことができます。

レース系

フリルと同様に下着によく使われるのがレースです。その模様や配置にも多様なデザインがあります。

カップ全体を覆うレースや、部分的に使われているレースなどさまざまです。

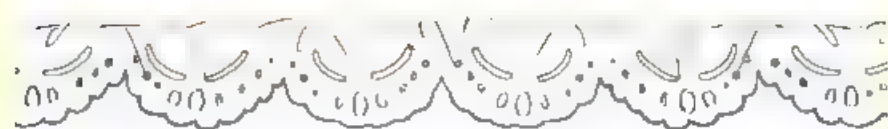
全体がレースでつくられているものもあります。透け感があるのでセクシーな印象です。勝負下着の表現などにおすすめです。

COLUMN

下着の高級感

下着のデザインや色によって、高級感を表現することができます。お嬢様キャラや年上キャラを描く際などに取り入れてみてください。

レースによる高級感

安価なレースはシンプルな模様の繰り返しが多くなりますが、高価なレースにはより複雑で繊細なデザインが用いられます。

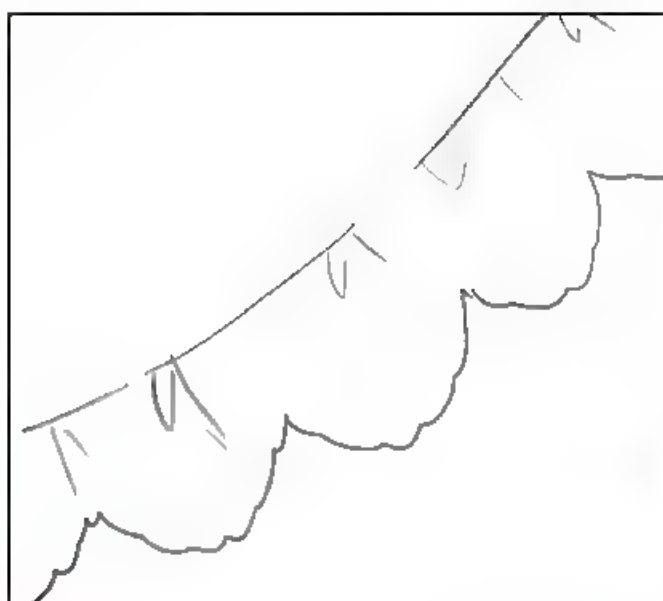
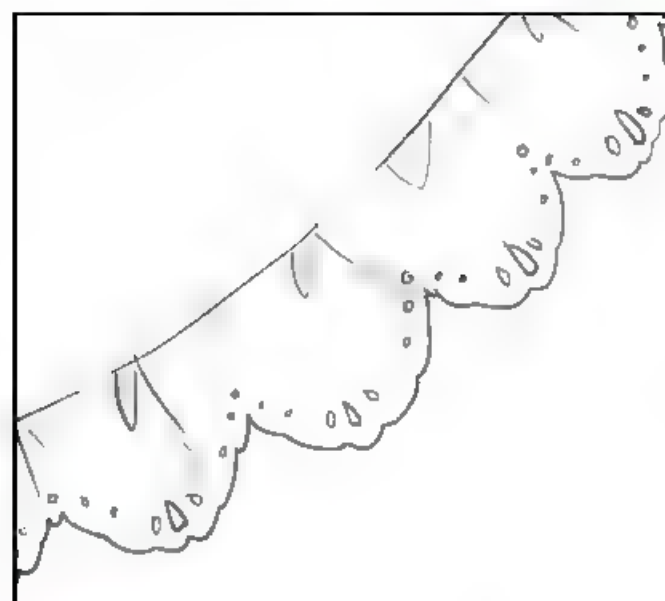
安価なレース

高価なレース

色による高級感

実際は色による値段の違いはありませんが、パステル系の淡い色より、ブラック、パープル、ボルドーなど濃い色のほうが高級に見えます。

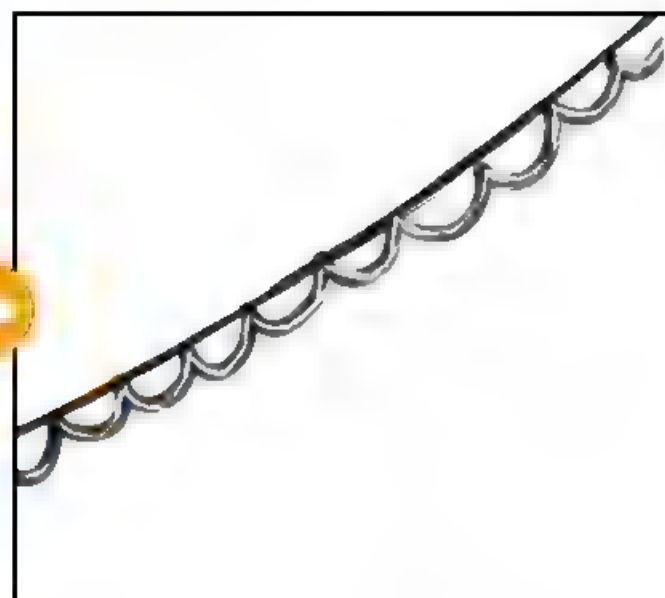
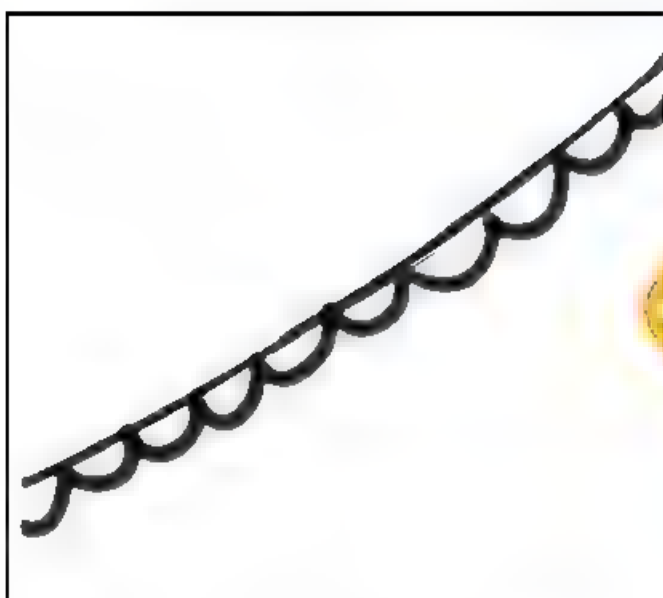
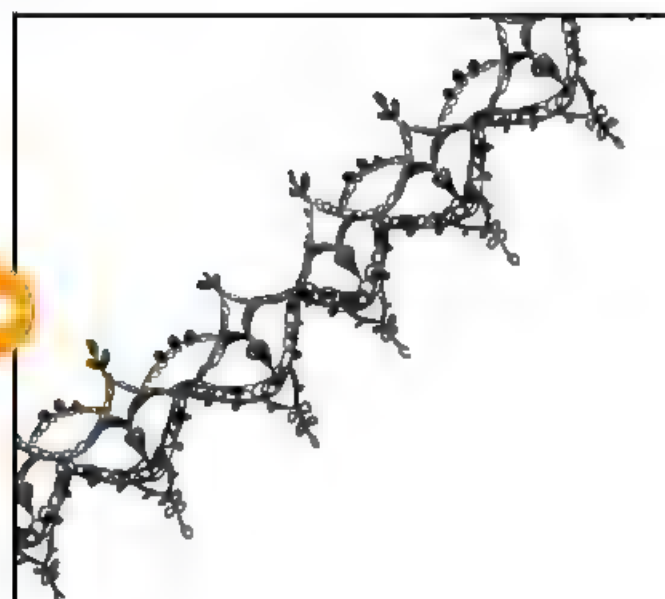
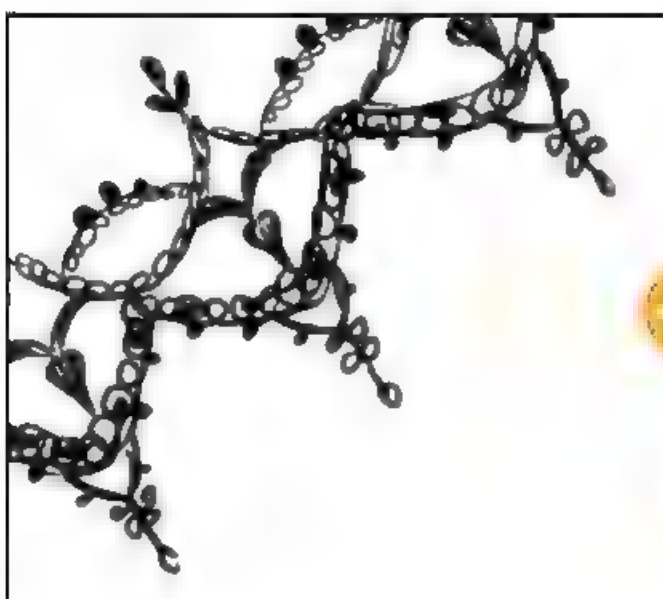
レースの描き方

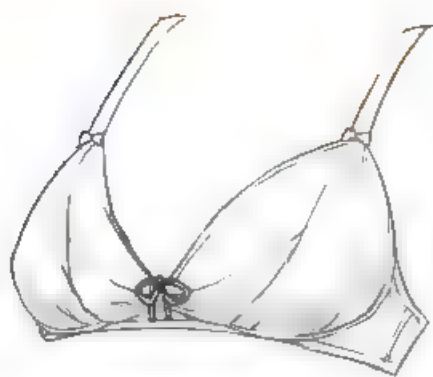
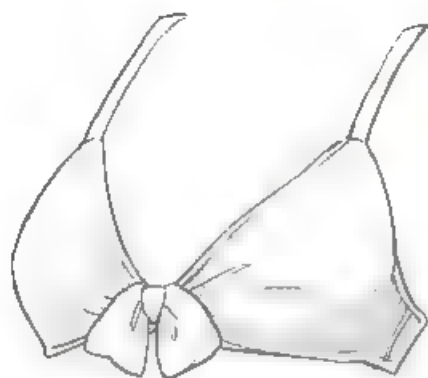
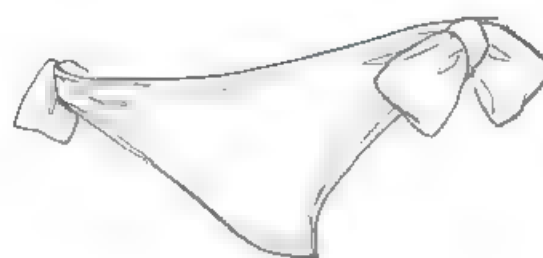
レースの描き方を見ていきましょう。同じパターンを並べるだけでレースらしくなります。

STEP 1 レースのアウトラインを描きます。山の形を連続して描くだけでもOKです。

STEP 2 山になっていないほうにシワを描き立体感を出します。大きさがバラバラになるように描くのがポイントです。

STEP 3 細長い丸を角度をつけて並べていくとレースらしくなります。

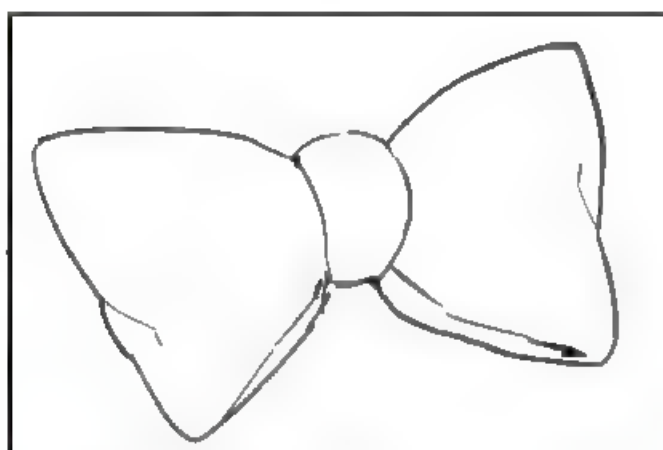
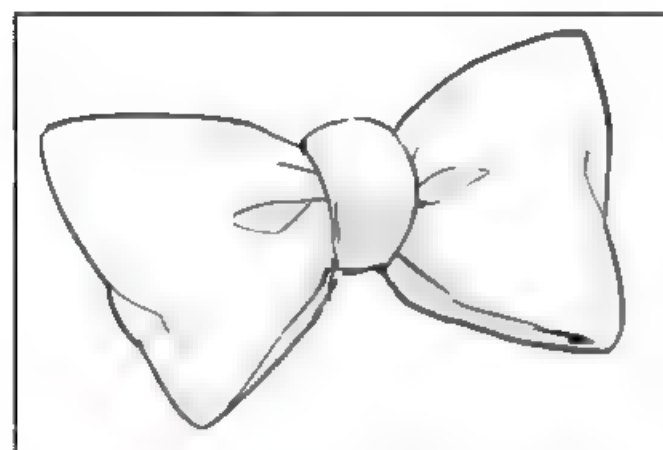
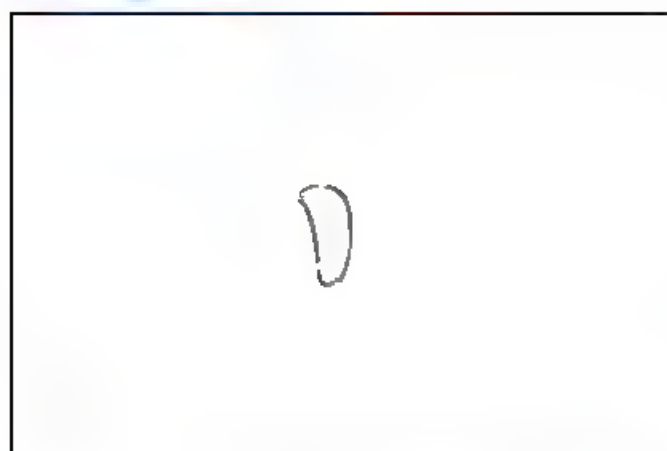
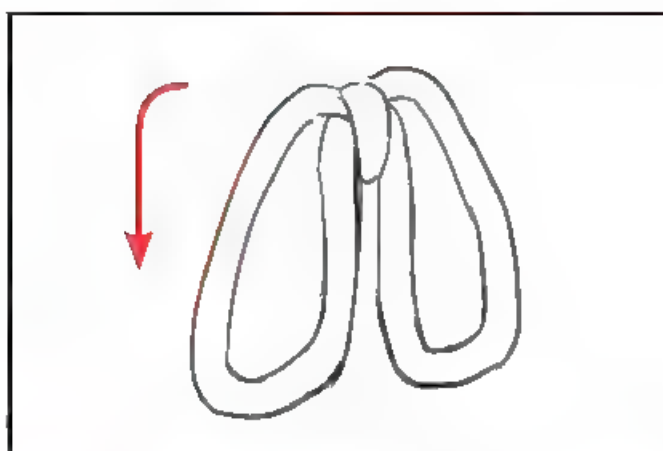
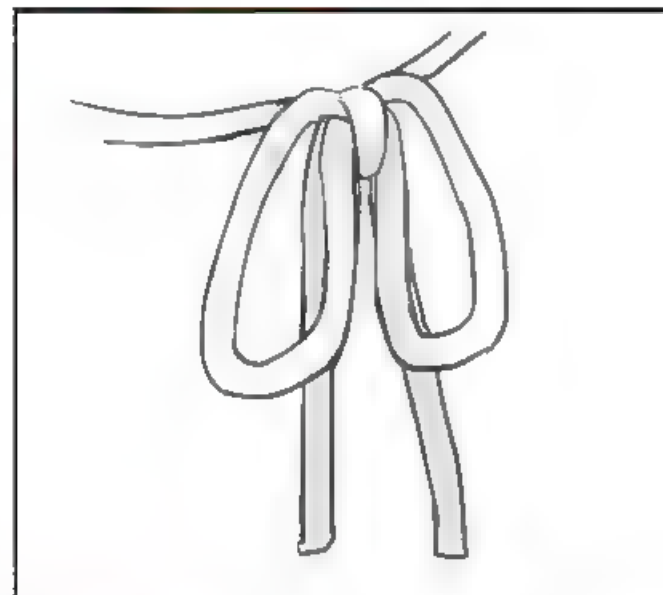
レースの略し方

より複雑なレースを簡単に描く方法をマスターしましょう。緻密に描かなくてもレース模様になります。

太い線を描き、その上から白でなぞるだけでもレースに見えます。

グルグルと適当に模様を描いても、縮小すればレースっぽく見えます。セクシー系のランジェリーなどにぴったりです。

リボン系

リボンはシンプルな下着からゴージャスな下着までさまざまなデザインに多用されます。

ブラジャーやショーツの中心に小さなリボンをあしらったものです。シンプルな下着にさりげなくかわいさをプラスできます。

大きなリボンをあしらった、リボンがメインのデザインです。下着だけでなく、水着にも用いることができます。

リボンの描き方

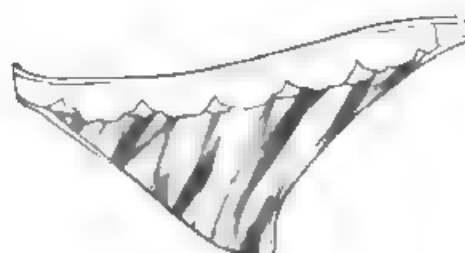
基本のリボンやひもリボンを描いてみましょう。パーツごとに分けて考えると描きやすくなります。

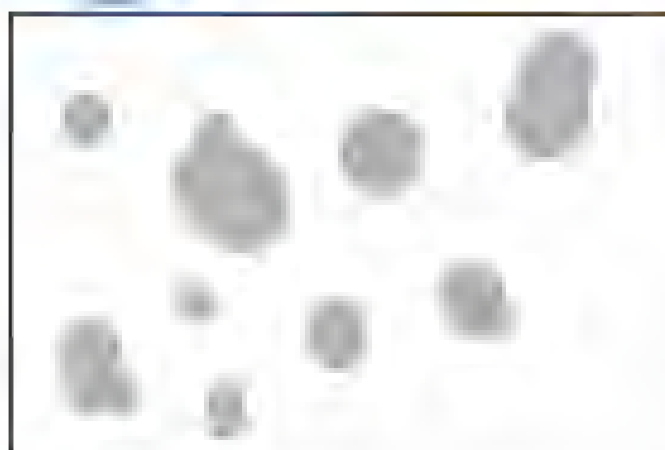
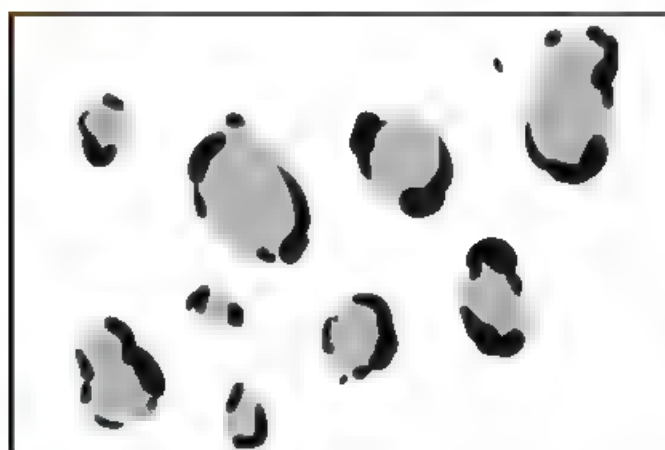
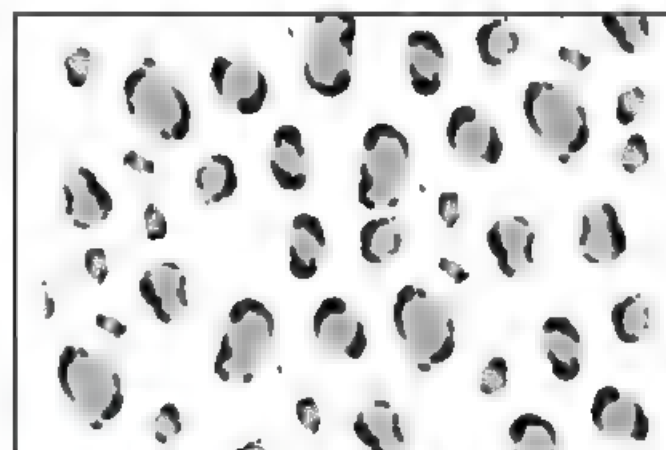
STEP 1 リボンの中心の結び目を描きます。

STEP 2 両側に台形を描きます。

STEP 3 台形の真ん中にシワを描き、立体感を出したら完成。

STEP 1 リボンの中心の結び目を描きます。

STEP 2 両側に輪を描きます。左右で形を微妙に変えるのがポイントです。

STEP 3 結び目から垂らすようにひもを描いて完成です。

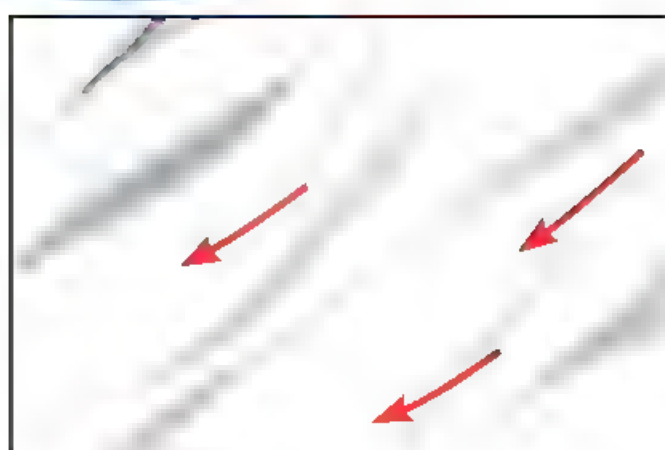
アニマル柄

ヒョウ柄やゼブラ柄などの下着は、ギャルなどの派手なキャラクターによく合います。

定番のヒョウ柄以外に、色をピンクにするなどアレンジしてもいいでしょう。レースなどと組み合わせるとセクシーさがアップします。

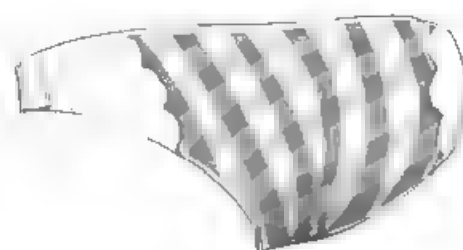
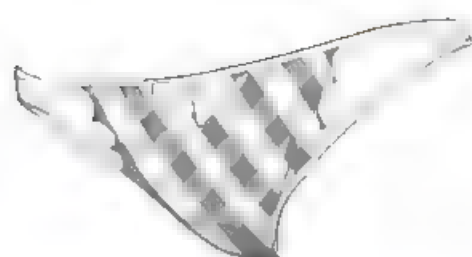
ヒョウ柄よりワイルドなイメージです。モノトーンカラーなのでクールなキャラクターに合います。

アニマル柄の描き方

ヒョウ柄とゼブラ柄を描いてみましょう。ランダムに見えるように柄を描くのがポイントです。

STEP 1 薄い色でランダムに斑点を描きます。

STEP 2 濃い色で強弱をつけながら、ふち取りをします。

STEP 3 STEP2でつくった斑点を複製し、拡大縮小や反転、回転を使ってランダムに配置して完成です。

ゼブラ柄

STEP 1 ランダムに斜線を描きます。同じ方向を向かせるよう意識しましょう。

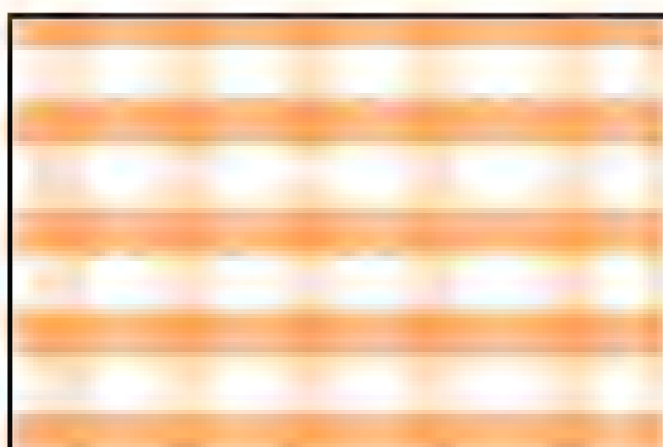
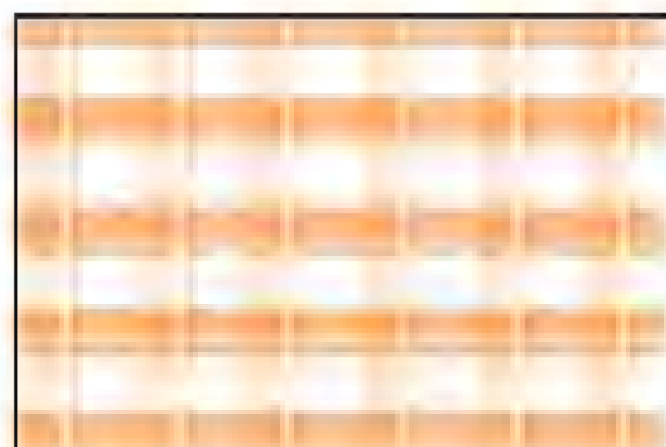
STEP 2 STEP1の線をもとに、強弱をつけたら完成です。

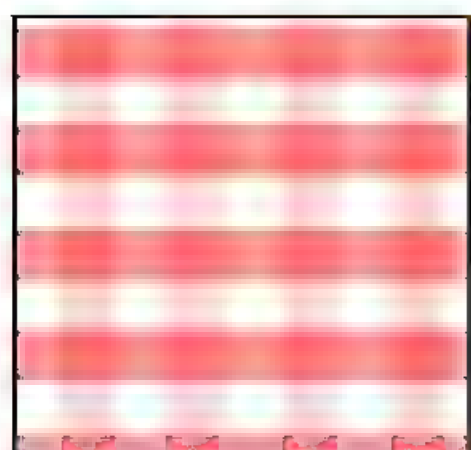
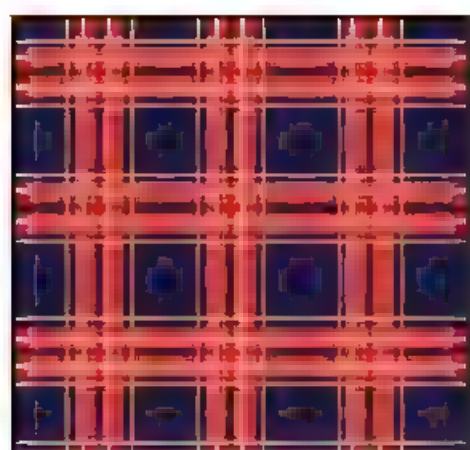
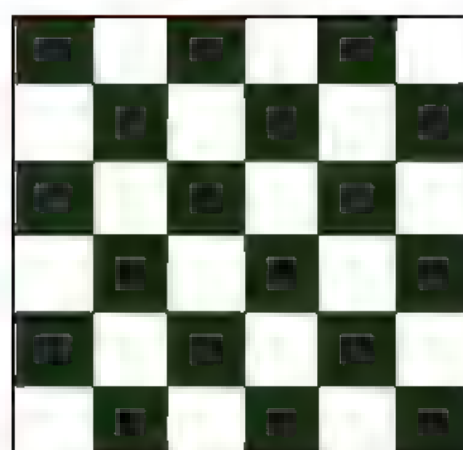
チェック柄

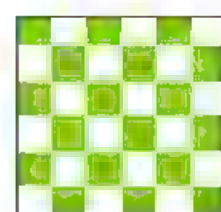
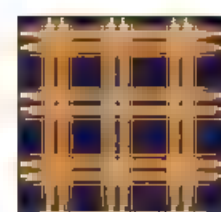
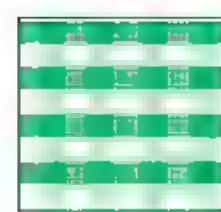
かわいい系のキャラクターに似合うチェックの下着。線の幅や色によってさまざまなイメージをつくることができます。

リボンやレースと組み合わせるのもいいでしょう。チェック柄は規則的ですが、胸やお尻などの立体感により歪みます。うまく表現できるよう研究しましょう。

チェック柄の描き方

基本的なチェックの描き方を見ていきましょう。太さや色を変えるのがポイントです。

STEP ① タテに均等なラインを描きます。

STEP ② STEP1と異なる色で横のラインを描きます。

STEP ③ それぞれの不透明度を下げた色を使い、隙間を埋めるように細いラインを描いて完成です。

その他さまざまなチェック柄

タータンチェック

ギンガムチェック

ボックスチェック

色を変えればさまざまなパターンが作れます。

下着姿の女の子を描く

下着姿の女の子ができあがるまでのメイキングをラフの段階から詳しく見ていきましょう。胸が大きめの女の子はレースのついたガーリーな下着、胸が小さめの女の子はシンプルなボーダーの下着にしています。それぞれの特徴に注目してください。

使用ソフト：CLIP STUDIO PAINT PRO

01 ラフを描く

女の子らしく、ラブリーな下着を身に着けた胸の大きい女の子と、ボーイッシュな雰囲気でカジュアルな下着を身に着けた胸の小さい女の子という設定で描いていきます。ラブリーな下着の女の子はクラスのマドンナ的存在、カジュアルな下着の女の子は胸が小さいのを気にしていて、女の子らしくなりたいと思っている……など、より細かな設定を考えておくと表情やポーズがつくりやすくなるでしょう。
まずはだいたいのイメージがわかる程度のラフを描きます。この段階で色のイメージも決めておくといいでしょう。

02 線画を描く

ラフを元に、細かな部分を調整しながら素体の線画を描いていきます。作業中は引きで見たり、左右反転してみたりとバランスを確認しながら進めます。

03 下着を着せる

素体に下着を着せていきます。カップにシワを入れて立体感を追加しましょう。

P.52 ブラジャーの描き方

ワイヤーの線やショーツの脚ぐりの縫い目などもしっかり描き込みます。

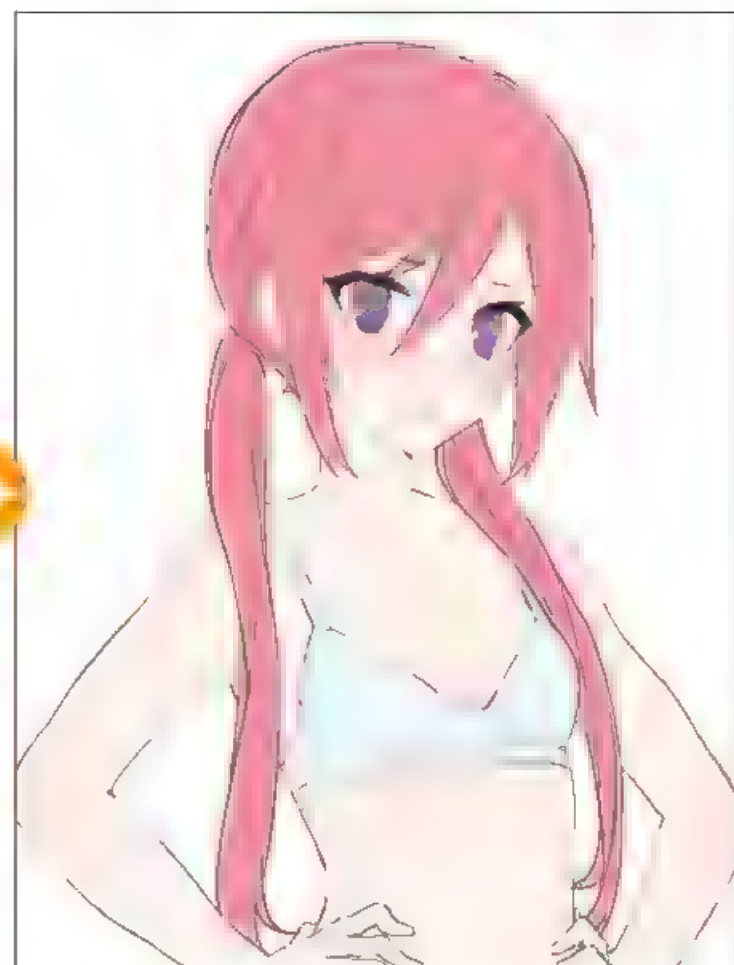
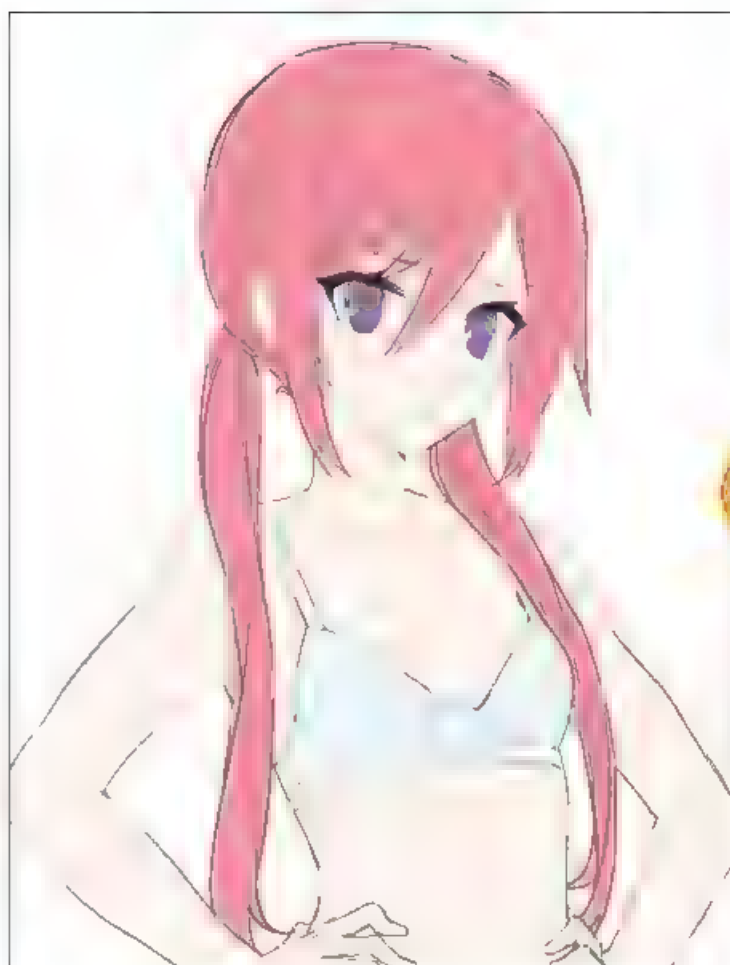
04 飾りを描く

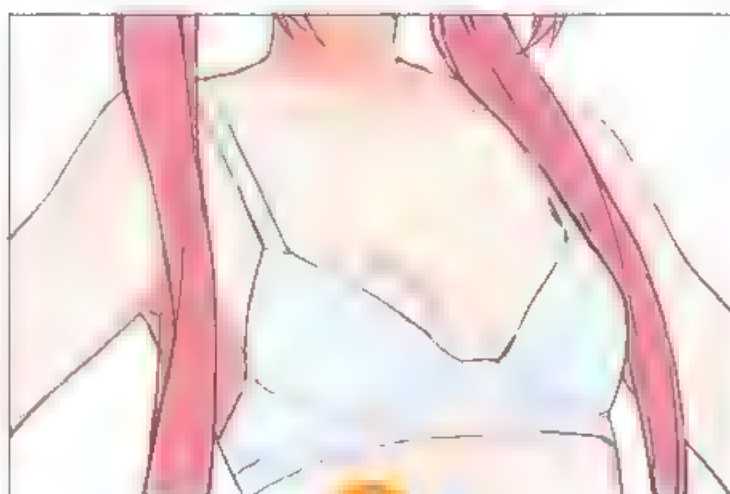
下着の飾りを描き込みます。今回はレースとリボンを組み合わせた下着と、飾りの少ないシンプルなボーダーの下着にしました。レースはあとから描き込むのでアウトラインだけ描いておきます。ボーダーもあとから描き込むので縫い目やシワなどを入れる程度に留めておきます。
線画は［エアブラシ］の［強め］をカスタマイズして作成した［強めジャギ］というブラシを使用しています。そのままだと薄いため、線画が完成した時点で線画を複製するなどして濃さを調整しています。

05 肌を塗る

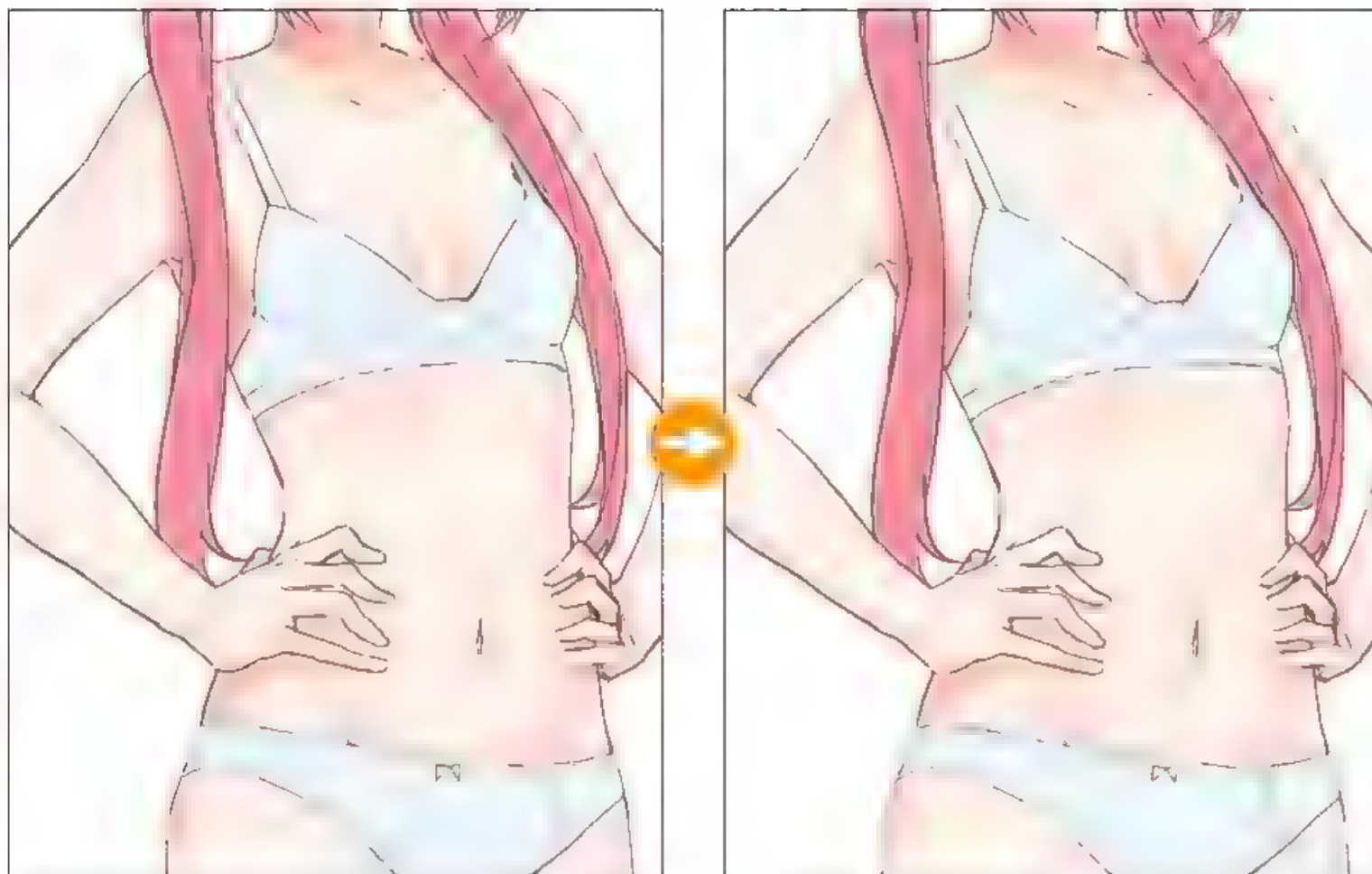
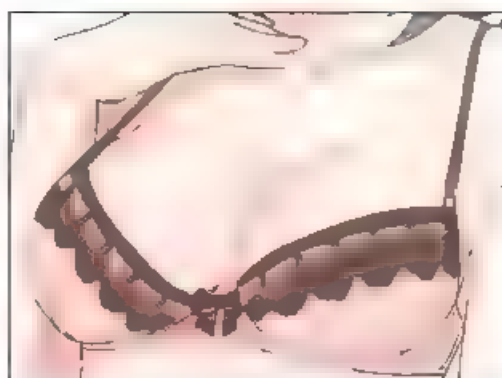
どちらの女の子も基本的な塗り方は同じです。まずは少し薄めの色で下塗りしていきましょう。ほおや関節、胸などにエアブラシを使って赤を入れます。彩度が低いと汚く見えてしまうため、ここでは彩度高めの色を置きます。

肌
R 255
G 243
B 234

赤み
R 255
G 200
B 195

06 立体感を出す

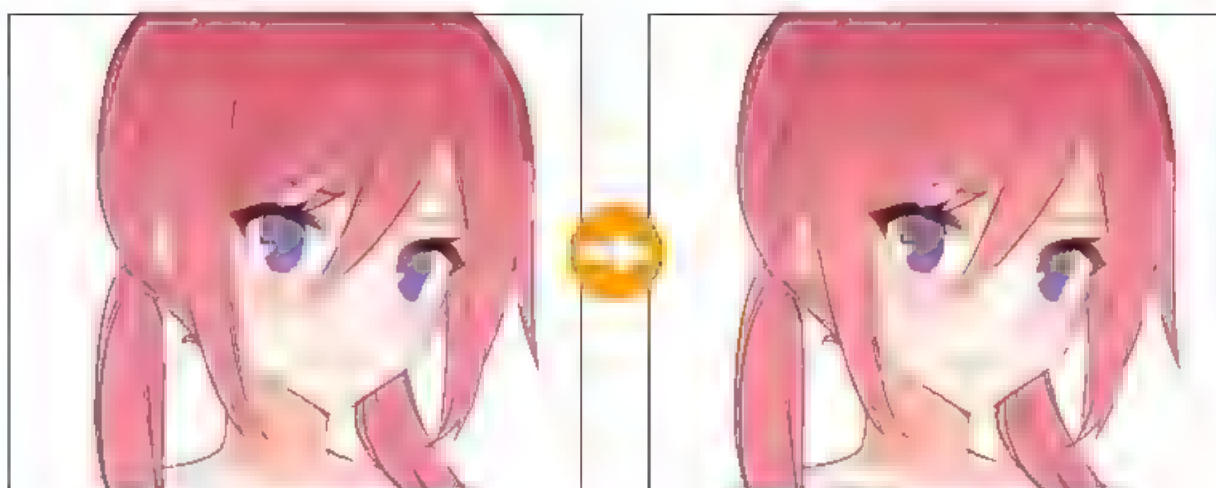
次に立体感を出していきましょう。最初はアニメ塗りのように大雑把に色を置いていきます。谷間に沿って色を置いてから乳房の方向にぼかすと一気に立体感が出ます。他の影もアニメ塗りのように色を置く→ぼかすを繰り返して塗り進めます。髪の落ち影などはぼかさず、エッジを少し残すと質感にメリハリができます。

07 ハイライトを入れる

腕や肩、二の腕、おなかまわりなどに白でハイライトを入れます。

胸が大きい子はハイライトを多めに入れると大きさが強調されます。

08 髪を塗る

髪は下塗りの上にグラデーションで暗い色を塗ります。頭の上からおでこあたりまで、毛先のほうにも同様に塗っていきます。

09 肌の透け感を出す

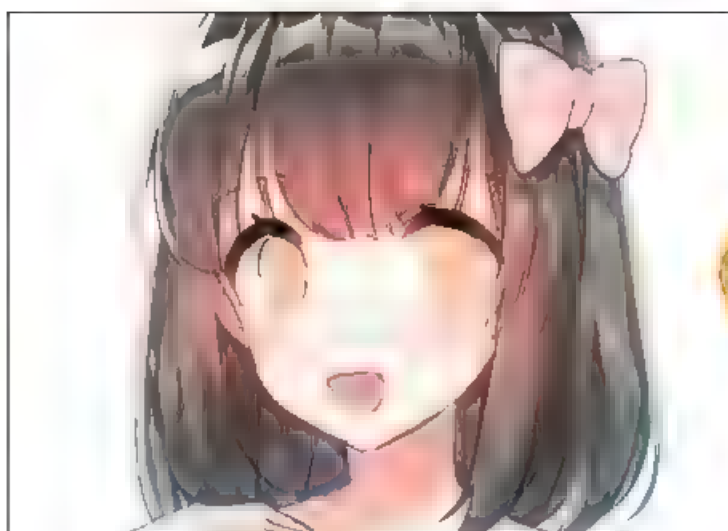
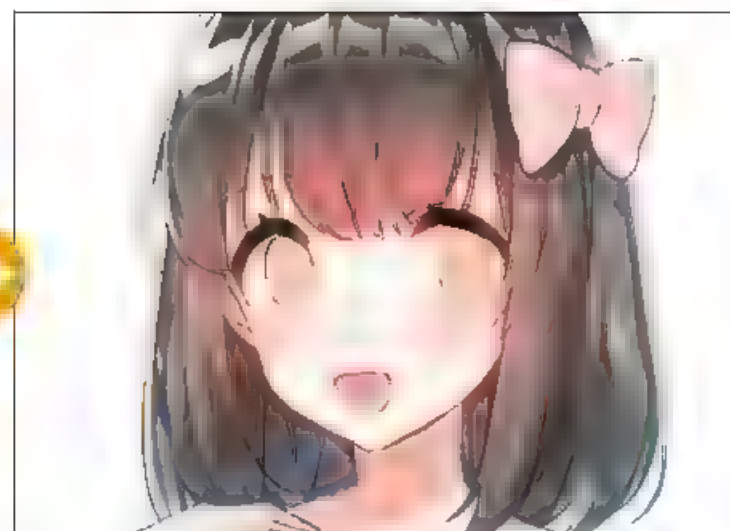
髪のレイヤーの上に新規レイヤーを作成し、エアブラシなどを使って顔のまわりに肌の色を乗せます。

10 髪の影とハイライトを入れる

髪におおまかな影を入れていきます。ここでは「Gペン」の透明度を70くらいにして使っています。

前髪を中心にハイライトを入れます。

襟足や毛先などに薄い青を入れ、髪の空気感を表現します。

11 髪を仕上げる

顔のまわりに明るい暖色をぼんやりと入れて仕上げます。レイヤーの合成モードを［オーバーレイ］にします。

明るい暖色を顔まわりに入れます。

レイヤーの合成モードを［オーバーレイ］にします。

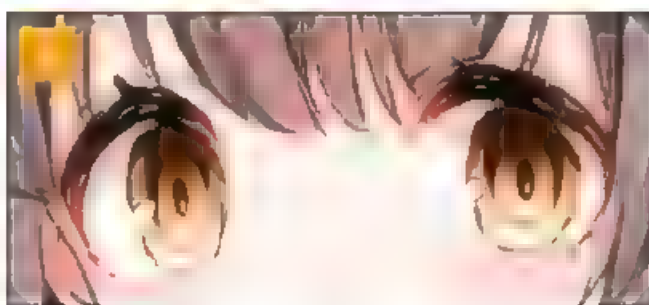
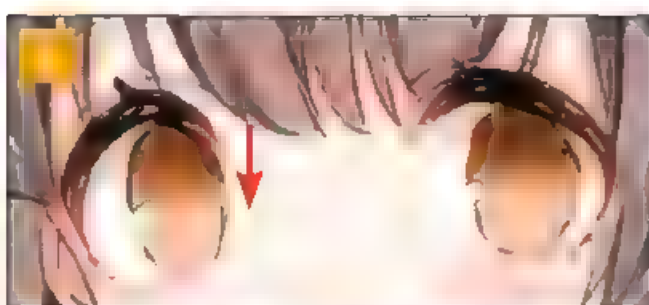
12 目を塗る

目を塗っていきます。

- 黒目の上半分くらいに濃い色を入れます。
- 瞳孔を黒に近い色で入れます。黒目の下側に明るい色を入れます。
- 瞳孔のまわりの虹彩を描き込みます。
- ハイライトや反射光を入れて完成。反射光はグレーで入れています。

ベース
R 250
G 191
B 157

瞳孔
R 94
G 41
B 10

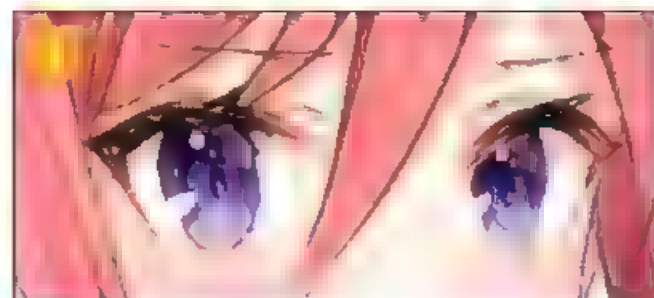
濃い色
R 120
G 58
B 21

明るい色
R 255
G 245
B 233

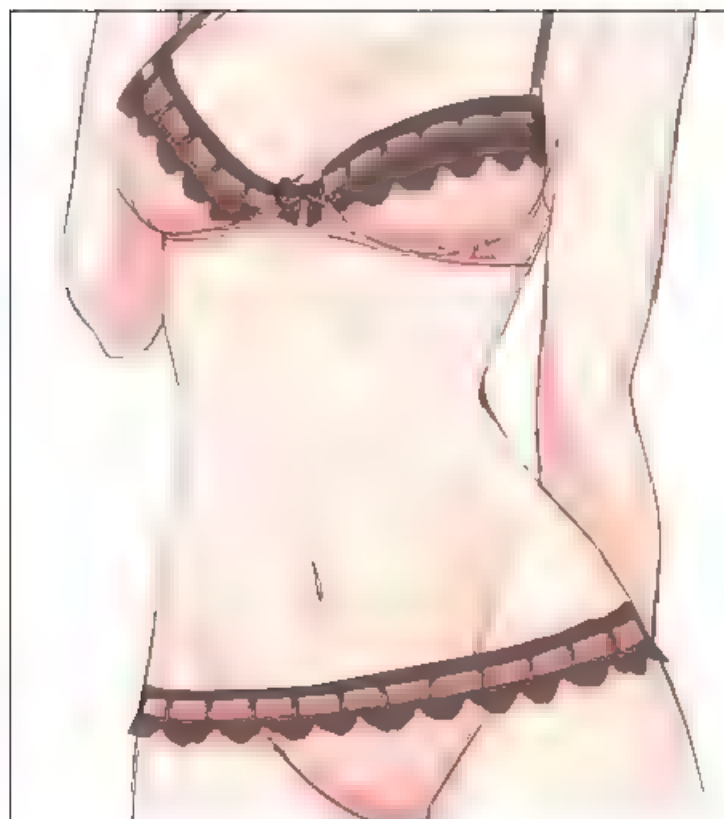
同様の手順で右の女の子の瞳も塗ります。

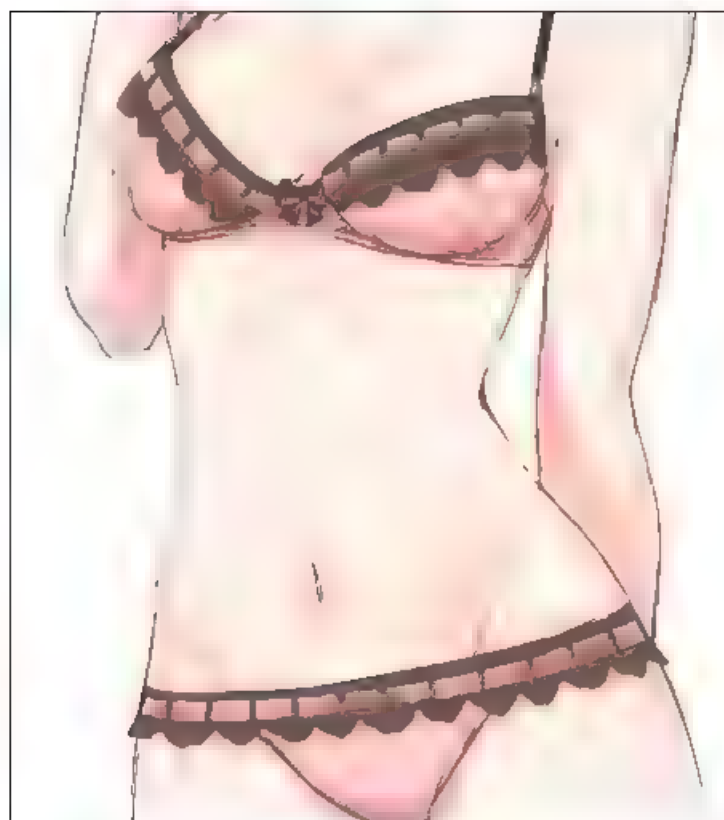
ベース
R 255
G 245
B 233

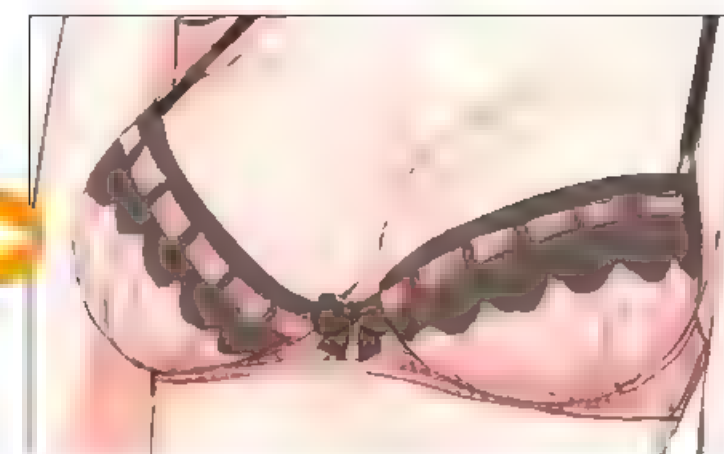
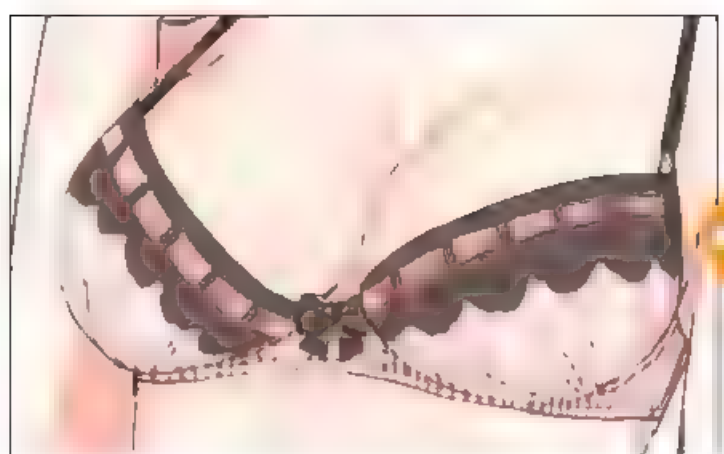
瞳孔
R 33
G 21
B 61

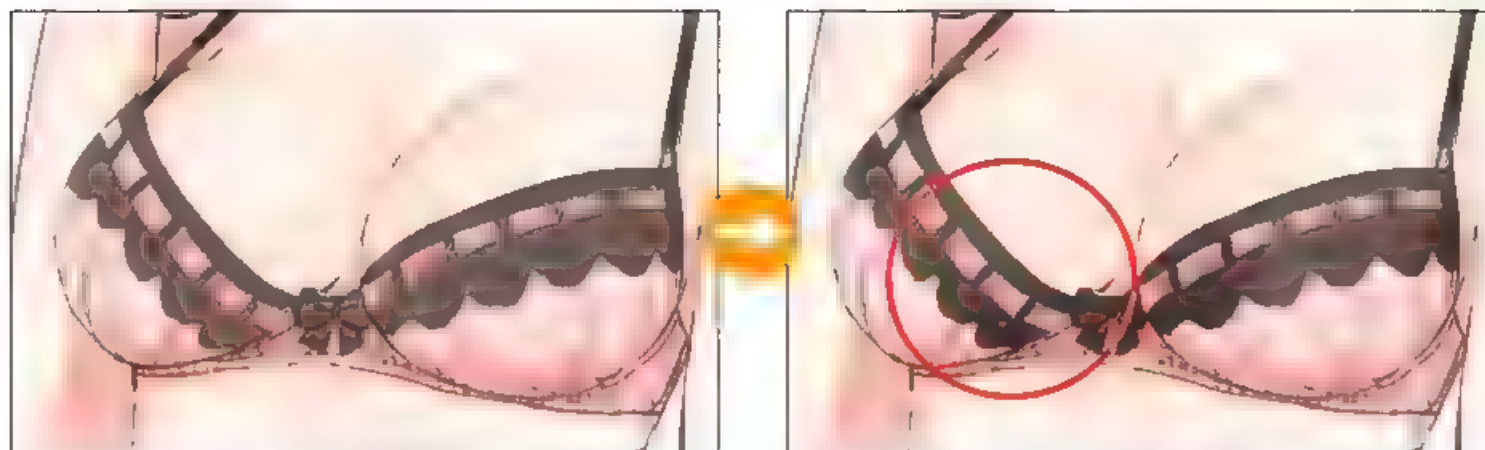
濃い色
R 50
G 19
B 61

明るい色
R 211
G 203
B 254

13 下着の影を塗る

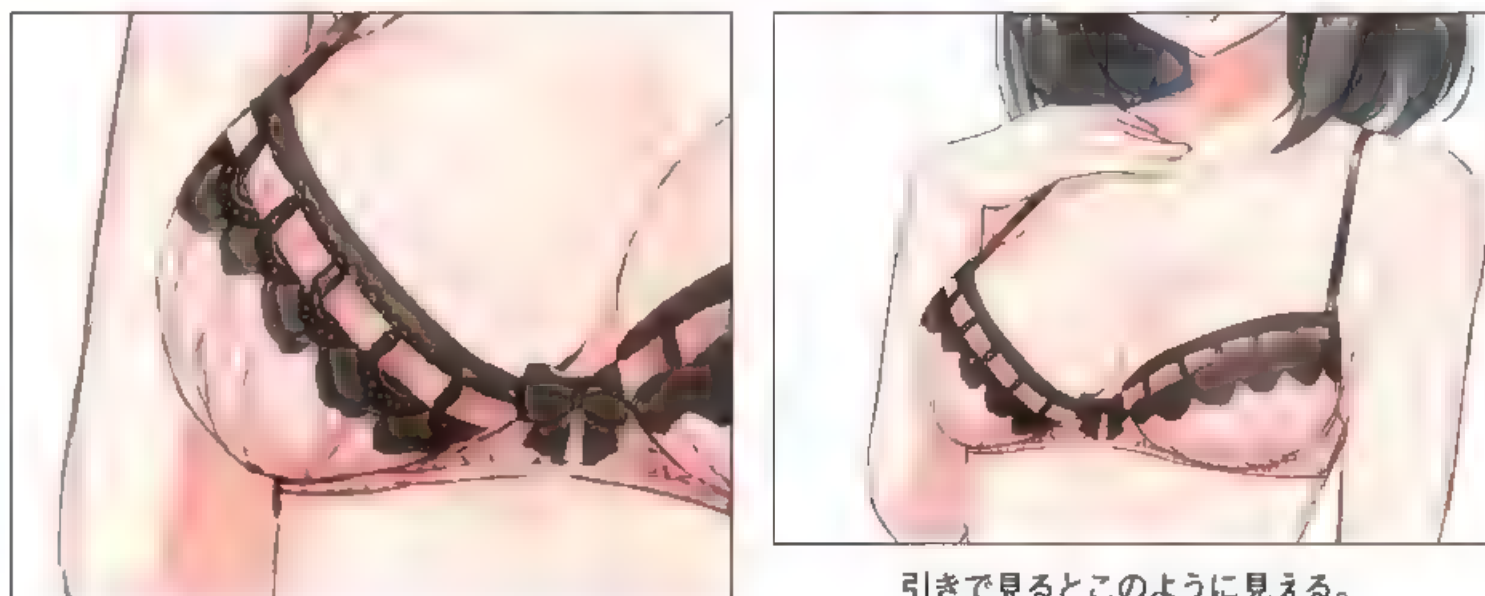
下着に影を塗っていきます。まずはエアブラシでおおまかに入れていきましょう。黒のレース部分は後で描き込むのでここでは影を塗っていません。

さらに濃い色でシワ部分などの影を濃くします。

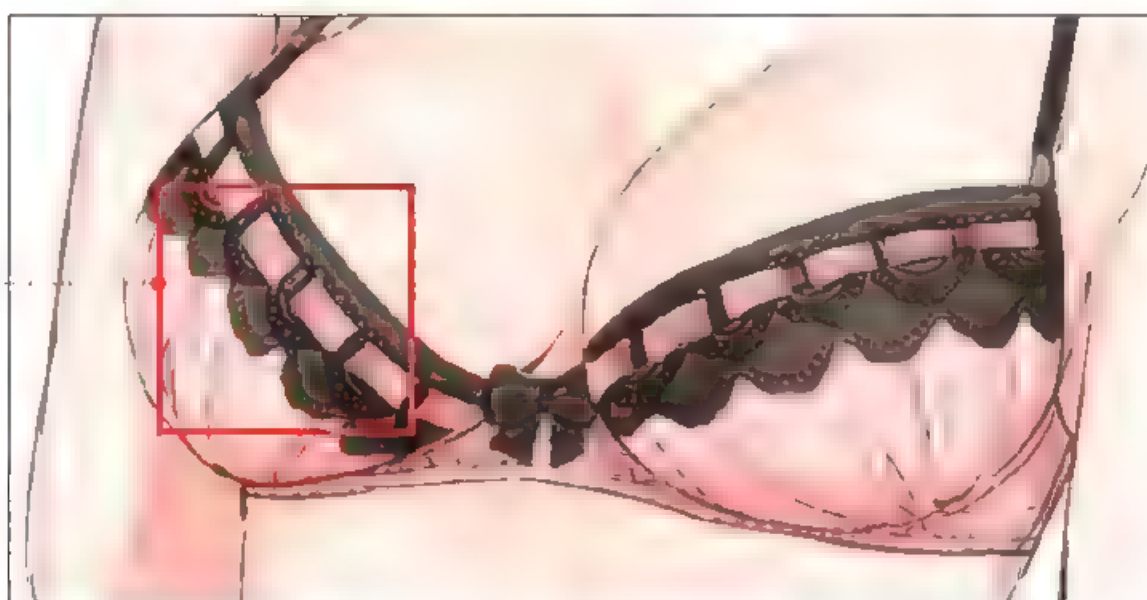
下着のハイライトを入れます。入れすぎるとテカりのある素材に見えてしまうので注意しましょう。

14 下着の模様を描く

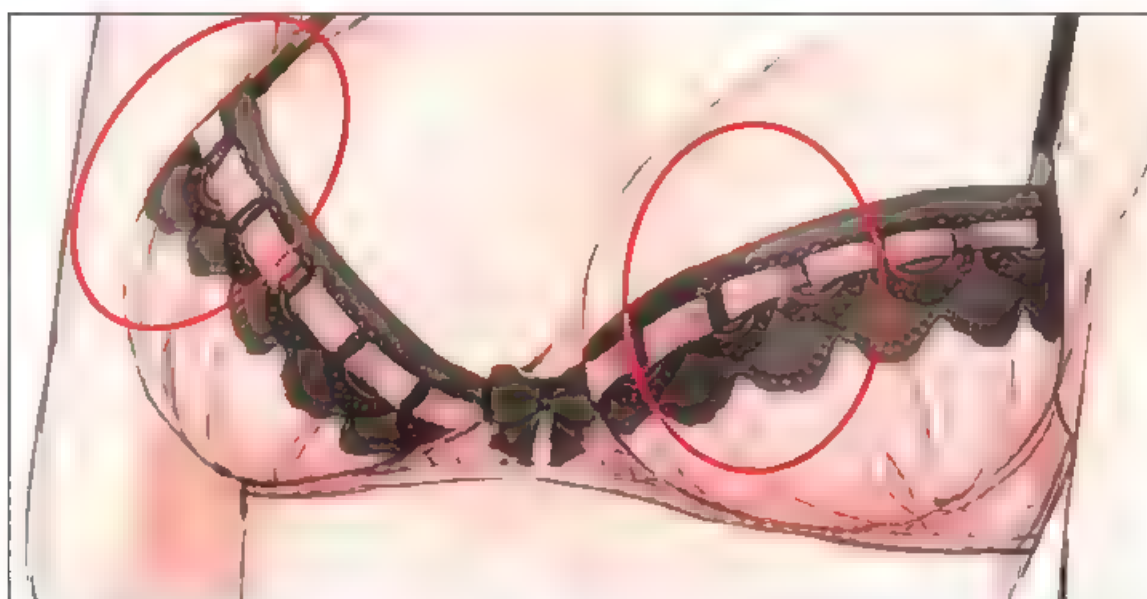
カップ部分の模様を描きます。白でタテ線を描き、レイヤーを[発光]モードにして透明度を下げます。

15 レースを塗る

レースを塗っていきましょう。谷間や胸のまわりにおおまかな影を入れます。

16 レースを描く

グルグルと描いたり、点を描いたりしてレースを描いていきます。細かく描いてもつぶれてしまうので、そこまで緻密に描かなくてもOKです。遠目で見たときの印象を優先しましょう。

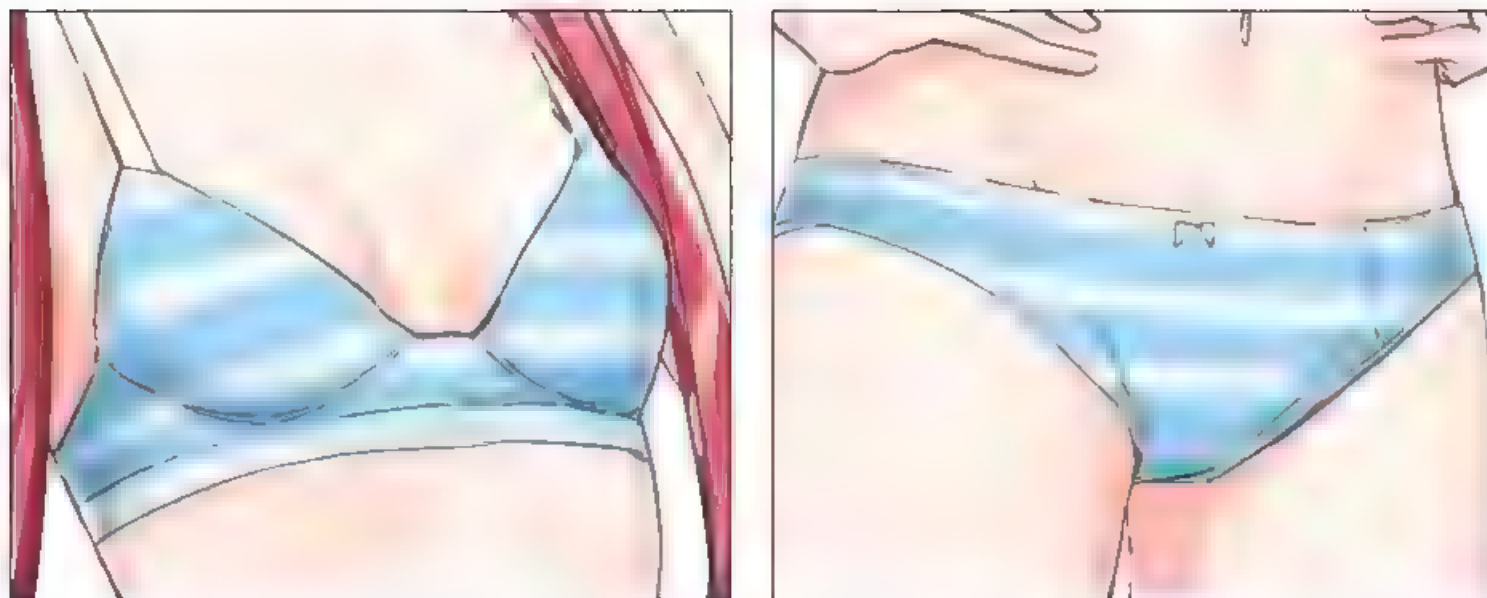
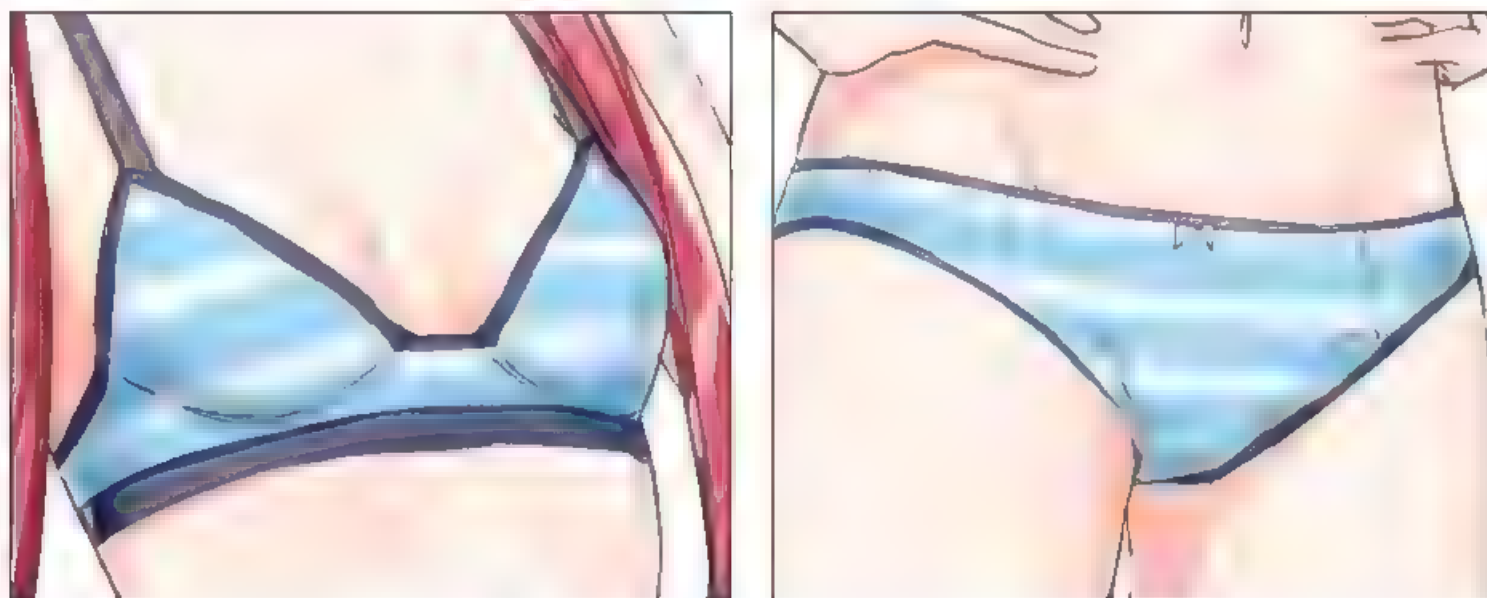
P.83 レースの略し方

引きで見るとこのように見える。

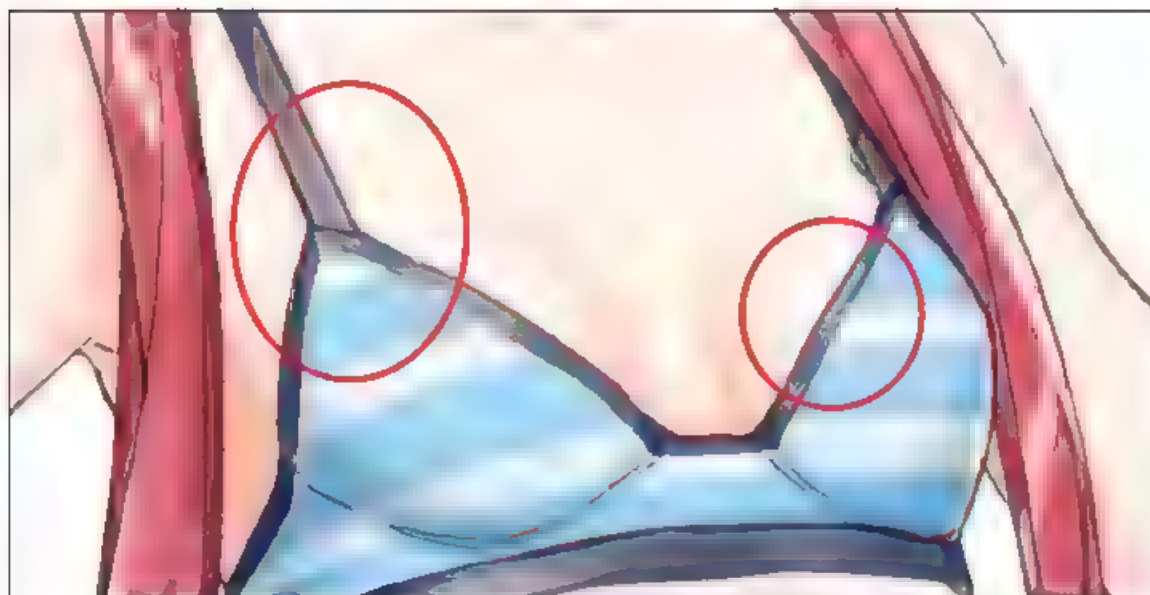
透けているレースの質感を表現するため、レースのすそにピンクを入れます。

17 立体感を出す

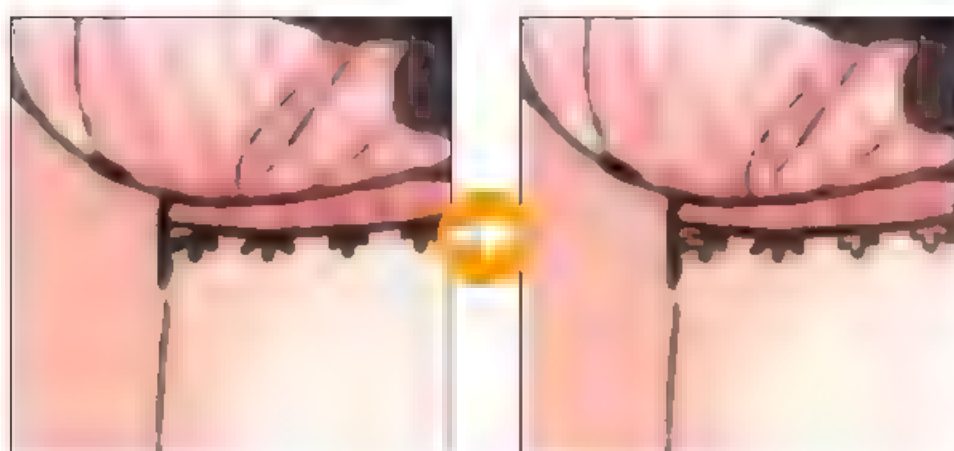
立体感をプラスしていきます。新規レイヤーに赤を少し入れ、レイヤーの合成モードを［オーバーレイ］にしました。

18 ハイライトを入れる

胸の外側に少しだけハイライトを入れます。

19 ボーダーを描く

ボーダーを描いていきましょう。こちらの子はボーイッシュな感じを出すためシンプルなデザインにしています。別レイヤーを［乗算］にして上から描いていきます。胸が小さめのため、ボーダーの立体感は控えめにします。

ふちを紺色で塗っていきます。ふちに濃い色を置くことで、全体的に引き締まった印象になります。

20 立体感を出す

立体感を追加していきます。胸のふくらみの部分に赤を少し入れ、レイヤーの合成モードを［オーバーレイ］にしました。

21 下着を仕上げる

下着の仕上げをします。レースの下着の子は、アンダー部分が少し寂しく感じたのでレースを追加しました。鳥の足のような模様を並べるだけでレースらしくなります。レースの上に少し明るい色を乗せ、一体感を出します。最後に肌に影を入れたら下着は完成です。

22 髪を調整する

目にかかった前髪を調整します。
新規レイヤーを作成し、[Gペン] で目が消えるように、髪の色をざっくりと描き込みます。レイヤーの透明度を調整し、前髪が透けている感じを出しました。

23 微修正をする

後れ毛を描き足したり、眉毛を少し濃くするなどの調整をしました。

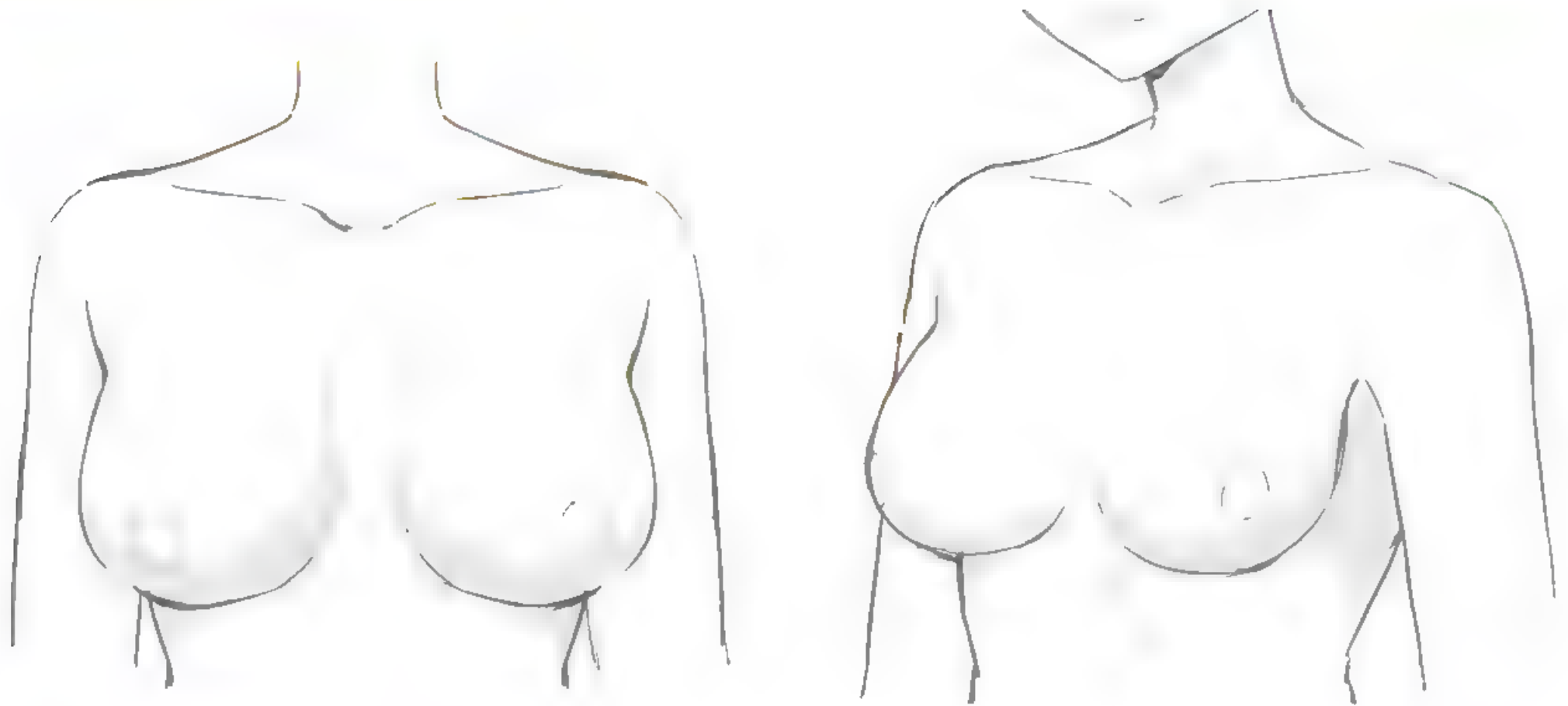
24 完成

最後に線画の色を変更します。線画のレイヤーを複製し、色を赤に変更します。レイヤーの合成モードを [オーバーレイ] にしたら完成です。

描いてみよう

下着を思い通りに描くには、何度も練習することが大切です。素体に合わせて密着感を意識しながら下着を描いてみたり、さまざまな下着の柄を描いてみたりと、これまで学んできたことを生かして実践してみましょう。

ブラジャーを描いてみよう

P.52 ブラジャーの描き方

ショーツを描いてみよう

P.54 ショーツの描き方

下着の柄を描いてみよう

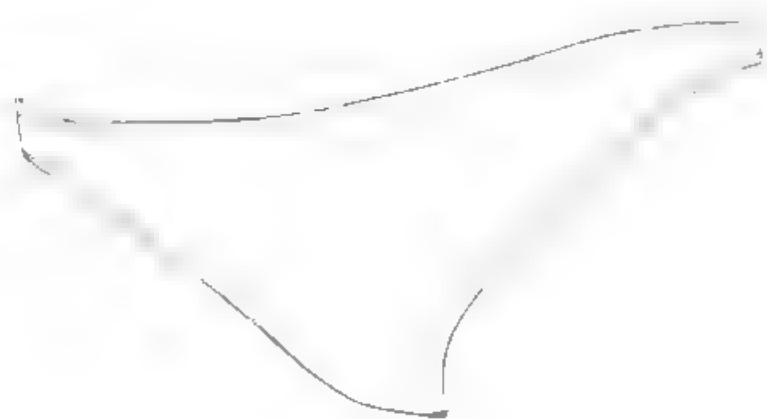
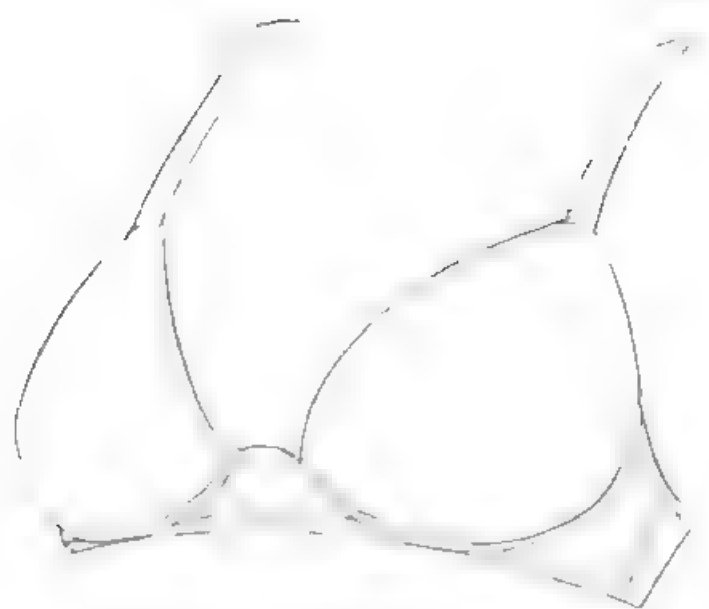
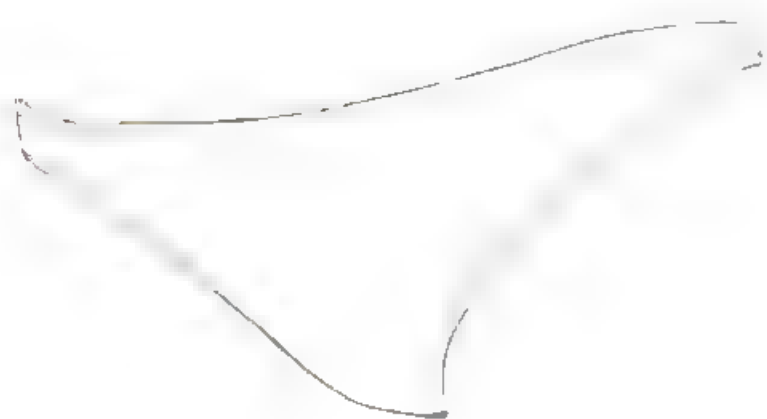
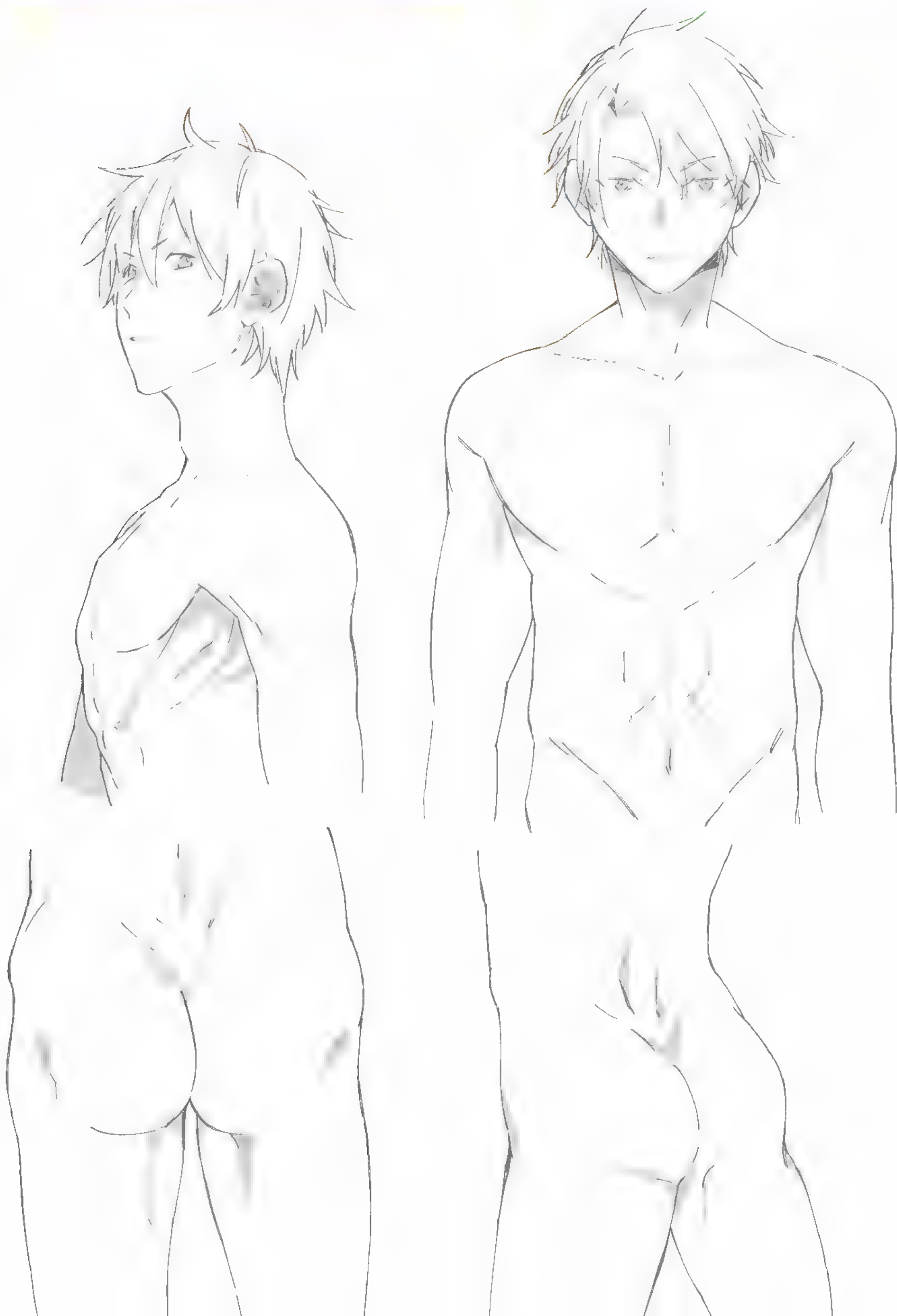
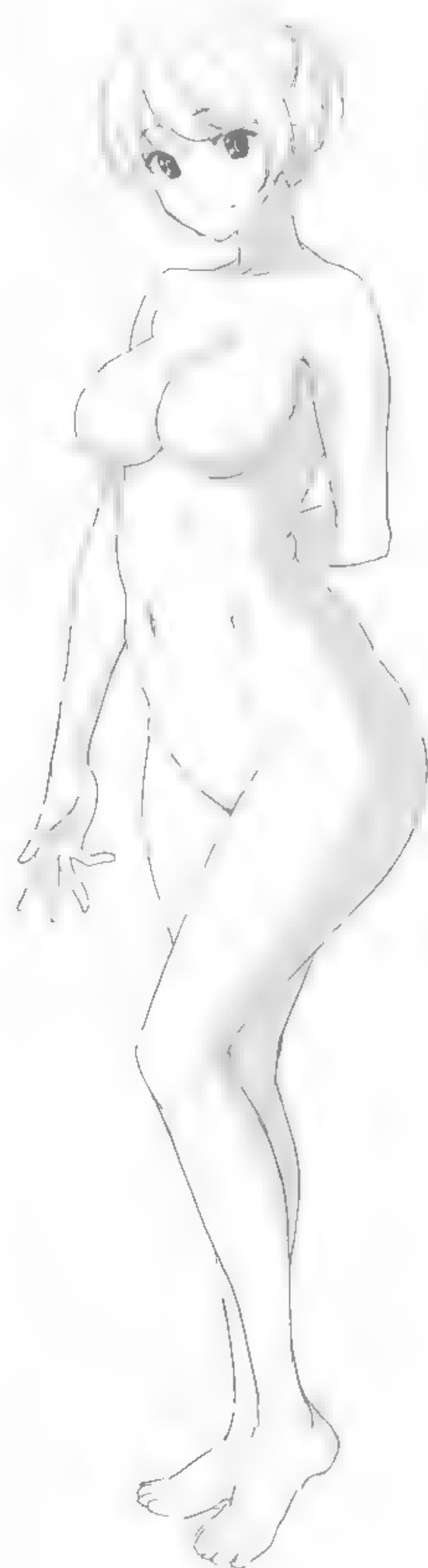
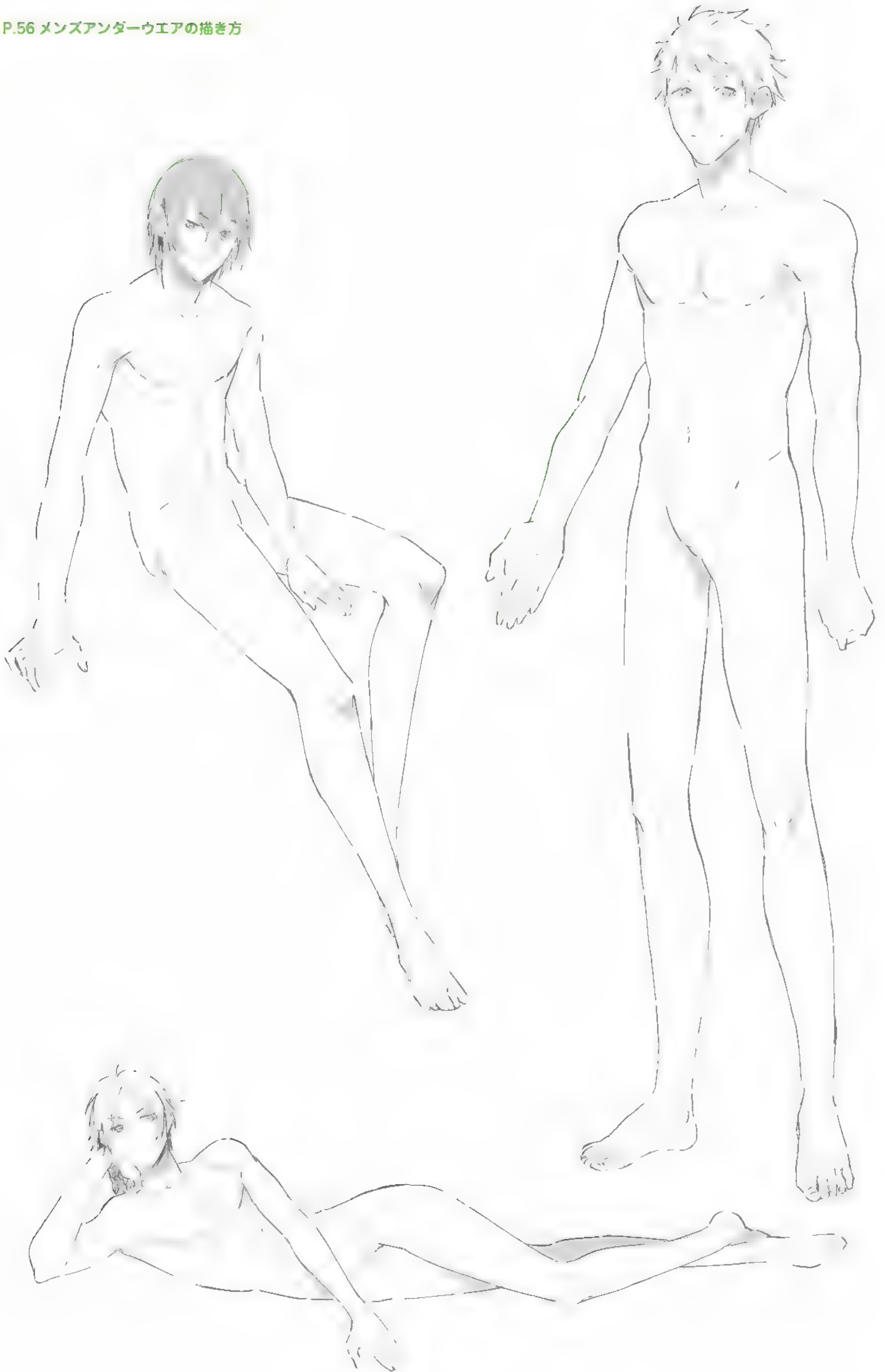
P.80 下着の柄を描く

メンズアンダーウエアを描いてみよう

P.56 メンズアンダーウエアの描き方

ポーズに着せてみよう

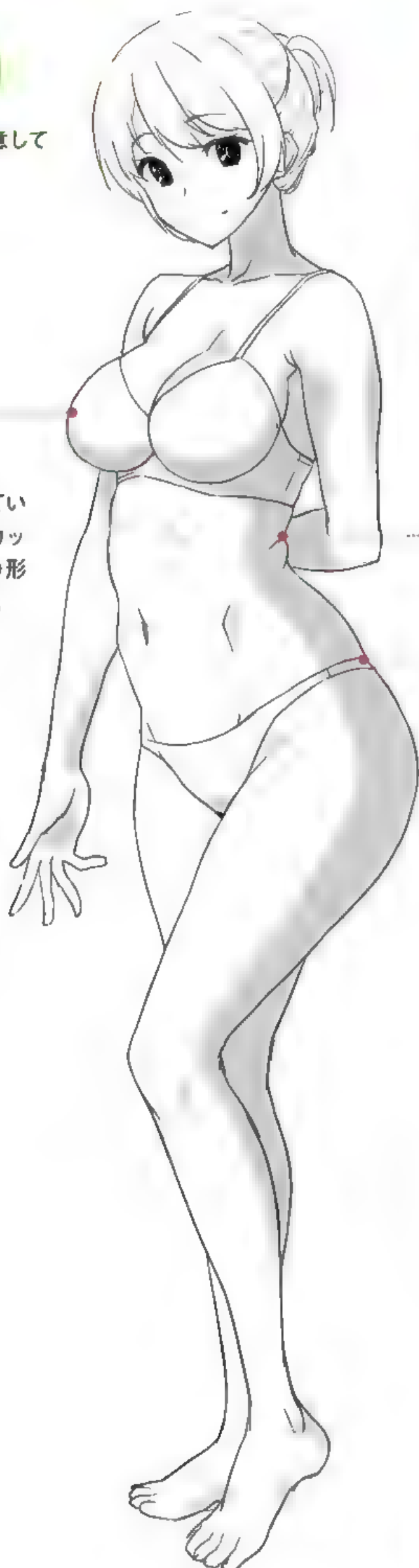
P.101 下着のポーズ

P.56 メンズアンダーウエアの描き方

Part3
下着のポーズ

ポーズを描く

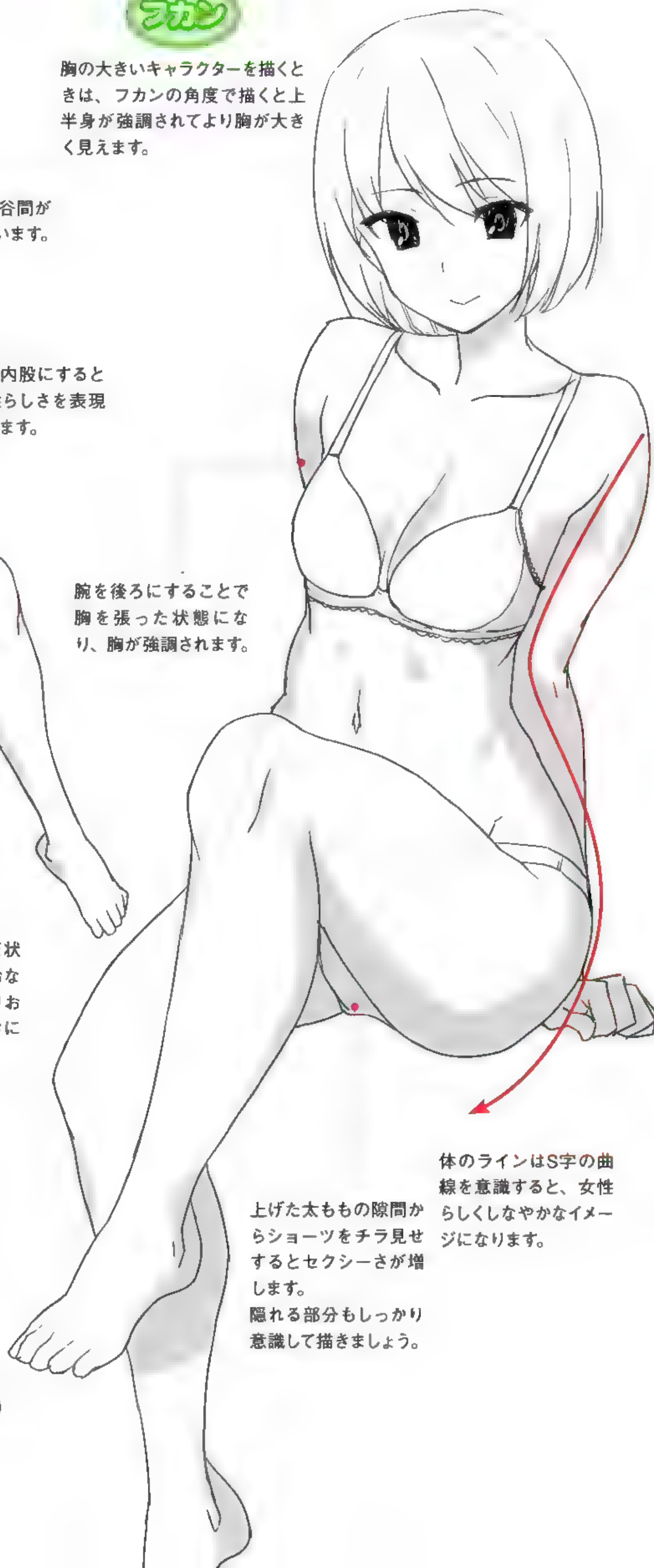
さまざまな下着の種類や柄の描き方をマスターしたら、今度は体のポーズによって下着がどのように見えるかを知っておきましょう。立ったり座ったり、脱いだり脱がせたり、体や下着の変化をシチュエーションに合わせて描けるようにしてください。

立ちポーズ

立ちポーズのときは体の角度に注意して、自然に見えるようにしましょう。

脱ぐポーズ

アウターやショーツを脱ぐときのポーズを見ていきましょう。脱いでいるアイテムのシワの寄り方に注意してください。

座るポーズ

座るポーズのときは、力が入っている部分、抜けている部分がどこかを意識して描きましょう。

椅子に座る（アオリ）

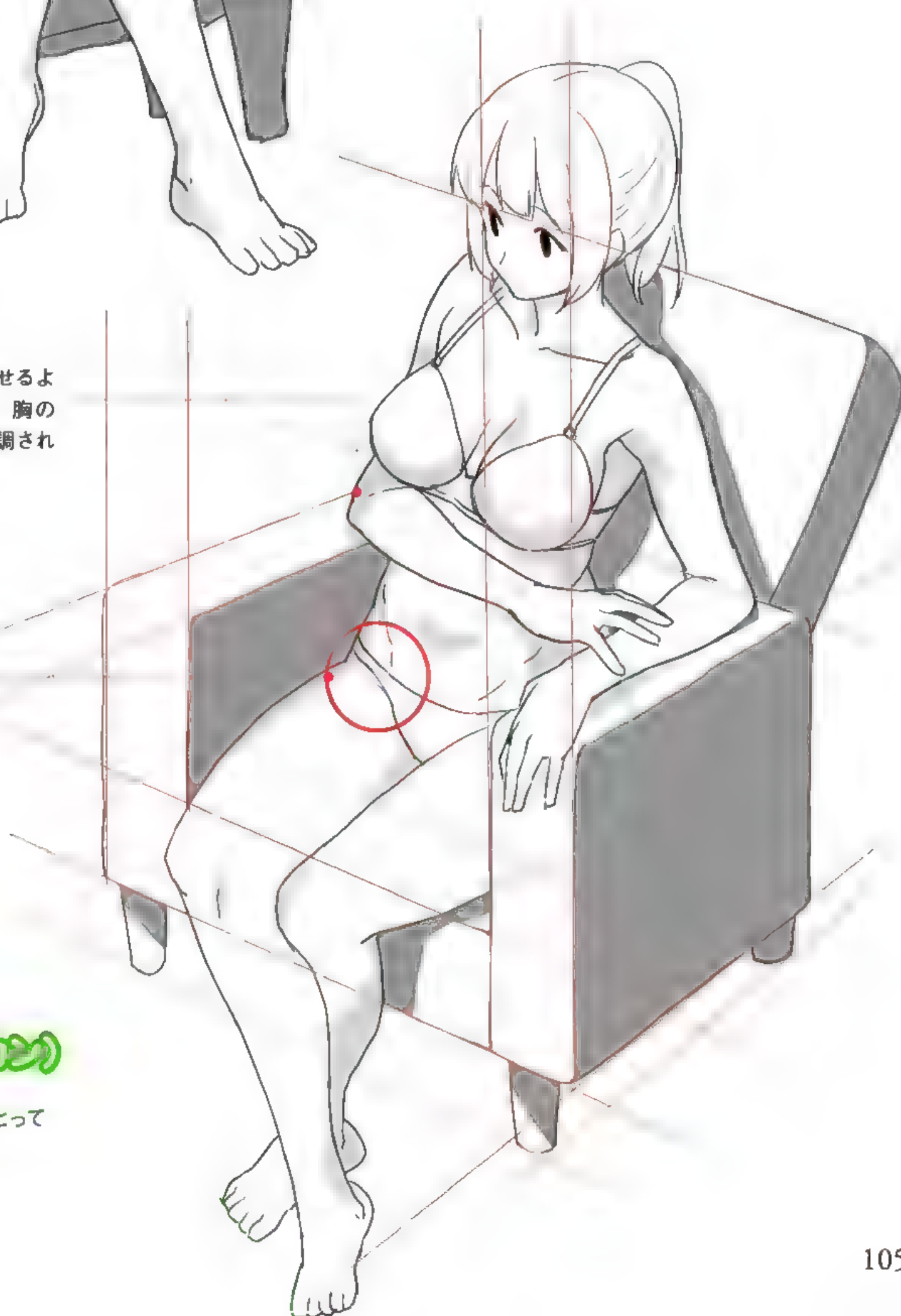
右腕に体重がかかっているので右側が下がり、左側がやや上がって見えます。胸もやや左上がりに描くと自然です。

隠れている部分の体の形を意識しながら描きましょう。

胸を腕に乗せるように描くと、胸の大きさが強調されます。

サイドが細いショーツの場合、鼠蹊部のシワをさりげなく入れるとより、リアルになります。

椅子に座る（フカン）

椅子はしっかりとパースをとって描きます。

寝るポーズ

寝るポーズを描くときは、床と接してつぶれている部分、重力によって垂れている部分に気をつけましょう。

四つん這い(前)

四つん這いはお尻を強調するポーズです。お尻の曲線をしっかりと描きましょう。胸は重力により下に垂れます。

四つん這い(後ろ)

やや広角ぎみに描くと、お尻が強調されてセクシーさがアップします。

ブラジャーの着脱ポーズ

ブラジャーを着脱するときの動作がそれぞれどんなポーズなのかを見ていきましょう。

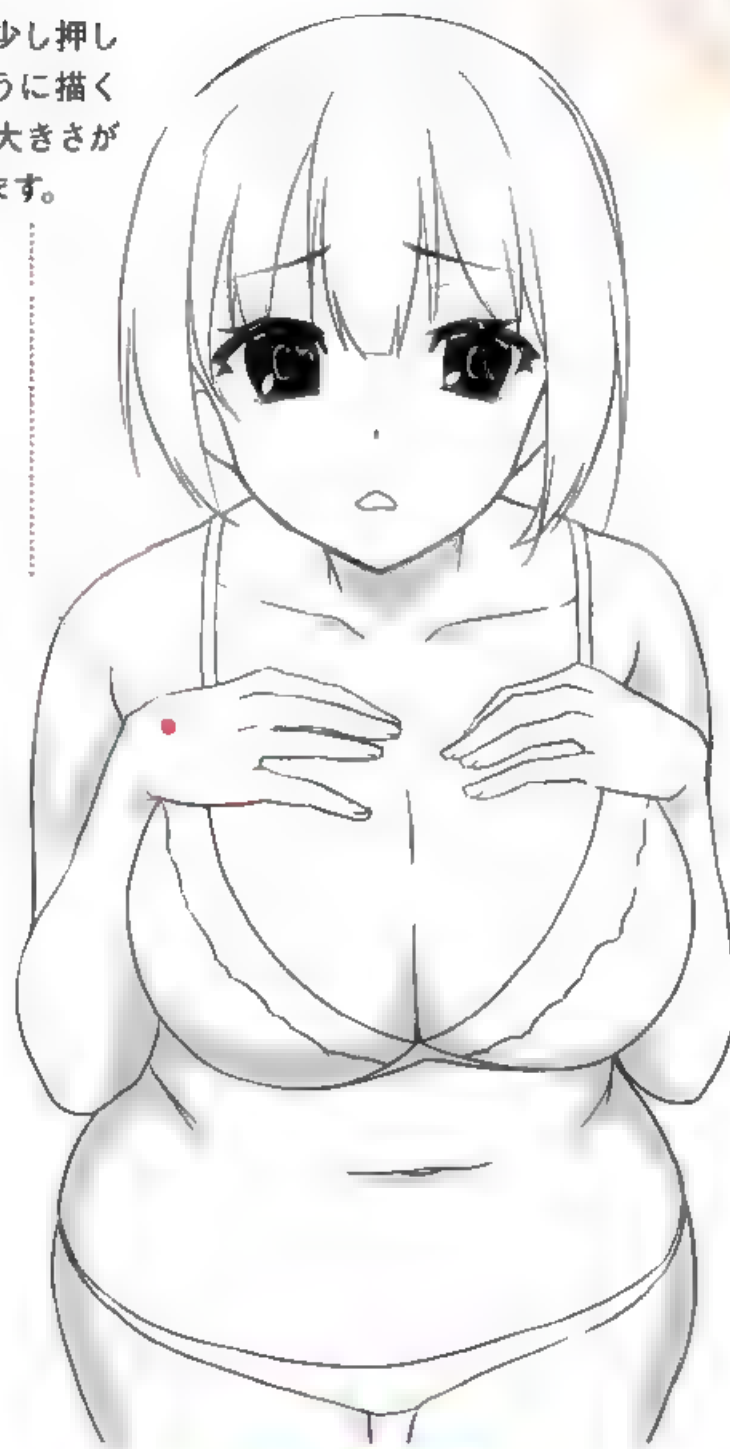
外したブラジャーを見せる

外したブラジャーを描くときは、ブラジャーの長さや大きさに注意しましょう。

アンダーのサイズによって長さが異なり、胸の大きさによってカップのサイズも異なります。

手で胸を隠し、恥じらった様子を表現するのも魅力的です。

ブラジャーを少し大きく誇張して描くと、目線がブラジャーにいくようになります。

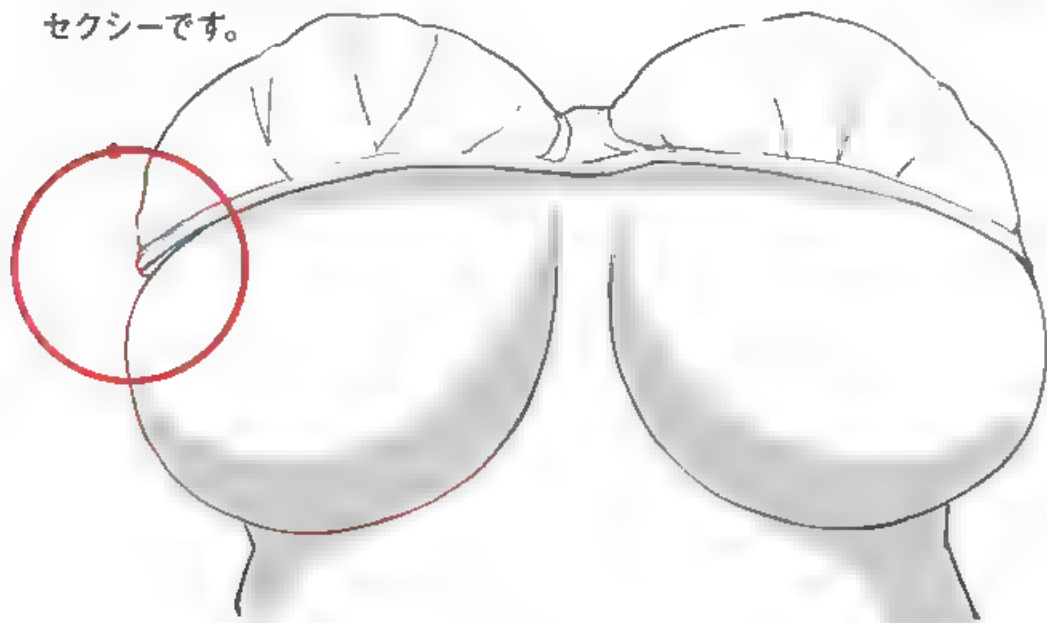
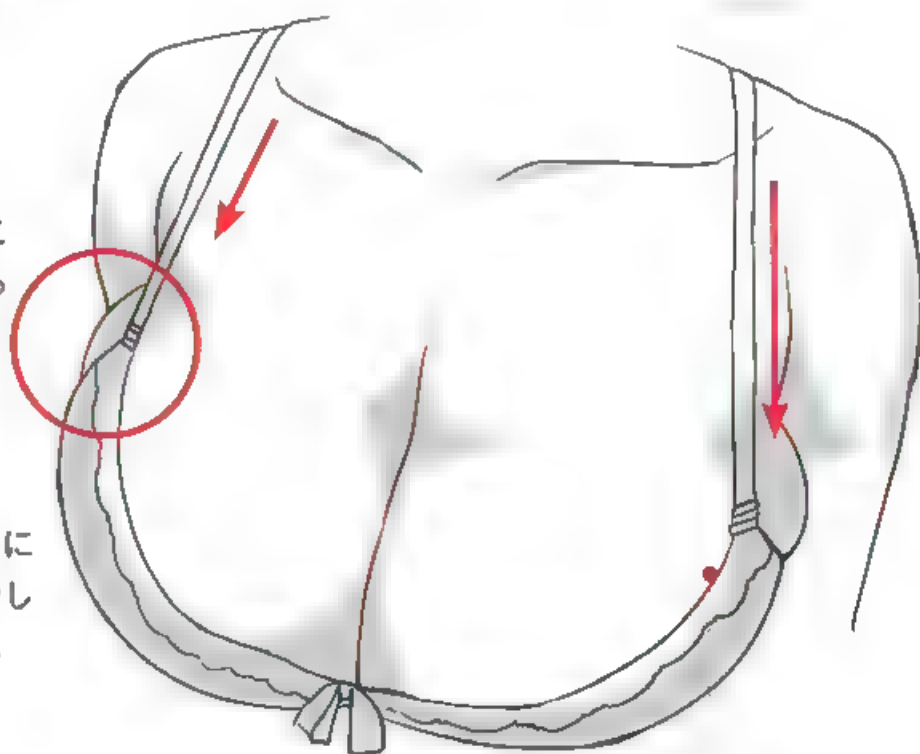
胸を腕で少し押しているように描くと、胸の大きさが強調されます。

胸を寄せる

胸を寄せるポーズは左右の胸が密着して谷間が深くなります。

ブラジャーをずらす

ワイヤーが入っているブラジャーは形があまり崩れません。カップの下部にシワを入れましょう。

ブラジャーを下にずらしたところ。ブラジャーに胸が乗っかっているようなイメージです。

ストラップが下に引っぱられ、少し窮屈になります。

ブラジャーと胸の境目は、プヨっとした肉感を出すように描くと胸のやわらかさやボリュームが強調されます。

ブラジャーをずらしているため、端に隙間ができているのもセクシーです。

ブラジャーを上にずらしたところ。アオリの角度にすると胸の大きさが強調されます。

ショーツを脱ぐポーズ

ショーツを脱ぐときのポーズをいろいろな角度から見ていきましょう。角度により強調される部分が変わります。

セクシーな脱ぎ方・脱がされ方

セクシーに脱いだり、誰かに脱がされたり、さまざまなバリエーションを見ていきましょう。

着脱のポーズ

ブラジャーとショーツ以外のアイテムの着脱のポーズを見ていきましょう。それぞれの特徴を理解して描くことが大切です。

ブラトップを着る

カップがついているキャミソール・タンクトップです。キャミソールやタンクトップよりややぴったりした感じに描きましょう。

ぴったりしていてもカップがあるので乳首は浮きません。

ボディスーツを着る

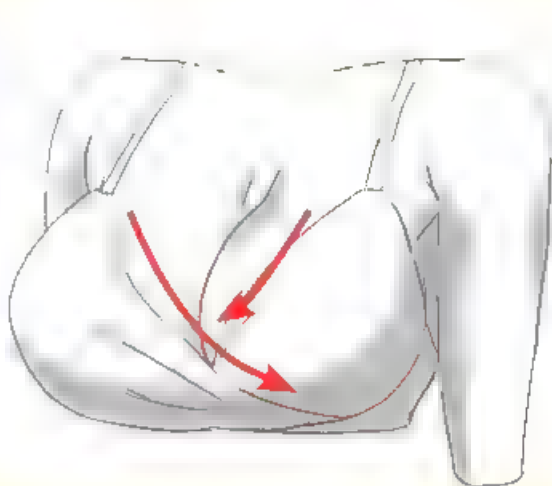
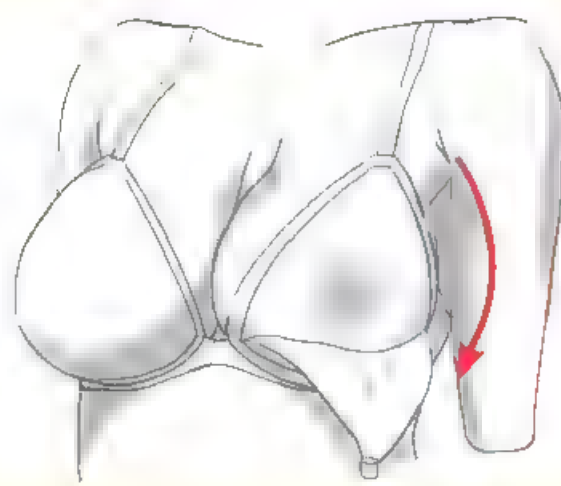
補整力の強いボディスーツは下からはきます。お尻やおなか、胸の肉を持ち上げて着ることでスタイルよく見えます。

張りのある素材で体にぴったりと密着しているため肉感はあまり出ませんが、着脱のときには体の動きに合わせてシワが寄ります。

ボディスーツで締め付けられている部分との境目は肉感を表現するとセクシーです。

One Point

授乳ブラとは

授乳ブラとは、赤ちゃんにおっぱいをあげるお母さんのための機能的なブラジャーのことです。カップが前でクロスしており胸が出しやすくなっているもの、カップにスナップがついていて開け閉めできるものなど、服を脱がなくてもおっぱいがあげられるような工夫がされています。

カップがクロスになっていて胸が出しやすいもの。

カップがスナップで開閉できるようになっているもの。

下着の位置を直すポーズ

下着が上に上がってきてしまったり、カップから胸がはみ出してしまったりしたときに下着を直すポーズを見ていきましょう。

ブラジャーをなおす

ブラジャーのサイドやバックが上に上がってきてしまった場合、ホックが外れないように引っぱりながら下げます。

胸がカップからこぼれてしまったのを直すときは、基本的にブラジャーを着けるときの動作と同じです。少し前傾姿勢になってもよいでしょう。

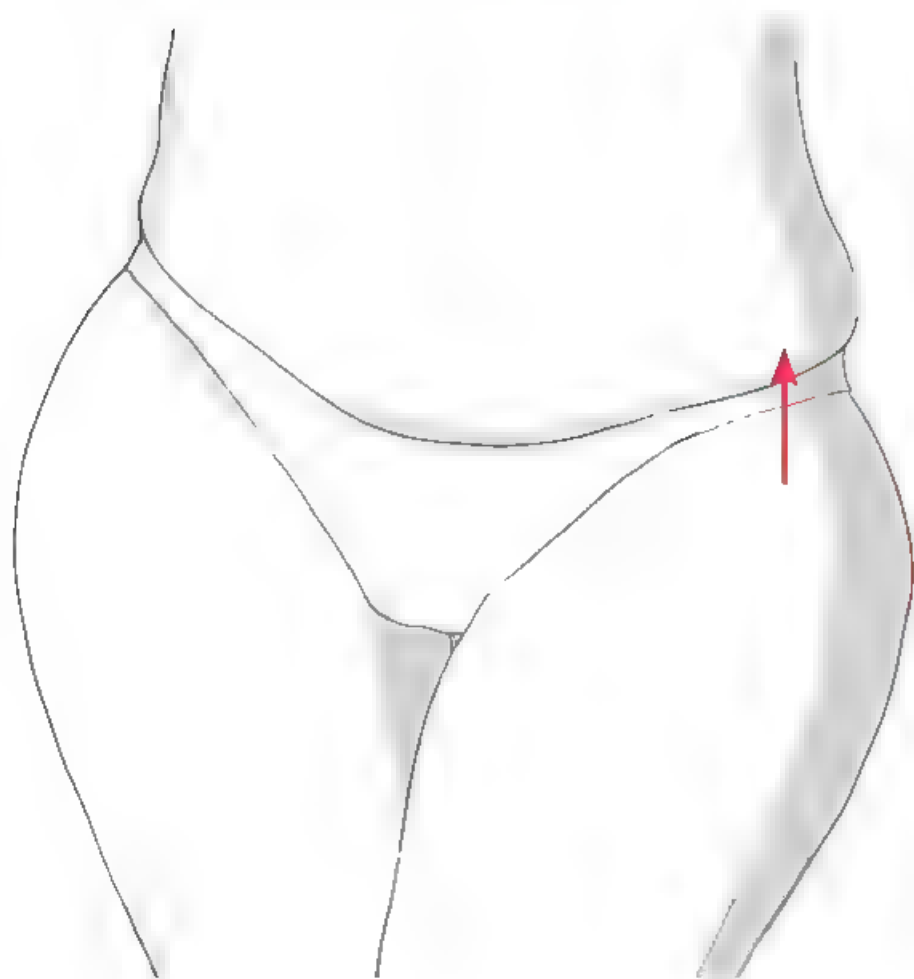
腕が曲がる方向や手のひらの向きなどが不自然にならないように注意しましょう。

カップは少し浮いたように描きます。

左右に少し引っぱりながら下ろすと自然になります。

ショーツの食い込みを直す

サイドやバックが食い込んでしまった場合は、手を入れて直します。

はき込みの深さにもよりますが、サイドは通常骨盤のあたりになります。食い込んでいる様子を表現するため、骨盤よりやや高めに描いて肉感をプラスします。

人差し指で下に引っぱるように直します。指の形が複雑になるので、よく観察して描きましょう。

指が入っている部分は細かくシワを描き立体感を出すようにしましょう。

下着に手を入れる

下着に手を入れられるシチュエーションを描くときのポイントをチェックしましょう。下着の素材を考えて描くのがポイントです。

ブラジャーに手を入れる

手を入れる人物との体格差や、胸と手の大きさに注意して描きましょう。

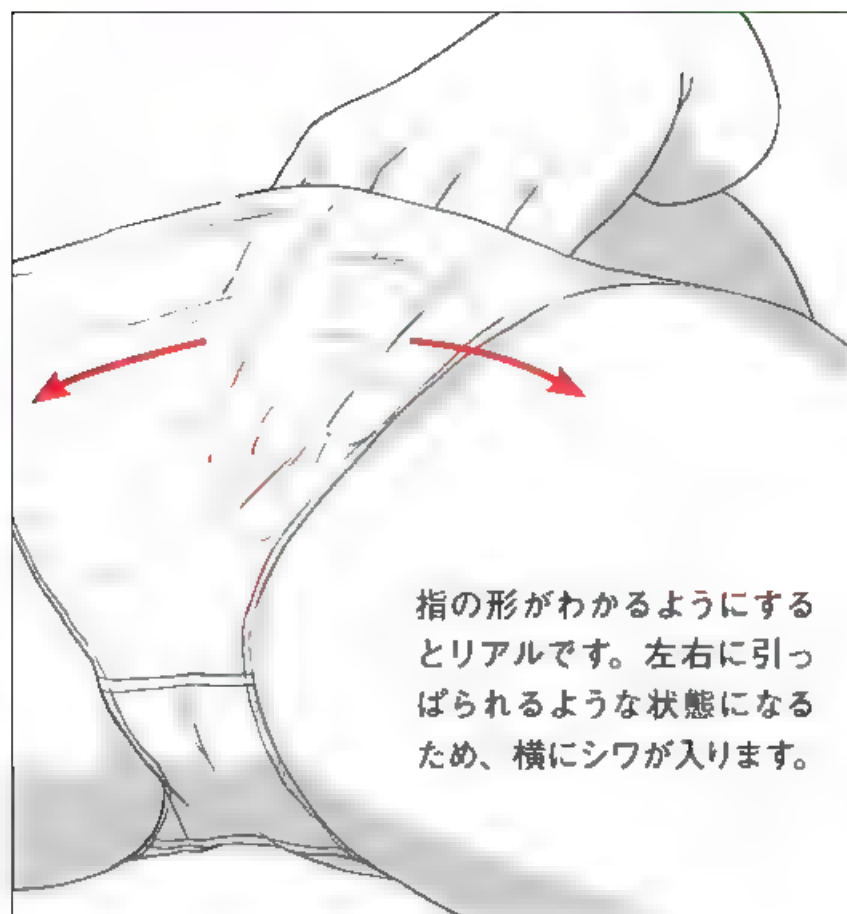
手に胸を乗せるようにすると胸が持ち上げられ強調されます。

下から手を入れられているため、ブラジャーがずれ、サイドが少し上がっています。

手を入れることでカップに凹凸ができてシワが寄ります。カップの厚さによってシワがあまり入らないこともありますが、実際より大げさに描いてもよいでしょう。

ショーツに手を入れる

手を入れることでショーツの生地がどう変化するのか注意しましょう。

ショーツに手を入れているシチュエーションは、下からのアングルにすると迫力が出ます。

指の形がわかるようにするとリアルです。左右に引っぱられるような状態になるため、横にシワが入ります。

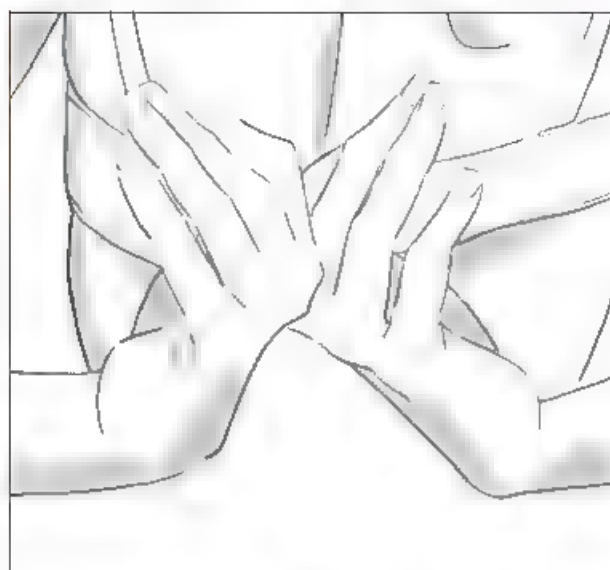
手を入れるため生地が左右に引っぱられます。引っぱられることで横のシワが多く入ります。

弱々しくも抵抗するように描くと臨場感が出ます。

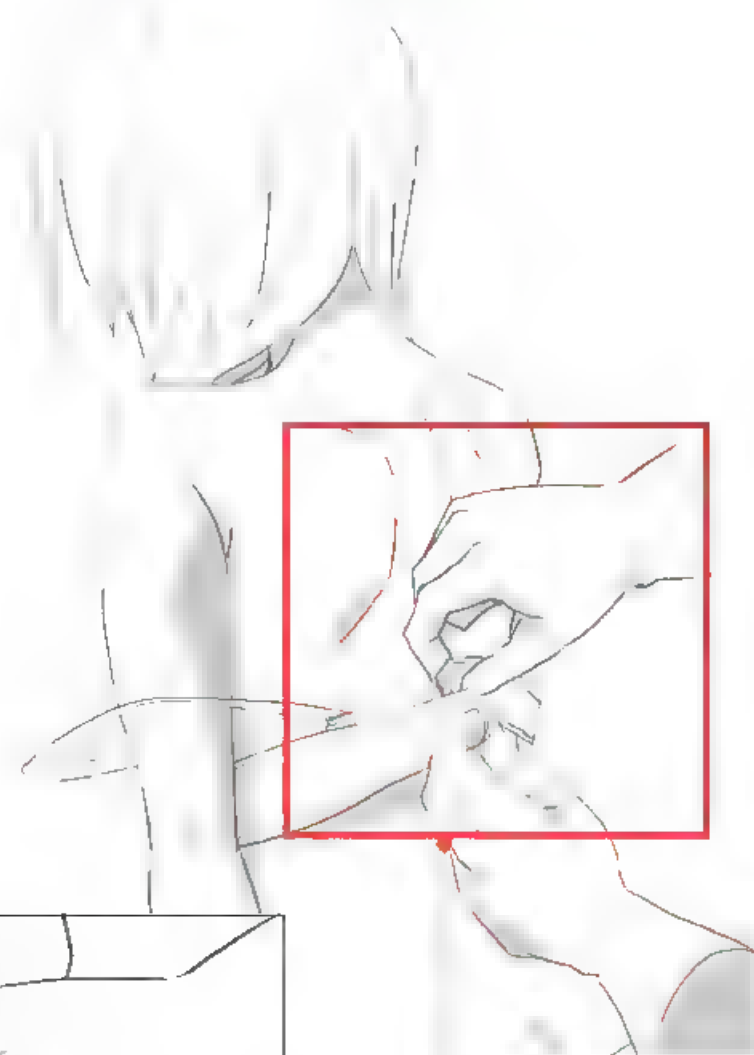
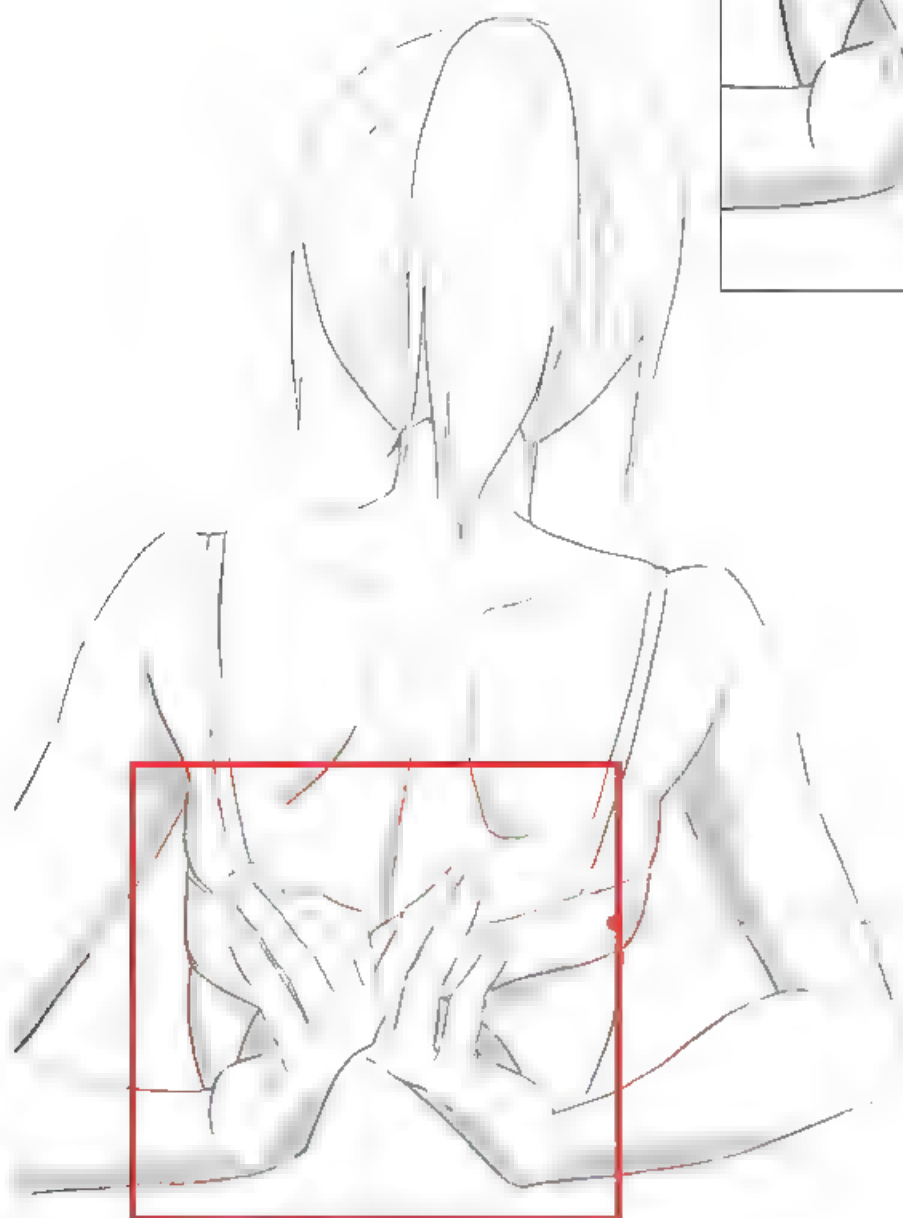
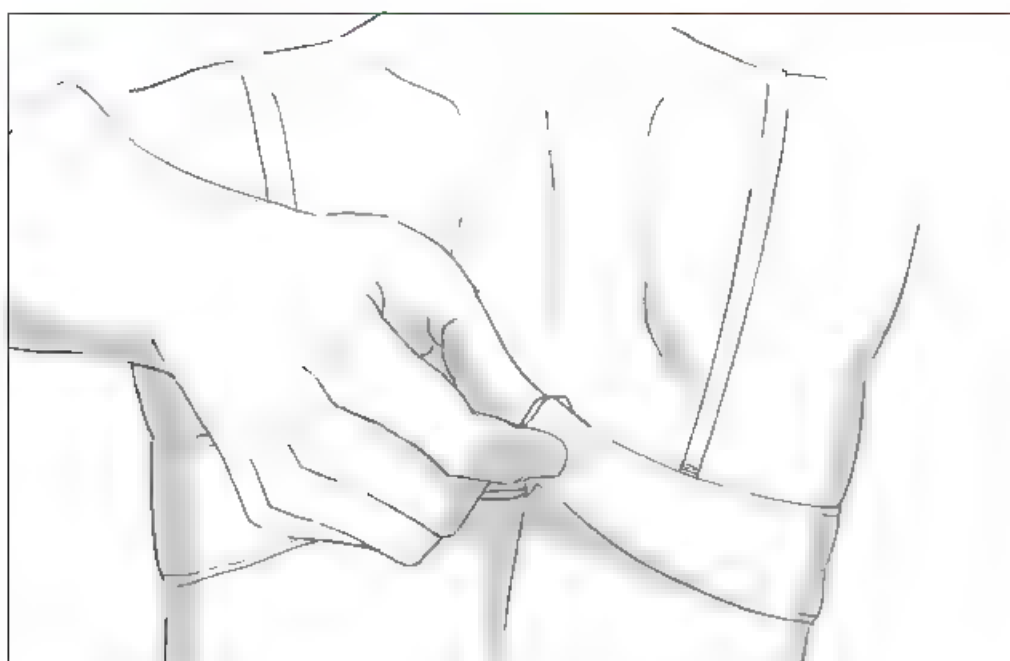
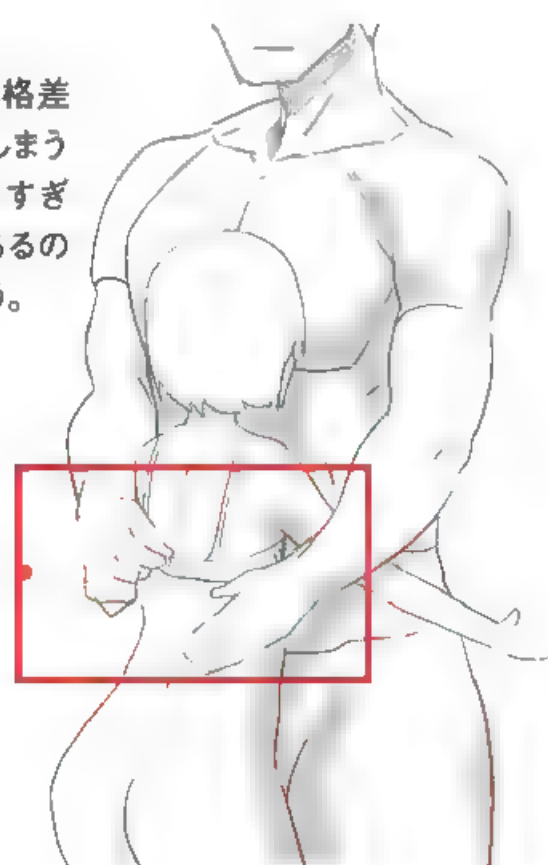
ショーツに入っている指と出ている指を描くなど、触り方の表現もポイントです。小指を太ももに伸ばしている様子が官能的に見えます。

ホックを外す

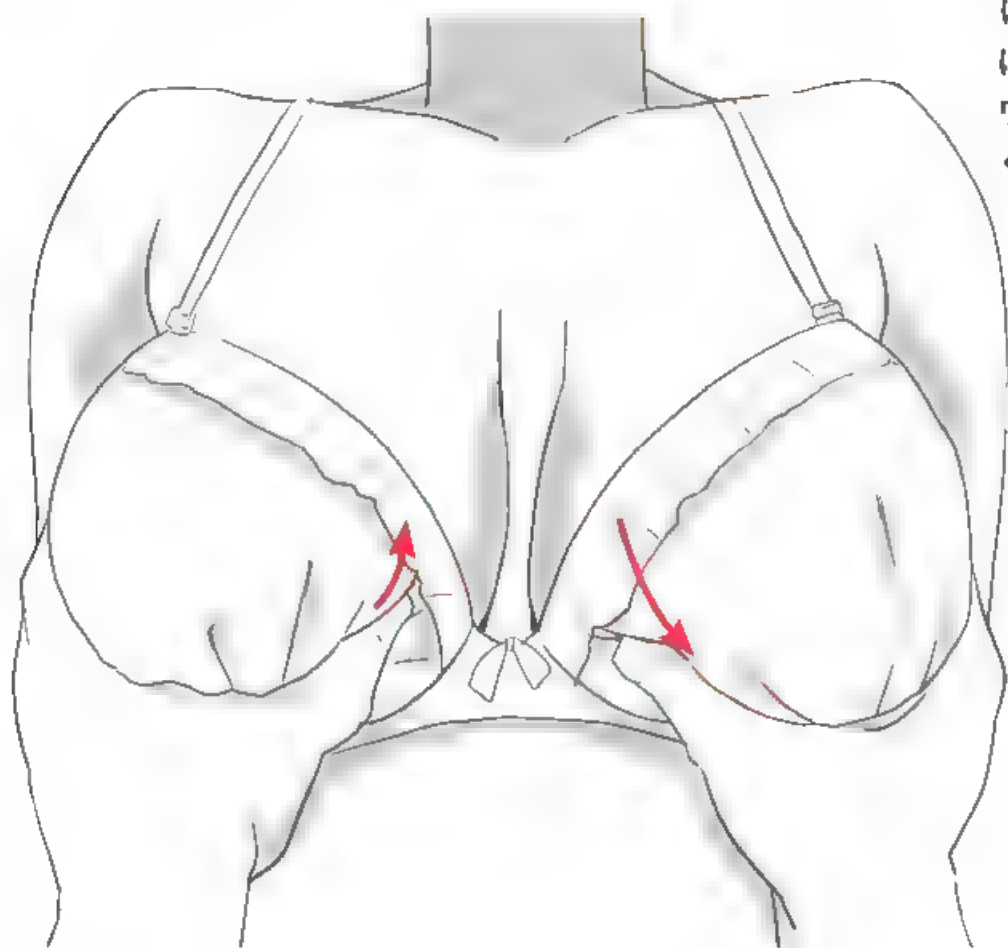
ホックを外すときは、手の角度や指の形に注意しましょう。自分で外すか、他人に外してもらうかによっても大きく異なります。

手の角度に注意しましょう。やや下に引っぱりながら外すイメージです。

逆手になります。

後ろから外してもらう

男性に外してもらう場合、男性の手をゴツゴツさせると、男女の体格や肌の質感の違いがより表現できます。

ホックの左右を片手でつまみ、ひねるようにして外します。

男性と女性の体格差を強調しすぎてしまうと、男性が大きすぎてしまうことがあるので注意しましょう。

わしづかみ

胸をわしづかみにされるシチュエーションでは、つかむ手との対比によって胸の大きさや肉感を表現する必要があります。

ブラジャーをわしづかみにするときは、指や手に沿ってカップにシワを入れます。

後ろからつかむ場合、手の向きと指の曲がり方が不自然にならないように気をつけましょう。包み込むようにつかむ場合は、あまりシワを入れすぎないようにしてください。

お尻をつかむ

ショーツの生地はやわらかいため、指が食い込むとシワが入ります。また、お尻のやわらかさも表現できます。

指を広げてつかむように描くと、お尻全体の丸みを表現することができます。

見せる下着

見せてもよい下着を着けている場合、それが映えるようなアウターにすることが大切です。代表的な例を見てみましょう。

オフショルダー

肩を出すオフショルダーの服の場合、ブラジャーのストラップは見せてもよいデザイン性のあるものか透明のものにするといいでしょう。

背中の開いた服

背中の大きく開いた服では、ブラジャーのサイドが見えないように、シリコンカップブラや見せてもいいデザイン性のあるものを選びます。

見せブラ

チューブタイプのブラジャーや三角ブラは、見せブラとしてよく用いられます。

チラリズム

チラリズムのシーンを描くには、さりげなさや無防備さを感じさせることが大切です。魅力的に描くためのポイントを見ていきましょう。

パンチラ

パンツスタイルでも、生地によってはショーツが透けて見えます。透けていない場合も、ぴったりとしたパンツだとショーツのラインが出ます。

パンチラは下からのアングルを描くことで、お尻に迫力を持たせることができます。ショーツのシワや縫い目をしっかり描き込みましょう。

バックにフリルなどの装飾がついているものもよくあります。

テニスのアンダースコートは見えてもいいものです。ショーツの上にはくので、ややローレッグになっておりお尻をしっかり包み込みます。

透けブラ

下着が透けている様子を描く場合は、アウターの素材や体との密着感を考えて不自然にならないようにしましょう。

制服の透けブラはうっすらと、見えるか見えないかくらいがGood。

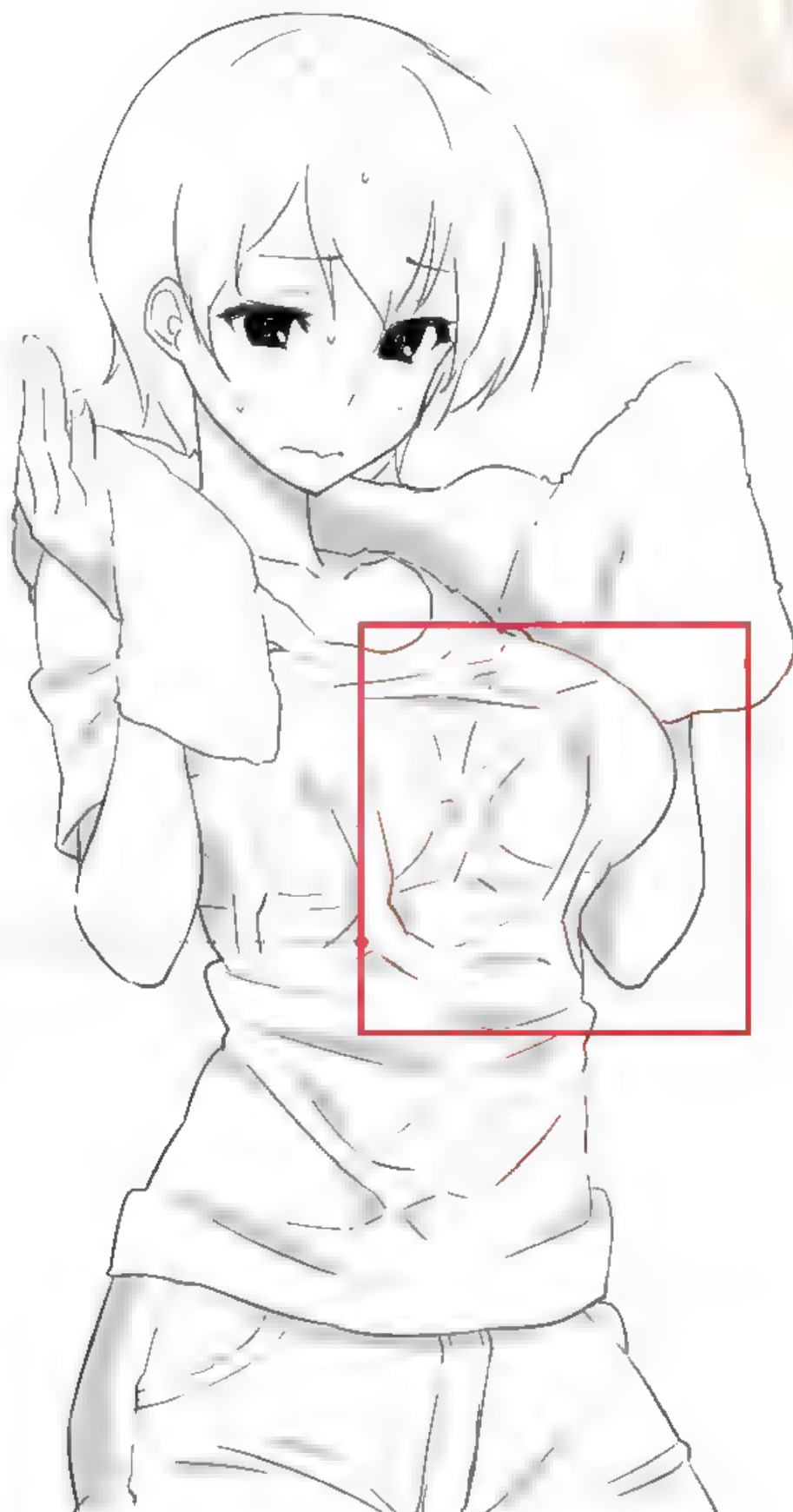
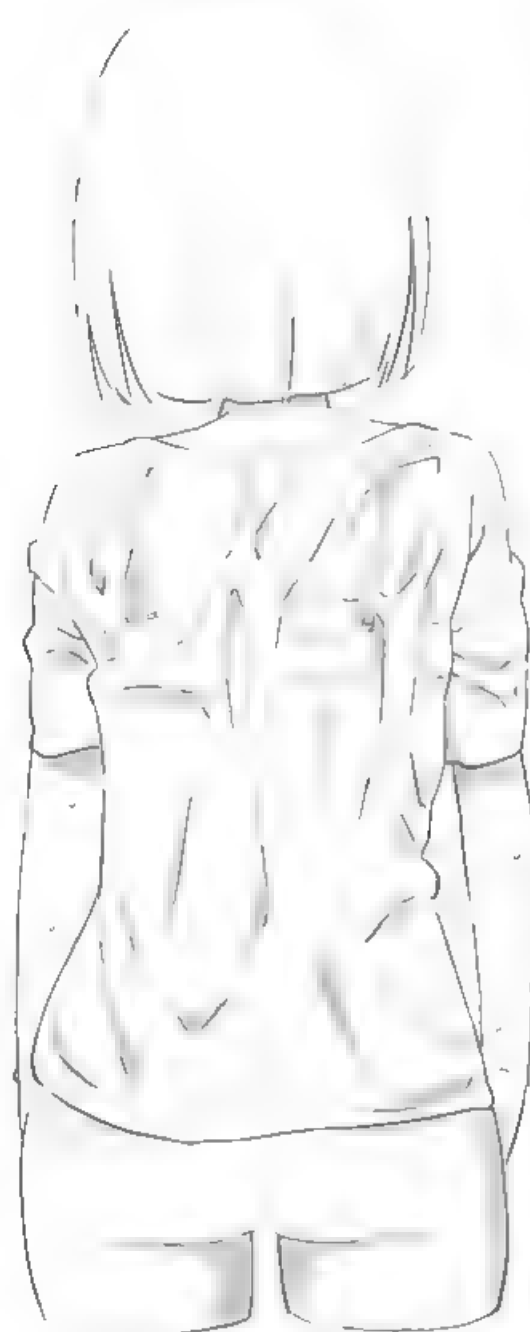
見せパン

ハイレグのショーツには、パンツからあえてはみ出させて見せるデザインのものもあります。

ちょうど腰骨の上あたりに引っかかるようにショーツのサイドがきます。

濡れた表現

服が濡れていると、下着が透けやすくなります。生地の質感を意識しながら描きましょう。

濡れて肌に密着している部分は透け、シワになって浮いている部分は透けません。きちんと描き分けましょう。

大きめのシワを入れて肌に張り付いている様子を表現します。

色で透けを表現するパターンと、ブラジャーのラインで透けを表現するパターンがあります。

ノンフィットを描く

下着のサイズが大きすぎたり、小さすぎたり、外れてしまっていたりするノンフィットのシチュエーションについて見ていきます。どのような表現を描きたいのか、しっかり考えて、体や下着の特徴を把握しながら描きましょう。

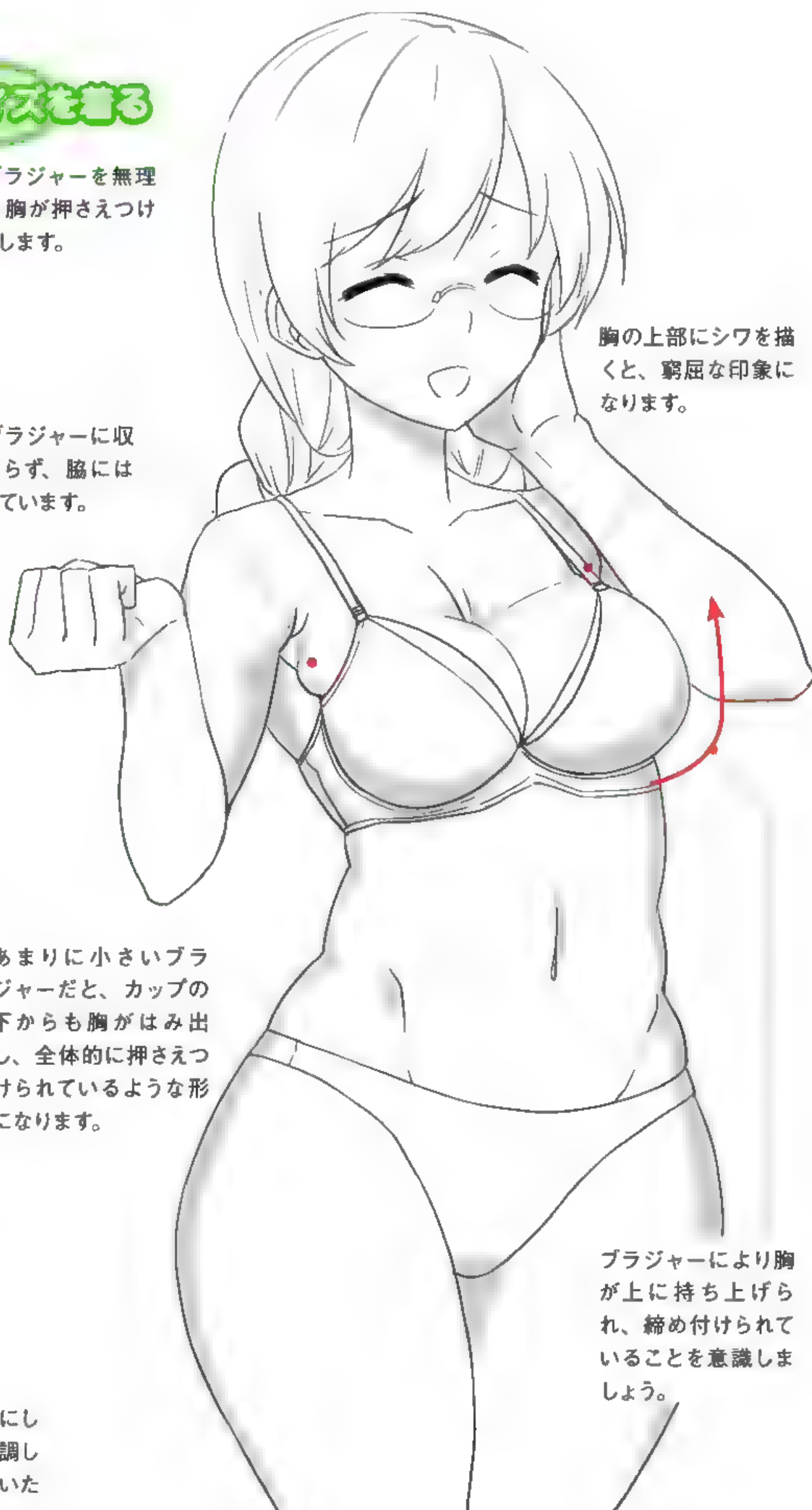
サイズが合っていない

下着のサイズが合っていないときの表現を見ていきましょう。少し大げさに描いたほうがわかりやすくなります。

小さいサイズを着る

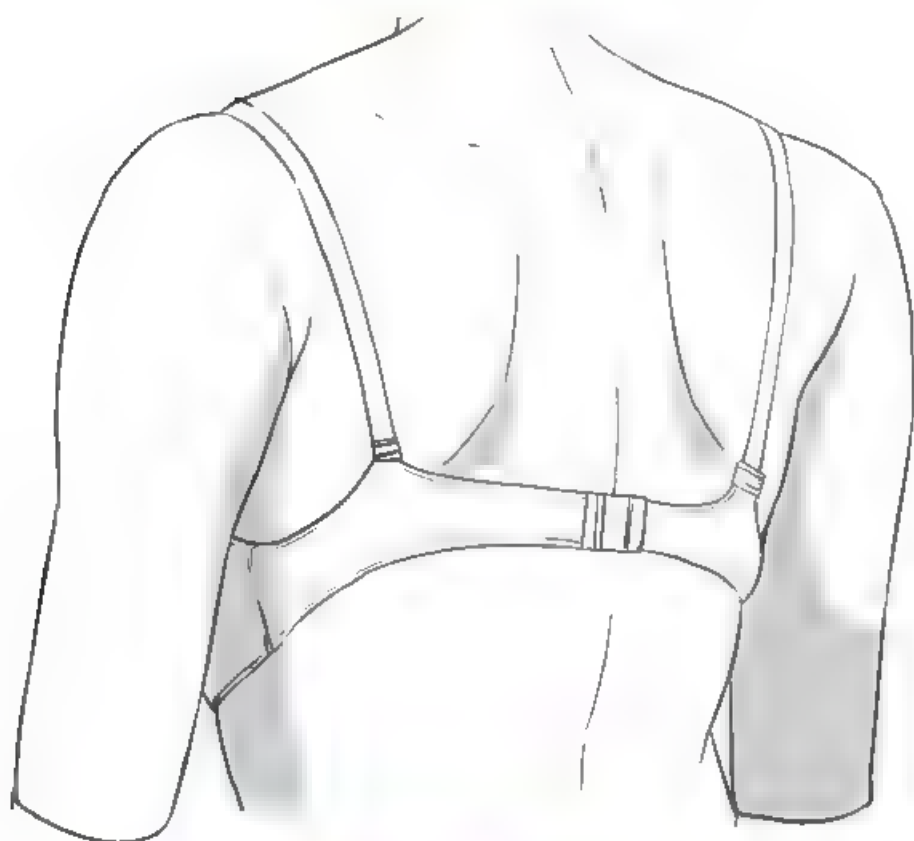
小さいサイズのブラジャーを無理やり着けた場合、胸が押さえつけられて肉がはみ出します。

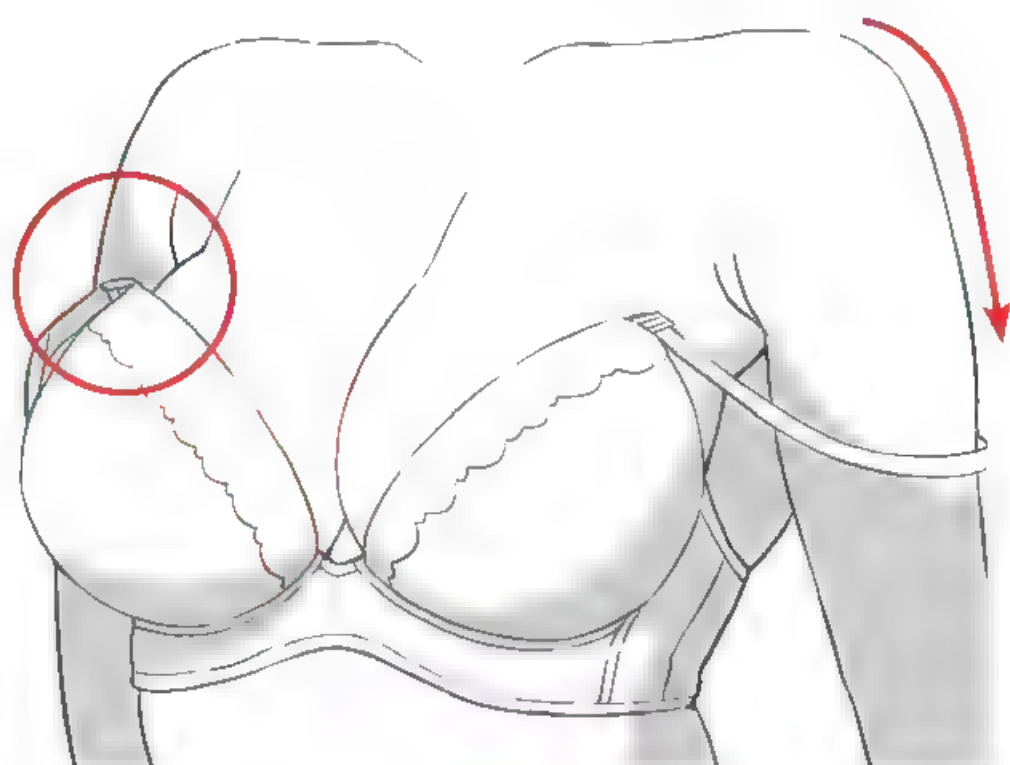
パッドでごまかす

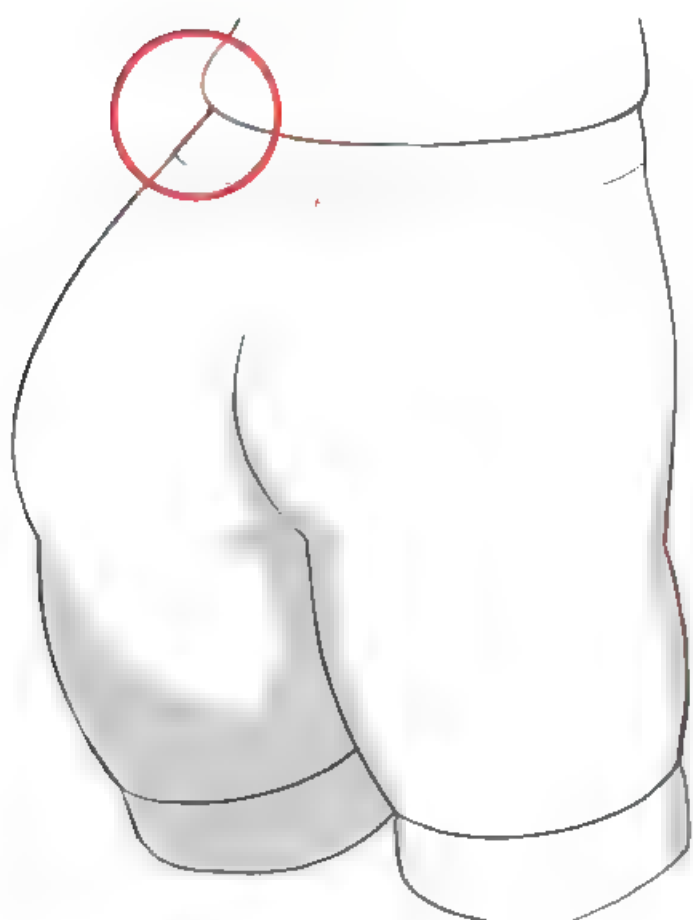
通常パッドを入れるときは、外からは見えないのでふつうに描きます。パッドを入れようとしているシーンでは、胸とカップの間に隙間をつくるといいでしょう。

ノンフィットの例

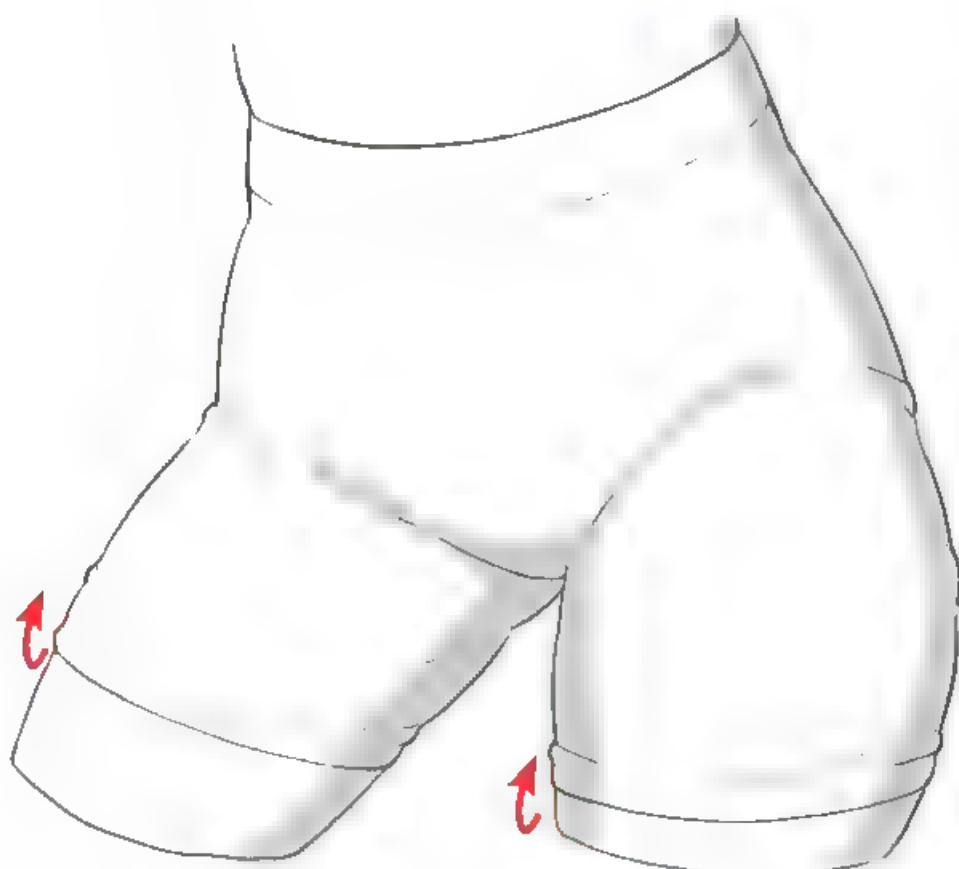
ノンフィットの状態は、その他にもあります。どんなバリエーションがあるのか見ていきましょう。

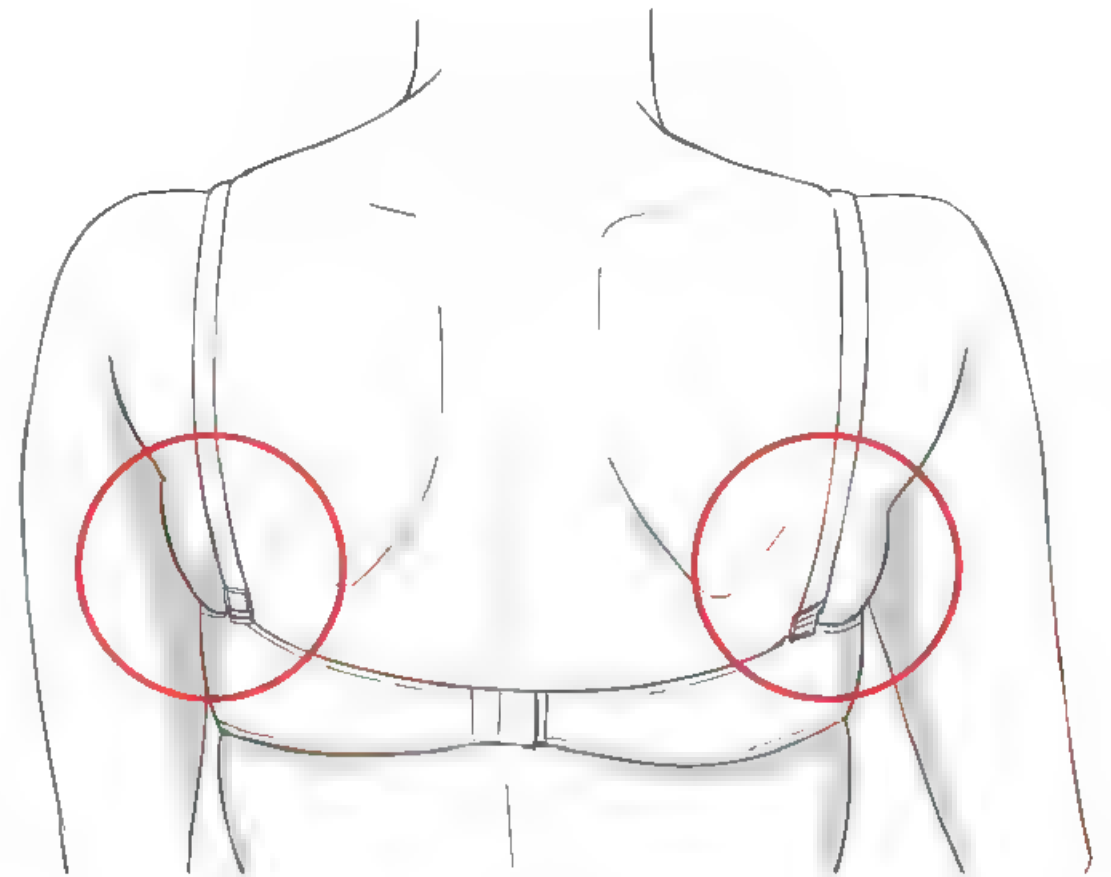
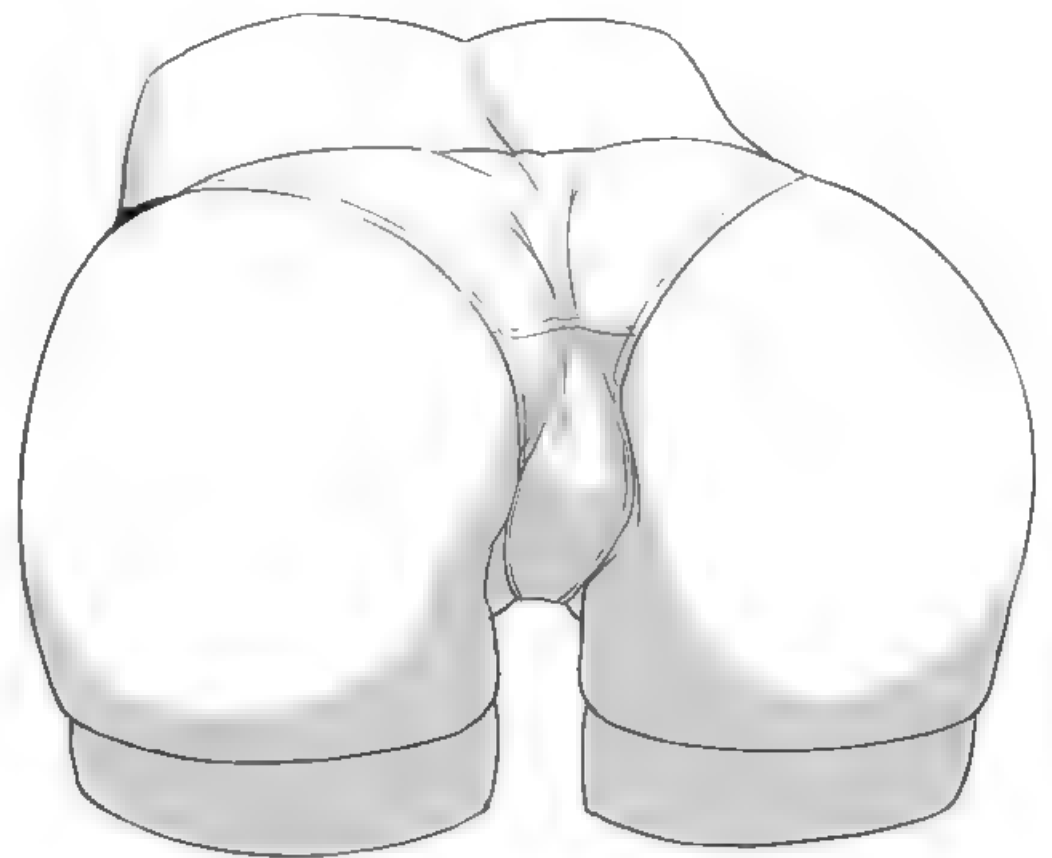
バックが上がる

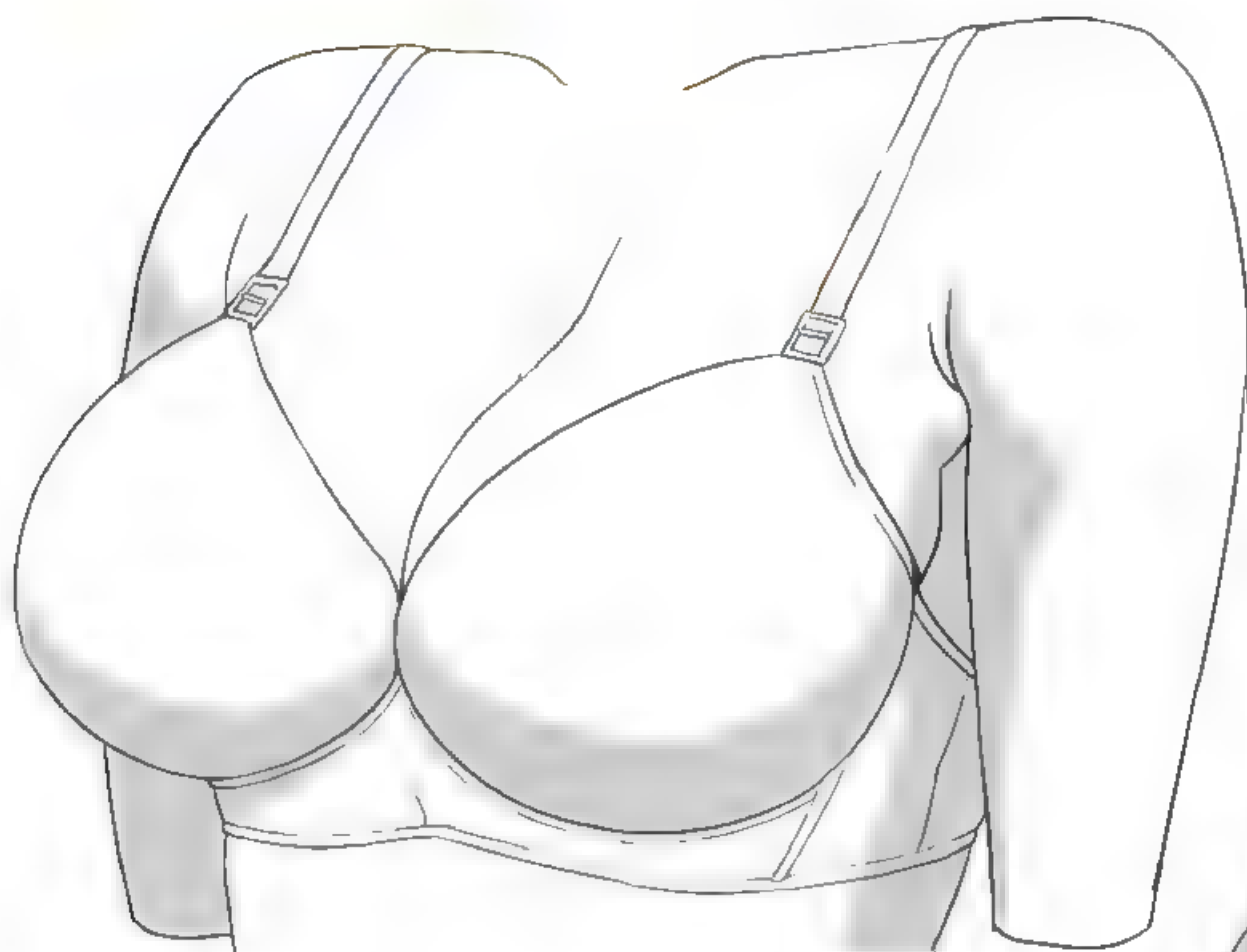
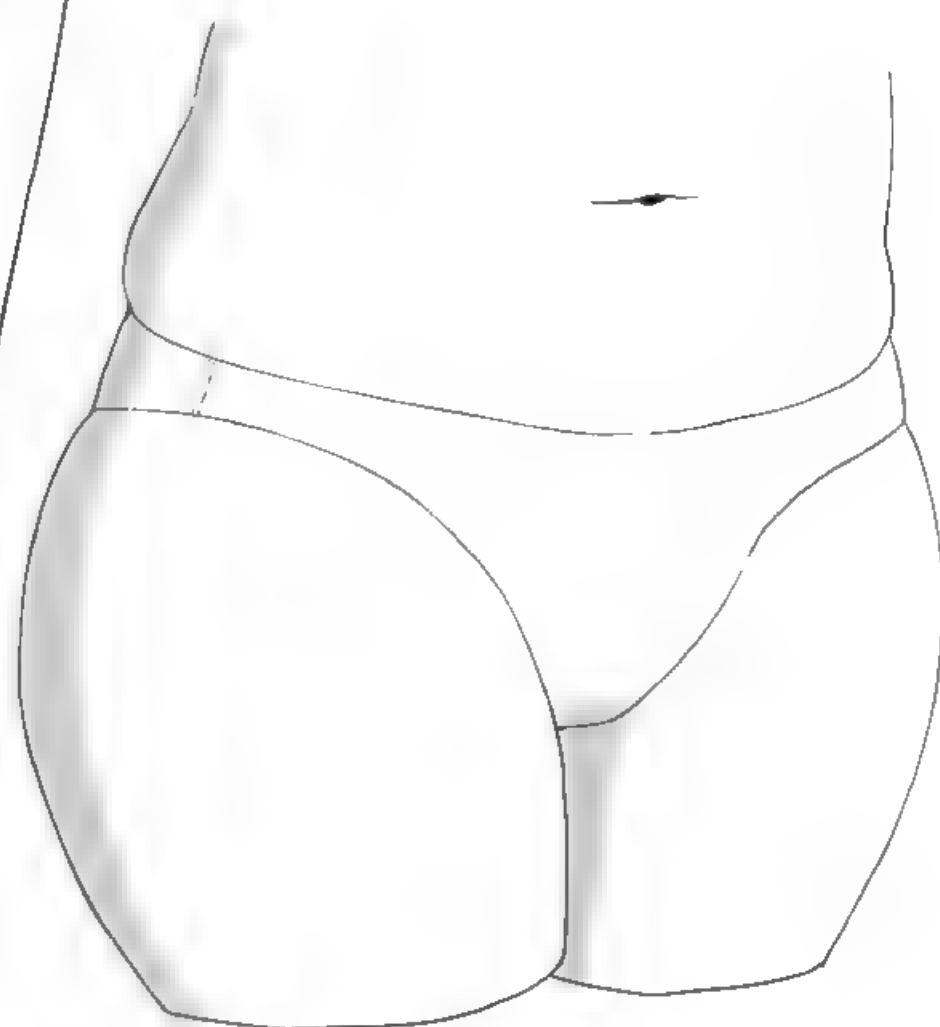
ブラジャーのストラップを短くしすぎている場合、バックが上がってきてしまいます。

ストラップが落ちる

ブラジャーのサイズが大きすぎる、またはストラップが長すぎるときは、ストラップがずり落ちてしまいます。胸とブラジャーの隙間を強調するように描くとよいでしょう。

おなかの肉が乗る

ガードルのサイズが小さすぎる場合、おなかの肉がウエスト部分に乗ってしまいます。

すそがめくれる

ガードルのサイズが小さいと、すそが太ももの肉にくい込み、その結果めくれ上がってしまいます。

下着で締め付けられる

サイズが小さい下着を身に着けているため、全体に締め付けられているシチュエーションです。どこに下着が食い込むのか、肉が乗っかるのかを確認しましょう。

ぽっちゃり体型

下着による締め付けや肉のはみ出しを強調することで、ぽっちゃり体型の女の子を描くことができます。はみ出す位置に気をつけましょう。

劣化下着

ボロボロの下着を着た女の子を描いてみましょう。下着を長年使用すると、どのように劣化していくのか確認してください。

ブラジャーのワイヤーが、長年の使用と雑な洗濯のくり返しで歪んでいます。

ショーツも長年着用しているとウエストや脚ぐりのゴムが伸びきり、生地が薄くなって透けるなど劣化していきます。

索　引

イラストレーター紹介

シソ

イラストレーター。書籍の挿絵やアプリゲームのイラストを中心に活動。GA ノベル『カロン・ファンタジア』(SB クリエイティブ)、モンスター文庫『再臨勇者の復讐譚』(双葉社) イラスト担当。アプリ『蒼空のリベラシオン』(SEGA) イラスト。TCG『ラクエンロジック』(ブシロード) カードイラスト　など

ぐる

漫画家兼イラストレーター。
普段は BL 系や萌え系の漫画を制作。
その他キャラクターデザインなども手掛ける。

B- 銀河

イラストレーター。
ソーシャルゲームのイラストを中心に活動。

カバーイラスト　森倉円
協力　株式会社ワコール
企画・編集　秋田綾（株式会社レミック）
難波智裕（株式会社レミック）
デザイン　株式会社レミック
執筆・編集協力　リブラ編集室

2017年1月1日　初版第1刷発行

発行者　北原　浩
編集者　勝山俊光
発行所　株式会社玄光社
〒102-8716　東京都千代田区飯田橋4-1-5
TEL：03-3263-3515
FAX：03-3263-3045
URL：http://www.genkosha.co.jp/
印刷・製本　株式会社東京印書館

ちょっぴりＨな
おんなのこの描き方

おっぱい、お尻、太ももからコスチュームまで！
女の子をよりセクシーに魅惑的に描くコツを詳しく解説。

著者：方天戟
定価：本体 1,900 円＋税
判型：B5　144 ページ
ISBN 978-4-7683-0746-5

ドレスの描き方

世界各国の伝統的なドレスからボンテージなどのセクシーなドレスまで
色・シワ・透け感・レース・フリル・リボンなど細かいディテールを徹底解説！

著者：kyachi
定価：本体 1,900 円＋税
判型：B5　144 ページ
ISBN 978-4-7683-0704-5

女の子の日常コーディネート描き分けガイド

女の子をかわいく見せる厳選コーデを 227 種類収録！

著者：いたちまき
定価：本体 1,900 円＋税
判型：B5　144 ページ
ISBN 978-4-7683-0763-2